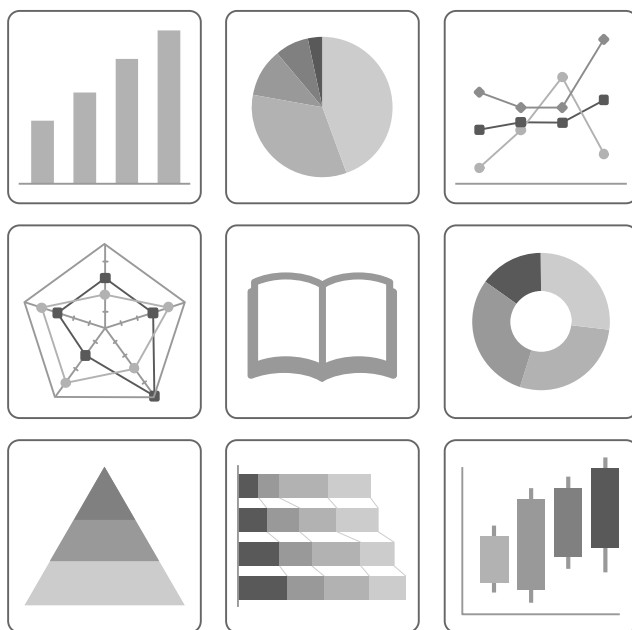


尼崎市

子ども・子育て支援に係るニーズ調査 調査結果報告書



平成 31 年 2 月

尼 崎 市

参考資料1

目 次

調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査対象	1
3 調査期間	1
4 調査方法	1
5 回収状況	1
6 調査結果の表示方法	1
Ⅱ 調査結果	2
1 就学前（保護者）	2
（1）回答者属性	2
（2）お子さんご家族の状況について	2
（3）お住まいの地域などについて	4
（4）お子さんの保護者の就労状況について	5
（5）定期的な幼稚園・保育所などの利用状況について	20
（6）子育て支援事業の利用状況について	51
（7）不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	55
（8）小学校就学後の放課後の過ごし方について	64
（9）母親の妊娠・出産後の子育て支援について	72
（10）子育ての不安と悩みについて	75
（11）子育てに関する情報・サービス・支援体制について	82
（12）その他	96
2 小学生（保護者）	98
（1）回答者属性	98
（2）お子さんご家族の状況について	98
（3）お住まいの地域などについて	99
（4）お子さんの保護者の就労状況について	100
（5）放課後の過ごし方について	111
（6）病気の際の対応について	124
（7）お住まいの地域との関わりについて	129
（8）子育ての不安と悩みについて	132
（9）子育てに関する情報・サービス・支援体制について	138
（10）その他	150
3 高学年（本人）	151
（1）あなたのふだんの家庭や学校での生活について	151
（2）あなたの考えについて	155

調査の概要

1 調査の目的

次期計画の策定に当たり、幼児教育・保育サービスや地域の子ども・子育て支援事業に係る必要な「量の見込み」を算出するため、実際に子育てに関わる市民から、これらのサービスや事業の「現在の利用状況」や「今後の利用希望」などを把握し、今後の子育て支援施策を推し進めていくうえでの基礎資料とするもの。

2 調査対象

- ① 尼崎市内在住の未就学児のいる世帯の保護者 3,000 人
- ② 尼崎市内在住の小学生のいる世帯の保護者 3,000 人
- ③ ②のうち、小学校高学年（4年生～6年生）1,530 人

3 調査期間

平成 30 年 11 月 30 日～平成 30 年 12 月 20 日

4 調査方法

住民基本台帳をもとに、対象児童のいる世帯を無作為抽出し、郵送により、配付及び回収

5 回収状況

	配 付 数	有効回答数	有効回答率
①就学前（保護者）	3,000 通	1,565 通	52.2%
②小学生（保護者）	3,000 通	1,521 通	50.7%
③高学年（本人）	(1,530 通)	(591 通)	(38.6%)

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）

Ⅱ 調査結果

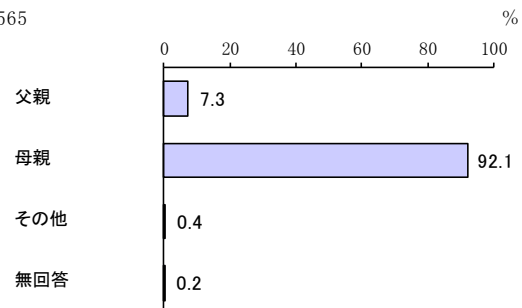
1 就学前（保護者）

（１）回答者属性

問１ この調査票をご記入いただく方（あなた）は、お子さんからみて、どなたですか。
（１つに○を記入）

「父親」の割合が 7.3%、「母親」の割合が 92.1%となっています。

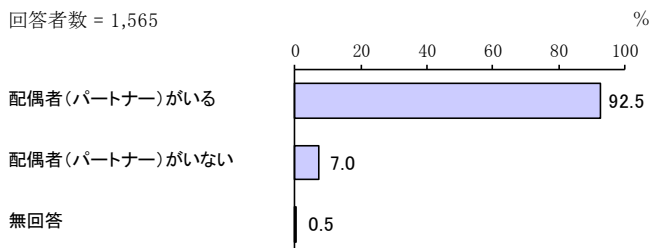
回答者数 = 1,565



問２ あなたの配偶者（パートナー）について、お答えください。（どちらかに○を記入）

「配偶者（パートナー）がいる」の割合が 92.5%、「配偶者（パートナー）がいない」の割合が 7.0%となっています。

回答者数 = 1,565

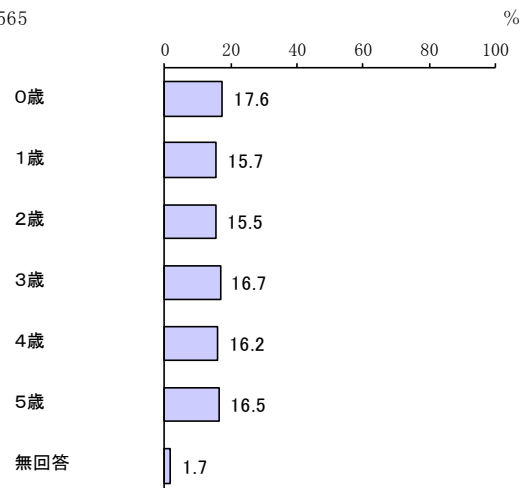


（２）お子さんとご家族の状況について

問３ お子さんの生年月をお書きください。（数字を記入）

「0歳」の割合が 17.6%と最も高く、次いで「3歳」の割合が 16.7%、「5歳」の割合が 16.5%となっています。

回答者数 = 1,565

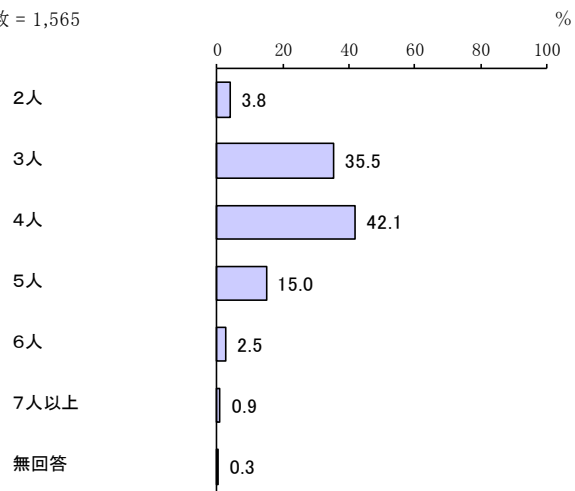


問4 家族の人数とお子さんを含めたきょうだいの人数をお書きください。(数字を記入)

ア 家族の人数

「4人」の割合が42.1%と最も高く、次いで「3人」の割合が35.5%、「5人」の割合が15.0%となっています。

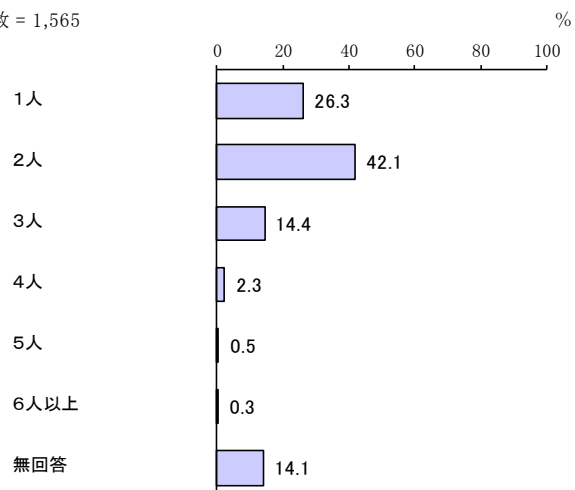
回答者数 = 1,565



イ きょうだい数

「2人」の割合が42.1%と最も高く、次いで「1人」の割合が26.3%、「3人」の割合が14.4%となっています。

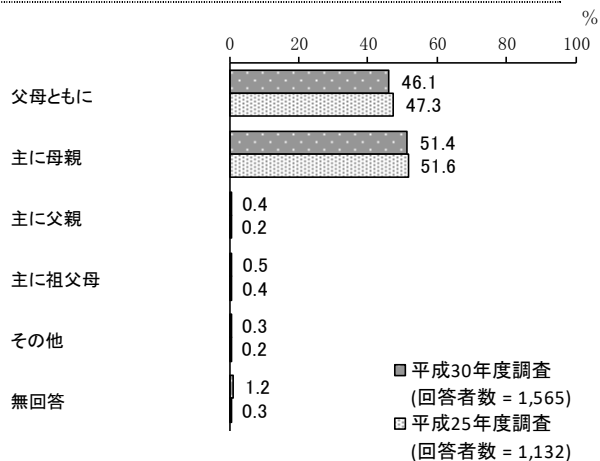
回答者数 = 1,565



問5 お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのは、そのお子さんからみて、どなたですか。(1つに○を記入)

「主に母親」の割合が51.4%と最も高く、次いで「父母ともに」の割合が46.1%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 6 世帯年収は次のどれにあたりますか。（1 つに○を記入）
 なお、育児休業による収入減や臨時的な収入増など、一時的な増減は考えず、通常時の収入としてください。

「500 ～600 万円未満」の割合が 15.4%と最も高く、次いで「400 ～500 万円未満」の割合が 15.1%、「600 ～700 万円未満」の割合が 13.5%となっています。

回答者数 = 1,565

収入なし

100 万円未満

100 ～200 万円未満

200 ～300 万円未満

300 ～400 万円未満

400 ～500 万円未満

500 ～600 万円未満

600 ～700 万円未満

700 ～800 万円未満

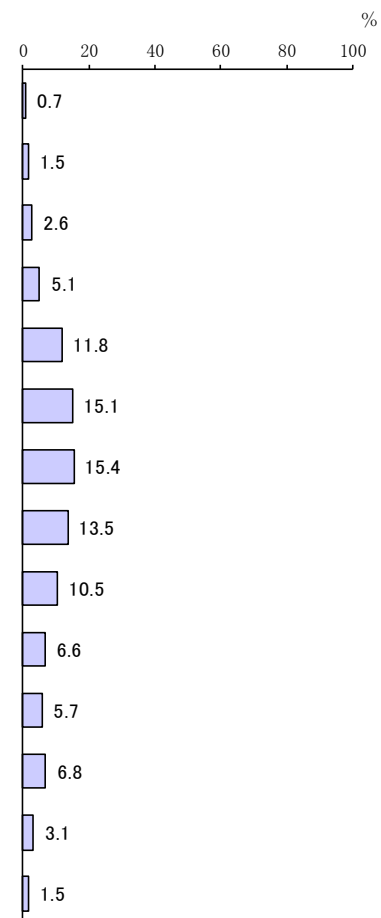
800 ～900 万円未満

900 ～1,000 万円未満

1,000 万円以上

わからない

無回答



（3）お住まいの地域などについて

問 7 お住まいの住所をお書きください。

「園田地区」の割合が 20.7%と最も高く、次いで「立花地区」の割合が 20.4%、「武庫地区」の割合が 17.0%となっています。

回答者数 = 1,565

中央地区

小田地区

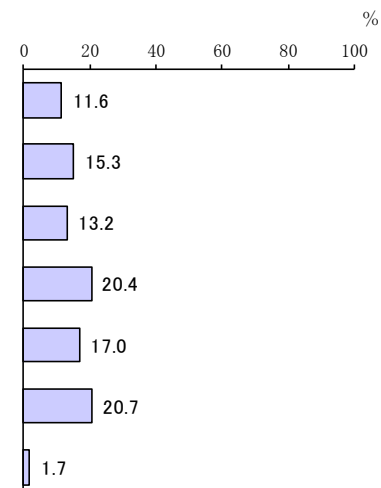
大庄地区

立花地区

武庫地区

園田地区

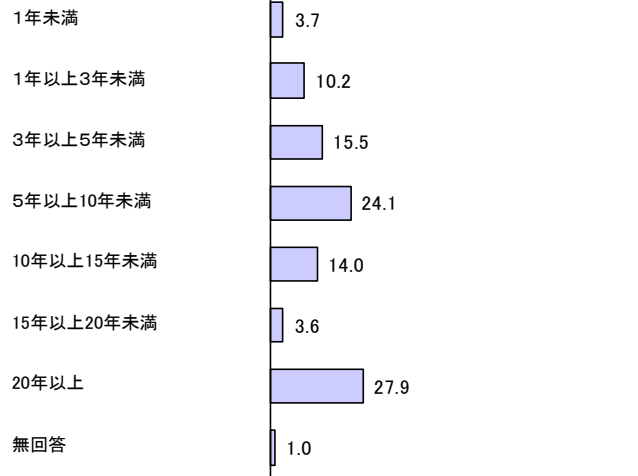
無回答



問8 尼崎市にお住まいになって、通算して何年になりますか。(1つに○を記入)

「20年以上」の割合が27.9%と最も高く、次いで「5年以上10年未満」の割合が24.1%、「3年以上5年未満」の割合が15.5%となっています。

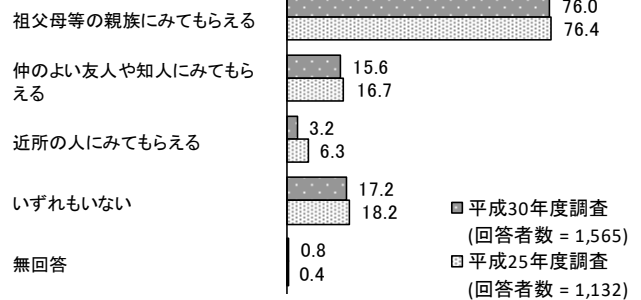
回答者数 = 1,565



問9 緊急時や用事の際に、お子さんをみてくれる人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

「祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が76.0%と最も高く、次いで「いずれもいない」の割合が17.2%、「仲のよい友人や知人にみてもらえる」の割合が15.6%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



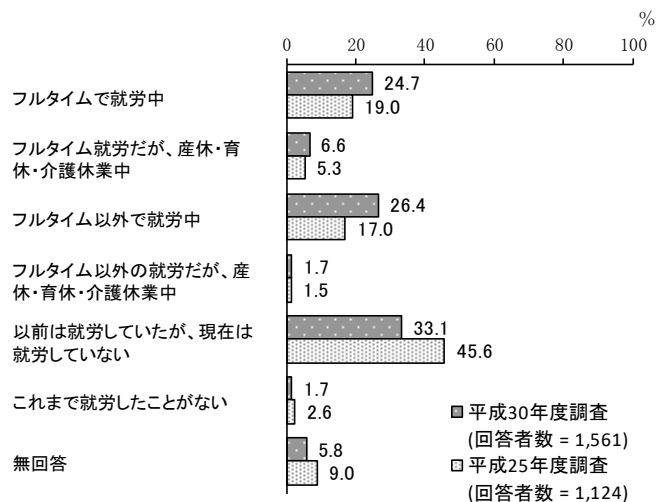
(4) お子さんの保護者の就労状況について

問10 お子さんの母親・父親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、お答えください。(あてはまるものに○を記入)

ア 母親

「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が33.1%と最も高く、次いで「フルタイム以外で就労中」の割合が26.4%、「フルタイムで就労中」の割合が24.7%となっています。

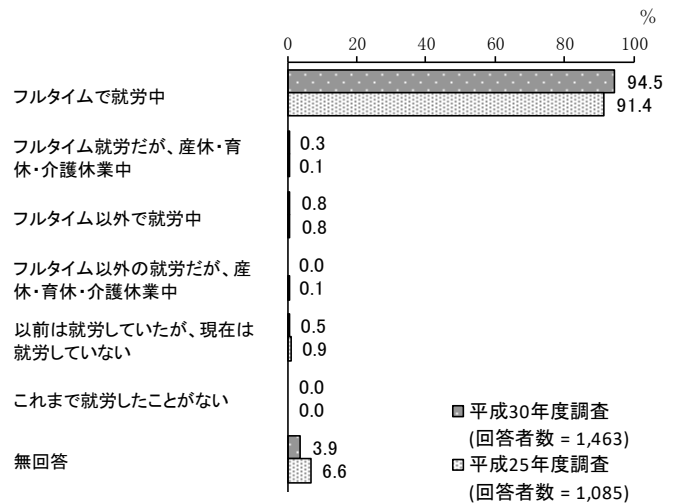
平成25年度調査と比較すると、「フルタイムで就労中」「フルタイム以外で就労中」の割合が増加しています。一方、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が減少しています。



イ 父親

「フルタイムで就労中」の割合が 94.5%と最も高くなっています。

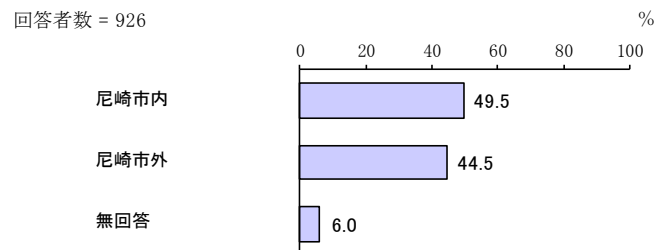
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 10-1 就労されている場合、通常時の勤務地と通勤時間（片道）について、お答えください。また、市外で勤務している場合は、（ ）内に具体的な市町名もお書きください。（あてはまるものに○、数字を記入）

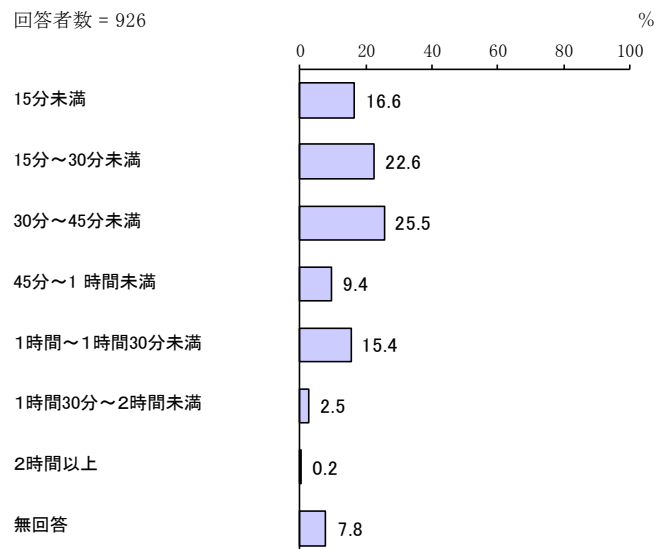
ア 母親

「尼崎市外」の割合が 49.5%、「尼崎市外」の割合が 44.5%となっています。



（イ）母親 通勤時間

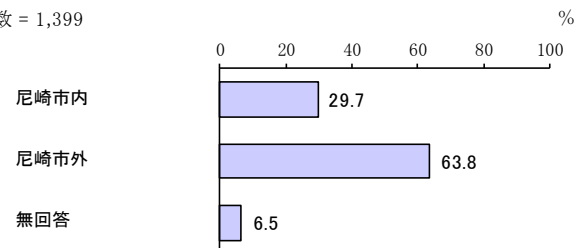
「30 分～45 分未満」の割合が 25.5%と最も高く、次いで「15 分～30 分未満」の割合が 22.6%、「15 分未満」の割合が 16.6%となっています。



イ 父親

「尼崎市内」の割合が29.7%、「尼崎市外」の割合が63.8%となっています。

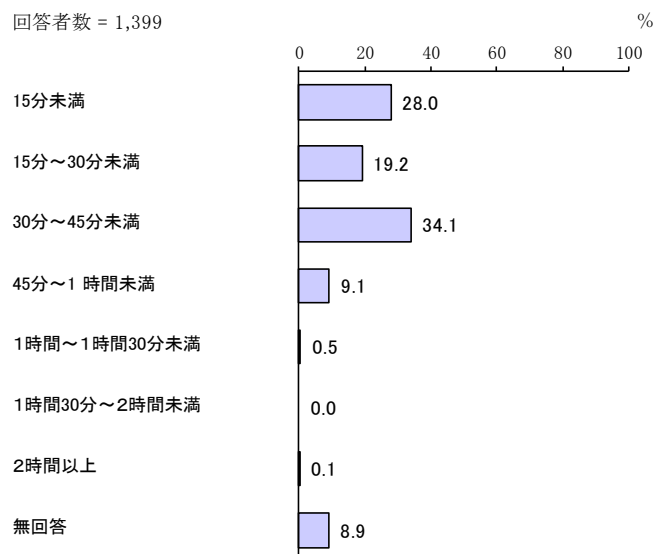
回答者数 = 1,399



(イ) 通勤時間

「30分～45分未満」の割合が34.1%と最も高く、次いで「15分未満」の割合が28.0%、「15分～30分未満」の割合が19.2%となっています。

回答者数 = 1,399



【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイム以外で就労中で「尼崎市内」の割合が、フルタイム就労だが、産休・育休・介護休業中で「尼崎市外」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	尼崎市内	尼崎市外	無回答
フルタイムで就労中	385	46.8	49.1	4.2
フルタイム就労だが、産休・育休・介護休業中	103	30.1	61.2	8.7
フルタイム以外で就労中	412	58.3	36.4	5.3
フルタイム以外の就労だが、産休・育休・介護休業中	26	26.9	38.5	34.6

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイム就労だが、産休・育休・介護休業中で「1時間～1時間30分未満」の割合が、フルタイムで就労中で「30分～45分未満」の割合が高くなっています。また、フルタイム以外で就労中で「15分未満」「15分～30分未満」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	15分未満	15分～30分未満	30分～45分未満	45分～1時間未満	1時間～1時間30分未満	1時間30分～2時間未満	2時間以上	無回答
フルタイムで就労中	385	11.9	22.6	29.4	9.9	18.7	3.4	0.5	3.6
フルタイム就労だが、産休・育休・介護休業中	103	2.9	15.5	25.2	15.5	26.2	1.9	—	12.6
フルタイム以外で就労中	412	24.5	25.5	22.8	7.5	10.0	1.2	—	8.5
フルタイム以外の就労だが、産休・育休・介護休業中	26	15.4	3.8	11.5	7.7	11.5	11.5	—	38.5

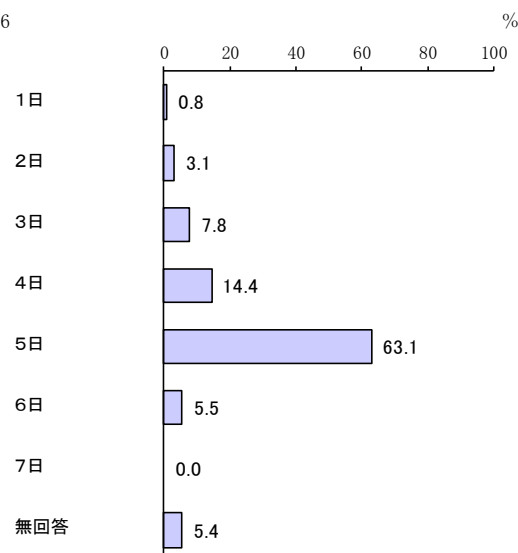
問 10-2 就労されている場合、通常時の就労日数や土曜・日曜の就労の有無、就労時間、家を出る時刻について、お答えください。
(あてはまるものに○、数字を記入)

ア 母親

(ア) 1週当たり就労日数

回答者数 = 926

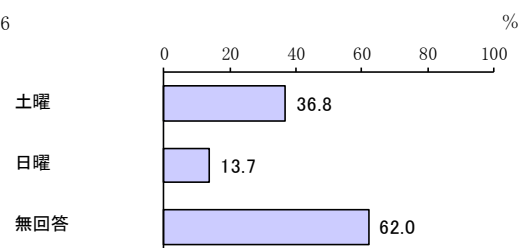
「5日」の割合が 63.1%と最も高く、次いで「4日」の割合が 14.4%となっています。



(イ) 土曜・日曜の就労の有無

回答者数 = 926

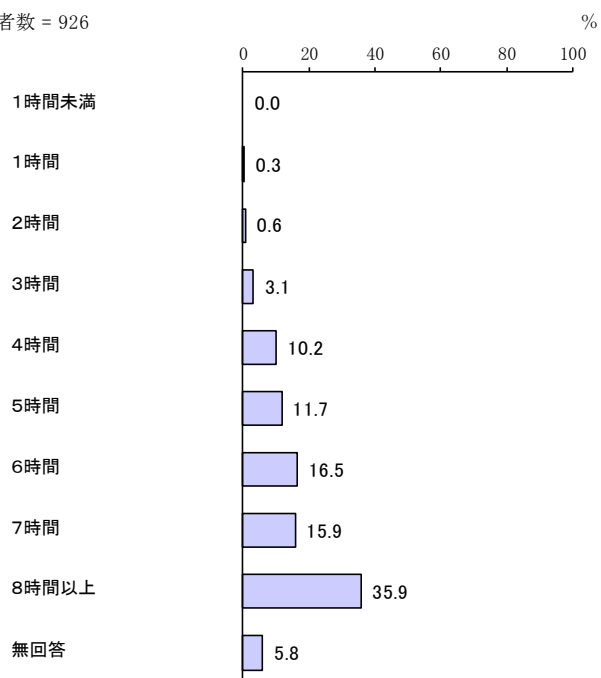
「土曜」の割合が 36.8%、「日曜」の割合が 13.7%となっています。



(ウ) 1日当たり就労時間

「8時間以上」の割合が35.9%と最も高く、次いで「6時間」の割合が16.5%、「7時間」の割合が15.9%となっています。

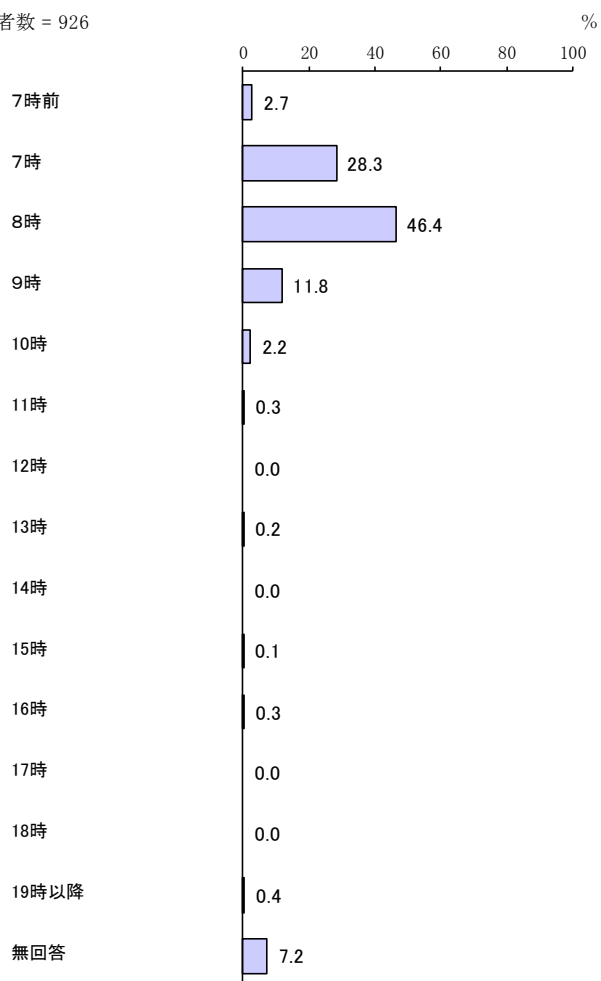
回答者数 = 926



(エ) 家を出る時刻

「8時」の割合が46.4%と最も高く、次いで「7時」の割合が28.3%、「9時」の割合が11.8%となっています。

回答者数 = 926

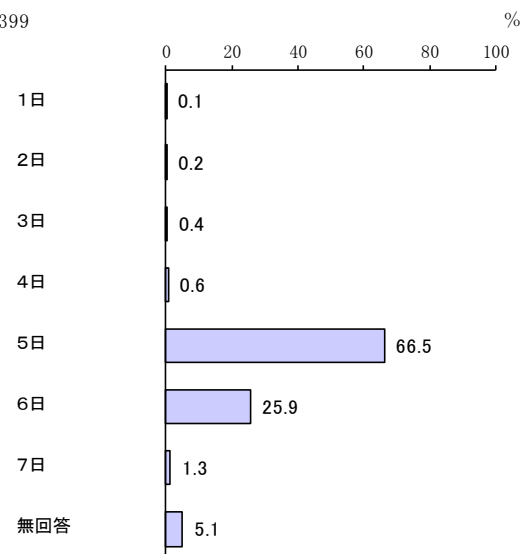


イ 父親

(ア) 1週当たりの就労日数

「5日」の割合が66.5%と最も高く、次いで
「6日」の割合が25.9%となっています。

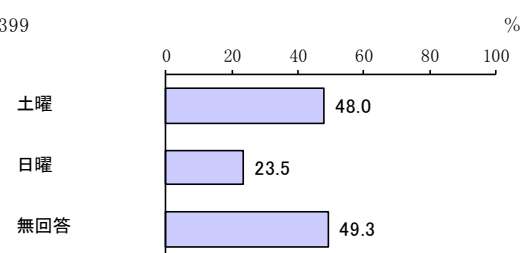
回答者数 = 1,399



(イ) 土曜・日曜の就労の有無

「土曜」の割合が48.0%、「日曜」の割合が
23.5%となっています。

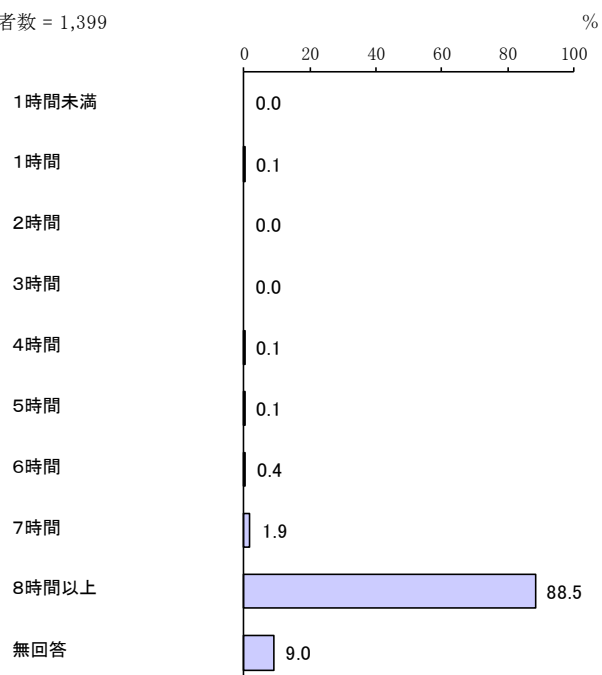
回答者数 = 1,399



(ウ) 1日当たり就労時間

「8時間以上」の割合が88.5%と最も高くなっています。

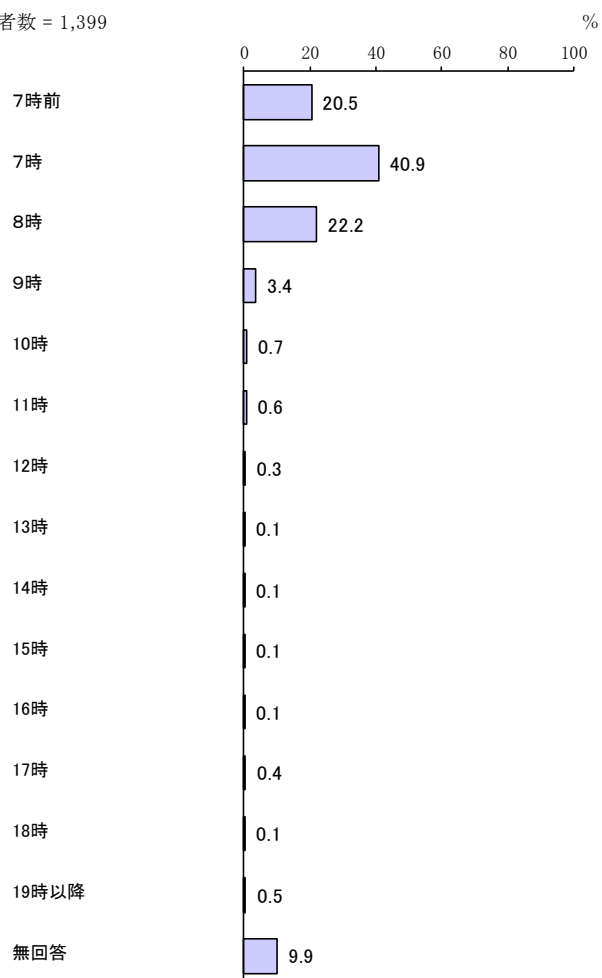
回答者数 = 1,399



(エ) 家を出る時刻

「7時」の割合が40.9%と最も高く、次いで「8時」の割合が22.2%、「7時前」の割合が20.5%となっています。

回答者数 = 1,399



【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイムで就労中で「5日」の割合が、フルタイム以外で就労中で「4日」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
フルタイムで就労中	385	—	—	—	2.1	87.5	8.3	—	2.1
フルタイム就労だが、産休・育休・介護休業中	103	—	—	—	2.9	74.8	6.8	—	15.5
フルタイム以外で就労中	412	1.7	6.6	17.0	28.9	39.3	2.9	—	3.6
フルタイム以外の就労だが、産休・育休・介護休業中	26	—	7.7	7.7	11.5	30.8	—	—	42.3

母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイムで就労中で「土曜」の割合が、フルタイム就労だが、産休・育休・介護休業中で「日曜」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	土曜	日曜	無回答
フルタイムで就労中	385	43.1	14.3	56.4
フルタイム就労だが、産休・育休・介護休業中	103	34.0	17.5	64.1
フルタイム以外で就労中	412	33.0	12.9	65.3
フルタイム以外の就労だが、産休・育休・介護休業中	26	15.4	3.8	84.6

母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイムで就労中で「8時間以上」の割合が、フルタイム以外で就労中、フルタイム以外の就労だが、産休・育休・介護休業中で「6時間」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	1時間未満	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間以上	無回答
フルタイムで就労中	385	—	—	—	—	0.3	1.0	8.1	24.2	64.4	2.1
フルタイム就労だが、産休・育休・介護休業中	103	—	1.0	—	—	—	1.9	6.8	13.6	62.1	14.6
フルタイム以外で就労中	412	—	0.5	1.2	6.8	22.3	24.3	26.2	9.5	4.4	4.9
フルタイム以外の就労だが、産休・育休・介護休業中	26	—	—	3.8	3.8	3.8	7.7	26.9	3.8	7.7	42.3

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイム以外で就労中で「8時」の割合が、フルタイム就労だが、産休・育休・介護休業中で「7時」の割合が高くなっています。

単位：％

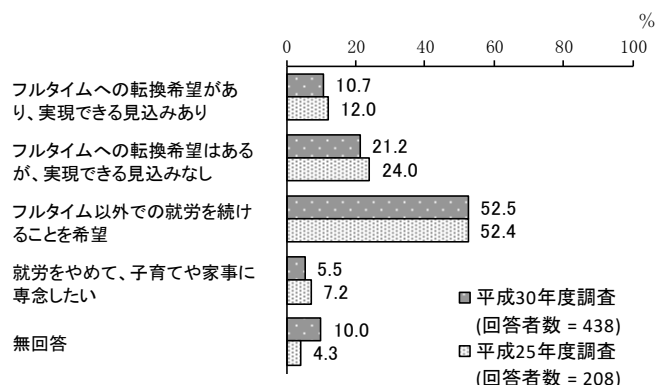
区分	有効回答数(件)	7時前	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時以降	無回答
フルタイムで就労中	385	3.9	42.1	45.5	5.2	0.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.6
フルタイム就労だが、産休・育休・介護休業中	103	3.9	44.7	30.1	5.8	—	—	—	1.0	—	—	—	—	—	—	14.6
フルタイム以外で就労中	412	1.5	12.4	51.9	19.7	4.1	0.7	—	0.2	—	0.2	0.7	—	—	1.0	7.5
フルタイム以外の就労だが、産休・育休・介護休業中	26	—	11.5	38.5	7.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	42.3

問 10-3 フルタイム以外で就労されている場合（問 10 で太枠内の斜線の欄内に○がついた方）、フルタイムへの転換希望等について、お答えください。
（あてはまるものに○を記入）

ア 母親

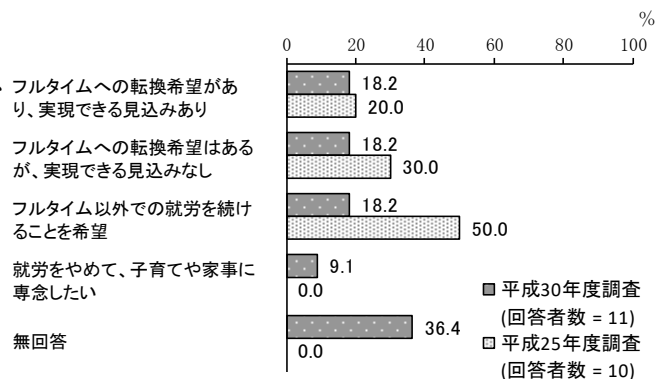
「フルタイム以外での就労を続けることを希望」の割合が 52.5%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みなし」の割合が 21.2%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みあり」の割合が 10.7%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



イ 父親

「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みあり」、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みなし」、「フルタイム以外での就労を続けることを希望」の割合が 18.2%と最も高くなっています。

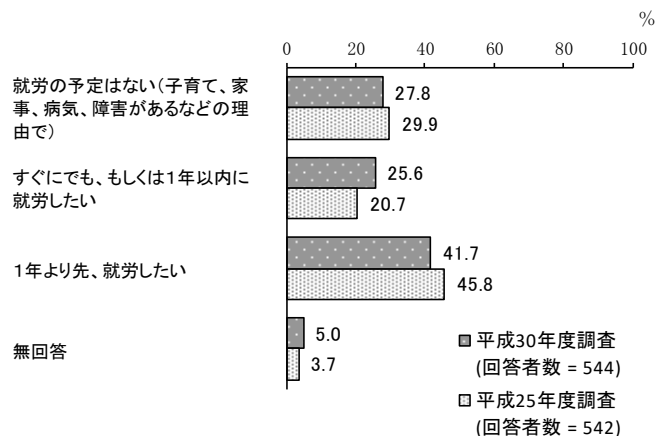


問 11 就労についての希望をお答えください。(あてはまるものに○、数字を記入)

ア 母親

「1年より先、就労したい」の割合が41.7%と最も高く、次いで「就労の予定はない（子育て、家事、病気、障害があるなどの理由で）」の割合が27.8%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が25.6%となっています。

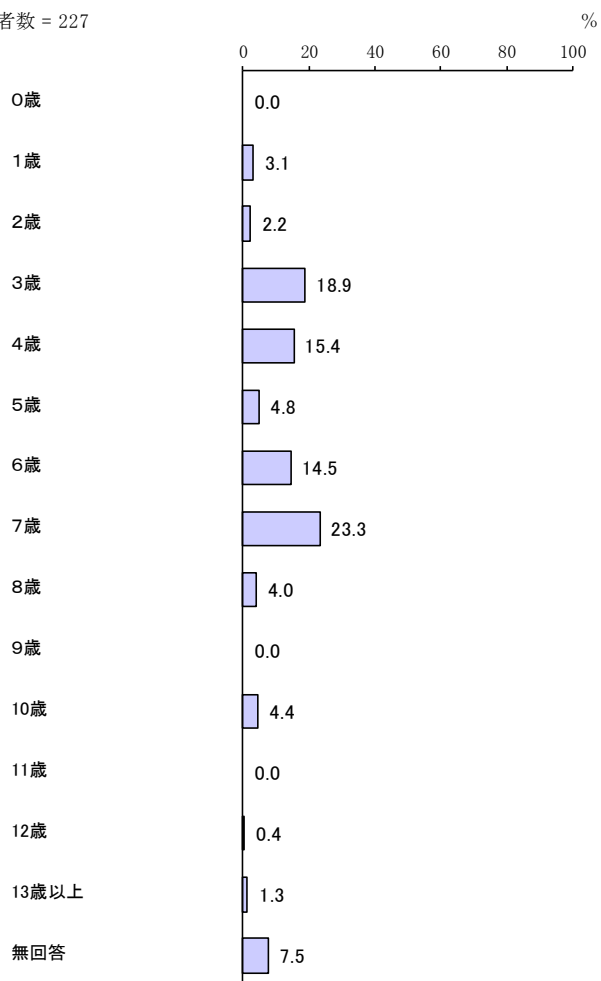
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



就労開始時期

「7歳」の割合が23.3%と最も高く、次いで「3歳」の割合が18.9%、「4歳」の割合が15.4%となっています。

回答者数 = 227



イ 父親

「就労の予定はない（子育て、家事、病気、障害があるなどの理由で）」が 3 件となっていて
す。「すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい」、「1 年より先、就労したい」が 1 件となっ
ています。

就労開始時期

「13 歳以上」が 1 件となっています。

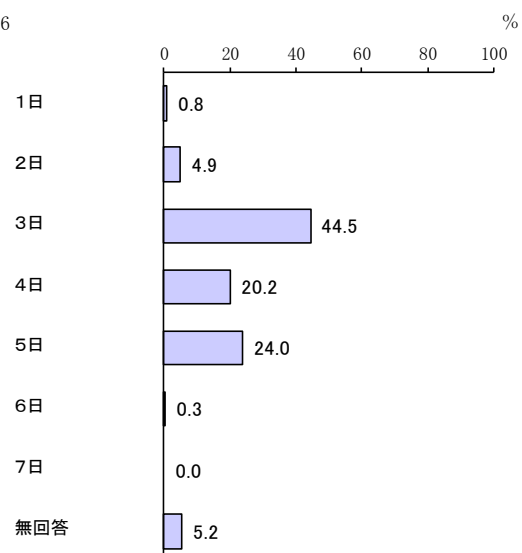
問 11-1 問 11 で太枠内に○がついた場合に、希望する就労日数や土曜・日曜の就労希
望の有無、就労時間をお答えください。
(あてはまるものに○、数字を記入)

ア 母親

(ア) 希望就労日数

「3 日」の割合が 44.5%と最も高く、次いで
「5 日」の割合が 24.0%、「4 日」の割合が 20.2%
となっています。

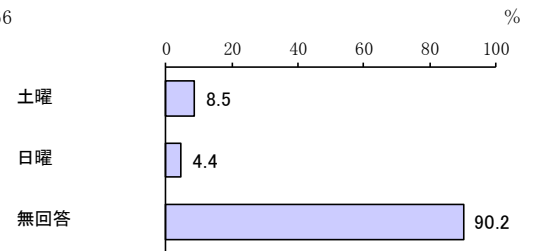
回答者数 = 366



(イ) 土曜・日曜の就労希望の有無

「土曜」の割合が 8.5%、「日曜」の割合が 4.4%
となっています。

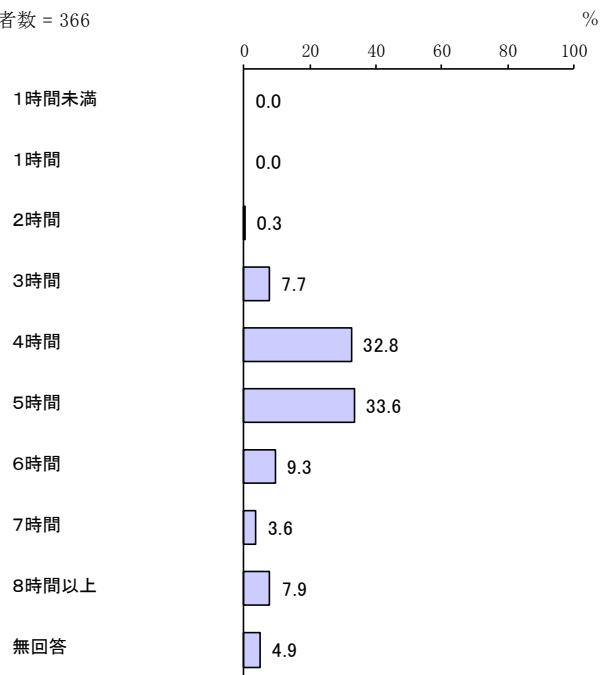
回答者数 = 366



(ウ) 希望就労時間

「5時間」の割合が 33.6%と最も高く、次いで
「4時間」の割合が 32.8%となっています。

回答者数 = 366



イ 父親

(ア) 希望就労日数

「6日」が1件となっています。

(イ) 土曜・日曜の就労希望の有無

「土曜」が1件、「日曜」が1件となっています。

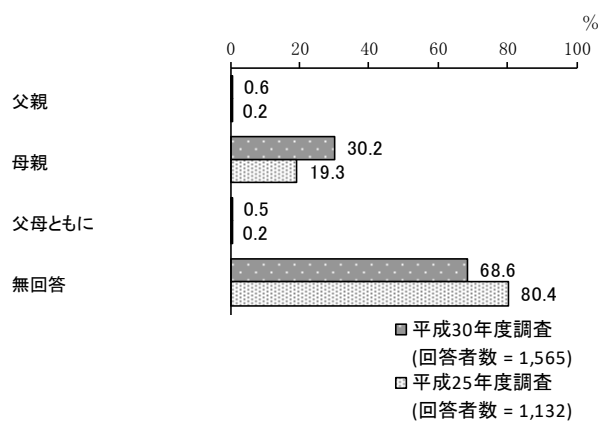
(ウ) 希望就労時間

「8時間以上」が1件となっています。

問 12 お子さんについて、育児休業を取得されたのは、どなたですか。
(1つに○を記入)

「母親」の割合が30.2%と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、「母親」の割合が増加しています。



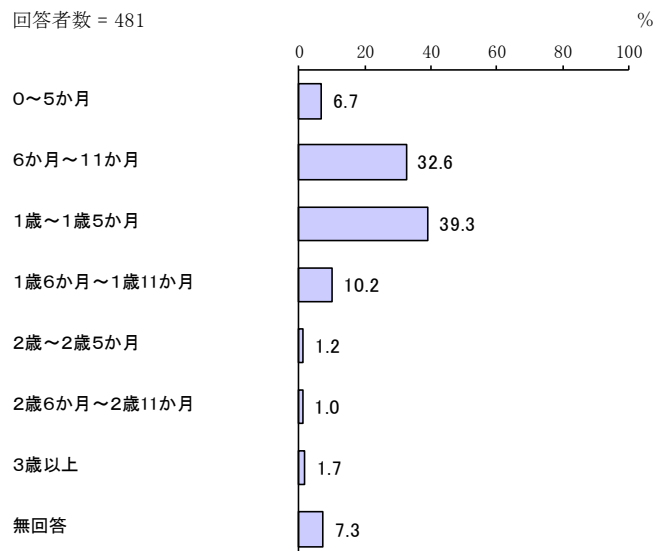
問 12-1 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、「希望」としては何歳何か月のときまで取りたかったですか。また、復帰するきっかけはなんでしたか。
(あてはまるものに○、数字を記入)

ア 母親

(ア) 実際の取得期間

「1歳～1歳5か月」の割合が39.3%と最も高く、次いで「6か月～11か月」の割合が32.6%、「1歳6か月～1歳11か月」の割合が10.2%となっています。

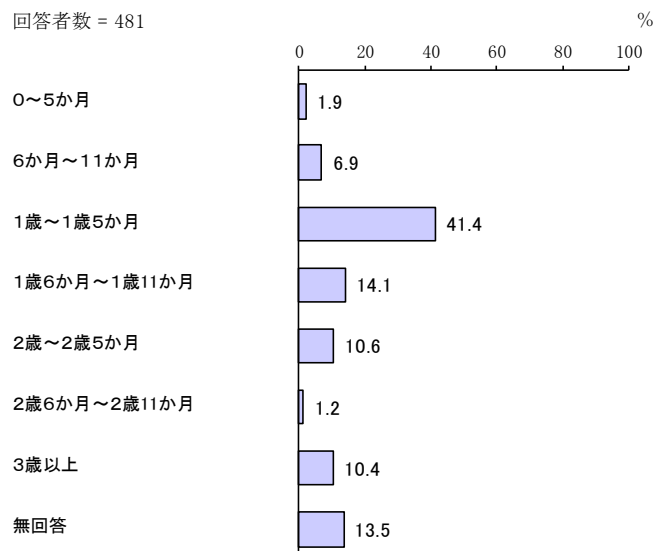
回答者数 = 481



(イ) 希望の取得期間

「1歳～1歳5か月」の割合が41.4%と最も高く、次いで「1歳6か月～1歳11か月」の割合が14.1%、「2歳～2歳5か月」の割合が10.6%となっています。

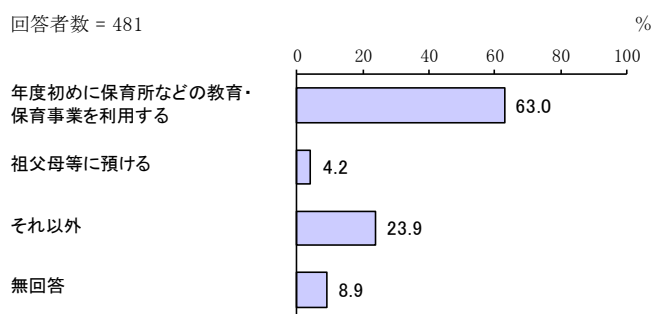
回答者数 = 481



(ウ) 復帰のきっかけ

「年度初めに保育所などの教育・保育事業を利用する」の割合が63.0%と最も高く、次いで「それ以外」の割合が23.9%となっています。

回答者数 = 481

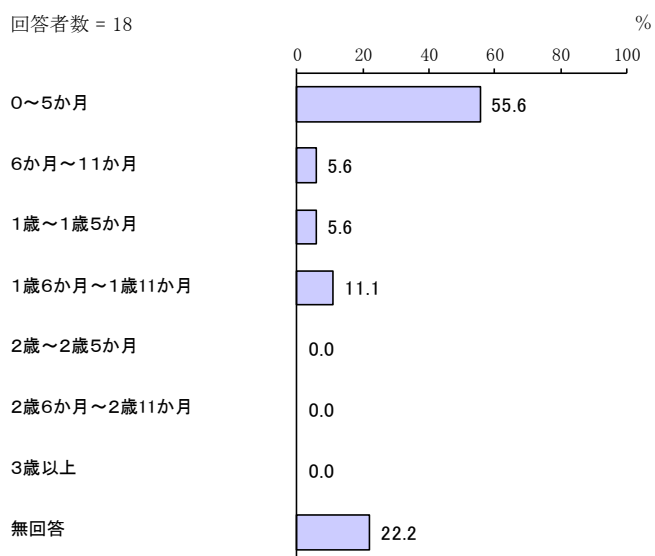


イ 父親

(ア) 実際の取得期間

「0～5か月」の割合が55.6%と最も高く、次いで「1歳6か月～1歳11か月」の割合が11.1%となっています。

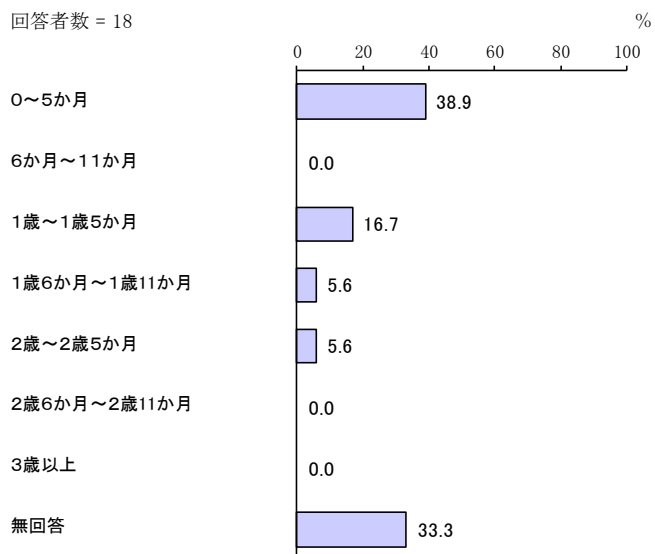
回答者数 = 18



(イ) 希望の取得期間

「0～5か月」の割合が38.9%と最も高く、次いで「1歳～1歳5か月」の割合が16.7%となっています。

回答者数 = 18



(ウ) 復帰のきっかけ

「それ以外」の割合が 66.7%と最も高く、次いで「年度初めに保育所などの教育・保育事業を利用する」の割合が 16.7%となっています。

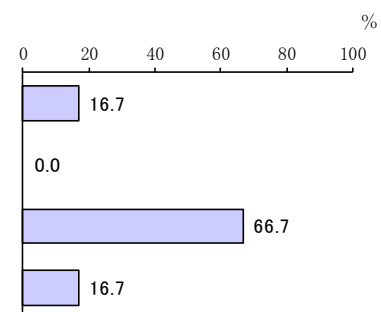
回答者数 = 18

年度初めに保育所などの教育・保育事業を利用する

祖父母等に預ける

それ以外

無回答



(5) 定期的な幼稚園・保育所などの利用状況について

問 13 お子さんは、平日、どのような施設等を定期的に利用していますか。
(あてはまるものすべてに○、1～8を選択した場合、下の欄内に施設名又は事業者名を記入)

「保育所(園)」の割合が 30.2%と最も高く、次いで「利用していない」の割合が 25.8%、「幼稚園」の割合が 21.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「幼稚園の預かり保育」「認定こども園」「利用していない」の割合が増加しています。一方、「幼稚園」「保育所(園)」の割合が減少しています。

幼稚園

幼稚園の預かり保育

保育所(園)

認定こども園

事業所内保育施設

居宅訪問型保育(ベビーシッター)

その他の認可外の保育施設

小規模な保育施設

家庭的保育

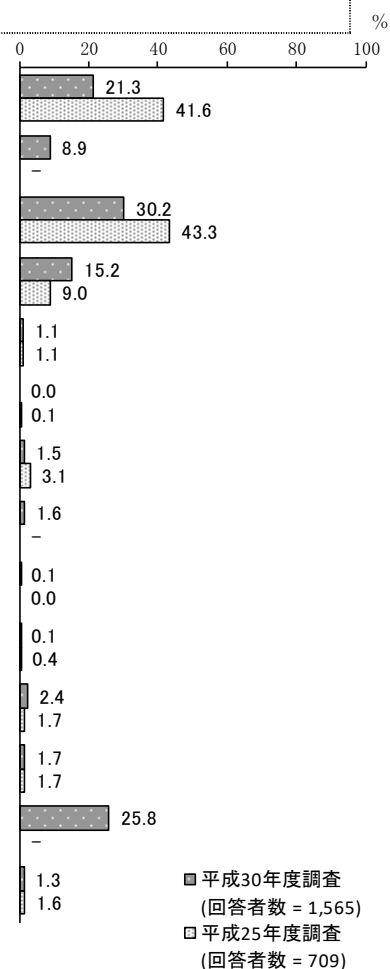
ファミリーサポートセンター

児童発達支援センター

その他

利用していない

無回答



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、0歳で「利用していない」の割合が、2歳で「保育所（園）」の割合が高くなっています。また、5歳で「幼稚園」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	幼稚園	幼稚園の預かり保育	保育所（園）	認定こども園	事業所内保育施設	居宅訪問型保育（ベビシッター）	その他の認可外の保育施設	小規模な保育施設	家庭的保育	ファミリーサポートセンター	児童発達支援センター	その他	利用していない	無回答
0歳	276	1.1	0.4	14.9	2.2	1.8	—	1.1	1.1	0.4	0.4	0.7	1.8	72.1	3.6
1歳	246	2.0	1.6	36.6	6.5	2.8	—	1.6	4.1	—	—	1.6	2.8	43.9	0.4
2歳	243	8.2	4.5	39.1	11.9	0.4	—	1.2	4.5	—	—	2.5	4.1	28.4	1.2
3歳	261	33.0	10.7	30.3	23.8	1.5	—	2.3	0.4	—	—	3.4	1.9	8.0	0.4
4歳	253	37.2	19.4	32.4	26.1	—	—	2.4	—	—	—	4.0	—	1.6	0.4
5歳	259	43.6	15.8	31.3	20.8	—	—	0.4	—	—	—	2.3	—	0.4	1.2

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイム就労だが、産休・育休・介護休業中で「利用していない」の割合が、フルタイムで就労中で「保育所（園）」の割合が高くなっています。また、これまで就労したことがないで「幼稚園」の割合が高くなっています。

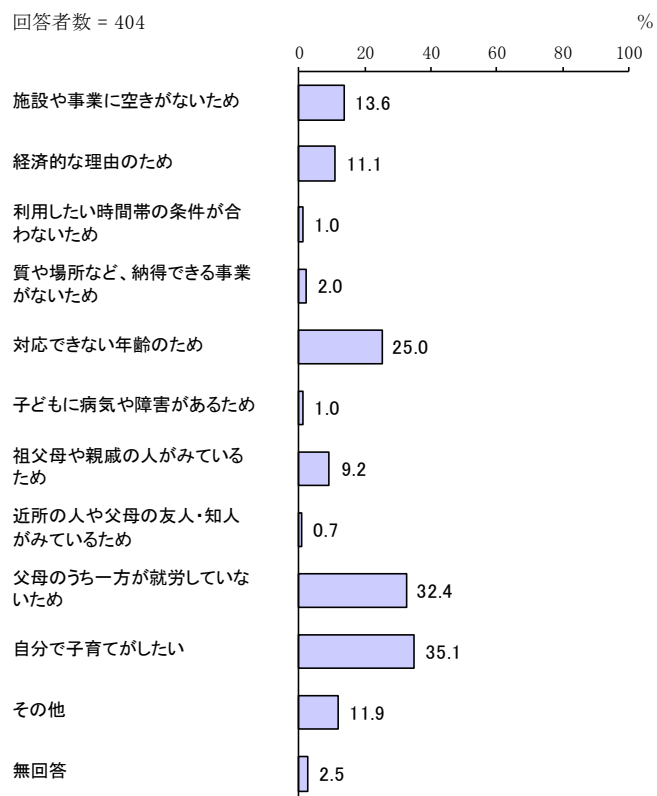
単位：％

区分	有効回答数（件）	幼稚園	幼稚園の預かり保育	保育所（園）	認定こども園	事業所内保育施設	居宅訪問型保育（ベビシッター）	その他の認可外の保育施設	小規模な保育施設	家庭的保育	ファミリーサポートセンター	児童発達支援センター	その他	利用していない	無回答
フルタイムで就労中	385	6.2	9.9	68.6	16.1	2.6	—	2.1	2.9	—	—	0.8	—	0.8	0.8
フルタイム就労だが、産休・育休・介護休業中	103	2.9	1.0	20.4	2.9	2.9	—	1.0	1.0	—	1.0	—	—	61.2	7.8
フルタイム以外で就労中	412	28.6	16.0	36.9	22.1	0.7	—	2.2	1.9	—	—	1.2	1.0	6.8	1.2
フルタイム以外の就労だが、産休・育休・介護休業中	26	19.2	3.8	7.7	11.5	—	—	—	3.8	—	—	—	3.8	53.8	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	517	28.4	4.6	2.1	12.6	0.2	—	1.2	0.8	0.2	—	5.0	3.7	49.5	0.4
これまで就労したことがない	27	40.7	14.8	3.7	7.4	—	—	—	—	—	—	—	—	44.4	—

問 13-1 幼稚園・保育所等の施設を利用していない理由をお答えください。
(あてはまるものすべてに○を記入)

「自分で子育てがしたい」の割合が 35.1%と最も高く、次いで「父母のうち一方が就労していないため」の割合が 32.4%、「対応できない年齢のため」の割合が 25.0%となっています。

回答者数 = 404



【定期的な教育・保育事業を利用していない理由別】

定期的な教育・保育事業を利用していない理由別でみると、他に比べ、自分で子育てがしたいで「0歳」の割合が、対応できない年齢のためで「2歳」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	無回答
施設や事業に空きがないため	55	52.7	25.5	16.4	3.6	—	—	1.8
経済的な理由のため	45	37.8	28.9	22.2	6.7	2.2	2.2	—
利用したい時間帯の条件が合わないため	4	75.0	25.0	—	—	—	—	—
質や場所など、納得できる事業がないため	8	25.0	50.0	—	12.5	—	12.5	—
対応できない年齢のため	101	41.6	24.8	28.7	5.0	—	—	—
子どもに病気や障害があるため	4	50.0	—	25.0	25.0	—	—	—
祖父母や親戚の人がみているため	37	48.6	35.1	8.1	8.1	—	—	—
近所の人や父母の友人・知人がみているため	3	66.7	33.3	—	—	—	—	—
父母のうち一方が就労していないため	131	48.9	29.8	16.0	3.8	1.5	—	—
自分で子育てがしたい	142	54.2	26.1	14.8	4.2	0.7	—	—
その他	48	68.8	8.3	8.3	8.3	2.1	2.1	2.1

問 13-2 お子さんが現在利用している施設は市内または市外のどちらですか。
 (どちらかに○を記入) また、市外で利用している場合は、() 内に具体的な市
 町名もお書きください。

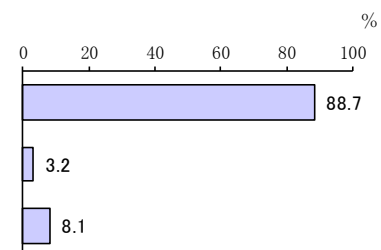
「尼崎市内で利用している」の割合が 88.7%、
 「尼崎市以外で利用している」の割合が 3.2%と
 なっています。

回答者数 = 1,141

尼崎市内で利用している

尼崎市以外で利用している

無回答



【教育・保育事業の利用有無別】

教育・保育事業の利用有無別でみると、他に比べ、尼崎市以外で利用しているで「3歳」「4歳」の割合が、尼崎市内で利用しているで「5歳」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	無回答
尼崎市内で利用している	1012	5.5	12.1	15.2	20.8	21.9	22.4	2.1
尼崎市以外で利用している	37	—	13.5	2.7	29.7	29.7	18.9	5.4

教育・保育事業の利用有無別でみると、他に比べ、尼崎市以外で利用しているで「園田地区」の割合が、尼崎市内で利用しているで「大庄地区」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	中央地区	小田地区	大庄地区	立花地区	武庫地区	園田地区	無回答
尼崎市内で利用している	1012	13.0	14.7	13.6	20.2	16.8	19.9	1.8
尼崎市以外で利用している	37	—	13.5	2.7	29.7	13.5	37.8	2.7

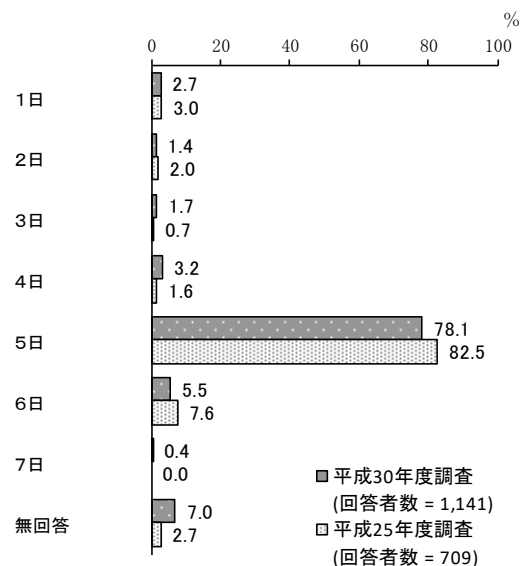
問 13-3 現在、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。(数字を記入)

ア 現在

(ア) 1週当たり利用日数

「5日」の割合が78.1%と最も高くなっています。

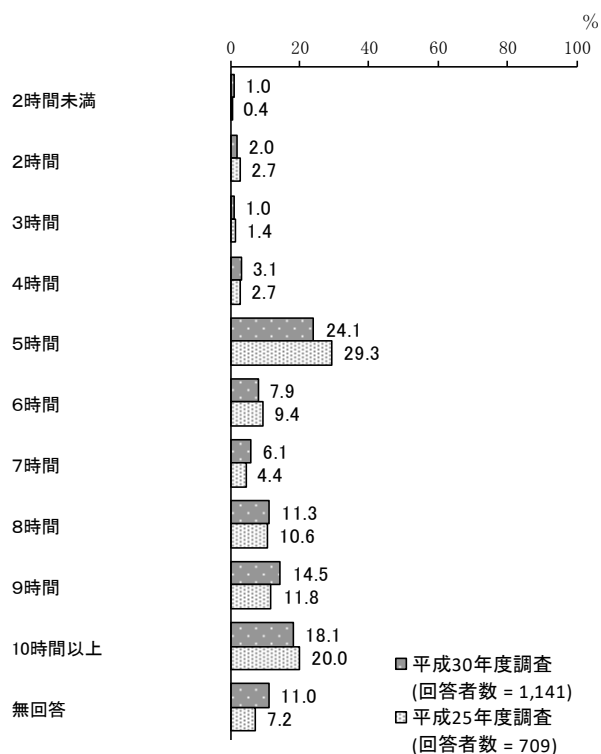
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(イ) 1日当たり利用時間

「5時間」の割合が24.1%と最も高く、次いで「10時間以上」の割合が18.1%、「9時間」の割合が14.5%となっています。

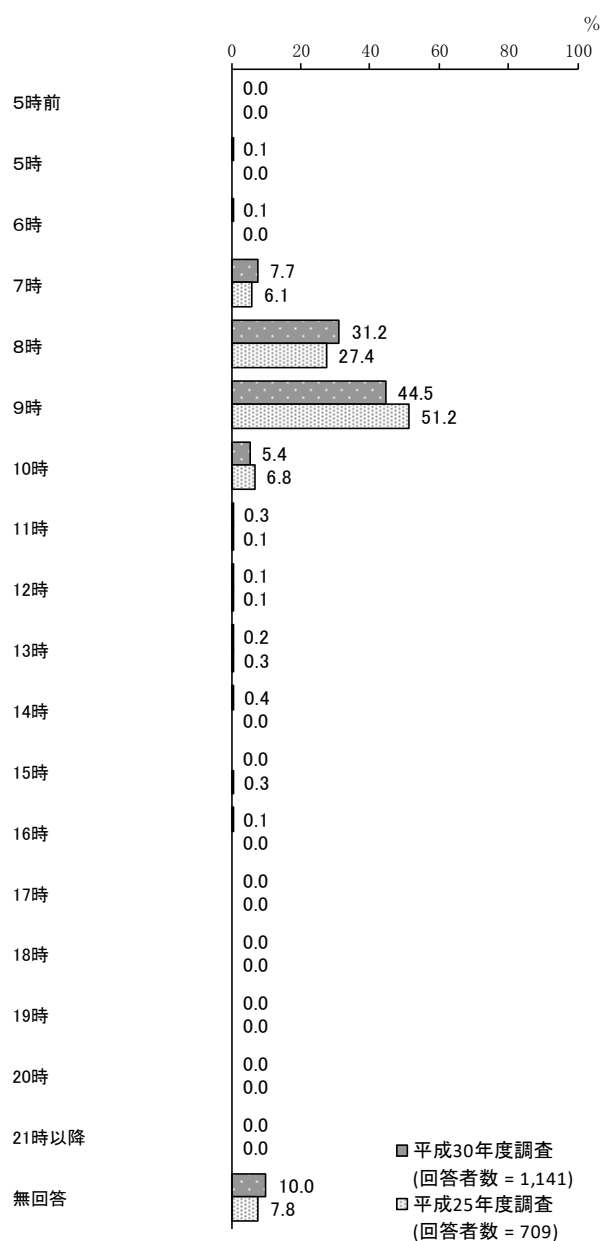
平成25年度調査と比較すると、「5時間」の割合が減少しています。



(ウ) 利用開始時間

「9時」の割合が44.5%と最も高く、次いで「8時」の割合が31.2%となっています。

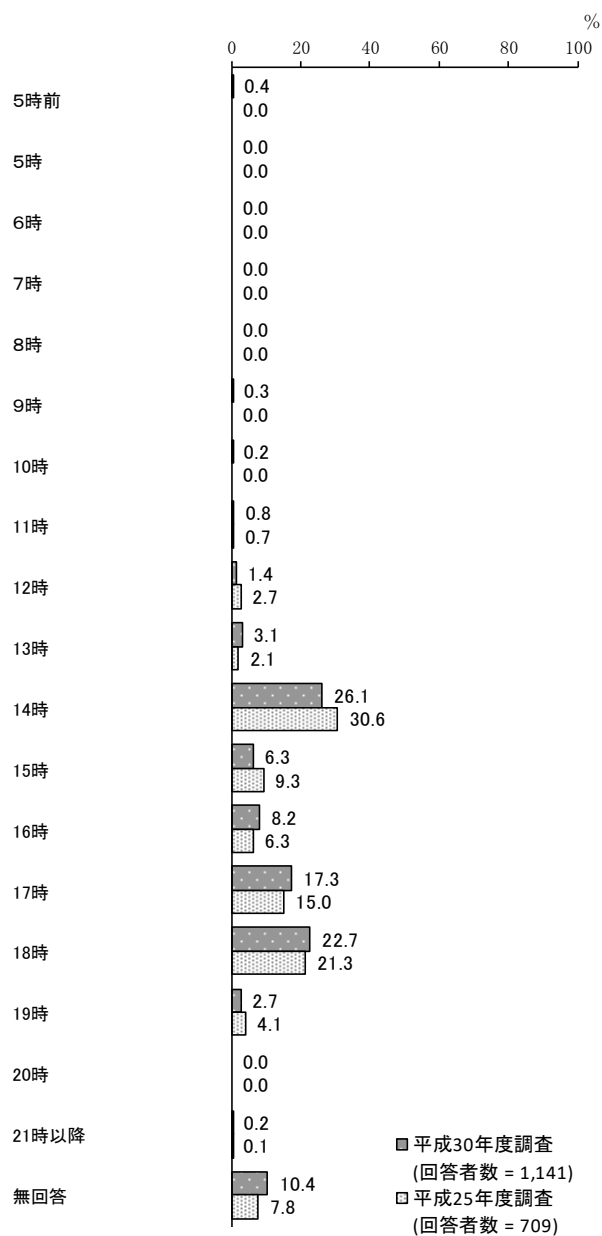
平成25年度調査と比較すると、「9時」の割合が減少しています。



(エ) 利用終了時間

「14 時」の割合が 26.1%と最も高く、次いで「18 時」の割合が 22.7%、「17 時」の割合が 17.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

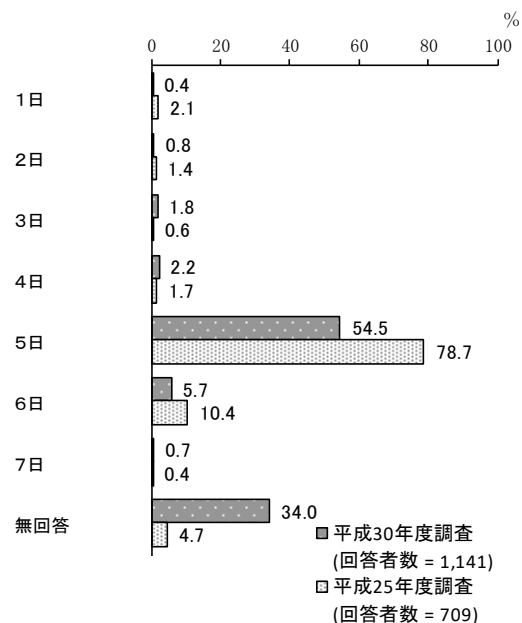


イ 希望

(ア) 1週当たり利用日数

「5日」の割合が54.5%と最も高くなっています。

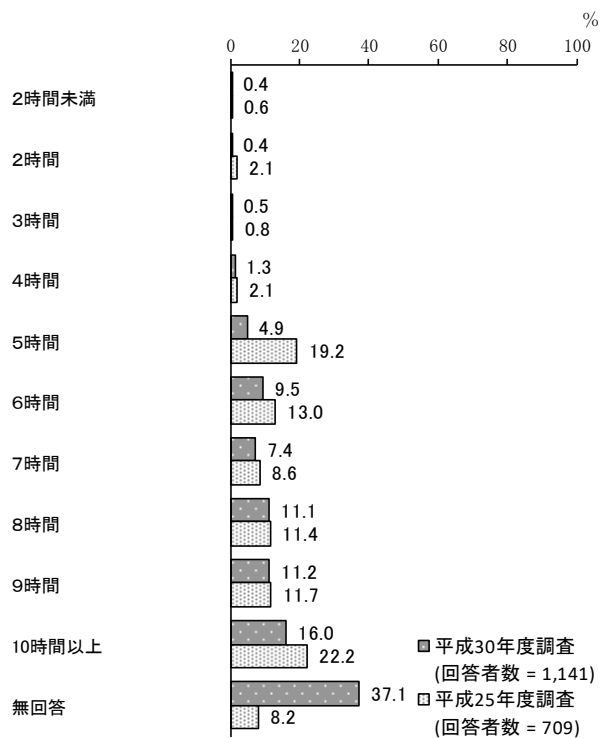
平成25年度調査と比較すると、「5日」の割合が減少しています。



(イ) 1日当たり利用時間

「10時間以上」の割合が16.0%と最も高く、次いで「9時間」の割合が11.2%、「8時間」の割合が11.1%となっています。

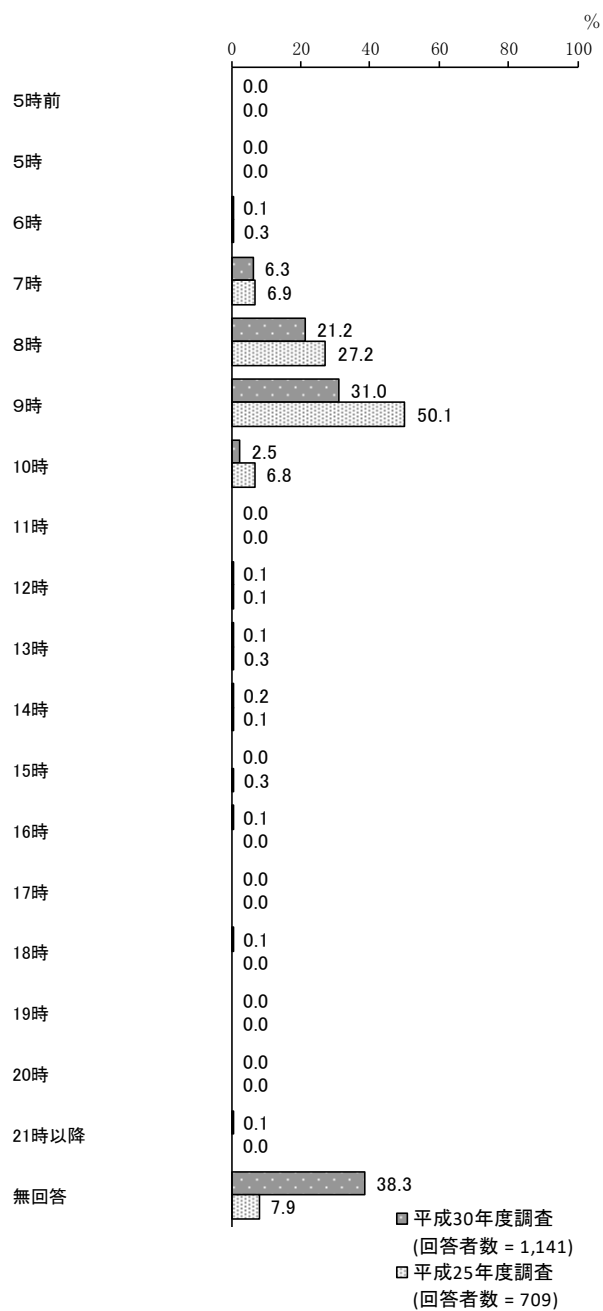
平成25年度調査と比較すると、「5時間」「10時間以上」の割合が減少しています。



(ウ) 利用開始時刻

「9時」の割合が31.0%と最も高く、次いで「8時」の割合が21.2%となっています。

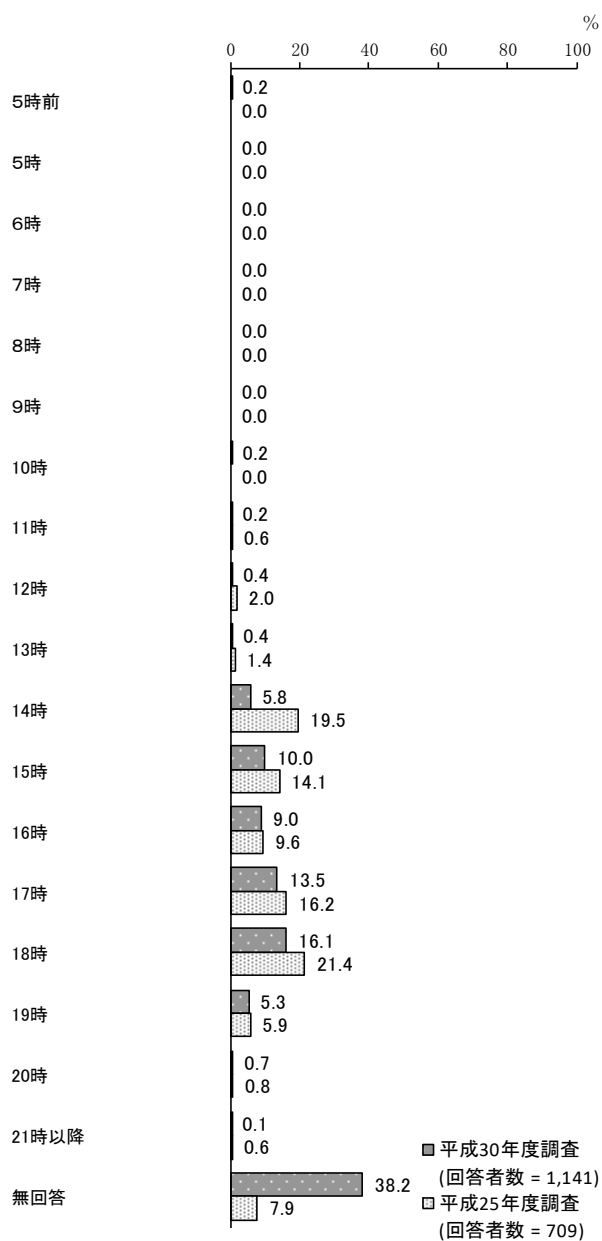
平成25年度調査と比較すると、「8時」「9時」の割合が減少しています。



(エ) 利用終了時間

「18 時」の割合が 16.1%と最も高く、次いで「17 時」の割合が 13.5%、「15 時」の割合が 10.0%となっています。

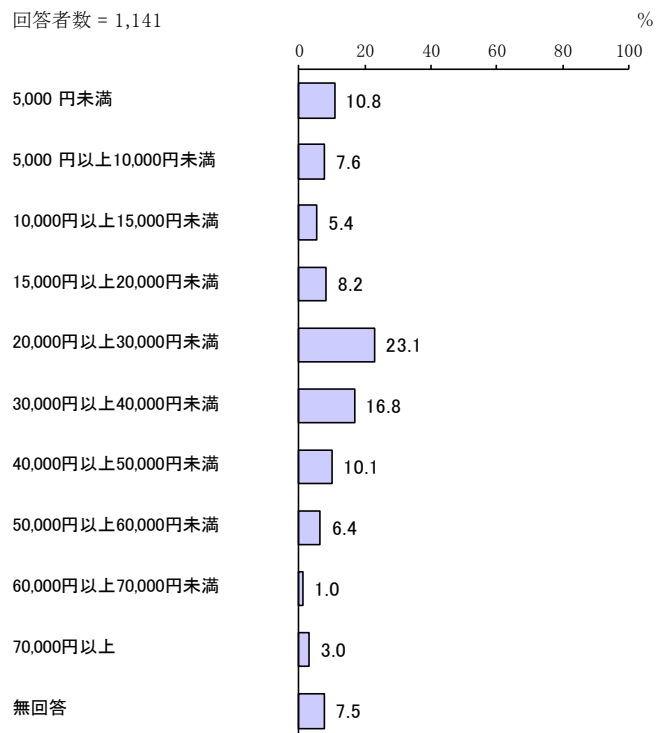
平成 25 年度調査と比較すると、「14 時」「18 時」の割合が減少しています。



問 13-4 お子さんの施設の利用にかかる 1 か月当たりの費用はいくらですか。入園金、バス代、教材費などは除いた、毎月かかる経費でお答えください。
(1 つに○を記入)

「20,000 円以上 30,000 円未満」の割合が 23.1%と最も高く、次いで「30,000 円以上 40,000 円未満」の割合が 16.8%、「5,000 円未満」の割合が 10.8%となっています。

回答者数 = 1,141



【事業の利用にかかる費用別】

事業の利用にかかる費用別でみると、他に比べ、10,000 円以上 15,000 円未満、30,000 円以上 40,000 円未満、40,000 円以上 50,000 円未満で「家から近い」の割合が、60,000 円以上 70,000 円未満で「保育時間」の割合が高くなっています。また、10,000 円以上 15,000 円未満で「給食がある」の割合が高くなっています。

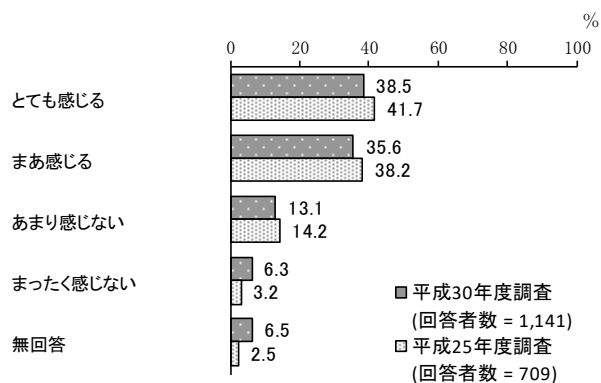
単位：％

区分	有効回答数(件)	家から近い	職場に近い	最寄駅に近い	職場への通勤に便利	保育時間	費用が安い	親族の勧め	友人・知人の勧め	送迎バスがある	公立であること	私立であること	地域で評判が良い	給食がある	大規模で施設の設備が充実している	しつけがしっかりしている	教育・保育の方針や内容が充実している	病気や障害に対する理解がある	その他	無回答
5,000 円未満	123	64.2	8.9	2.4	9.8	25.2	9.8	2.4	2.4	6.5	4.1	1.6	15.4	39.8	—	8.1	28.5	9.8	2.4	12.2
5,000 円以上 10,000 円未満	87	57.5	5.7	2.3	3.4	19.5	20.7	—	2.3	8.0	3.4	—	13.8	40.2	2.3	12.6	27.6	9.2	3.4	17.2
10,000 円以上 15,000 円未満	62	74.2	8.1	3.2	9.7	16.1	9.7	—	1.6	11.3	—	3.2	19.4	62.9	3.2	12.9	29.0	4.8	—	6.5
15,000 円以上 20,000 円未満	94	58.5	3.2	4.3	3.2	21.3	14.9	2.1	—	9.6	2.1	2.1	22.3	43.6	—	10.6	33.0	3.2	4.3	14.9
20,000 円以上 30,000 円未満	264	64.4	4.9	2.3	4.9	14.8	10.2	2.7	4.9	15.5	0.4	4.2	20.1	42.0	3.0	8.7	31.1	2.7	2.7	13.6
30,000 円以上 40,000 円未満	192	72.9	5.2	8.9	15.1	38.0	8.9	—	1.6	6.3	3.1	2.1	15.1	50.5	2.1	4.2	26.0	1.6	2.6	7.8
40,000 円以上 50,000 円未満	115	73.9	8.7	4.3	18.3	38.3	4.3	0.9	—	—	3.5	0.9	13.9	42.6	3.5	9.6	33.0	1.7	2.6	6.1
50,000 円以上 60,000 円未満	73	65.8	11.0	8.2	8.2	42.5	6.8	1.4	1.4	1.4	—	—	13.7	52.1	1.4	2.7	37.0	1.4	5.5	9.6
60,000 円以上 70,000 円未満	11	63.6	9.1	9.1	9.1	54.5	—	9.1	—	—	—	—	9.1	54.5	—	9.1	36.4	—	—	9.1
70,000 円以上	34	64.7	5.9	23.5	11.8	26.5	8.8	2.9	5.9	—	—	—	17.6	29.4	8.8	14.7	32.4	2.9	—	8.8

問 13-5 問 13-4 の費用について、負担を感じますか。(1 つに○を記入)

「とても感じる」の割合が 38.5%と最も高く、次いで「まあ感じる」の割合が 35.6%、「あまり感じない」の割合が 13.1%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【費用の負担感別】

費用の負担感別でみると、他に比べ、まったく感じないで「5,000 円未満」の割合が、まあ感じるで「20,000 円以上 30,000 円未満」の割合が高くなっています。また、とても感じるで「30,000 円以上 40,000 円未満」の割合が高くなっています。

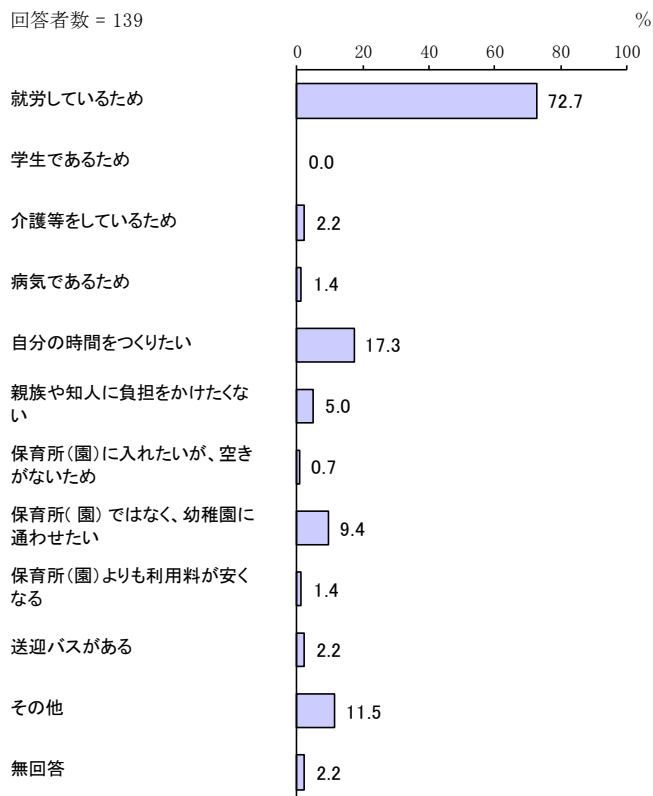
単位：％

区分	有効回答数 (件)	5,000 円未満	5,000 円以上 10,000 円未満	10,000 円以上 15,000 円未満	15,000 円以上 20,000 円未満	20,000 円以上 30,000 円未満	30,000 円以上 40,000 円未満	40,000 円以上 50,000 円未満	50,000 円以上 60,000 円未満	60,000 円以上 70,000 円未満	70,000 円以上	無回答
とても感じる	439	0.7	3.0	3.9	8.4	23.2	24.1	15.5	11.6	2.1	6.4	1.1
まあ感じる	406	6.2	9.1	6.9	10.8	32.0	17.2	10.3	4.4	0.5	1.0	1.5
あまり感じない	150	24.0	24.0	10.7	7.3	16.7	9.3	2.0	2.7	—	0.7	2.7
まったく感じない	72	80.6	1.4	1.4	2.8	6.9	—	2.8	—	—	1.4	2.8

問 14 「幼稚園の預かり保育」を利用している主な理由は何ですか。 (あてはまるものすべてに○を記入)

「就労しているため」の割合が 72.7%と最も高く、次いで「自分の時間をつくりたい」の割合が 17.3%となっています。

回答者数 = 139



問 14-1 お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期休暇中の預かり保育の利用を希望しますか。(1つに○)

「利用する必要はない」の割合が 22.2%と最も高く、次いで「休みの期間中、週4日以上利用したい」の割合が 19.8%、「休みの期間中、週3日以内で利用したい」の割合が 12.1%となっています。

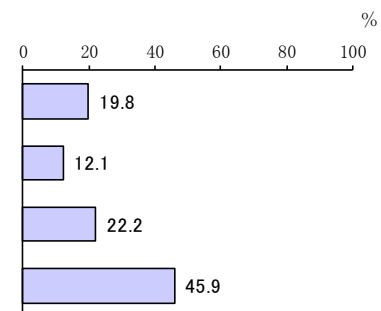
回答者数 = 1,141

休みの期間中、週4日以上利用したい

休みの期間中、週3日以内で利用したい

利用する必要はない

無回答



(ア) 利用開始時間

「9時」の割合が 56.9%と最も高く、次いで「8時」の割合が 30.5%となっています。

回答者数 = 364

5時前

5時

6時

7時

8時

9時

10時

11時

12時

13時

14時

15時

16時

17時

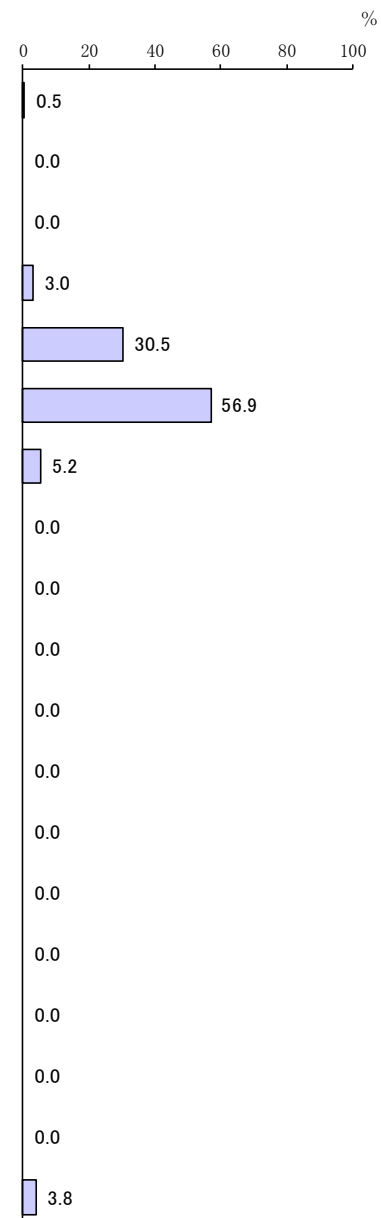
18時

19時

20時

21時以降

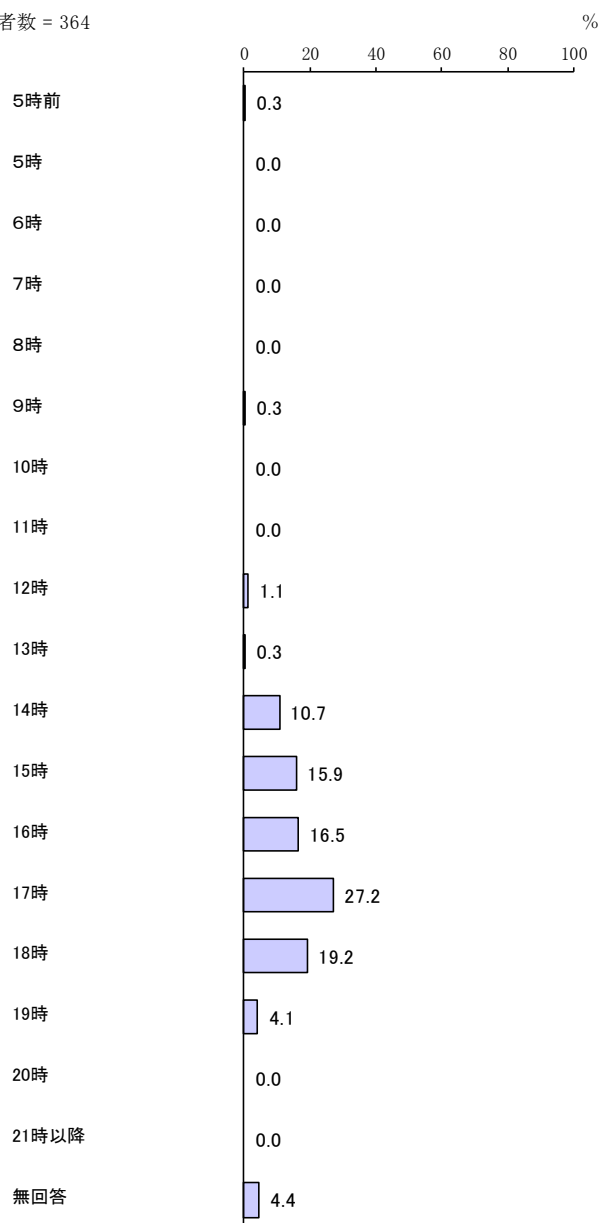
無回答



(イ) 利用終了時間

「17 時」の割合が 27.2%と最も高く、次いで「18 時」の割合が 19.2%、「16 時」の割合が 16.5%となっています。

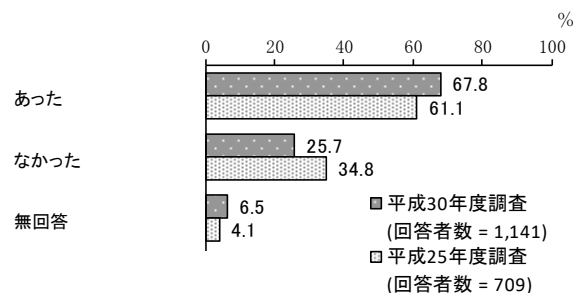
回答者数 = 364



問 15 この1年間に、お子さんの病気やケガによって、通常どおりに施設が利用できなかったことはありますか。(どちらかに○を記入)

「あった」の割合が 67.8%、「なかった」の割合が 25.7%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「あった」の割合が増加しています。一方、「なかった」の割合が減少しています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、1歳で「あった」の割合が、2歳～5歳で「なかった」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	あった	なかった	無回答
0歳	67	65.7	16.4	17.9
1歳	137	82.5	13.9	3.6
2歳	171	70.2	25.7	4.1
3歳	239	64.4	28.0	7.5
4歳	248	63.3	29.4	7.3
5歳	255	67.1	27.8	5.1

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイムで就労中で「あった」の割合が、フルタイム以外の就労だが、産休・育休・介護休業中で「なかった」の割合が高くなっています。

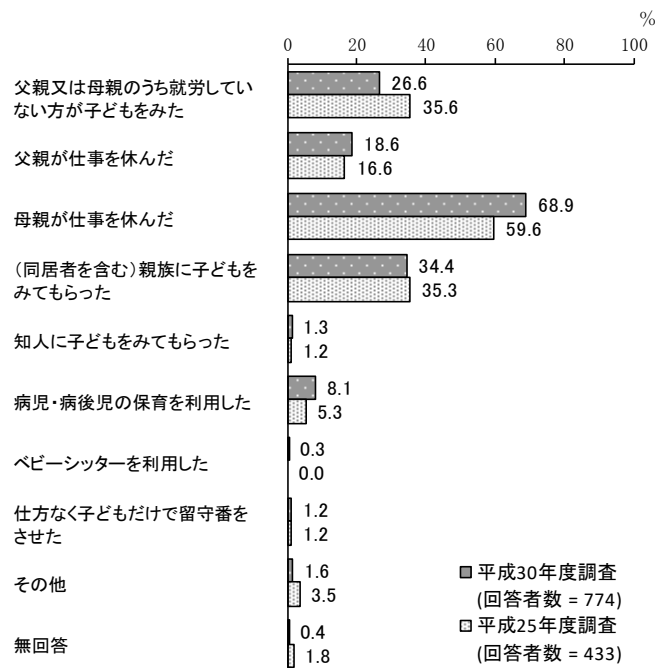
単位：％

区分	有効回答数 (件)	あった	なかった	無回答
フルタイムで就労中	379	81.3	11.3	7.4
フルタイム就労だが、産休・育休・介護休業中	32	62.5	21.9	15.6
フルタイム以外で就労中	379	69.7	25.9	4.5
フルタイム以外の就労だが、産休・育休・介護休業中	12	41.7	50.0	8.3
以前は就労していたが、現在は就労していない	259	54.8	40.2	5.0
これまで就労したことがない	15	40.0	40.0	20.0

問 15-1 その際には、どのように対処しましたか。当てはまるものすべてに○をつけ、
それぞれの日数もお書きください。（半日程度の場合も1日とカウント）

「母親が仕事を休んだ」の割合が68.9%と最も高く、次いで「(同居者を含む) 親族に子どもをみてもらった」の割合が34.4%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が26.6%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「母親が仕事を休んだ」の割合が増加しています。一方、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が減少しています。



1 年間の対処方法

『2. 父親が仕事を休んだ』で「1～5日」の割合が、『5. 知人に子どもをみてもらった』で「6～10日」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	1 ～ 5 日	6 ～ 10 日	11 ～ 15 日	16 ～ 20 日	21 ～ 25 日	26 ～ 30 日	31 日 以上	無 回 答
1. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	206	52.9	25.7	6.8	4.9	0.5	3.9	1.0	4.4
2. 父親が仕事を休んだ	144	84.7	6.3	—	2.1	—	—	2.1	4.9
3. 母親が仕事を休んだ	533	54.0	26.3	6.2	3.8	0.6	3.4	1.5	4.3
4. (同居者を含む)親族に子どもをみてもらった	266	67.3	19.9	2.3	4.1	—	0.8	0.4	5.3
5. 知人に子どもをみてもらった	10	40.0	30.0	—	10.0	—	—	—	20.0
6. 病児・病後児の保育を利用した	63	74.6	9.5	1.6	3.2	1.6	—	1.6	7.9
7. ベビーシッターを利用した	2	—	50.0	—	—	—	—	—	50.0
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	9	88.9	—	—	—	—	—	—	11.1
9. その他	12	75.0	8.3	8.3	—	—	—	—	8.3

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、4歳、5歳で「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が、1歳で「父親が仕事を休んだ」の割合が高くなっています。また、1歳、2歳で「母親が仕事を休んだ」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	父親が仕事を休んだ	母親が仕事を休んだ	（同居者を含む）親族に子どもをみてもらった	知人に子どもをみてもらった	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
0歳	44	11.4	25.0	79.5	50.0	—	13.6	—	—	—	—
1歳	113	12.4	31.0	80.5	46.0	1.8	11.5	0.9	1.8	2.7	0.9
2歳	120	16.7	23.3	80.0	30.8	0.8	9.2	—	0.8	1.7	0.8
3歳	154	31.8	19.5	66.9	31.2	1.3	6.5	—	0.6	0.6	—
4歳	157	35.0	15.3	61.8	33.1	1.3	5.7	—	1.9	1.9	0.6
5歳	171	35.1	7.6	59.1	28.7	1.8	6.4	0.6	1.2	1.8	—

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイムで就労中、フルタイム以外で就労中で「母親が仕事を休んだ」の割合が、以前は就労していたが、現在は就労していないで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が高くなっています。また、フルタイムで就労中で「（同居者を含む）親族に子どもをみてもらった」の割合が高くなっています。

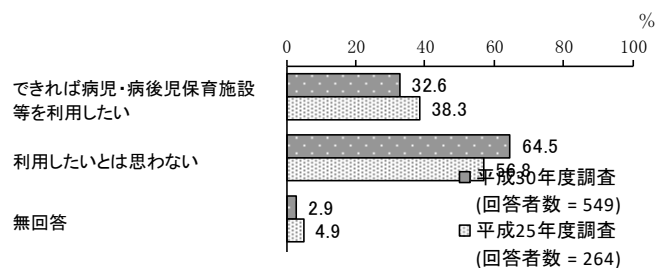
単位：％

区分	有効回答数（件）	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	父親が仕事を休んだ	母親が仕事を休んだ	（同居者を含む）親族に子どもをみてもらった	知人に子どもをみてもらった	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
フルタイムで就労中	308	5.8	29.9	86.0	42.9	1.9	13.6	0.6	1.6	2.9	—
フルタイム就労だが、産休・育休・介護休業中	20	25.0	25.0	60.0	40.0	—	15.0	—	—	—	—
フルタイム以外で就労中	264	12.9	14.8	86.0	38.3	1.5	5.7	—	1.5	0.8	0.8
フルタイム以外の就労だが、産休・育休・介護休業中	5	40.0	—	80.0	20.0	—	—	—	—	—	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	142	90.8	3.5	7.0	10.6	—	2.1	—	—	0.7	—
これまで就労したことがない	6	100.0	—	—	16.7	—	—	—	—	—	—

問 15-2 この1年間で仕事を休んだ際、「病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。利用したい場合は日数をお書きください。（どちららかに○、数字を記入）なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

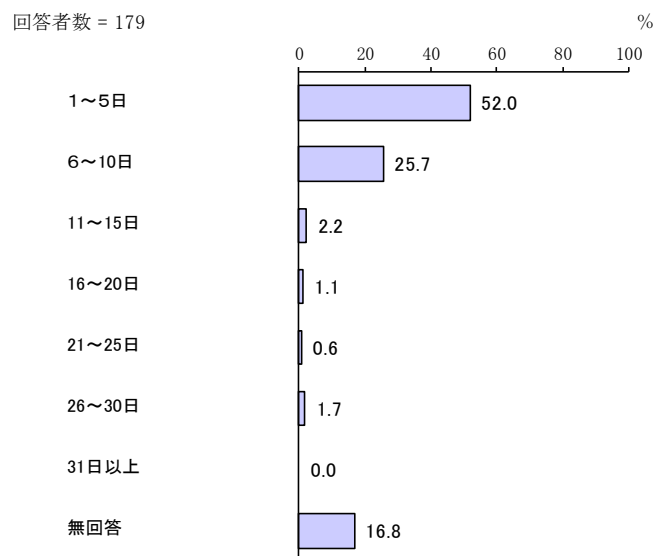
「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が32.6%、「利用したいとは思わない」の割合が64.5%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「利用したいとは思わない」の割合が増加しています。一方、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が減少しています。



できれば病児・病後児保育施設等を利用したい日数

「1～5日」の割合が52.0%と最も高く、次いで「6～10日」の割合が25.7%となっています。

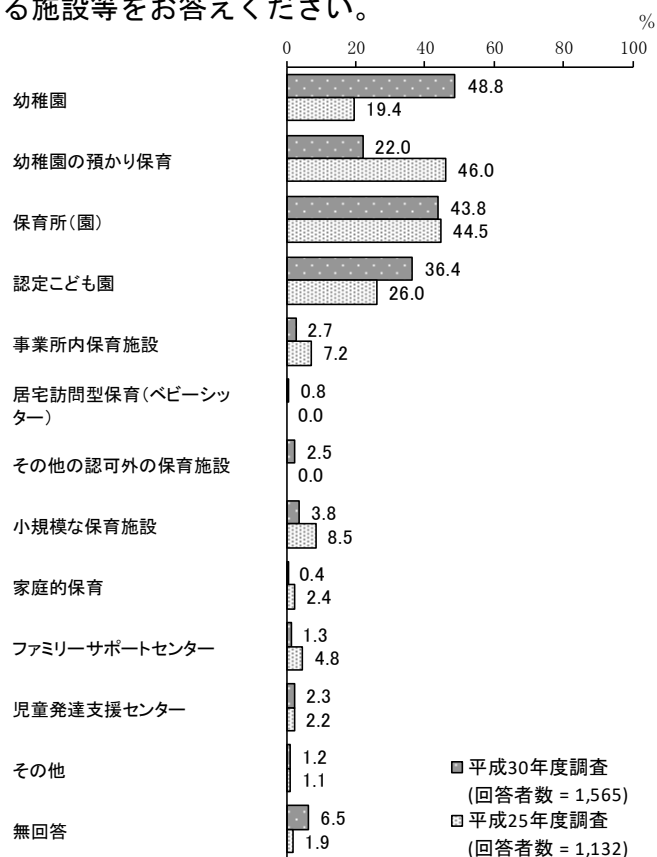


問 16 次の①、②のそれぞれについて、下の点線枠の中から、あてはまるすべての番号を記入してください。

- ①「幼児教育・保育の無償化（※）」が2019年10月から予定されていますが、現行どおり有償である場合、平日に「定期的に」利用したいと考える施設等をお答えください。

「幼稚園」の割合が48.8%と最も高く、次いで「保育所（園）」の割合が43.8%、「認定こども園」の割合が36.4%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「幼稚園」「認定こども園」の割合が増加しています。一方、「幼稚園の預かり保育」の割合が減少しています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、5歳で「幼稚園」の割合が、0歳、1歳で「保育所（園）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	幼稚園	幼稚園の預かり保育	保育所（園）	認定こども園	事業所内保育施設	居宅訪問型保育（ベビーシッター）	その他の認可外の保育施設	小規模な保育施設	家庭的保育	ファミリーサポートセンター	児童発達支援センター	その他	無回答
0歳	276	50.0	17.4	58.7	39.1	6.2	1.1	3.6	8.7	1.1	1.4	0.7	0.7	8.7
1歳	246	48.4	22.8	51.6	35.0	3.3	0.4	2.0	6.1	0.8	0.4	1.6	1.2	6.1
2歳	243	43.6	21.0	46.1	35.0	0.8	0.8	2.9	1.6	—	1.6	4.1	0.8	7.0
3歳	261	49.0	22.2	37.5	36.8	3.4	1.5	2.7	3.1	0.4	2.7	3.1	0.8	3.8
4歳	253	47.4	22.1	36.8	34.8	1.2	0.4	2.8	1.6	0.4	0.4	4.0	—	3.6
5歳	259	52.5	26.3	33.2	37.1	1.2	—	0.8	1.5	—	1.5	0.8	3.5	8.5

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイム就労だが、産休・育休・介護休業中で「保育所（園）」の割合が、これまで就労したことがないで「幼稚園」「幼稚園の預かり保育」の割合が高くなっています。

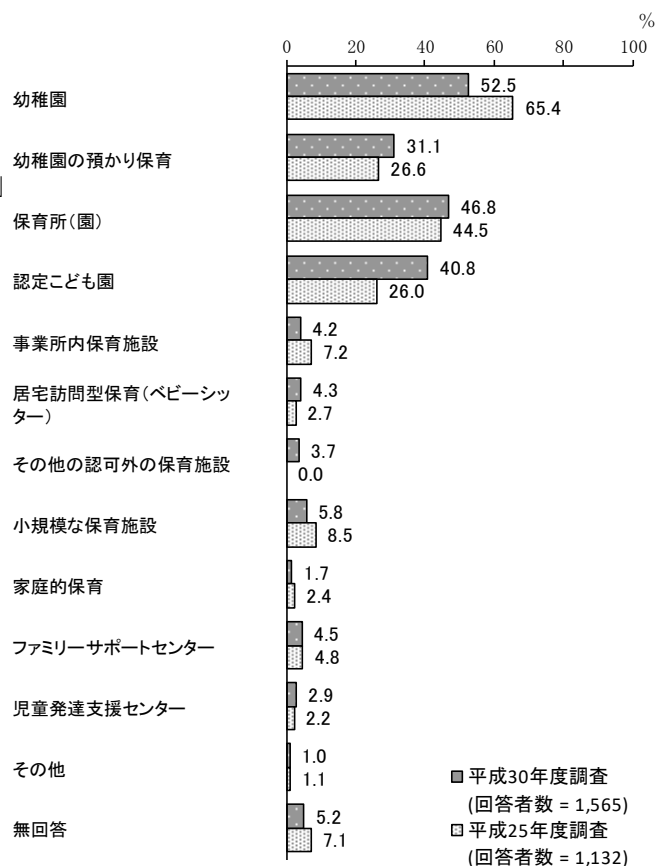
単位：％

区分	有効回答数（件）	幼稚園	幼稚園の預かり保育	保育所（園）	認定こども園	事業所内保育施設	居宅訪問型保育（ベビシッター）	その他の認可外の保育施設	小規模な保育施設	家庭的保育	ファミリーサポートセンター	児童発達支援センター	その他	無回答
フルタイムで就労中	385	18.2	15.1	74.8	34.5	4.4	0.5	2.3	3.6	0.5	2.1	0.5	0.3	4.4
フルタイム就労だが、産休・育休・介護休業中	103	29.1	14.6	84.5	52.4	6.8	—	3.9	10.7	—	1.0	1.0	1.0	7.8
フルタイム以外で就労中	412	44.7	26.0	43.4	37.1	1.9	0.7	2.7	2.2	—	1.2	1.2	0.7	6.1
フルタイム以外の就労だが、産休・育休・介護休業中	26	57.7	15.4	26.9	46.2	—	—	—	—	—	—	—	3.8	7.7
以前は就労していたが、現在は就労していない	517	74.1	24.8	17.0	35.2	1.9	1.2	2.3	3.7	0.8	1.2	4.6	1.7	8.3
これまで就労したことがない	27	88.9	44.4	18.5	33.3	—	—	—	3.7	—	—	—	—	—

②「幼児教育・保育の無償化（※）」が2019年10月から予定されていますが、無償化が実施された場合、平日に「定期的に」利用したいと考える施設等をお答えください。

「幼稚園」の割合が52.5%と最も高く、次いで「保育所（園）」の割合が46.8%、「認定こども園」の割合が40.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「認定こども園」の割合が増加しています。一方、「幼稚園」の割合が減少しています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、0歳で「幼稚園」「保育所（園）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	幼稚園	幼稚園の預かり保育	保育所（園）	認定こども園	事業所内保育施設	居宅訪問型保育（ベビーシッター）	その他の認可外の保育施設	小規模な保育施設	家庭的保育	ファミリーサポートセンター	児童発達支援センター	その他	無回答
0歳	276	56.9	29.7	65.2	46.0	7.2	6.5	5.8	12.3	3.3	4.7	1.8	0.4	6.2
1歳	246	54.5	31.7	53.3	40.7	5.7	4.5	2.8	6.1	2.0	5.3	2.0	0.4	3.3
2歳	243	50.6	29.6	48.6	40.3	2.5	4.5	4.5	3.7	0.8	4.9	4.9	0.8	4.1
3歳	261	51.0	31.4	39.8	38.7	4.6	5.0	3.8	5.7	1.9	5.7	3.1	0.8	3.1
4歳	253	49.0	32.0	40.7	39.9	3.2	3.6	4.0	5.1	1.6	2.8	4.0	—	4.0
5歳	259	52.5	31.7	34.4	39.0	1.9	1.9	1.2	1.5	0.8	4.2	2.3	3.5	9.3

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイム就労だが、産休・育休・介護休業中で「保育所（園）」の割合が、これまで就労したことがないで「幼稚園」「幼稚園の預かり保育」の割合が高くなっています。また、

単位：％

区分	有効回答数 (件)	幼稚園	育 幼稚園の預かり保	保育所（園）	認定こども園	事業所内保育施設	居宅訪問型保育（ベ ビ－シッター）	その他の認可外の 保育施設	小規模な保育施設	家庭的保育	ファミリーサポー トセンター	児童発達支援セン ター	その他	無回答
フルタイムで就 労中	385	24.7	19.5	73.0	36.9	4.7	4.9	3.6	4.2	1.8	4.2	0.8	0.3	4.9
フルタイム就労 だが、産休・育 休・介護休業 中	103	35.0	21.4	85.4	54.4	6.8	4.9	5.8	12.6	1.9	5.8	1.9	1.0	5.8
フルタイム以外 で就労中	412	47.1	33.0	45.6	42.5	3.4	2.9	2.9	3.4	1.0	3.4	1.2	0.5	5.8
フルタイム以外 の就労だが、 産休・育休・介 護休業中	26	65.4	30.8	42.3	50.0	3.8	3.8	3.8	3.8	—	3.8	—	—	—
以前は就労し ていたが、現在 は就労してい ない	517	77.2	40.0	24.6	42.0	4.6	5.4	4.1	7.5	2.1	5.4	5.6	1.5	4.1
これまで就労し たことがない	27	85.2	51.9	18.5	33.3	—	—	—	3.7	—	—	—	—	11.1

【現在利用している事業別】

無償化と有償の差を現在利用している施設別でみると、現在幼稚園を利用している人で幼稚園の預かり保育の利用希望が最も高くなっています。また、現在施設を利用していない人についても同様の傾向になっており、幼稚園に比べ、保育所（園）の利用希望が高くなっています。

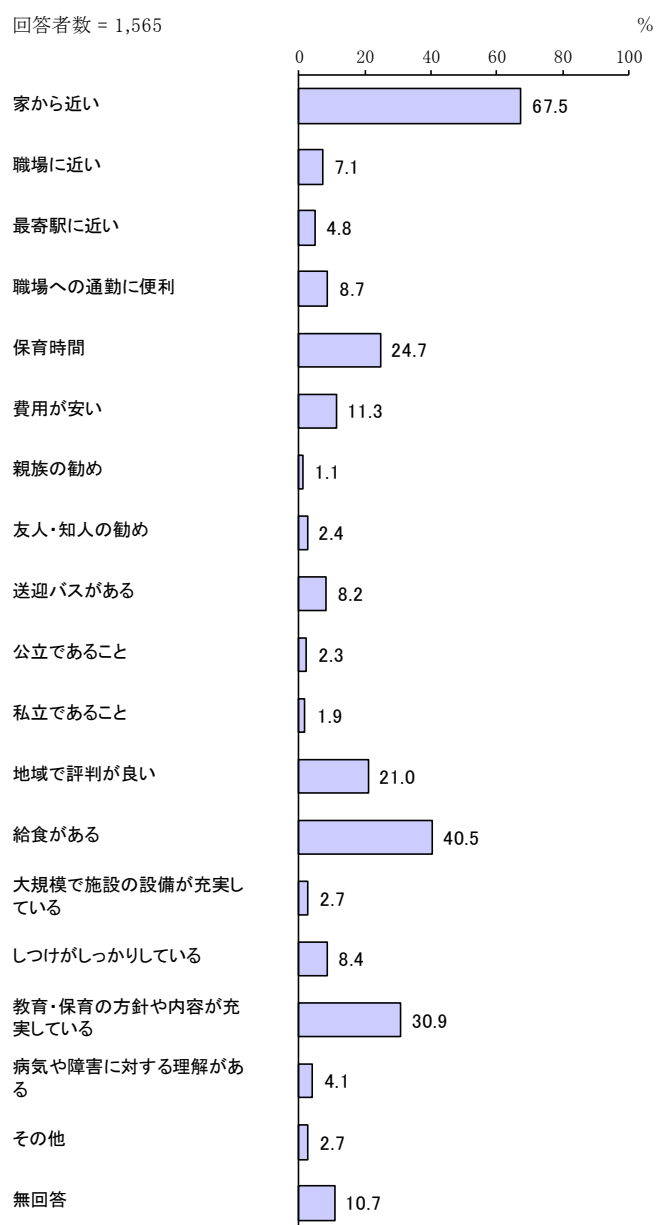
単位：％

		無償化が実施された場合 — 現行どおり有償である場合に利用したい施設 の差													
		有効回答数 (件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	保育所（園）	認定こども園	事業所内保育施設	居宅訪問型保育 (ベビーシッター)	施設 その他の認可外の保育	小規模な保育施設	家庭的保育	ファミリーサポートセンター	児童発達支援センター	その他	無回答
平日、定期的に利用している施設	幼稚園	334	-3.6	10.5	4.5	4.5	1.5	2.1	0.9	2.1	-	2.7	0.9	-0.3	0.9
	幼稚園の預かり保育	139	-3.6	0.7	5.0	0.7	-	2.2	2.2	-	-	0.7	-	-	2.9
	保育所（園）	473	8.0	4.4	-2.5	4.4	0.6	4.2	0.6	0.6	0.6	2.5	0.4	-	-0.2
	認定こども園	238	-	8.8	2.9	-1.7	1.3	3.4	0.8	2.1	1.7	5.0	0.4	-	0.4
	事業所内保育施設	17	5.9	11.8	5.9	-	-5.9	-	-	-	-	-	-	-	-
	居宅訪問型保育 (ベビーシッター)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他の認可外の保育施設	24	8.3	-	-	8.3	-4.2	-	-	-8.3	-	-	-	-	-
	小規模な保育施設	25	8.0	8.0	-	-4.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	家庭的保育	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ファミリーサポートセンター	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	児童発達支援センター	37	8.1	10.8	2.7	5.4	-	2.7	-	8.1	-	2.7	2.7	-2.7	-2.7
	その他	27	3.7	22.2	14.8	3.7	3.7	-	-	3.7	-	7.4	-	-	-3.7
	利用していない	404	5.9	14.6	8.2	7.7	2.7	4.5	2.2	3.5	1.7	4.0	1.0	-0.7	-5.4

問 16-1 お子さんが利用する施設を選ぶときに、どのようなことを重視しますか。
(3つまで○を記入)

「家から近い」の割合が67.5%と最も高く、次いで「給食がある」の割合が40.5%、「教育・保育の方針や内容が充実している」の割合が30.9%となっています。

回答者数 = 1,565



【施設を選ぶ際に重視すること別】

施設を選ぶ際に重視すること別でみると、他に比べ、最寄駅に近いで「0歳」の割合が、親族の勧めで「5歳」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	無回答
家から近い	1056	18.1	16.2	14.9	15.6	16.2	17.3	1.7
職場に近い	111	20.7	13.5	17.1	15.3	14.4	15.3	3.6
最寄駅に近い	75	28.0	16.0	24.0	10.7	12.0	9.3	—
職場への通勤に便利	136	21.3	14.7	14.7	22.1	13.2	11.0	2.9
保育時間	386	16.8	15.5	17.1	15.3	16.8	16.8	1.6
費用が安い	177	23.7	12.4	15.8	14.7	16.4	15.8	1.1
親族の勧め	17	—	17.6	23.5	17.6	5.9	35.3	—
友人・知人の勧め	38	23.7	5.3	10.5	23.7	21.1	10.5	5.3
送迎バスがある	128	12.5	12.5	18.0	21.9	18.0	16.4	0.8
公立であること	36	19.4	8.3	22.2	19.4	11.1	11.1	8.3
私立であること	29	13.8	10.3	3.4	27.6	20.7	20.7	3.4
地域で評判が良い	328	25.9	17.7	14.6	14.0	13.1	13.1	1.5
給食がある	634	11.0	17.2	15.0	17.5	20.2	17.8	1.3
大規模で施設の設備が充実している	42	19.0	21.4	14.3	26.2	9.5	7.1	2.4
しつけがしっかりしている	132	15.9	12.9	16.7	18.9	15.9	15.9	3.8
教育・保育の方針や内容が充実している	484	19.4	16.9	13.4	17.1	15.9	15.3	1.9
病気や障害に対する理解がある	64	15.6	7.8	20.3	17.2	17.2	18.8	3.1
その他	42	21.4	21.4	14.3	4.8	9.5	26.2	2.4

【教育・保育事業の利用有無別】

教育・保育事業の利用有無別でみると、他に比べ、小規模な保育施設で「家から近い」の割合が、事業所内保育施設で「職場に近い」の割合が高くなっています。また、利用していないで「地域で評判が良い」の割合が高くなっています。

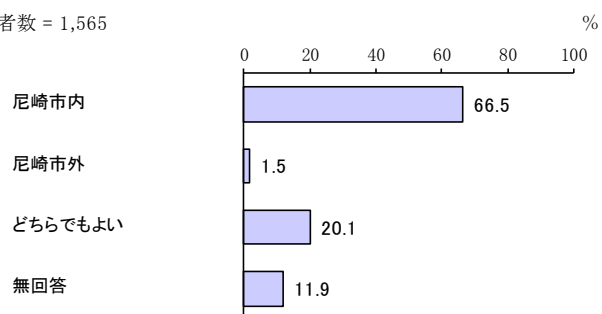
単位：％

区分	有効回答数(件)	家から近い	職場に近い	最寄駅に近い	職場への通勤に便利	保育時間	費用が安い	親族の勧め	友人・知人の勧め	送迎バスがある	公立であること	私立であること	地域で評判が良い	給食がある	大規模で施設の設備が充実している	しつけがしっかりしている	教育・保育の方針や内容が充実している	病気や障害に対する理解がある	その他	無回答
幼稚園	334	64.7	3.9	1.2	2.4	12.6	11.7	2.7	5.1	15.3	1.8	4.8	20.7	39.5	0.9	12.3	33.5	3.3	1.5	13.8
幼稚園の預かり保育	139	61.9	9.4	2.9	6.5	29.5	15.8	0.7	2.9	10.1	2.9	4.3	17.3	34.5	2.2	10.1	22.3	—	3.6	15.8
保育所(園)	473	73.4	8.9	8.9	15.4	36.2	8.7	1.3	0.4	0.8	3.0	—	13.7	45.5	2.7	5.5	23.3	2.3	2.7	9.9
認定こども園	238	58.0	5.9	5.0	7.6	28.2	8.0	0.4	2.5	12.2	—	1.7	18.9	52.5	2.1	6.7	39.5	3.4	3.4	11.8
事業所内保育施設	17	47.1	29.4	—	5.9	29.4	11.8	—	—	5.9	5.9	—	17.6	41.2	—	23.5	41.2	5.9	—	5.9
居宅訪問型保育(ベビーシッター)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の認可外の保育施設	24	54.2	16.7	12.5	12.5	50.0	8.3	—	4.2	8.3	—	—	16.7	37.5	—	16.7	33.3	—	—	8.3
小規模な保育施設	25	84.0	—	—	—	52.0	24.0	—	—	4.0	—	4.0	20.0	56.0	8.0	12.0	12.0	—	—	8.0
家庭的保育	1	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ファミリーサポートセンター	1	—	100.0	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—
児童発達支援センター	37	43.2	—	—	2.7	5.4	10.8	—	2.7	18.9	—	—	16.2	45.9	2.7	—	29.7	59.5	—	10.8
その他	27	74.1	7.4	—	11.1	14.8	18.5	—	3.7	3.7	7.4	—	18.5	14.8	—	3.7	40.7	11.1	7.4	11.1
利用していない	404	69.8	6.7	3.5	6.4	18.8	16.1	0.2	3.0	9.2	3.5	1.7	32.7	30.4	4.5	8.2	33.9	4.5	3.0	8.2

問 16-1 今後利用したい施設等の場所をお答えください。
(1つに○、市町名または駅名【例：JR 尼崎、阪急塚口など】を記入)

「尼崎市内」の割合が 66.5%と最も高く、次いで「どちらでもよい」の割合が 20.1%となっています。

回答者数 = 1,565



【母親の勤務地別】

母親の勤務地別でみると、尼崎市内に比べ、尼崎市外で「尼崎市内」の割合が高くなっています。

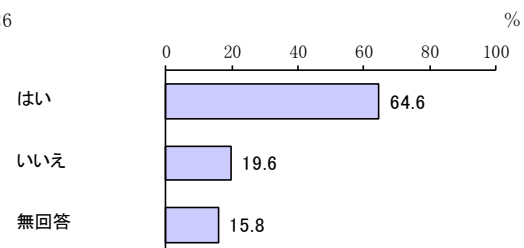
単位：%

区分	有効回答数 (件)	尼崎市内	尼崎市外	どちらでもよい	無回答
尼崎市内	458	65.7	0.9	19.0	14.4
尼崎市外	412	75.5	1.5	14.3	8.7

問 16-3 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。(1つに○を記入)

「はい」の割合が 64.6%、「いいえ」の割合が 19.6%となっています。

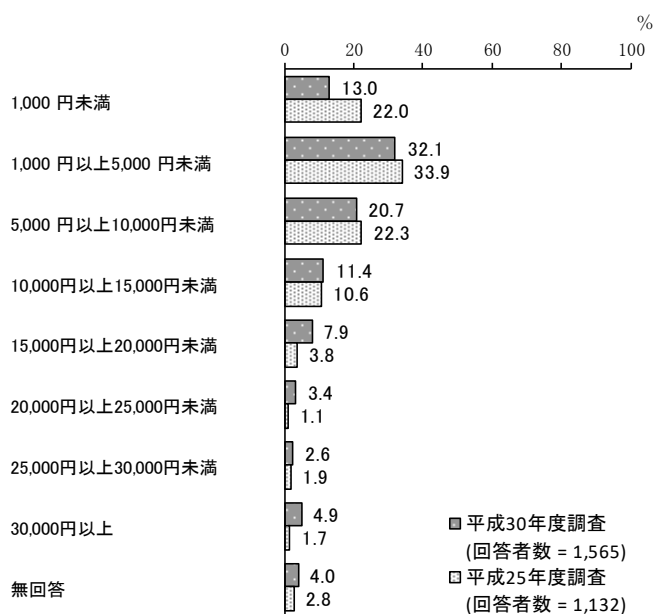
回答者数 = 526



問 16-4 お子さんの1ヶ月あたりの教育や教材（絵本・玩具含む）習い事等にかかる費用はいくらですか。（1つに○を記入）

「1,000 円以上 5,000 円未満」の割合が32.1%と最も高く、次いで「5,000 円以上 10,000 円未満」の割合が20.7%、「1,000 円未満」の割合が13.0%となっています。

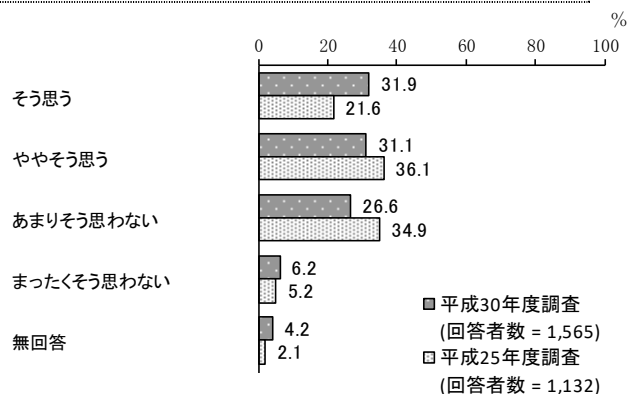
平成25年度調査と比較すると、「1,000 円未満」の割合が減少しています。



問 16-5 問 16-4 の費用について、本来ならば、もっと費用をかけたいと思いますか。（1つに○を記入）

「そう思う」の割合が31.9%と最も高く、次いで「ややそう思う」の割合が31.1%、「あまりそう思わない」の割合が26.6%となっています。

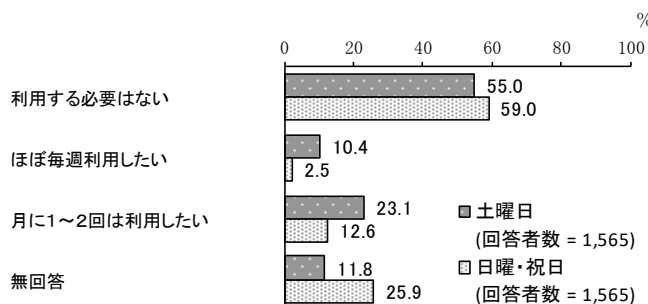
平成25年度調査と比較すると、「そう思う」の割合が増加しています。一方、「あまりそう思わない」の割合が減少しています。



問 17 お子さんについて、土曜と日曜・祝日に、施設等の定期的な利用希望はありますか。（一時的な利用は除く） また、太枠内に○をつけた方は、利用したい時間帯をお書きください。（あてはまるものすべてに○、数字を記入）

土曜日では、「利用する必要はない」の割合が55.0%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が23.1%、「ほぼ毎週利用したい」の割合が10.4%となっています。

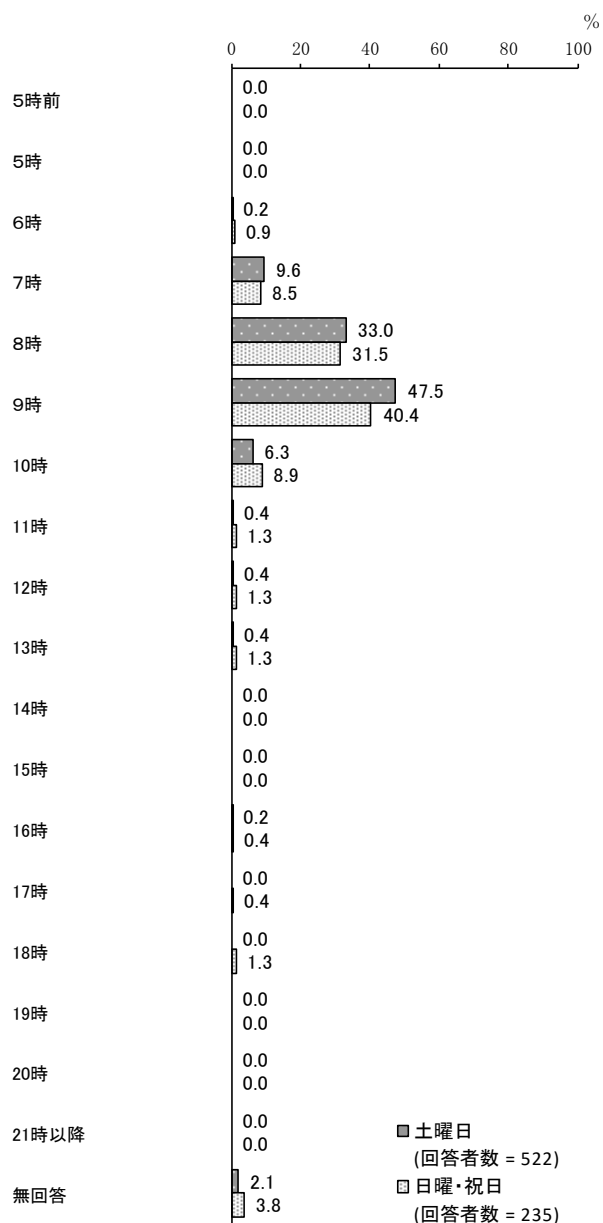
日曜・祝日では、「利用する必要はない」の割合が59.0%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が12.6%となっています。



(ア) 希望利用開始時間

土曜日では、「9時」の割合が47.5%と最も高く、次いで「8時」の割合が33.0%となっています。

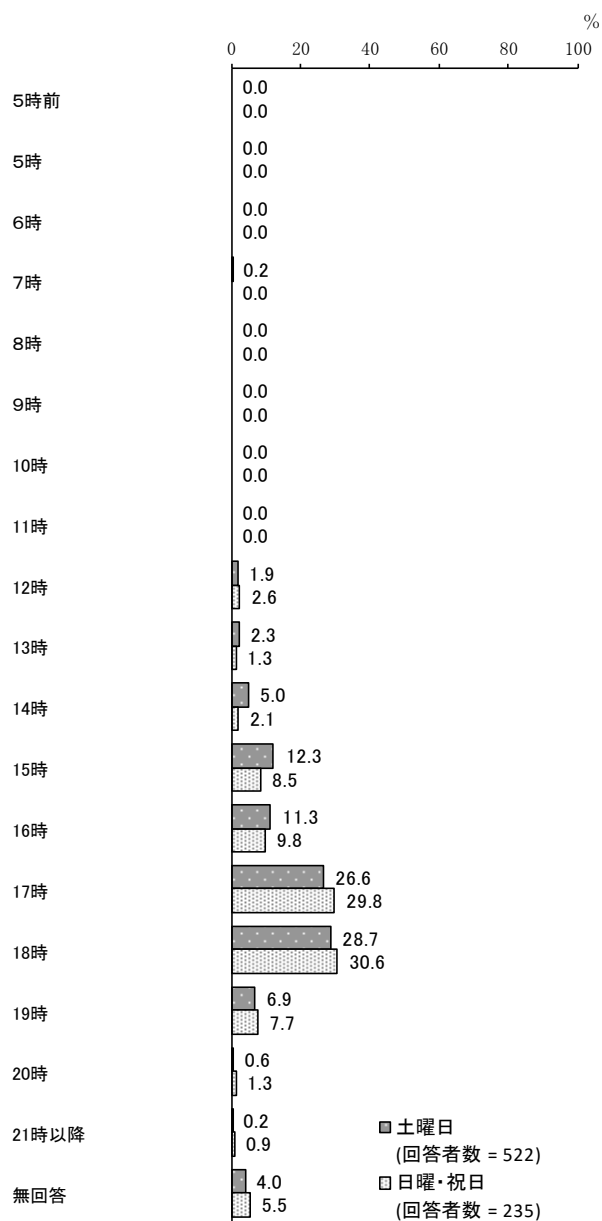
日曜・祝日では、「9時」の割合が40.4%と最も高く、次いで「8時」の割合が31.5%となっています。



(イ) 希望利用終了時間

土曜日では、「18 時」の割合が 28.7%と最も高く、次いで「17 時」の割合が 26.6%、「15 時」の割合が 12.3%となっています。

日曜・祝日では、「18 時」の割合が 30.6%と最も高く、次いで「17 時」の割合が 29.8%となっています。

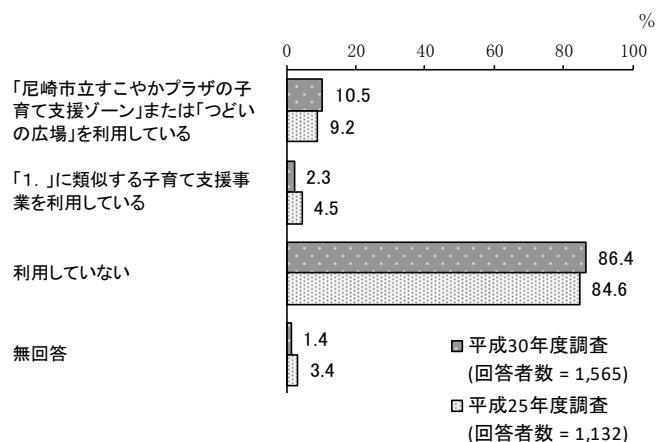


(6) 子育て支援事業の利用状況について

問 18 現在、お子さんと一緒に、「尼崎市立すこやかプラザの子育て支援ゾーン」または「つどいの広場」（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場）を利用していますか。（あてはまるものすべてに○、数字を記入）

「利用していない」の割合が 86.4%と最も高く、次いで「尼崎市立すこやかプラザの子育て支援ゾーン」または「つどいの広場」を利用している」の割合が 10.5%となっています。

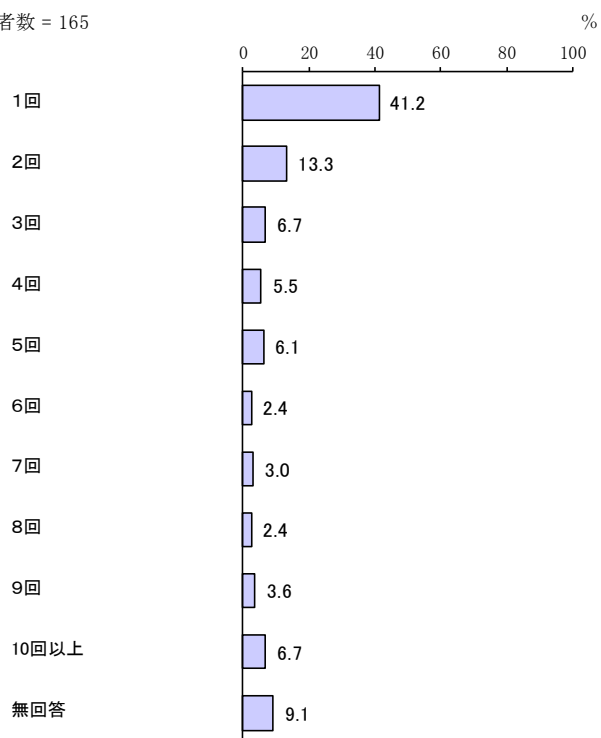
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



ア 「尼崎市立すこやかプラザの子育て支援ゾーン」「つどいの広場」

「1回」の割合が 41.2%と最も高く、次いで「2回」の割合が 13.3%となっています。

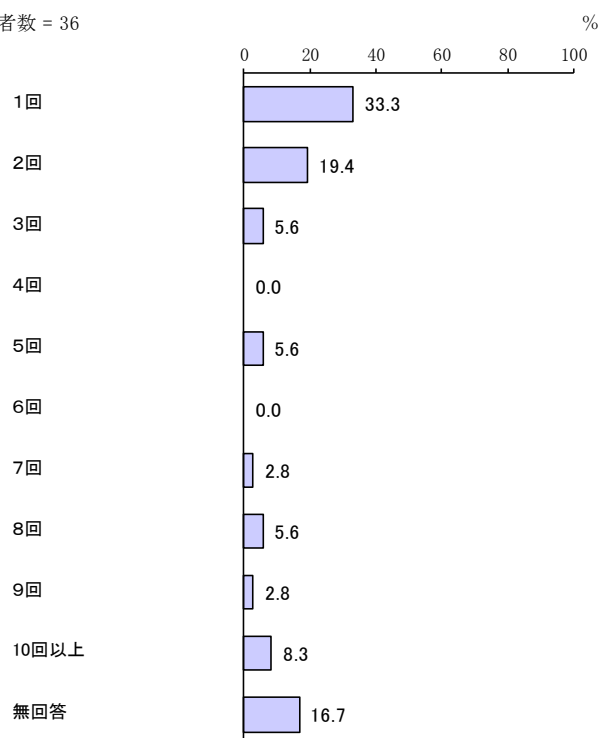
回答者数 = 165



イ 類似する子育て支援事業

「1回」の割合が33.3%と最も高く、次いで「2回」の割合が19.4%となっています。

回答者数 = 36



【父親の勤務地別】

父親の勤務地別でみると、大きな差異はみられません。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	尼崎市内	尼崎市外	どちらでもよい	無回答
尼崎市内	415	68.0	1.0	18.1	13.0
尼崎市外	893	68.6	1.7	20.4	9.3

【利用状況別】

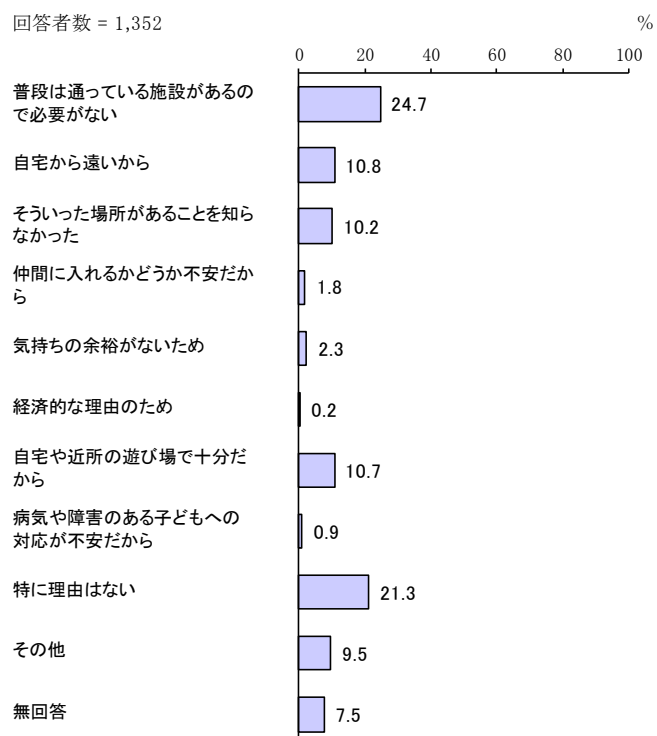
利用状況別でみると、他に比べ、「1.」に類似する子育て支援事業を利用しているで「0歳」の割合が、利用していないで「4歳」「5歳」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	無回答
「尼崎市立すこやかプラザの子育て支援ゾーン」または「つどいの広場」を利用している	165	37.6	19.4	17.6	12.1	9.7	3.6	—
「1.」に類似する子育て支援事業を利用している	36	47.2	16.7	22.2	8.3	5.6	—	—
利用していない	1352	14.6	15.2	15.0	17.5	17.2	18.5	2.0

問 18-1 利用していない理由として、最も考えに近いものをお答えください。
(1つに○を記入)

「普段は通っている施設があるので必要がない」の割合が24.7%と最も高く、次いで「特に理由はない」の割合が21.3%、「自宅から遠いから」の割合が10.8%となっています。



【利用していない理由別】

利用していない理由別でみると、他に比べ、仲間に入れるかどうか不安だからで「0歳」の割合が、病気や障害のある子どもへの対応が不安だからで「1歳」「5歳」の割合が高くなっています。

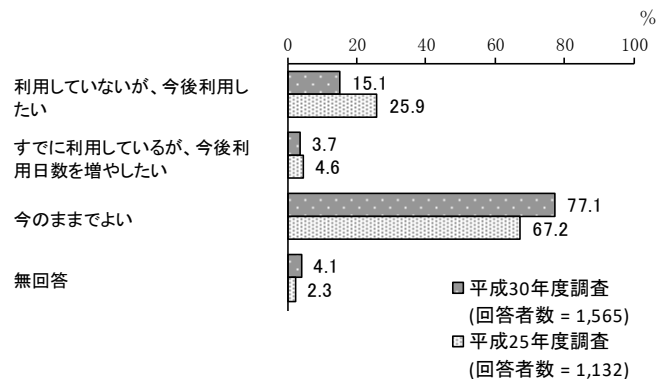
単位：%

区分	有効回答数(件)	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	無回答
普段は通っている施設があるので必要がない	334	3.9	12.9	18.0	20.7	22.2	20.4	2.1
自宅から遠いから	146	17.8	16.4	11.6	13.7	15.8	21.9	2.7
そういった場所があることを知らなかった	138	15.2	22.5	9.4	18.1	15.2	18.8	0.7
仲間に入れるかどうか不安だから	25	32.0	16.0	20.0	12.0	12.0	8.0	—
気持ちの余裕がないため	31	29.0	9.7	22.6	6.5	19.4	9.7	3.2
経済的な理由のため	3	—	—	33.3	33.3	—	—	33.3
自宅や近所の遊び場で十分だから	145	13.1	17.2	17.9	15.9	17.2	16.6	2.1
病気や障害のある子どもへの対応が不安だから	12	16.7	25.0	16.7	—	8.3	33.3	—
特に理由はない	288	19.8	12.5	12.8	15.3	18.4	19.8	1.4
その他	128	20.3	18.0	14.1	20.3	11.7	14.1	1.6

問 19 問 18 のような施設について、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○、数字を記入）なお、これらの事業の利用には、利用者負担が発生する場合があります。

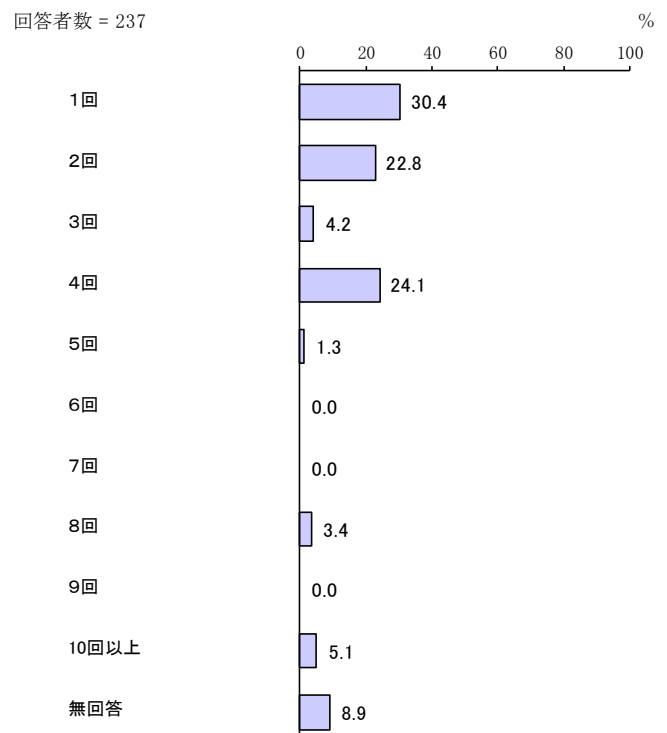
「今のままでよい」の割合が 77.1%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」の割合が 15.1%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「今のままでよい」の割合が増加しています。一方、「利用していないが、今後利用したい」の割合が減少しています。



ア 利用していないが、今後利用したい 1 か月あたり利用回数

「1 回」の割合が 30.4%と最も高く、次いで「4 回」の割合が 24.1%、「2 回」の割合が 22.8%となっています。

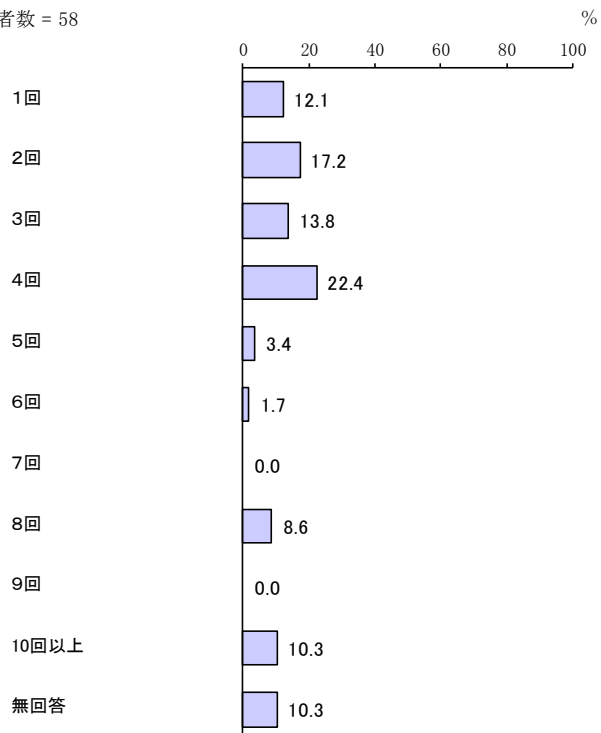


イ すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

1 か月あたり増やしたい利用回数

回答者数 = 58

「4回」の割合が 22.4%と最も高く、次いで「2回」の割合が 17.2%、「3回」の割合が 13.8%となっています。

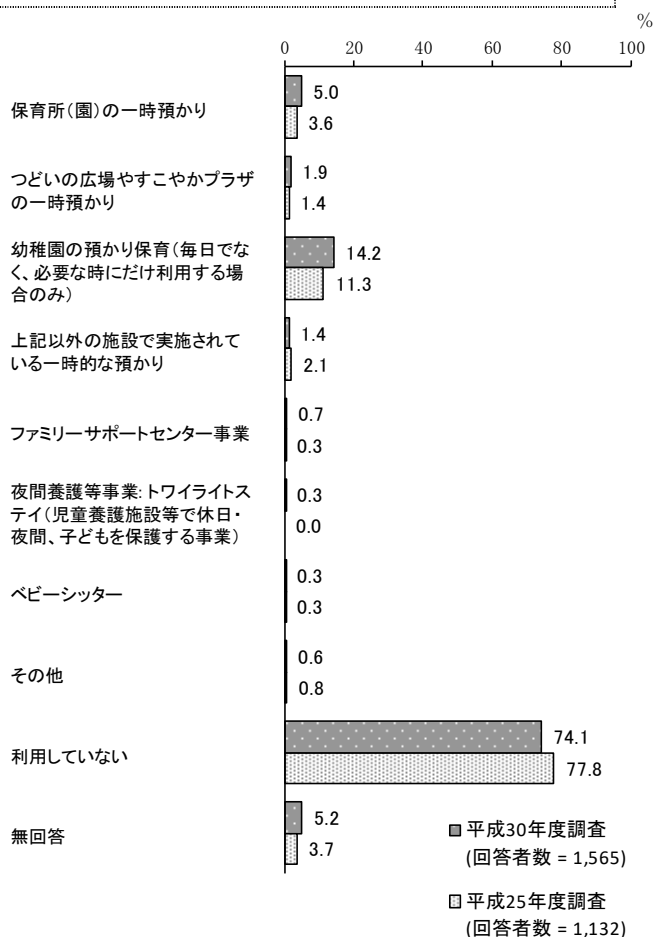


(7) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 20 お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期で利用している事業はありますか。また、今後の利用意向についてもご記入ください。(あてはまるものすべてに○、数字を記入)

「利用していない」の割合が 74.1%と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育（毎日でなく、必要な時にだけ利用する場合のみ）」の割合が 14.2%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



ア 年間利用日数

『5. ファミリーサポートセンター事業』で「1日」の割合が、『3. 幼稚園の預かり保育（毎日ではなく、必要な時にだけ利用する場合のみ）』で「11日～20日」「31日以上」の割合が高くなっています。

単位：％

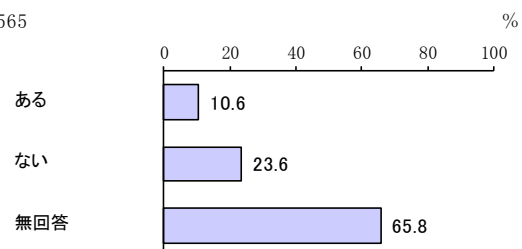
区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日 ～ 20日	21日 ～ 30日	31日 以上	無回答
1. 保育所(園)の一時預かり	79	12.7	7.6	2.5	6.3	10.1	-	2.5	-	1.3	8.9	5.1	8.9	19.0	15.2
2. つどいの広場やすこやかプラザの一時預かり	29	10.3	10.3	10.3	3.4	10.3	3.4	3.4	3.4	-	6.9	6.9	3.4	3.4	24.1
3. 幼稚園の預かり保育(毎日ではなく、必要な時にだけ利用する場合のみ)	222	4.1	5.4	4.5	1.4	10.8	2.3	2.3	-	-	19.4	10.8	9.0	24.3	5.9
4. 上記以外の施設で実施されている一時的な預かり	22	13.6	13.6	9.1	-	13.6	-	9.1	-	-	9.1	-	9.1	4.5	18.2
5. ファミリーサポートセンター事業	11	27.3	-	9.1	-	9.1	-	-	-	-	-	9.1	-	-	45.5
6. 夜間養護等事業：トワイライトステイ(児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業)	5	20.0	-	-	-	-	-	20.0	-	-	-	-	-	-	60.0
7. ベビーシッター	5	-	-	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	80.0
8. その他	9	-	11.1	-	-	-	-	-	-	-	-	22.2	-	22.2	44.4

イ 今後の利用意向

(ア) 保育所(園)の一時預かり

「ある」の割合が 10.6%、「ない」の割合が 23.6%となっています。

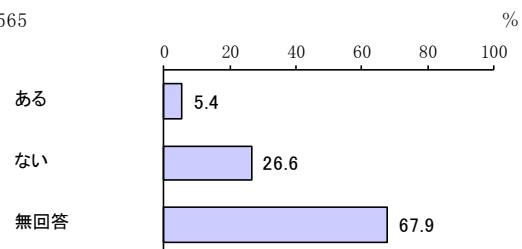
回答者数 = 1,565



(イ) つどいの広場やすこやかプラザの一時預かり

「ある」の割合が 5.4%、「ない」の割合が 26.6%となっています。

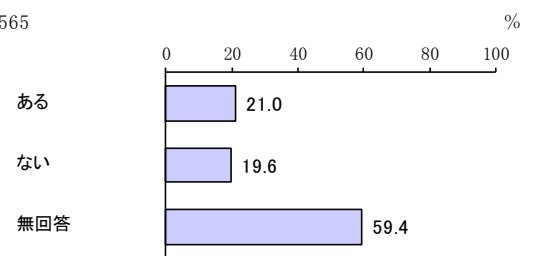
回答者数 = 1,565



(ウ) 幼稚園の預かり保育（毎日でなく、必要な時にだけ利用する場合のみ）

「ある」の割合が 21.0%、「ない」の割合が 19.6%となっています。

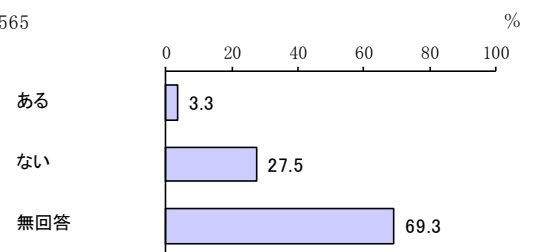
回答者数 = 1,565



(エ) 上記以外の施設で実施されている一時的な預かり

「ある」の割合が 3.3%、「ない」の割合が 27.5%となっています。

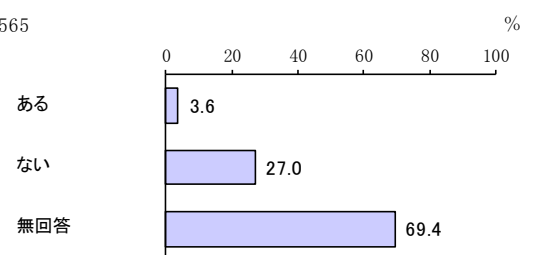
回答者数 = 1,565



(オ) ファミリーサポートセンター事業

「ある」の割合が 3.6%、「ない」の割合が 27.0%となっています。

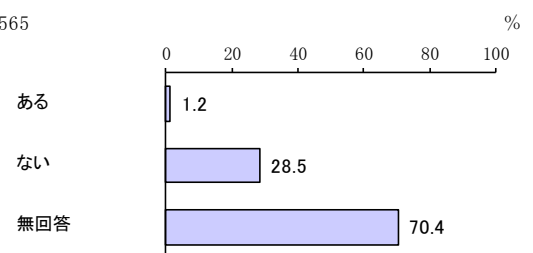
回答者数 = 1,565



(カ) 夜間養護等事業：トワイライトステイ（児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業）

「ある」の割合が 1.2%、「ない」の割合が 28.5%となっています。

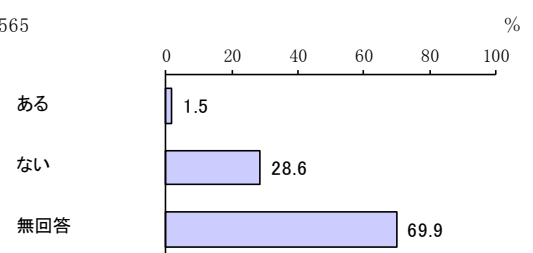
回答者数 = 1,565



(キ) ベビーシッター

「ある」の割合が 1.5%、「ない」の割合が 28.6%となっています。

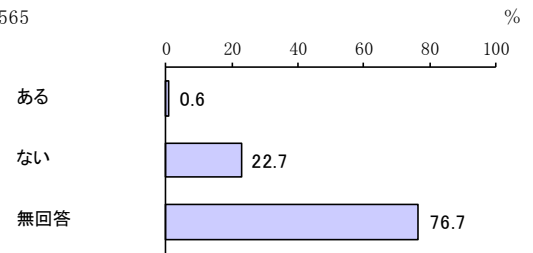
回答者数 = 1,565



(ク) その他

「ある」の割合が 0.6%、「ない」の割合が 22.7%となっています。

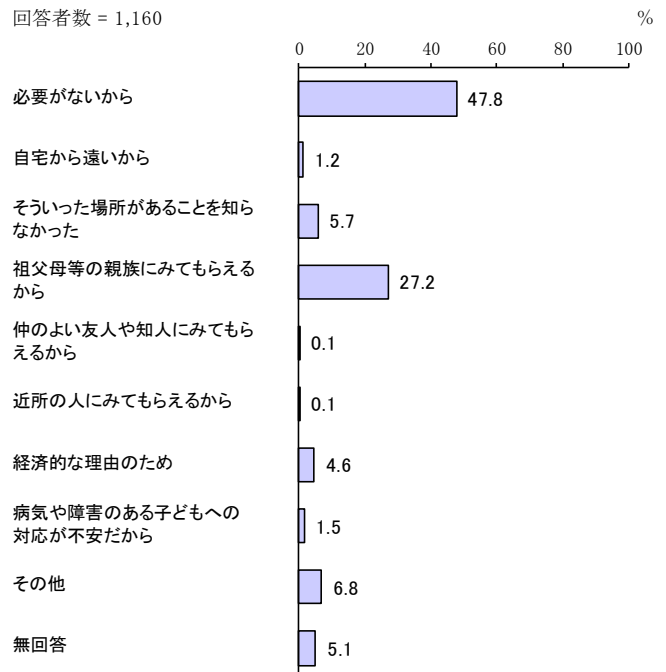
回答者数 = 1,565



問 20-1 利用していない理由として、最も考えに近いものをお答えください。
(1つに○を記入)

「必要がないから」の割合が 47.8%と最も高く、次いで「祖父母等の親族にみてもらえるから」の割合が 27.2%となっています。

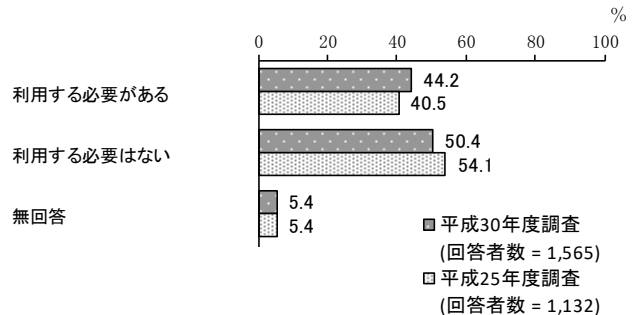
回答者数 = 1,160



問 21 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、定期的な利用以外に、問 20 の選択肢 1～8 の一時預かり等の事業を年間何日くらい利用する必要があると思いますか。(あてはまる番号に○、「1. 利用する必要がある」に○がついた場合は、ア～エのうち、あてはまるものすべてに○、数字を記入)

「利用する必要がある」の割合が 44.2%、「利用する必要はない」の割合が 50.4%となっています。

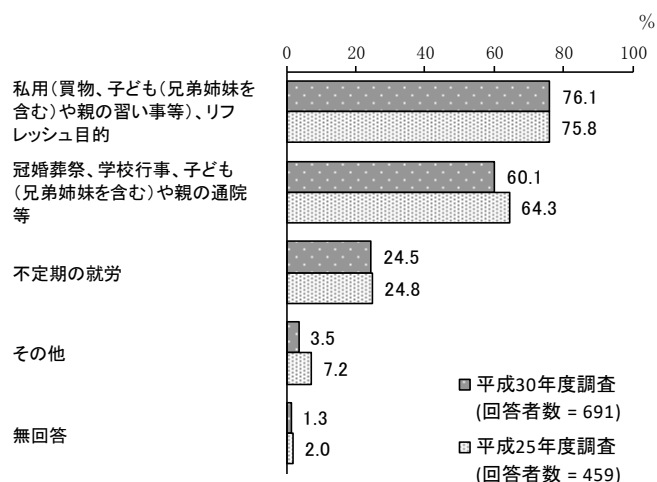
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



利用する必要がある

「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」の割合が 76.1% と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」の割合が 60.1%、「不定期の就労」の割合が 24.5% となっています。

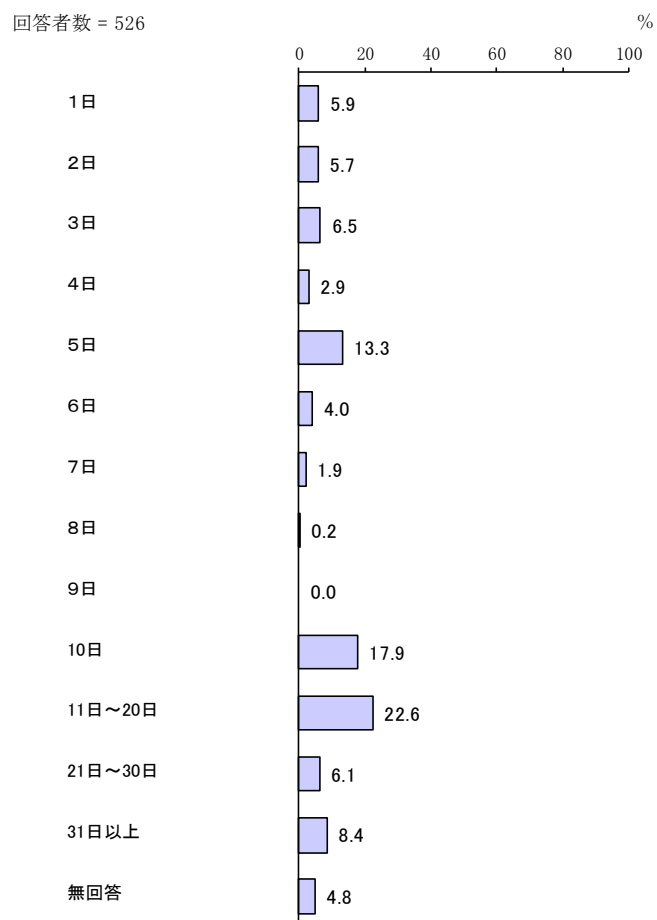
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



ア 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的

（ア）利用希望日数

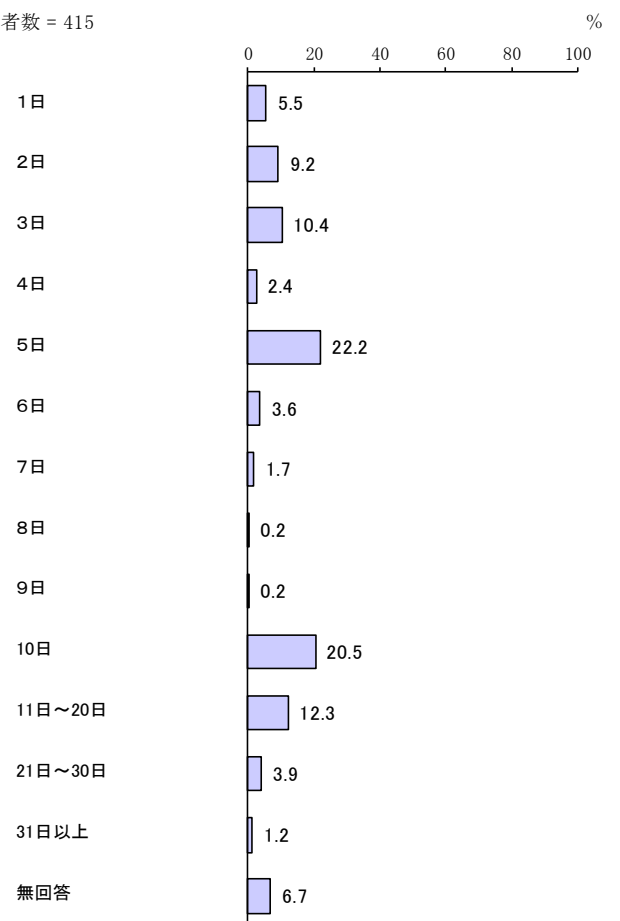
「11 日～20 日」の割合が 22.6% と最も高く、次いで「10 日」の割合が 17.9%、「5 日」の割合が 13.3% となっています。



(イ) 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等

「5日」の割合が22.2%と最も高く、次いで
「10日」の割合が20.5%、「11日～20日」の割
合が12.3%となっています。

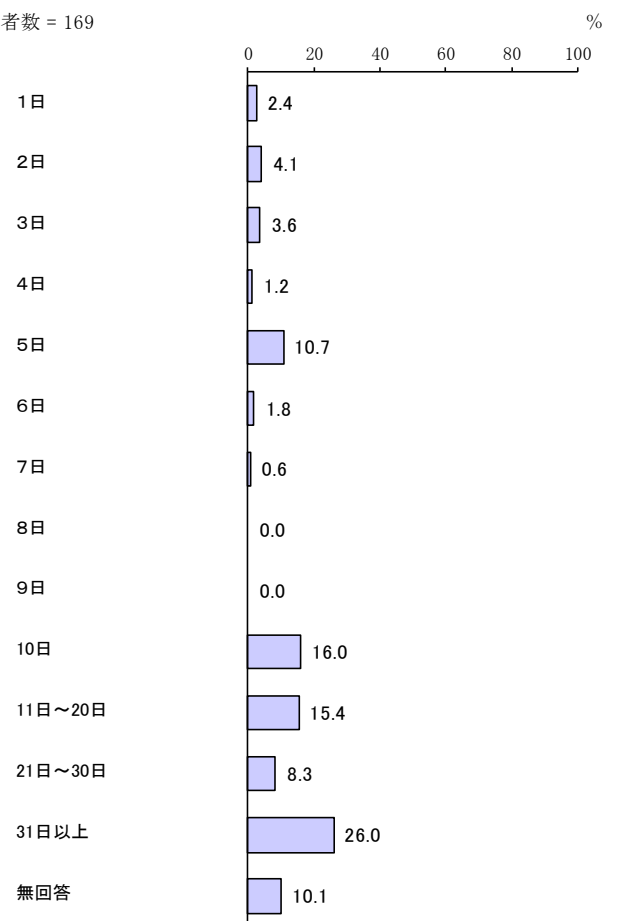
回答者数 = 415



(ウ) 不定期の就労

「31 日以上」の割合が 26.0%と最も高く、次いで「10 日」の割合が 16.0%、「11 日～20 日」の割合が 15.4%となっています。

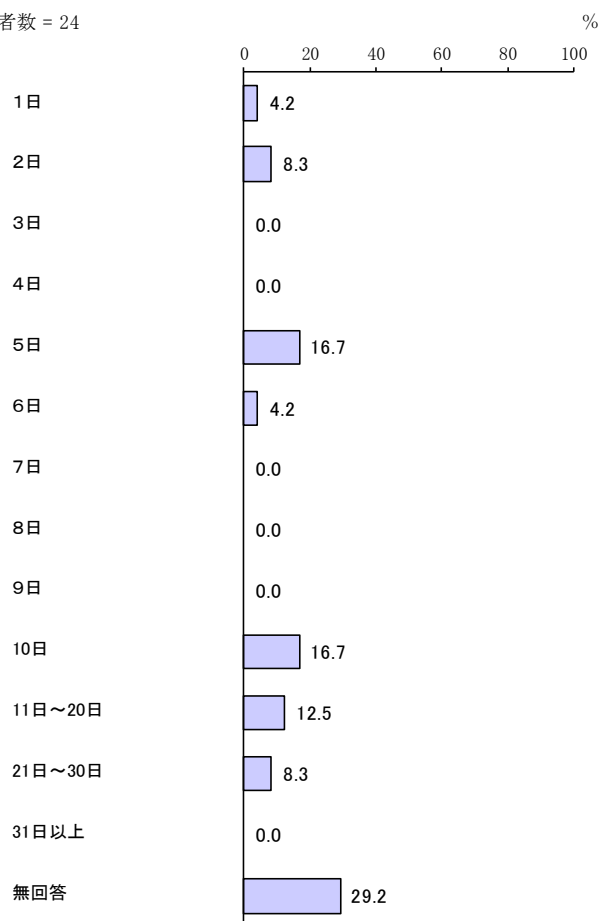
回答者数 = 169



(エ) その他

「5日」、「10日」の割合が16.7%と最も高く、次いで「11日～20日」の割合が12.5%となっています。

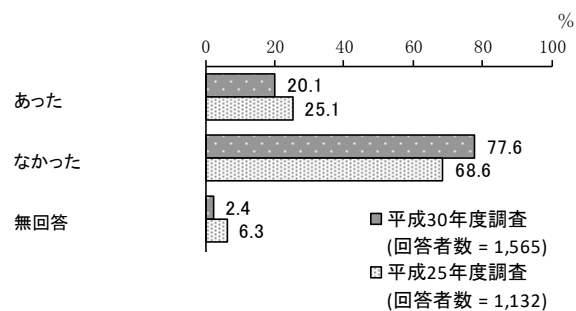
回答者数 = 24



問 22 この1年間に、保護者の用事（仕事、冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、保護者が泊りがけで出かけなければならないことがありましたか。（あてはまる番号に○、「1. あった」に○がついた場合は、ア～カのうち、あてはまるものすべてに○、数字を記入）

「あった」の割合が20.1%、「なかった」の割合が77.6%となっています。

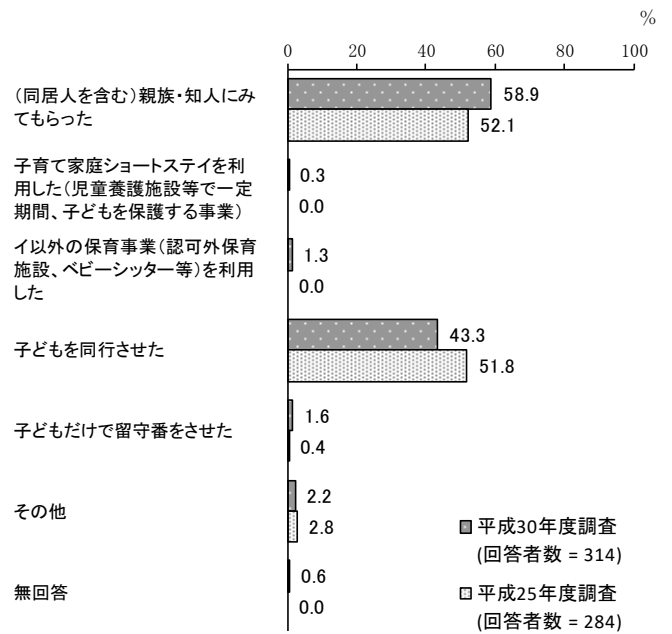
平成25年度調査と比較すると、「なかった」の割合が増加しています。



「あった」と回答した人の対処方法

「(同居人を含む) 親族・知人にみてもらった」の割合が 58.9%と最も高く、次いで「子どもを同行させた」の割合が 43.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「(同居人を含む) 親族・知人にみてもらった」の割合が増加しています。一方、「子どもを同行させた」の割合が減少しています。



1 年間の対処方法

『ア. (同居人を含む) 親族・知人にみてもらった』で「1 泊」の割合が、『エ. 子どもを同行させた』で「2 泊」の割合が高くなっています。

単位：％

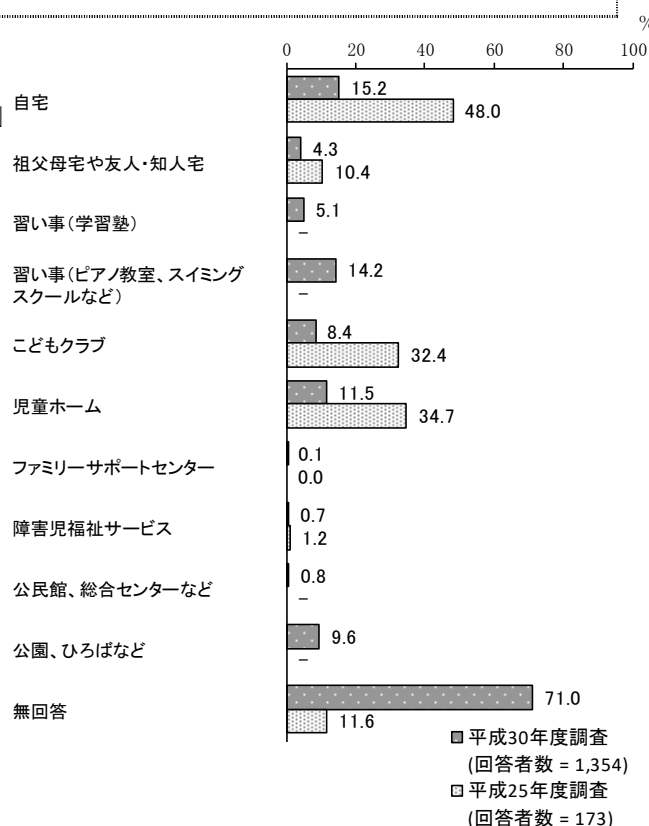
区分	回答者数 (件)	1 泊	2 泊	3 泊	4 泊	5 泊	6 泊	7 泊	8 泊	9 泊	10 泊	11 泊 ～ 20 泊	21 泊 ～ 30 泊	31 泊 以上	無回答
ア. (同居人を含む) 親族・知人にみてもらった	185	37.8	17.3	6.5	2.7	5.4	2.7	6.5	1.6	0.5	4.3	3.8	1.1	1.1	8.6
イ. 子育て家庭ショートステイを利用した(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
ウ. イ以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	4	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	-	-	25.0
エ. 子どもを同行させた	136	22.1	24.3	9.6	7.4	2.9	2.2	1.5	1.5	-	2.2	1.5	1.5	-	23.5
オ. 子どもだけで留守番をさせた	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
カ. その他	7	-	14.3	14.3	-	14.3	-	-	-	-	-	-	14.3	14.3	28.6

(8) 小学校就学後の放課後の過ごし方について

問 23 お子さんが小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。また、「児童ホーム」の場合には、利用希望の時間をお書きください。（あてはまるものすべてに○、数字を記入）なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

「自宅」の割合が 15.2%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、スイミングスクールなど）」の割合が 14.2%、「児童ホーム」の割合が 11.5%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「習い事（学習塾）」「習い事（ピアノ教室、スイミングスクールなど）」「公園、ひろばなど」の割合が増加しています。一方、「自宅」「祖父母宅や友人・知人宅」「こどもクラブ」「児童ホーム」の割合が減少しています。



放課後の過ごさせ方

『4. 習い事（ピアノ教室、スイミングスクールなど）』で「1日」の割合が、『3. 習い事（学習塾）』で「2日」の割合が高くなっています。また、『6. 児童ホーム』で「5日」の割合が高くなっています。

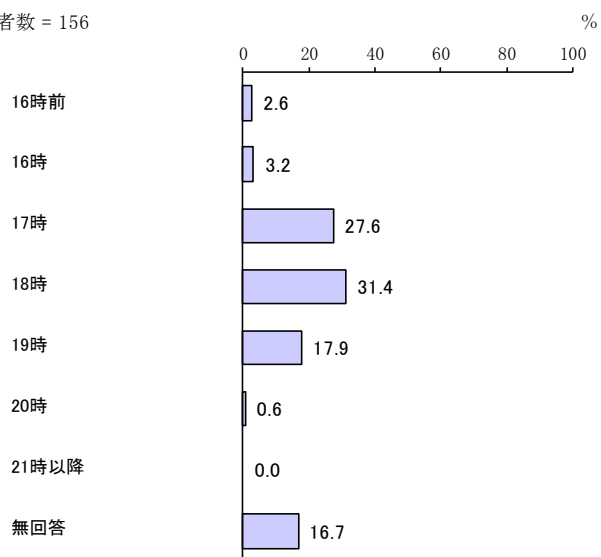
単位：％

区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
1. 自宅	206	14.1	22.3	18.0	4.4	16.0	0.5	4.4	20.4
2. 祖父母宅や友人・知人宅	58	27.6	17.2	6.9	1.7	15.5	-	-	31.0
3. 習い事(学習塾)	69	34.8	42.0	13.0	1.4	1.4	-	-	7.2
4. 習い事(ピアノ教室、スイミングスクールなど)	192	42.2	38.0	8.9	2.1	0.5	-	-	8.3
5. こどもクラブ	114	20.2	21.1	19.3	8.8	15.8	-	-	14.9
6. 児童ホーム	156	-	4.5	8.3	13.5	59.0	4.5	-	10.3
7. ファミリーサポートセンター	2	-	-	-	-	50.0	-	-	50.0
8. 障害児福祉サービス	9	11.1	11.1	33.3	-	33.3	-	-	11.1
9. 公民館、総合センターなど	11	36.4	18.2	18.2	9.1	-	-	-	18.2
10. 公園、ひろばなど	130	16.9	20.8	26.9	4.6	7.7	0.8	0.8	21.5

児童ホームの利用終了時刻

「18 時」の割合が 31.4%と最も高く、次いで「17 時」の割合が 27.6%、「19 時」の割合が 17.9%となっています。

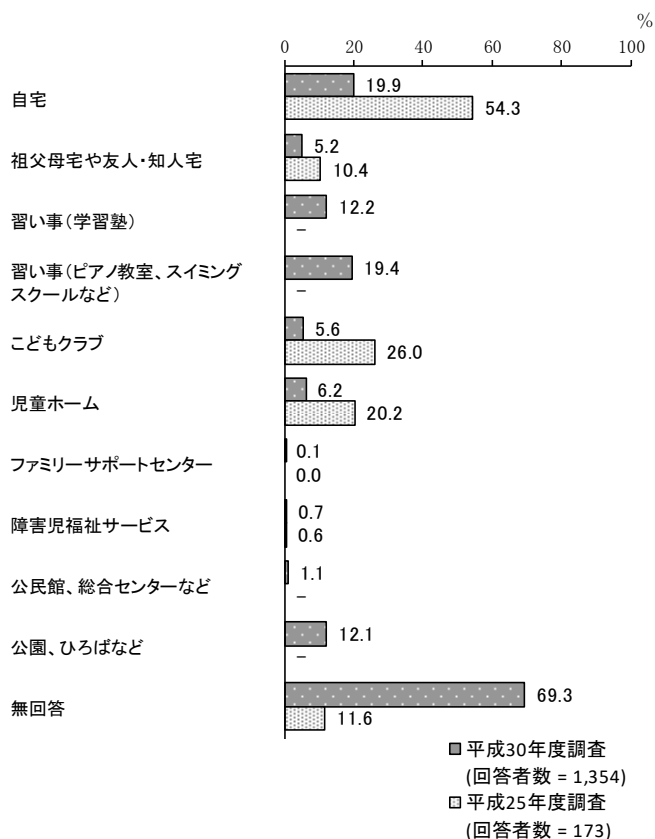
回答者数 = 156



問 24 お子さんが小学校高学年（4～6 年生）になったら、放課後をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。また、「児童ホーム」の場合には利用希望の時間と 4～6 年生のいつまで利用したいかをお書きください。（あてはまるものすべてに○、数字を記入）なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

「自宅」の割合が 19.9%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、スイミングスクールなど）」の割合が 19.4%、「習い事（学習塾）」の割合が 12.2%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「習い事（学習塾）」「習い事（ピアノ教室、スイミングスクールなど）」「公園、ひろばなど」の割合が増加しています。一方、「自宅」「祖父母宅や友人・知人宅」「こどもクラブ」「児童ホーム」の割合が減少しています。



放課後の過ごし方

『4. 習い事（ピアノ教室、スイミングスクールなど）』で「1日」の割合が、『3. 習い事（学習塾）』で「2日」の割合が高くなっています。また、『6. 児童ホーム』で「5日」の割合が高くなっています。

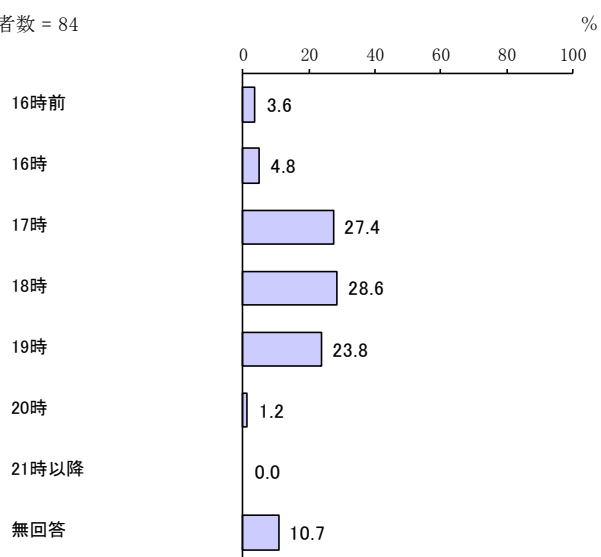
単位：％

区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
1. 自宅	270	17.8	22.2	13.7	2.6	18.1	－	3.0	22.6
2. 祖父母宅や友人・知人宅	70	34.3	20.0	5.7	1.4	15.7	－	－	22.9
3. 習い事(学習塾)	165	31.5	39.4	11.5	1.8	1.8	－	－	13.9
4. 習い事(ピアノ教室、 スイミングスクールなど)	263	37.6	34.6	12.9	1.5	0.8	－	－	12.5
5. こどもクラブ	76	10.5	18.4	26.3	7.9	15.8	－	－	21.1
6. 児童ホーム	84	4.8	2.4	19.0	4.8	40.5	2.4	－	26.2
7. ファミリーサポートセンター	1	－	－	－	－	100.0	－	－	－
8. 障害児福祉サービス	9	－	11.1	44.4	－	33.3	－	－	11.1
9. 公民館、総合センターなど	15	33.3	13.3	26.7	－	6.7	－	－	20.0
10. 公園、ひろばなど	164	18.3	23.8	20.7	4.3	6.7	0.6	0.6	25.0

(ア) 児童ホームの利用終了時刻

「18時」の割合が28.6%と最も高く、次いで「17時」の割合が27.4%、「19時」の割合が23.8%となっています。

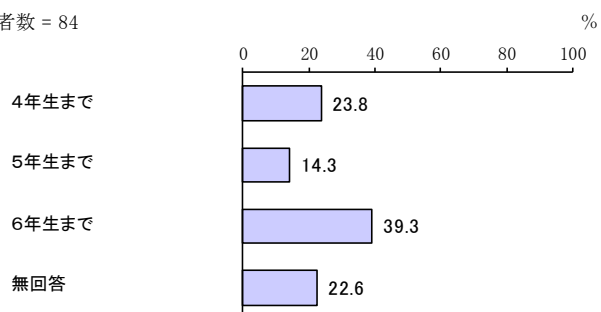
回答者数 = 84



(イ) 児童ホームの利用希望学年

「6年生まで」の割合が39.3%と最も高く、次いで「4年生まで」の割合が23.8%、「5年生まで」の割合が14.3%となっています。

回答者数 = 84

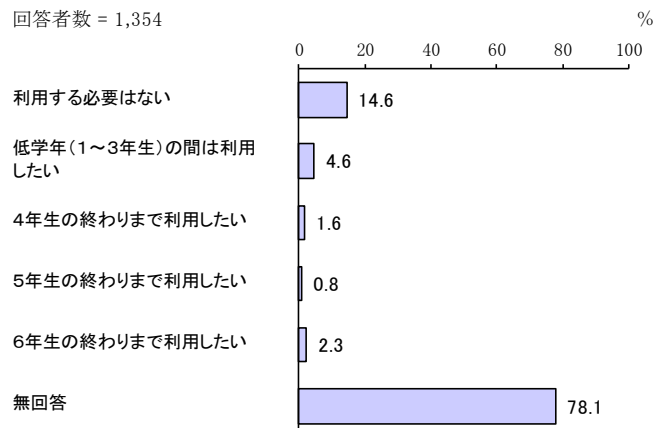


問 25 お子さんについて、土曜日、あるいはお子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の児童ホームの利用希望はありますか。(あてはまるものすべてに○を記入) また、太枠内に○をつけた方は、利用したい時間帯をお書きください。(数字を記入)

ア 土曜日

「利用する必要はない」の割合が14.6%と最も高くなっています。

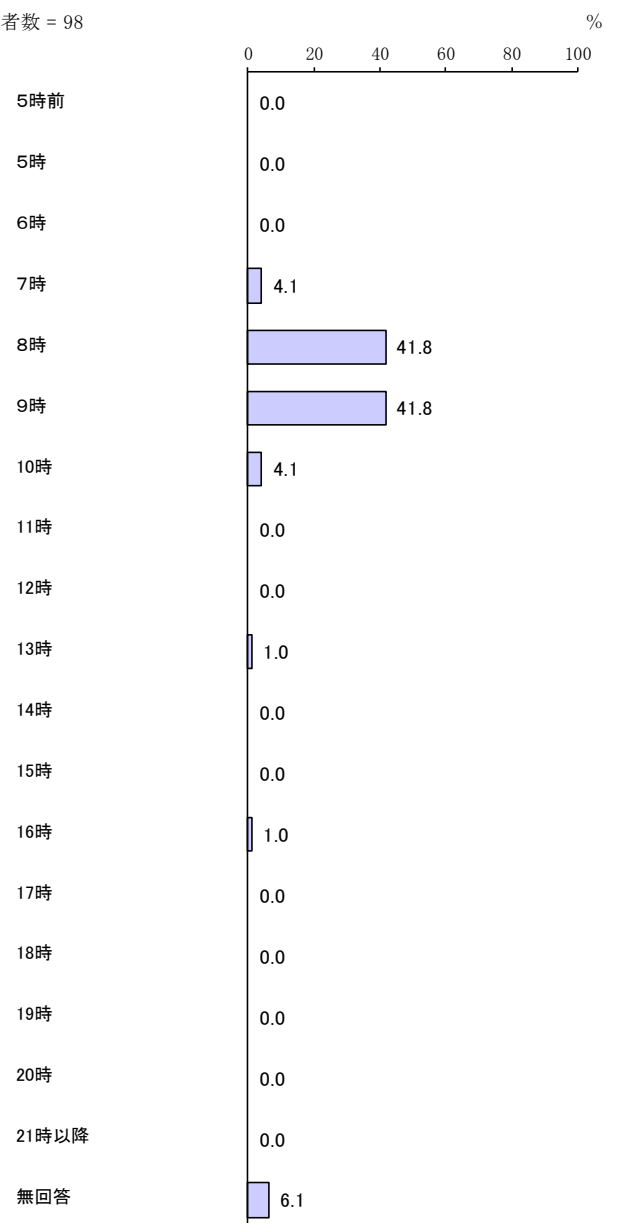
回答者数 = 1,354



(ア) 利用希望開始時刻

「8時」、「9時」の割合が41.8%と最も高くなっています。

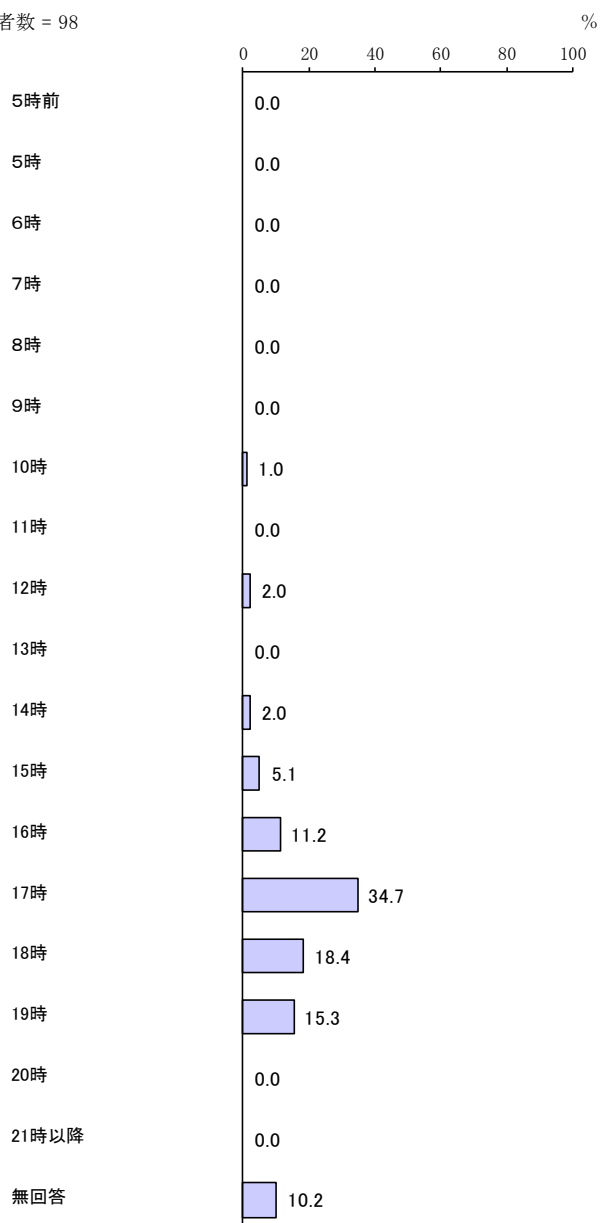
回答者数 = 98



(イ) 利用希望終了時刻

「17 時」の割合が 34.7%と最も高く、次いで「18 時」の割合が 18.4%、「19 時」の割合が 15.3%となっています。

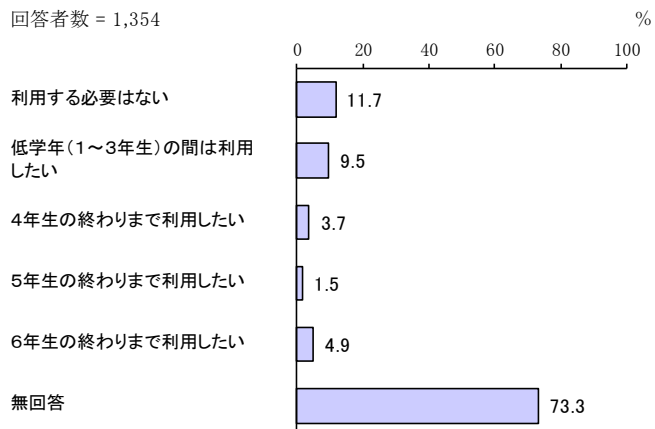
回答者数 = 98



イ 長期休暇中

「利用する必要はない」の割合が 11.7%と最も高くなっています。

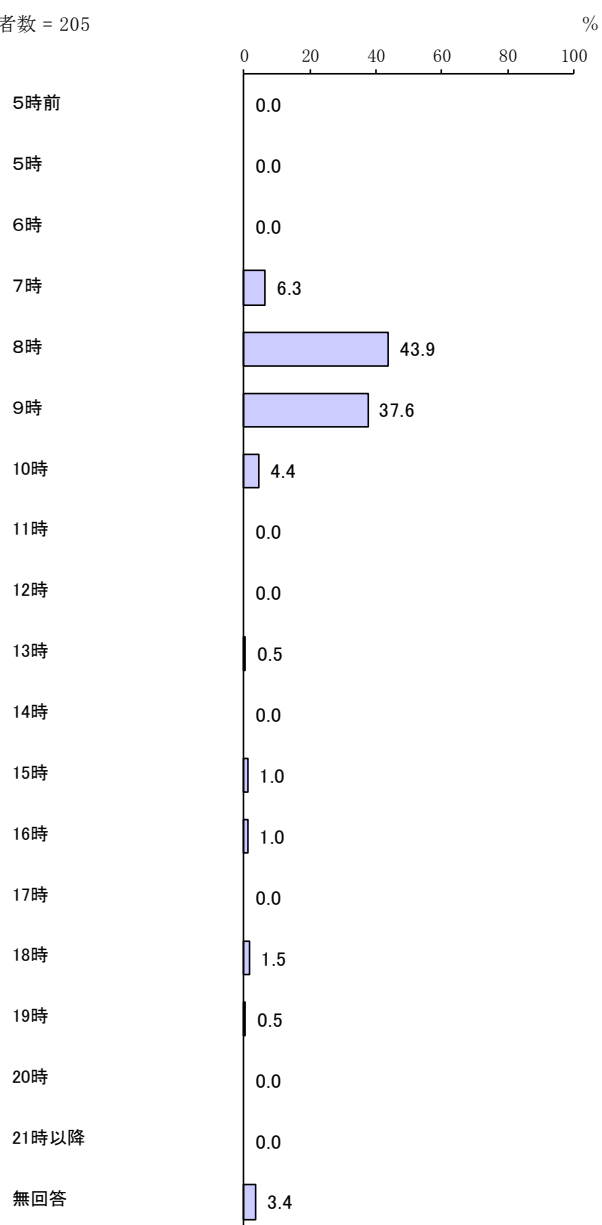
回答者数 = 1,354



(ア) 利用希望開始時刻

「8時」の割合が43.9%と最も高く、次いで
「9時」の割合が37.6%となっています。

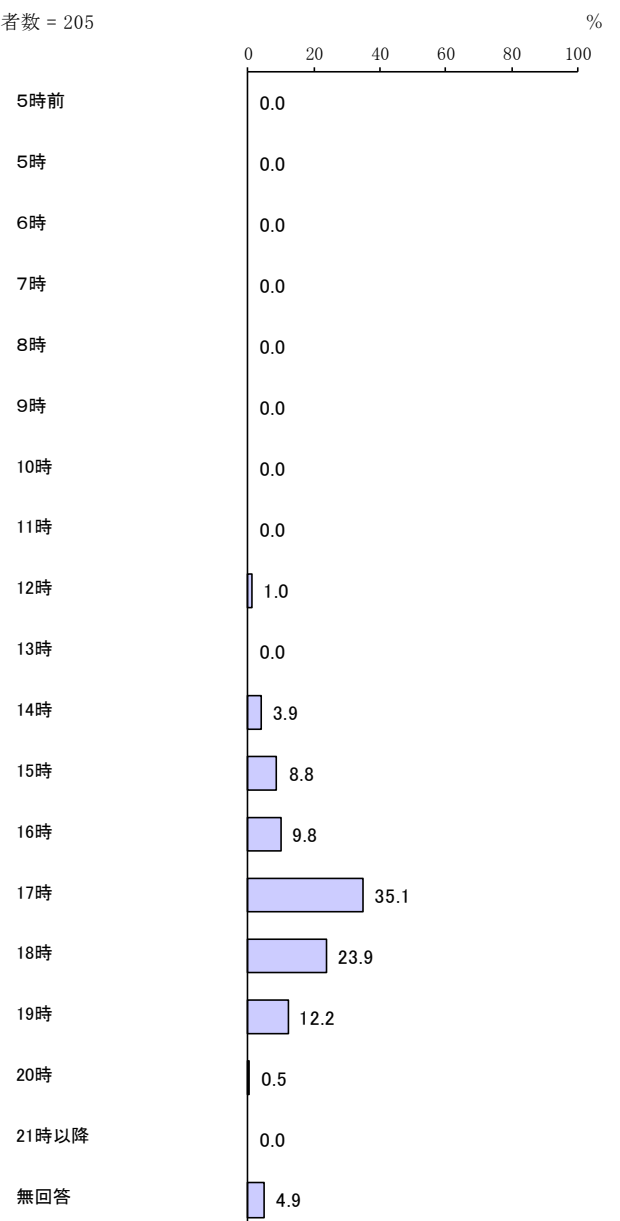
回答者数 = 205



(イ) 利用希望終了時刻

「17 時」の割合が 35.1%と最も高く、次いで「18 時」の割合が 23.9%、「19 時」の割合が 12.2%となっています。

回答者数 = 205

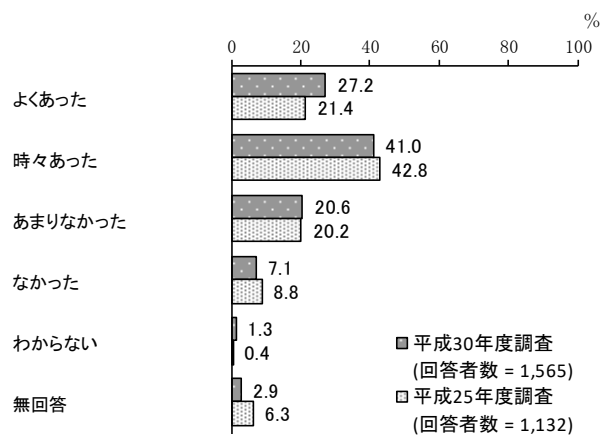


（９）母親の妊娠・出産後の子育て支援について

問 26 妊娠中、あるいは出産後おおむね１年程度の間に、お子さんの母親がいらいらしたりストレスを抱え誰かに助けてほしいと思ったりしたことはありましたか。
（１つに○を記入）

「時々あった」の割合が 41.0% と最も高く、次いで「よくあった」の割合が 27.2%、「あまりなかった」の割合が 20.6% となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「よくあった」の割合が増加しています。



【育児休業取得者別】

育児休業取得者別でみると、他に比べ、父親で「よくあった」の割合が、父親、母親で「時々あった」の割合が高くなっています。

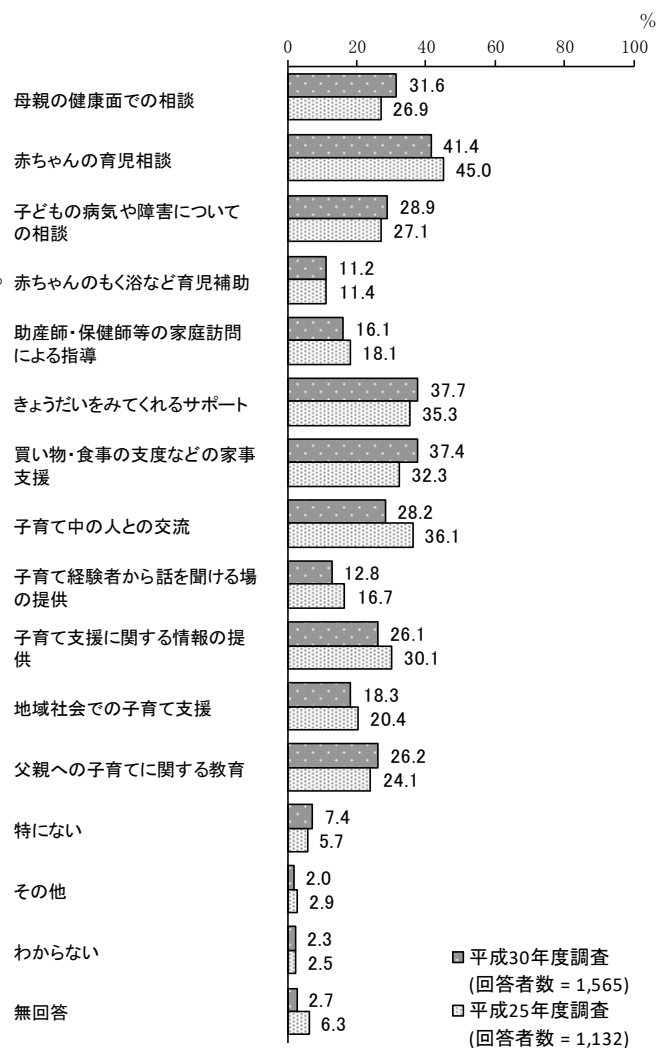
単位：％

区分	有効回答数 (件)	よくあった	時々あった	あまりなかった	なかった	わからない	無回答
父親	10	40.0	40.0	20.0	—	—	—
母親	473	26.0	41.0	22.6	7.0	1.1	2.3
父母ともに	8	12.5	25.0	50.0	12.5	—	—

問 27 妊娠中や出産後のサポートとして、特にどのようなサービスが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○を記入)

「赤ちゃんの育児相談」の割合が41.4%と最も高く、次いで「きょうだいをみてるサポート」の割合が37.7%、「買い物・食事の支度などの家事支援」の割合が37.4%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「買い物・食事の支度などの家事支援」の割合が増加しています。一方、「子育て中の人との交流」の割合が減少しています。



【妊娠、出産後のストレス有無別】

妊娠、出産後のストレス有無別でみると、他に比べ、よくあったで「赤ちゃんの育児相談」「きょうだいをみてくれるサポート」「買い物・食事の支度などの家事支援」の割合が高くなっています。

単位：％

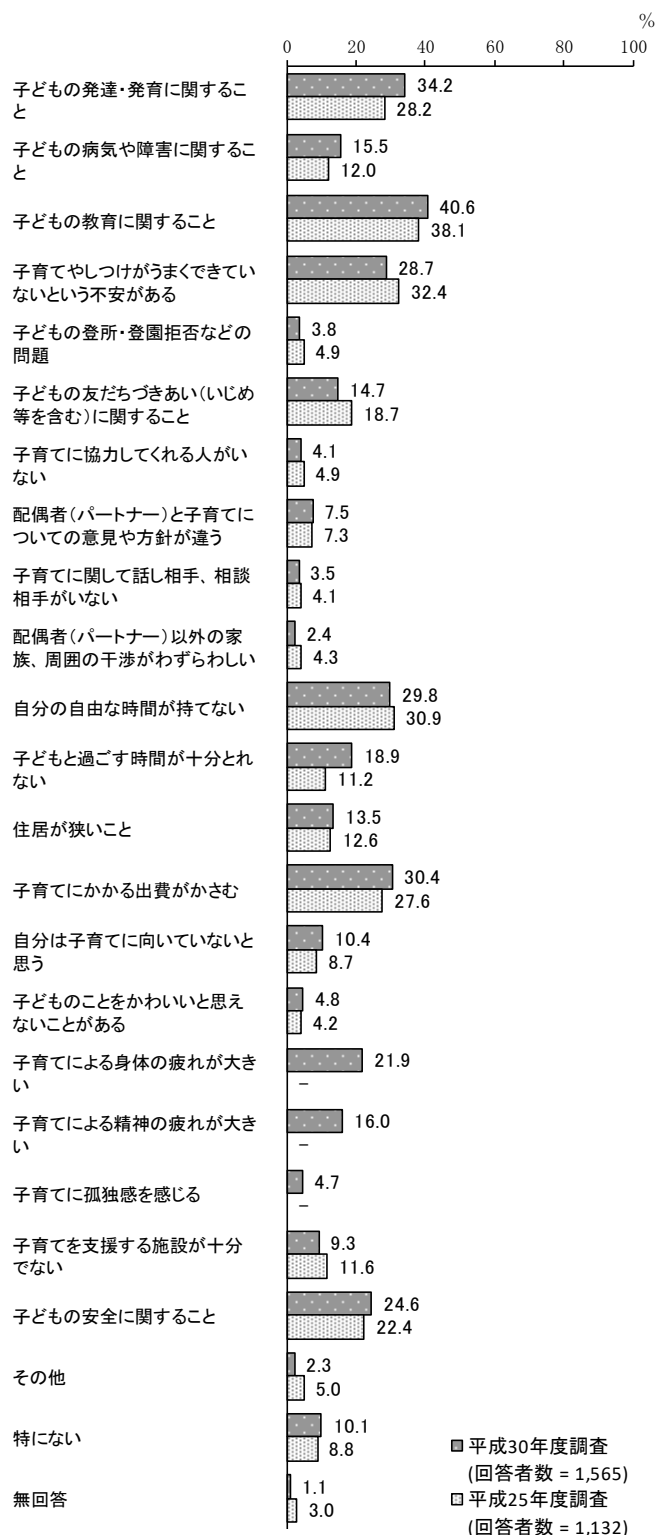
区分	有効回答数（件）	母親の健康面での相談	赤ちゃんの育児相談	子どもの病気や障害についての相談	赤ちゃんのもく浴など育児補助	助産師・保健師等の家庭訪問による指導	きょうだいをみてくれるサポート	買い物・食事の支度などの家事支援	子育て中の人との交流	子育て経験者から話を聞ける場の提供	子育て支援に関する情報の提供	地域社会での子育て支援	父親への子育てに関する教育	特にない	その他	わからない	無回答
よくあった	425	42.8	50.8	35.3	19.3	24.7	45.4	50.6	33.6	17.6	33.2	25.4	35.1	0.9	4.0	1.2	0.2
時々あった	641	31.8	42.9	26.5	10.1	12.9	38.8	41.8	29.3	13.1	24.6	18.1	27.5	4.5	1.2	3.0	0.5
あまりなかった	322	24.8	35.7	28.9	6.5	14.6	31.7	23.3	24.8	9.6	24.5	14.0	19.6	14.6	1.9	2.2	1.2
なかった	111	19.8	26.1	29.7	4.5	10.8	32.4	19.8	20.7	5.4	21.6	12.6	11.7	27.0	0.9	1.8	1.8
わからない	20	15.0	40.0	20.0	5.0	15.0	30.0	15.0	25.0	5.0	15.0	5.0	25.0	20.0	—	15.0	—

(10) 子育ての不安と悩みについて

問 28 子育てに関して、日頃悩んでいること、または、気になることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○を記入)

「子どもの教育に関すること」の割合が 40.6%と最も高く、次いで「子どもの発達・発達に関すること」の割合が 34.2%、「子育てにかかる出費がかさむ」の割合が 30.4%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「子どもの発達・発達に関すること」「子どもと過ごす時間が十分とれない」「子育てによる身体の疲れが大きい」「子育てによる精神の疲れが大きい」の割合が増加しています。



【子育てに関して、日頃悩んでいること、気になること別】

子育てに関して、日頃悩んでいること、気になること別でみると、他に比べ、配偶者（パートナー）以外の家族、周囲の干渉がわずらわしいで「0歳」の割合が、子育てに協力してくれる人がいないで「2歳」の割合が高くなっています。

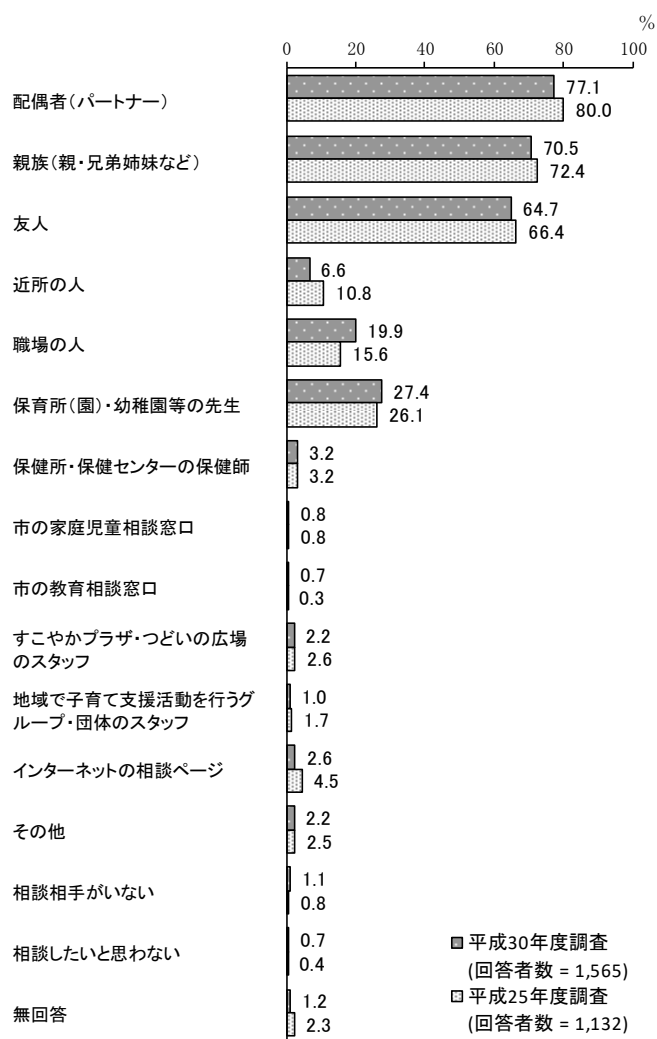
単位：％

区分	有効回答数 (件)	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	無回答
子どもの発達・発育に関すること	535	20.2	14.4	16.4	17.6	16.1	14.0	1.3
子どもの病気や障害に関すること	243	23.5	11.9	15.2	13.2	16.0	18.9	1.2
子どもの教育に関すること	635	16.1	15.6	14.3	16.7	15.9	19.2	2.2
子育てやしつけがうまくできていないという不安がある	449	15.6	16.9	16.7	17.4	16.0	14.9	2.4
子どもの登所・登園拒否などの問題	60	6.7	6.7	13.3	20.0	26.7	21.7	5.0
子どもの友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること	230	10.9	8.3	11.7	20.9	18.7	25.7	3.9
子育てに協力してくれる人がいない	64	12.5	17.2	26.6	14.1	10.9	15.6	3.1
配偶者(パートナー)と子育てについての意見や方針が違う	118	11.0	9.3	20.3	14.4	25.4	16.9	2.5
子育てに関して話し相手、相談相手がいない	55	27.3	10.9	16.4	25.5	9.1	7.3	3.6
配偶者(パートナー)以外の家族、周囲の干渉がわずらわしい	37	32.4	16.2	18.9	10.8	8.1	10.8	2.7
自分の自由な時間が持てない	467	19.7	19.7	19.7	15.0	13.5	9.9	2.6
子どもと過ごす時間が十分とれない	296	12.2	15.2	18.9	15.9	19.6	15.2	3.0
住居が狭いこと	212	21.7	14.2	12.7	12.3	19.3	17.5	2.4
子育てにかかる出費がかさむ	475	14.1	12.0	15.4	21.1	17.5	18.5	1.5
自分は子育てに向いていないと思う	163	16.0	12.9	17.8	23.3	13.5	12.9	3.7
子どものことをかわいいと思えないことがある	75	18.7	14.7	17.3	25.3	9.3	13.3	1.3
子育てによる身体の疲れが大きい	342	22.8	19.9	11.7	19.3	12.6	11.1	2.6
子育てによる精神の疲れが大きい	251	19.5	16.3	16.7	20.3	12.7	11.6	2.8
子育てに孤独感を感じる	73	30.1	15.1	17.8	16.4	13.7	6.8	—
子育てを支援する施設が十分でない	145	28.3	19.3	13.8	15.2	12.4	10.3	0.7
子どもの安全に関すること	385	19.7	11.4	12.5	15.1	16.1	22.3	2.9
その他	36	27.8	27.8	16.7	16.7	8.3	2.8	—
特にない	158	20.9	12.0	13.3	19.0	19.0	13.3	2.5

問 28ー1 子育てに関する悩みや不安がある場合、誰に相談していますか。
(あてはまるものすべてに○を記入)

「配偶者（パートナー）」の割合が 77.1%と最も高く、次いで「親族（親・兄弟姉妹など）」の割合が 70.5%、「友人」の割合が 64.7%となっています。

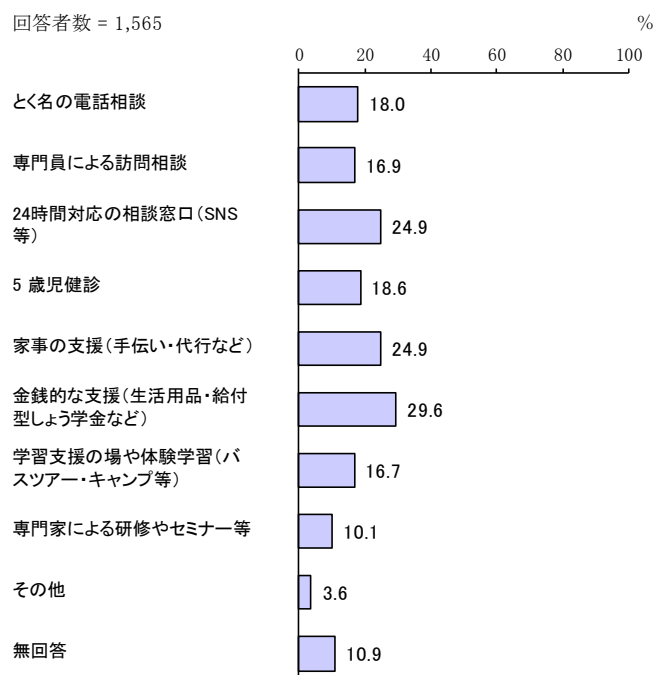
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 28ー2 子育てに関する悩みや不安がある場合、どのような支援を受けたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○を記入)

「金銭的な支援(生活用品・給付型奨学金など)」の割合が29.6%と最も高く、次いで「24時間対応の相談窓口(SNS等)」、「家事の支援(手伝い・代行など)」の割合が24.9%となっています。

回答者数 = 1,565



【子育てに関する悩みや不安の内容別】

子育てに関する悩みや不安の内容別でみると、子育てに協力してくれる人がいない、子育てに孤独感を感じる人で家事の支援（手伝い・代行など）を受けたい人の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	とく名の電話相談	専門員による訪問相談	24時間対応の相談窓口（SNS等）	5歳児健診	家事の支援（手伝い・代行など）	学用品・給付型生活金銭的な支援（生活用品など）	学習支援の場や体験学習（バスツアー・キャンプ等）	専門家による研修やセミナー等	その他	無回答
子どもの発達・育児に関する事	535	22.6	25.2	26.9	21.9	26.7	31.8	16.3	12.9	3.0	7.3
子どもの病気や障害に関する事	243	22.6	30.9	30.5	22.6	28.0	34.2	20.2	14.4	3.7	6.6
子どもの教育に関する事	635	23.1	19.5	28.7	23.3	28.2	31.7	21.9	14.6	3.0	7.1
子育てやしつけがうまくできていないという不安がある	449	22.5	23.2	29.0	23.8	32.7	37.2	18.3	9.8	3.1	5.8
子どもの登所・登園拒否などの問題	60	23.3	28.3	23.3	30.0	30.0	35.0	21.7	6.7	1.7	5.0
子どもの友だちづきあい（いじめ等を含む）に関する事	230	26.5	20.0	27.0	27.4	26.1	34.3	24.8	9.6	3.0	6.5
子育てに協力してくれる人がいない	64	28.1	26.6	34.4	10.9	46.9	43.8	17.2	15.6	1.6	7.8
配偶者（パートナー）と子育てについての意見や方針が違う	118	23.7	20.3	31.4	22.0	42.4	39.8	26.3	11.0	2.5	1.7
子育てに関して話し相手、相談相手がいない	55	34.5	40.0	36.4	25.5	36.4	43.6	25.5	18.2	3.6	3.6
配偶者（パートナー）以外の家族、周囲の干渉がわずらわしい	37	18.9	35.1	32.4	21.6	40.5	54.1	8.1	13.5	2.7	2.7
自分の自由な時間が持てない	467	18.0	19.3	27.2	21.0	39.8	40.9	18.6	13.5	3.2	6.6
子どもと過ごす時間が十分とれない	296	15.2	16.2	25.7	25.7	32.8	34.8	22.3	10.5	1.7	4.7
住居が狭いこと	212	16.5	18.4	26.9	17.9	32.5	45.3	19.3	7.5	5.2	6.6
子育てにかかる出費がかさむ	475	17.7	15.8	24.4	21.3	28.4	48.8	19.4	11.2	3.2	5.9
自分は子育てに向いていないと思う	163	25.8	17.8	31.3	22.1	34.4	38.7	21.5	12.3	4.3	4.3
子どものことをかわいと思えないことがある	75	24.0	17.3	28.0	17.3	40.0	34.7	26.7	9.3	5.3	6.7
子育てによる身体の疲れが大きい	342	23.1	23.7	29.8	18.4	40.1	38.0	19.9	14.0	2.6	4.7
子育てによる精神の疲れが大きい	251	24.3	26.3	30.3	16.3	39.4	39.0	20.3	14.3	2.0	4.4
子育てに孤独感を感じる	73	35.6	30.1	41.1	20.5	43.8	41.1	24.7	15.1	6.8	2.7
子育てを支援する施設が十分でない	145	17.2	29.7	34.5	17.9	42.8	45.5	29.0	13.8	3.4	4.8
子どもの安全に関する事	385	21.0	19.0	27.0	24.4	26.8	37.1	22.1	13.5	4.4	5.5
その他	36	25.0	13.9	27.8	16.7	33.3	25.0	19.4	11.1	8.3	11.1
特になし	158	13.3	7.6	22.2	9.5	17.1	15.8	7.6	3.8	8.2	25.3

【配偶関係・主に子育てを行っている保護者別】

配偶者のいない母親が受けた支援でみると、「金銭的な支援（生活用品・給付型奨学金など）」の割合が高くなっています。

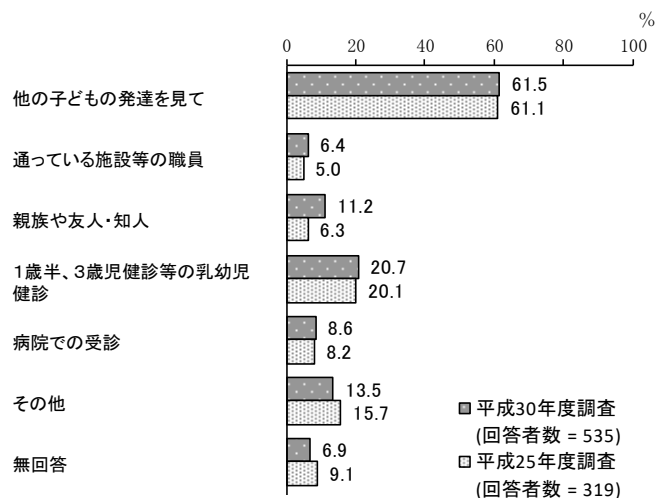
単位：％

区分		有効回答数 (件)	とく名の電話相談	専門員による訪問相談	24時間対応の相談窓口 (SNS等)	5歳児健診	家事の支援(手伝い・代行など)	金銭的な支援(生活用品・給付型奨学金など)	学習支援(バスツアー・キャンプ等)	学習支援の場や体験セミナー等	その他	無回答
配偶者がいる	父母	714	16.5	16.1	24.8	20.4	24.8	27.6	18.6	10.5	3.5	9.2
	母	708	19.9	18.2	26.6	17.7	25.7	29.5	14.5	11.0	4.2	10.9
配偶者がいない	母	95	17.9	12.6	20.0	16.8	17.9	45.3	17.9	2.1	1.1	16.8
	父	2	100.0	50.0	—	—	—	50.0	—	—	—	—

問 28-3 お子さんの発達・発育で気になったきっかけについてお答えください。 (あてはまるものすべてに○を記入)

「他の子どもの発達を見て」の割合が 61.5%と最も高く、次いで「1歳半、3歳児健診等の乳幼児健診」の割合が 20.7%、「親族や友人・知人」の割合が 11.2%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

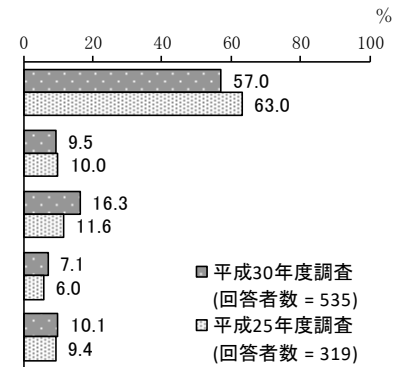


問 28-4 その時、どのように感じましたか。(1つに○を記入)

「しばらく様子を見ようと思った」の割合が57.0%と最も高く、次いで「かかりつけ医や専門の病院を受診しようと思った」の割合が16.3%となっています。

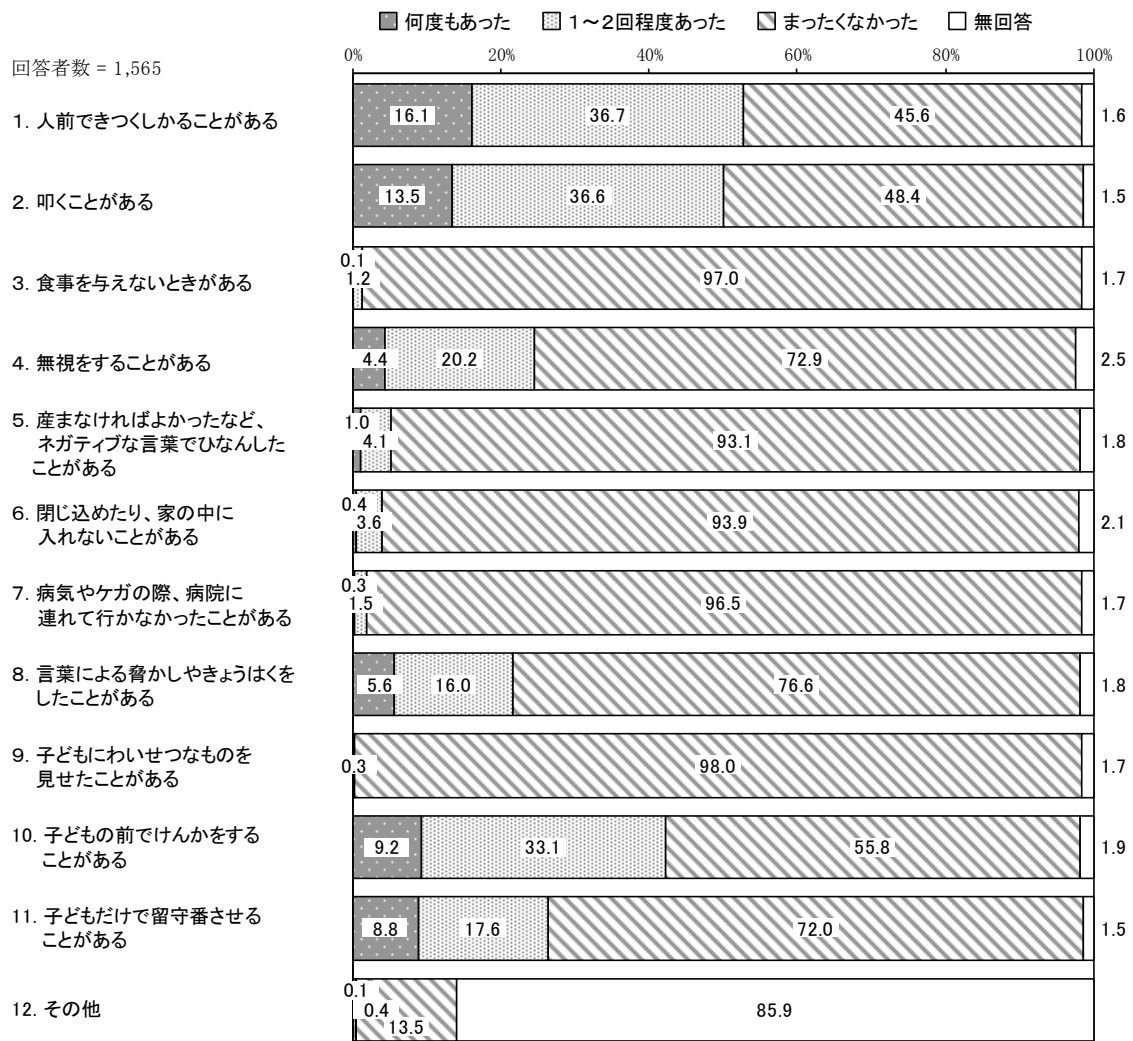
平成25年度調査と比較すると、「しばらく様子を見ようと思った」の割合が減少しています。

しばらく様子を見ようと思った
 どうしてよいかわからなかった
 かかりつけ医や専門の病院を受診しようと思った
 その他
 無回答



問 28-5 あなたやあなたの配偶者（パートナー）は、この1年間にお子さんに対して、次のようなことがどのくらいありましたか。 （それぞれの項目について、あてはまるもの1つに○を記入）

『1. 人前できつくしかることがある』で「何度もあった」の割合が、『1. 人前できつくしかることがある』『2. 叩くことがある』『10. 子どもの前でけんかをする』で「1～2回程度あった」の割合が高くなっています。また、『3. 食事を与えないときがある』『7. 病気やケガの際、病院に連れて行かなかったことがある』『9. 子どもにわいせつなものを見せたことがある』で「まったくなかった」の割合が高くなっています。

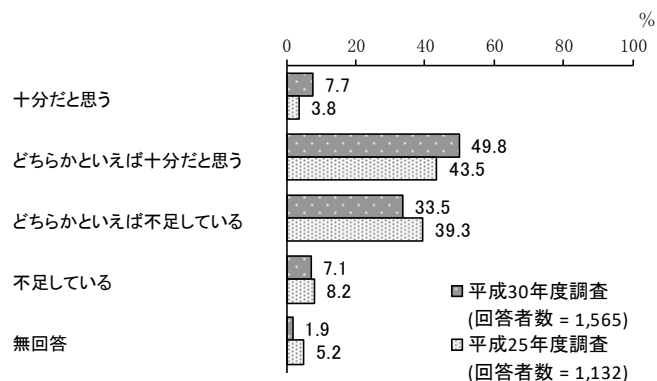


(11) 子育てに関する情報・サービス・支援体制について

問 29 子育てに関する情報は、あなたに十分、届いていると思いますか。
(1つに○を記入)

「どちらかといえば十分だと思う」の割合が49.8%と最も高く、次いで「どちらかといえば不足している」の割合が33.5%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「どちらかといえば十分だと思う」の割合が増加しています。一方、「どちらかといえば不足している」の割合が減少しています。



【子育て支援拠点事業の利用状況別】

子育て支援拠点事業の利用状況別でみると、他に比べ、「尼崎市立すこやかプラザの子育て支援ゾーン」または「つどいの広場」を利用している、利用していないで「どちらかといえば十分だと思う」の割合が、「1.」に類似する子育て支援事業を利用しているで「どちらかといえば不足している」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	十分だと思う	どちらかといえば十分だと思う	どちらかといえば不足している	不足している	無回答
「尼崎市立すこやかプラザの子育て支援ゾーン」または「つどいの広場」を利用している	165	6.7	50.3	32.7	7.9	2.4
「1.」に類似する子育て支援事業を利用している	36	5.6	47.2	41.7	5.6	—
利用していない	1352	7.7	50.1	33.4	7.0	1.7

【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満で「どちらかといえば不足している」の割合が、1年以上3年未満、5年以上10年未満、10年以上15年未満、15年以上20年未満で「どちらかといえば十分だと思う」の割合が高くなっています。

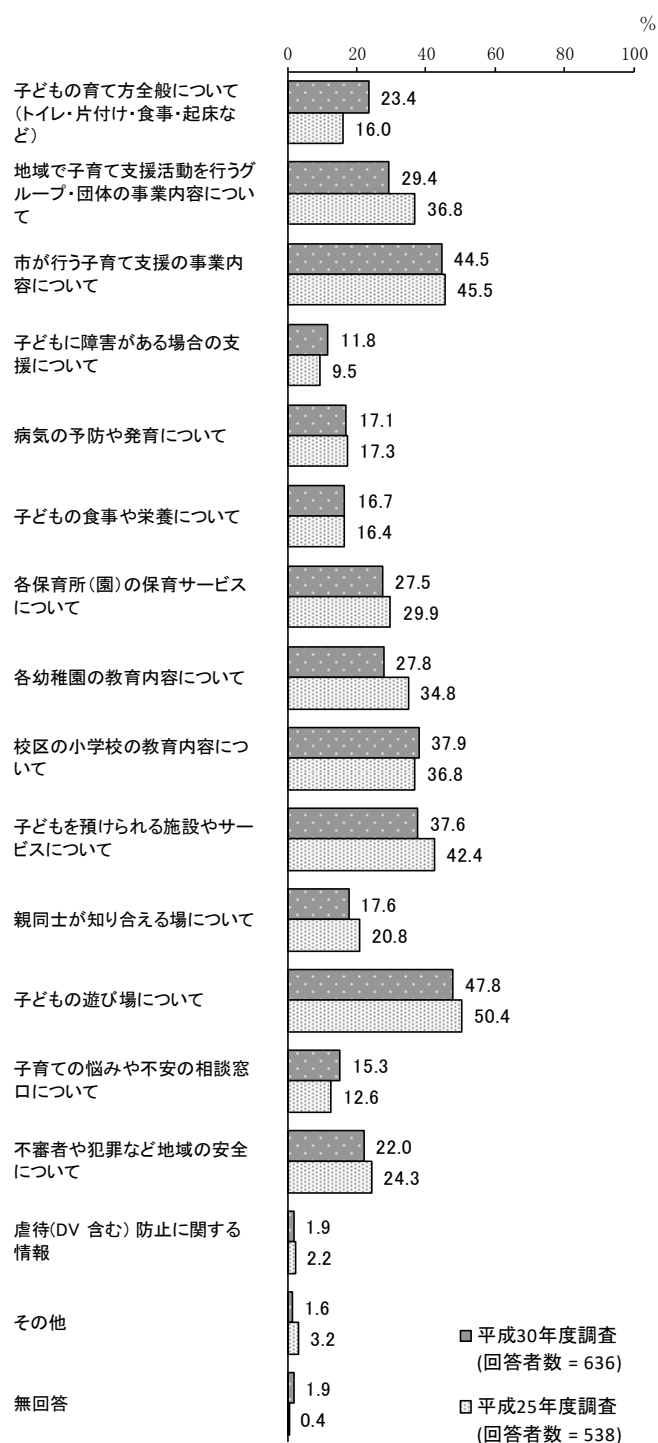
単位：％

区分	有効回答数 (件)	十分だと思う	どちらかといえば 十分だと思う	どちらかといえば 不足している	不足している	無回答
1年未満	58	10.3	43.1	37.9	6.9	1.7
1年以上3年未満	160	7.5	51.9	33.1	7.5	—
3年以上5年未満	243	4.9	47.3	39.1	6.6	2.1
5年以上10年未満	377	8.2	52.3	32.1	5.3	2.1
10年以上15年未満	219	7.3	51.1	31.1	8.7	1.8
15年以上20年未満	57	3.5	54.4	33.3	8.8	—
20年以上	436	8.7	48.9	32.3	7.8	2.3

問 29-1 どのような情報が不足していると思われますか。
(あてはまるものすべてに○を記入)

「子どもの遊び場について」の割合が47.8%と最も高く、次いで「市が行う子育て支援の事業内容について」の割合が44.5%、「校区の小学校の教育内容について」の割合が37.9%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「子どもの育て方全般について（トイレ・片付け・食事・起床など）」の割合が増加しています。一方、「地域で子育て支援活動を行うグループ・団体の事業内容について」「各幼稚園の教育内容について」の割合が減少しています。



【不足していると思う情報別】

不足していると思う情報別でみると、他に比べ、虐待(DV 含む) 防止に関する情報で「20 年以上」の割合が、地域で子育て支援活動を行うグループ・団体の事業内容について、校区の小学校の教育内容について、虐待(DV 含む) 防止に関する情報で「5 年以上 10 年未満」の割合が高くなっています。また、各保育所(園)の保育サービスについてで「1 年以上 3 年未満」の割合が高くなっています。

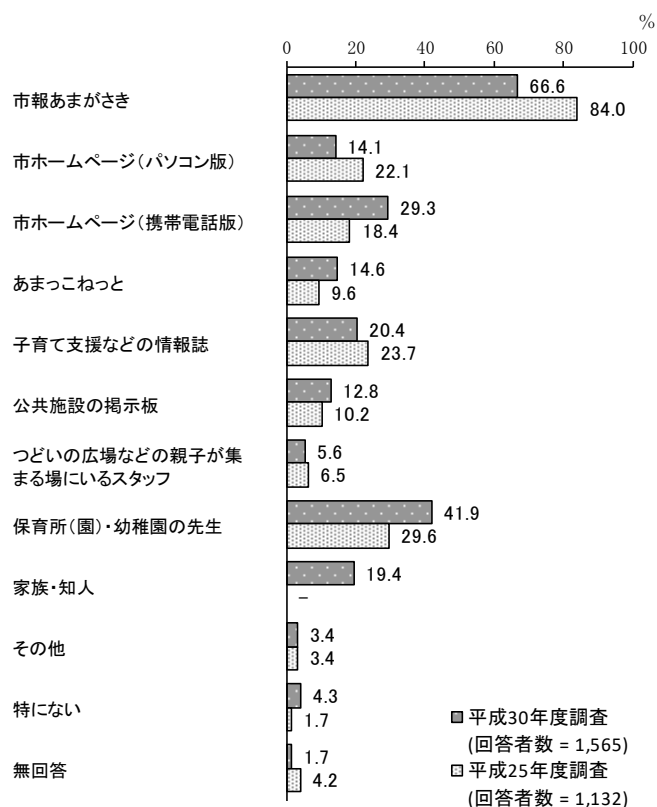
単位：％

区分	有効回答数 (件)	1 年 未 満	1 年 以 上 3 年 未 満	3 年 以 上 5 年 未 満	5 年 以 上 10 年 未 満	10 年 以 上 15 年 未 満	15 年 以 上 20 年 未 満	20 年 以 上	無 回 答
子どもの育て方全般について(トイレ・片付け・食事・起床など)	149	3.4	11.4	15.4	22.1	10.1	3.4	34.2	—
地域で子育て支援活動を行うグループ・団体の事業内容について	187	5.3	9.6	21.9	26.2	12.3	2.1	20.9	1.6
市が行う子育て支援の事業内容について	283	4.9	9.9	20.1	21.9	11.7	2.8	27.6	1.1
子どもに障害がある場合の支援について	75	1.3	9.3	10.7	20.0	21.3	8.0	29.3	—
病気の予防や発育について	109	1.8	7.3	12.8	24.8	17.4	4.6	30.3	0.9
子どもの食事や栄養について	106	4.7	7.5	19.8	22.6	6.6	4.7	34.0	—
各保育所(園)の保育サービスについて	175	5.7	16.6	21.1	16.0	12.6	5.1	20.6	2.3
各幼稚園の教育内容について	177	5.1	10.2	24.3	23.2	14.7	4.5	17.5	0.6
校区の小学校の教育内容について	241	3.7	10.0	14.9	25.7	14.5	5.4	24.9	0.8
子どもを預けられる施設やサービスについて	239	6.3	12.1	21.8	20.9	15.5	3.3	19.2	0.8
親同士が知り合える場について	112	7.1	14.3	24.1	20.5	9.8	0.9	21.4	1.8
子どもの遊び場について	304	4.9	10.2	16.8	20.7	14.5	2.6	28.6	1.6
子育ての悩みや不安の相談窓口について	97	5.2	9.3	20.6	19.6	13.4	3.1	28.9	—
不審者や犯罪など地域の安全について	140	2.9	8.6	19.3	17.9	12.9	4.3	32.1	2.1
虐待(DV 含む) 防止に関する情報	12	—	—	8.3	25.0	16.7	—	50.0	—
その他	10	—	—	30.0	10.0	20.0	10.0	30.0	—

問 30 尼崎市からの情報をどこから、または誰から入手したいですか。
(あてはまるものすべてに○を記入)

「市報あまがさき」の割合が 66.6%と最も高く、次いで「保育所（園）・幼稚園の先生」の割合が 41.9%、「市ホームページ（携帯電話版）」の割合が 29.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「市ホームページ（携帯電話版）」「保育所（園）・幼稚園の先生」「家族・知人」の割合が増加しています。一方、「市報あまがさき」「市ホームページ（パソコン版）」の割合が減少しています。



【子育て支援拠点事業の利用状況別】

子育て支援拠点事業の利用状況別でみると、他に比べ、「尼崎市立すこやかプラザの子育て支援ゾーン」または「つどいの広場」を利用しているで「市報あまがさき」の割合が、「1.」に類似する子育て支援事業を利用しているで「子育て支援などの情報誌」の割合が高くなっています。また、利用していないで「保育所（園）・幼稚園の先生」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	市報あまがさき	市ホームページ(パソコン版)	市ホームページ(携帯電話版)	あまっこねっと	子育て支援などの情報誌	公共施設の掲示板	つどいの広場などの親子が集まる場にいるスタッフ	保育所(園)・幼稚園の先生	家族・知人	その他	特になし	無回答
「尼崎市立すこやかプラザの子育て支援ゾーン」または「つどいの広場」を利用している	165	70.9	16.4	35.8	17.6	31.5	23.0	27.9	29.7	21.8	4.2	0.6	3.0
「1.」に類似する子育て支援事業を利用している	36	69.4	11.1	38.9	11.1	36.1	36.1	33.3	38.9	16.7	8.3	2.8	—
利用していない	1,352	66.7	14.0	28.4	14.6	19.0	11.2	2.5	43.7	19.2	2.9	4.9	1.3

【尼崎市の情報入手先別】

尼崎市の情報入手先別でみると、他に比べ、家族・知人で「20年以上」の割合が、子育て支援などの情報誌で「1年以上3年未満」の割合が高くなっています。また、つどいの広場などの親子が集まる場にいるスタッフで「3年以上5年未満」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	1 年 未 満	1 年 以 上 3 年 未 満	3 年 以 上 5 年 未 満	5 年 以 上 10 年 未 満	10 年 以 上 15 年 未 満	15 年 以 上 20 年 未 満	20 年 以 上	無 回 答
市報あまがさき	1043	3.4	9.4	15.3	24.6	15.8	3.9	27.1	0.4
市ホームページ(パソコン版)	220	1.8	10.0	17.7	25.9	14.1	4.1	25.9	0.5
市ホームページ(携帯電話版)	458	3.5	10.5	15.9	23.4	14.4	3.7	28.2	0.4
あまっこねっと	229	3.9	10.5	16.6	23.1	14.0	3.5	26.6	1.7
子育て支援などの情報誌	320	3.1	13.1	20.0	20.3	11.6	3.8	27.5	0.6
公共施設の掲示板	201	2.5	7.5	19.9	28.9	15.9	2.5	22.4	0.5
つどいの広場などの親子が集まる場にいる スタッフ	87	3.4	11.5	27.6	28.7	8.0	1.1	19.5	—
保育所(園)・幼稚園の先生	655	3.4	8.7	15.4	26.4	14.8	4.4	26.3	0.6
家族・知人	303	2.6	8.9	14.2	26.1	13.5	3.6	30.4	0.7
その他	53	3.8	5.7	15.1	28.3	18.9	3.8	22.6	1.9
特になし	68	4.4	7.4	14.7	13.2	16.2	2.9	38.2	2.9

【尼崎市の情報入手先別】

尼崎市の情報入手先別でみると、他に比べ、つどいの広場などの親子が集まる場にいるスタッフで「市が行う子育て支援の事業内容について」の割合が、公共施設の掲示板で「子どもの遊び場について」の割合が高くなっています。

単位：％

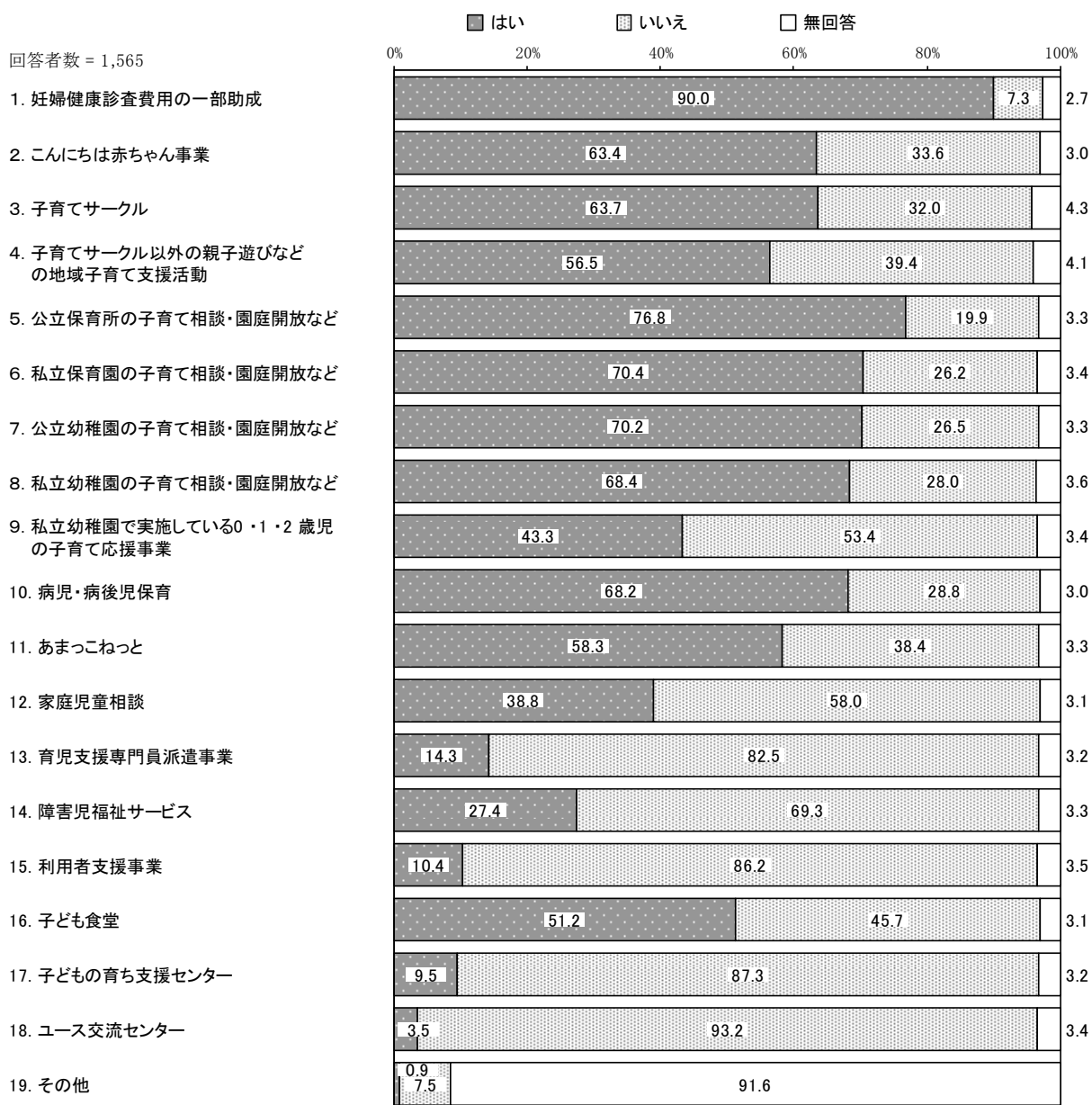
区分	有効回答数(件)	子どもの育て方全般について(トイレ・片付け・食事・起床など)	地域で子育て支援活動を行うグループ・団体の事業内容について	市が行う子育て支援の事業内容について	子どもに障害がある場合の支援について	病気の予防や発育について	子どもの食事や栄養について	各保育所(園)の保育サービスについて	各幼稚園の教育内容について	校区の小学校の教育内容について	子どもを預けられる施設やサービスについて	親同士が知り合える場について	子どもの遊び場について	子育ての悩みや不安の相談窓口について	不審者や犯罪など地域の安全について	虐待(含む)防止に関する情報	その他	無回答
市報あまがさき	389	19.5	31.4	47.0	13.4	18.3	16.2	26.0	27.8	43.4	37.3	19.0	49.9	17.0	22.1	2.3	1.3	2.1
市ホームページ(パソコン版)	97	22.7	22.7	48.5	15.5	17.5	17.5	27.8	28.9	41.2	45.4	14.4	36.1	18.6	25.8	3.1	2.1	1.0
市ホームページ(携帯電話版)	200	29.0	32.5	51.0	15.0	19.0	16.0	29.5	32.5	39.0	44.0	20.0	48.0	19.0	23.5	1.5	1.5	2.5
あまっこねっと	103	18.4	23.3	48.5	13.6	18.4	16.5	30.1	26.2	44.7	41.7	21.4	50.5	17.5	24.3	1.0	1.9	—
子育て支援などの情報誌	161	30.4	42.9	55.9	9.3	24.8	23.0	29.2	33.5	39.1	44.1	25.5	59.6	24.8	28.6	4.3	1.2	1.2
公共施設の掲示板	84	22.6	44.0	53.6	10.7	15.5	16.7	33.3	35.7	45.2	42.9	23.8	67.9	22.6	31.0	3.6	—	1.2
つどいの広場などの親子が集まる場にいるスタッフ	37	29.7	45.9	64.9	10.8	24.3	18.9	40.5	35.1	37.8	43.2	27.0	56.8	35.1	24.3	8.1	2.7	2.7
保育所(園)・幼稚園の先生	252	21.4	33.3	52.0	14.3	18.3	18.3	28.2	24.2	41.7	40.9	19.4	53.6	16.7	21.8	2.8	1.6	0.8
家族・知人	111	20.7	31.5	43.2	14.4	16.2	13.5	27.9	33.3	45.9	35.1	12.6	49.5	9.9	18.9	1.8	—	2.7
その他	33	36.4	36.4	39.4	18.2	36.4	30.3	42.4	27.3	36.4	48.5	18.2	54.5	24.2	36.4	3.0	6.1	—
特にない	29	27.6	3.4	31.0	13.8	13.8	13.8	20.7	31.0	17.2	27.6	17.2	41.4	13.8	20.7	3.4	3.4	—

問 31 下記の子育て支援に関わるサービスを知っていますか。また、これまでに利用したことや、今後利用したいかについてはどうですか。(項目ごとに、《①認知度・②利用状況・③今後の利用意向》のそれぞれについて、あてはまるもの1つに○を記入)
なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

①認知度

『1. 妊婦健康診査費用の一部助成』で「はい」の割合が、『18. ユース交流センター』で「いいえ」の割合が高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、『10. 病児・病後児保育』『11. あまっこねっと』で「はい」の割合が高くなっています。一方、『3. 子育てサークル』で「はい」の割合が、『10. 病児・病後児保育』『11. あまっこねっと』で「いいえ」の割合が低くなっています。



平成 25 年度調査

回答者数 = 1,132

1. 妊婦健康診査費用の一部助成

2. こんにちは赤ちゃん事業

3. 子育てサークル

4. 子育てサークル以外の親子遊びなどの地域子育て支援活動

5. 公立保育所の子育て相談・園庭開放など

6. 私立保育園の子育て相談・園庭開放など

7. 公立幼稚園の子育て相談・園庭開放など

8. 私立幼稚園の子育て相談・園庭開放など

9. 私立幼稚園で実施している0・1・2 歳児の子育て応援事業

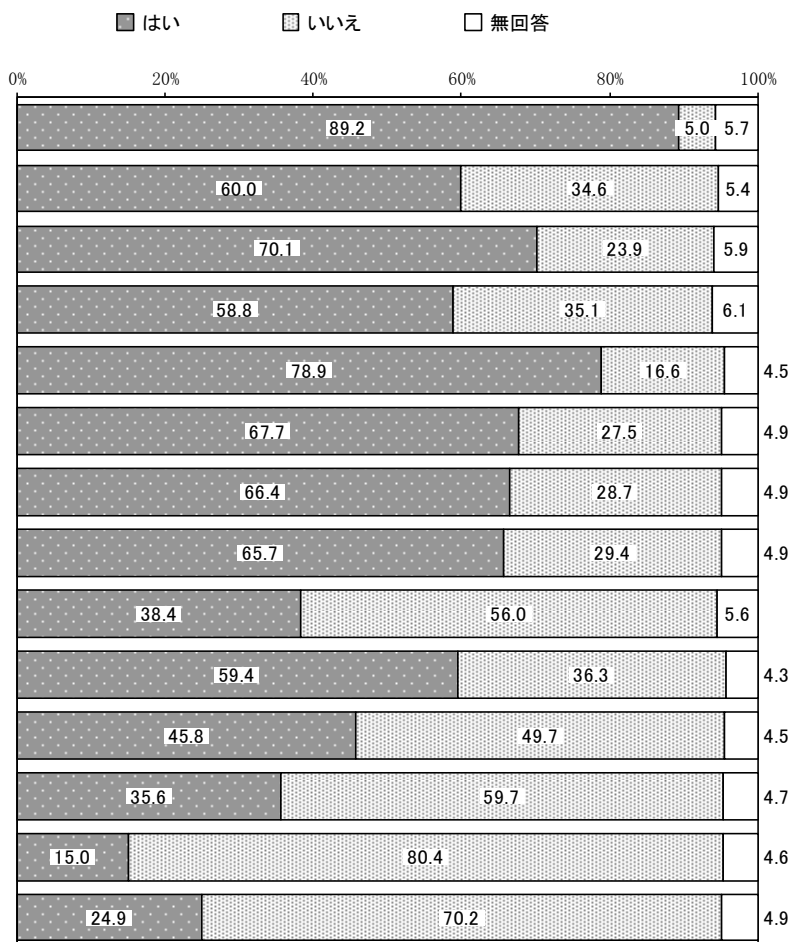
10. 病児・病後児保育

11. あまっこねっと

12. 家庭児童相談

13. 育児支援専門員派遣事業

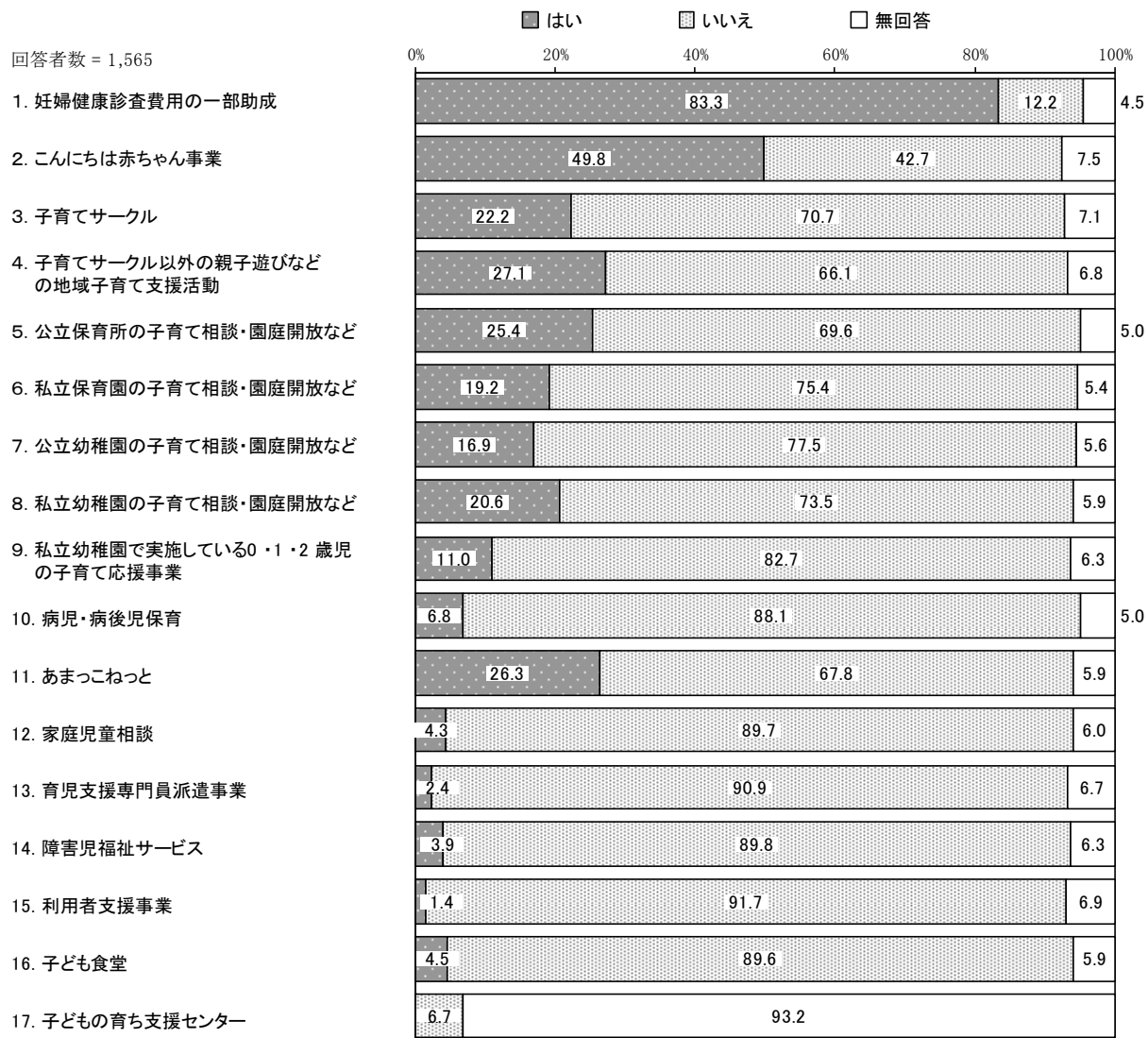
14. 障害児福祉サービス



②利用状況

『1. 妊婦健康診査費用の一部助成』で「はい」の割合が、『13. 育児支援専門員派遣事業』『15. 利用者支援事業』で「いいえ」の割合が高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、『11. あまっこねっと』で「はい」の割合が、『3. 子育てサークル』『5. 公立保育所の子育て相談・園庭開放など』で「いいえ」の割合が高くなっています。一方、『5. 公立保育所の子育て相談・園庭開放など』で「はい」の割合が、『11. あまっこねっと』で「いいえ」の割合が低くなっています。



平成 25 年度調査

回答者数 = 1,132

1. 妊婦健康診査費用の一部助成

2. こんにちは赤ちゃん事業

3. 子育てサークル

4. 子育てサークル以外の親子遊びなどの地域子育て支援活動

5. 公立保育所の子育て相談・園庭開放など

6. 私立保育園の子育て相談・園庭開放など

7. 公立幼稚園の子育て相談・園庭開放など

8. 私立幼稚園の子育て相談・園庭開放など

9. 私立幼稚園で実施している0・1・2 歳児の子育て応援事業

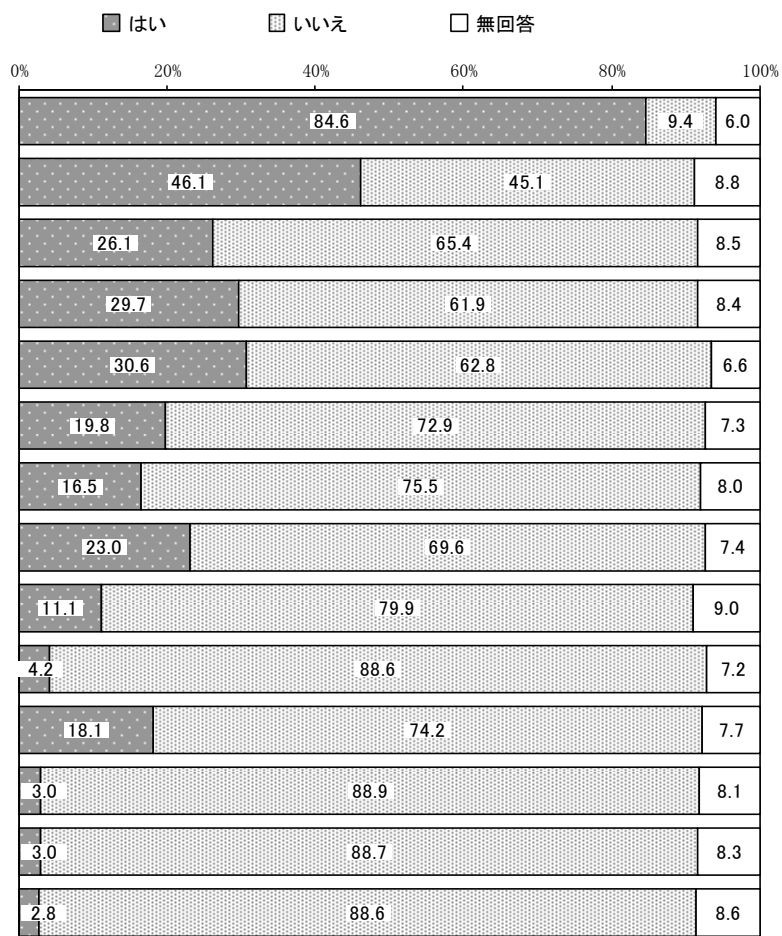
10. 病児・病後児保育

11. あまっこねっと

12. 家庭児童相談

13. 育児支援専門員派遣事業

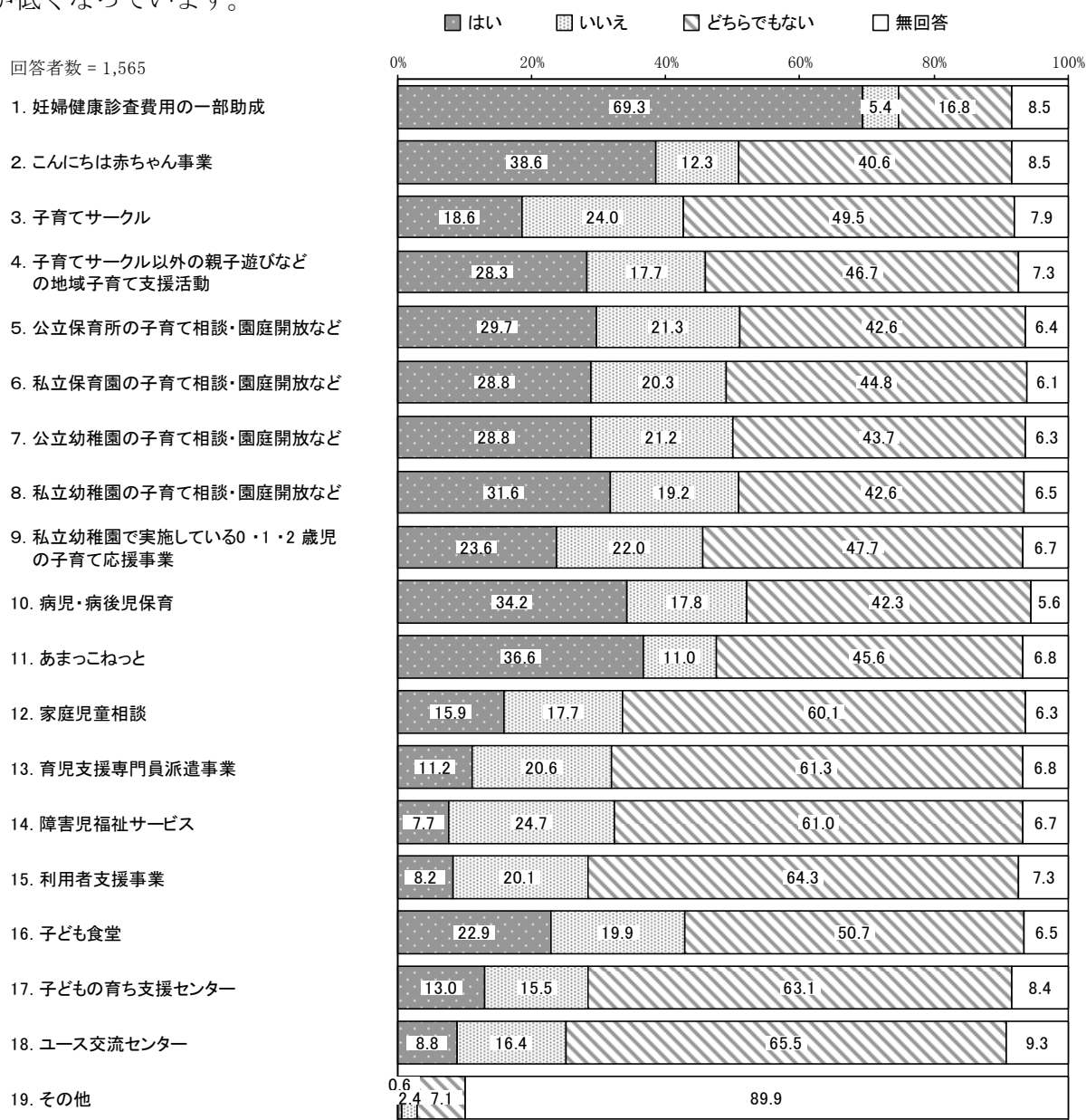
14. 障害児福祉サービス



③今後の利用意向

『1. 妊婦健康診査費用の一部助成』で「はい」の割合が、『18. ユース交流センター』で「どちらでもない」の割合が高くなっています。また、『14. 障害児福祉サービス』で「いいえ」の割合が高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、『1. 妊婦健康診査費用の一部助成』『2. こんにちは赤ちゃん事業』『3. 子育てサークル』『4. 子育てサークル以外の親子遊びなどの地域子育て支援活動』『5. 公立保育所の子育て相談・園庭開放など』『6. 私立保育園の子育て相談・園庭開放など』『7. 公立幼稚園の子育て相談・園庭開放など』『8. 私立幼稚園の子育て相談・園庭開放など』『9. 私立幼稚園で実施している0・1・2歳児の子育て応援事業』『12. 家庭児童相談』『13. 育児支援専門員派遣事業』『14. 障害児福祉サービス』で「どちらでもない」の割合が高くなっています。一方、『3. 子育てサークル』『4. 子育てサークル以外の親子遊びなどの地域子育て支援活動』『5. 公立保育所の子育て相談・園庭開放など』『6. 私立保育園の子育て相談・園庭開放など』『7. 公立幼稚園の子育て相談・園庭開放など』『8. 私立幼稚園の子育て相談・園庭開放など』『9. 私立幼稚園で実施している0・1・2歳児の子育て応援事業』で「はい」の割合が低くなっています。



平成 25 年度調査

回答者数 = 1,132

1. 妊婦健康診査費用の一部助成

2. こんにちは赤ちゃん事業

3. 子育てサークル

4. 子育てサークル以外の親子遊びなどの地域子育て支援活動

5. 公立保育所の子育て相談・園庭開放など

6. 私立保育園の子育て相談・園庭開放など

7. 公立幼稚園の子育て相談・園庭開放など

8. 私立幼稚園の子育て相談・園庭開放など

9. 私立幼稚園で実施している0・1・2 歳児の子育て応援事業

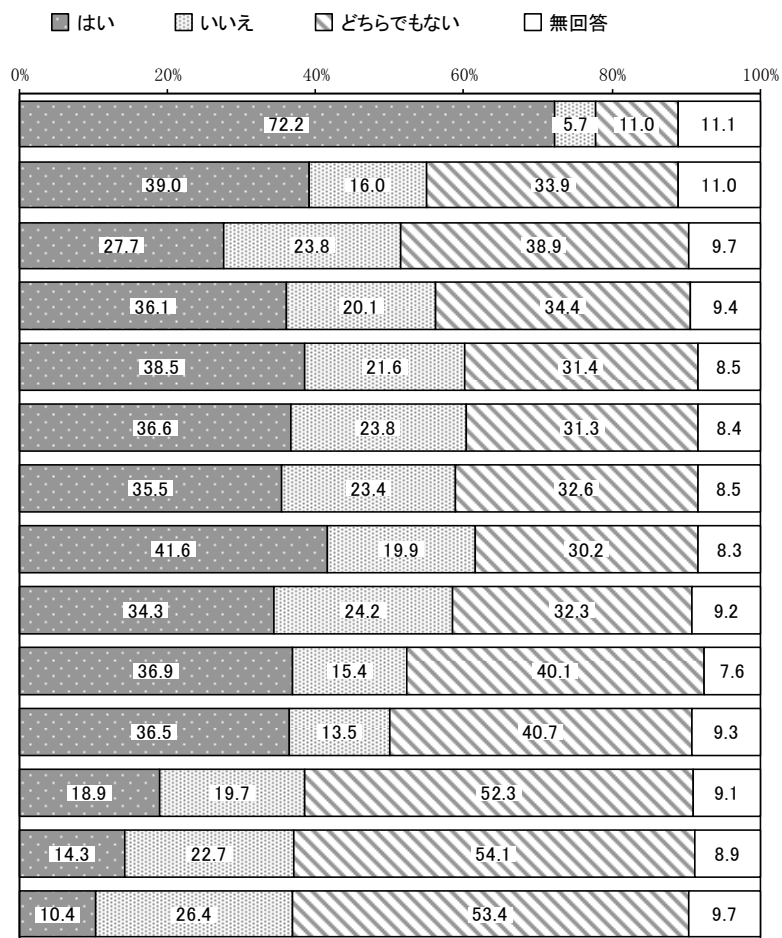
10. 病児・病後児保育

11. あまっこねっと

12. 家庭児童相談

13. 育児支援専門員派遣事業

14. 障害児福祉サービス



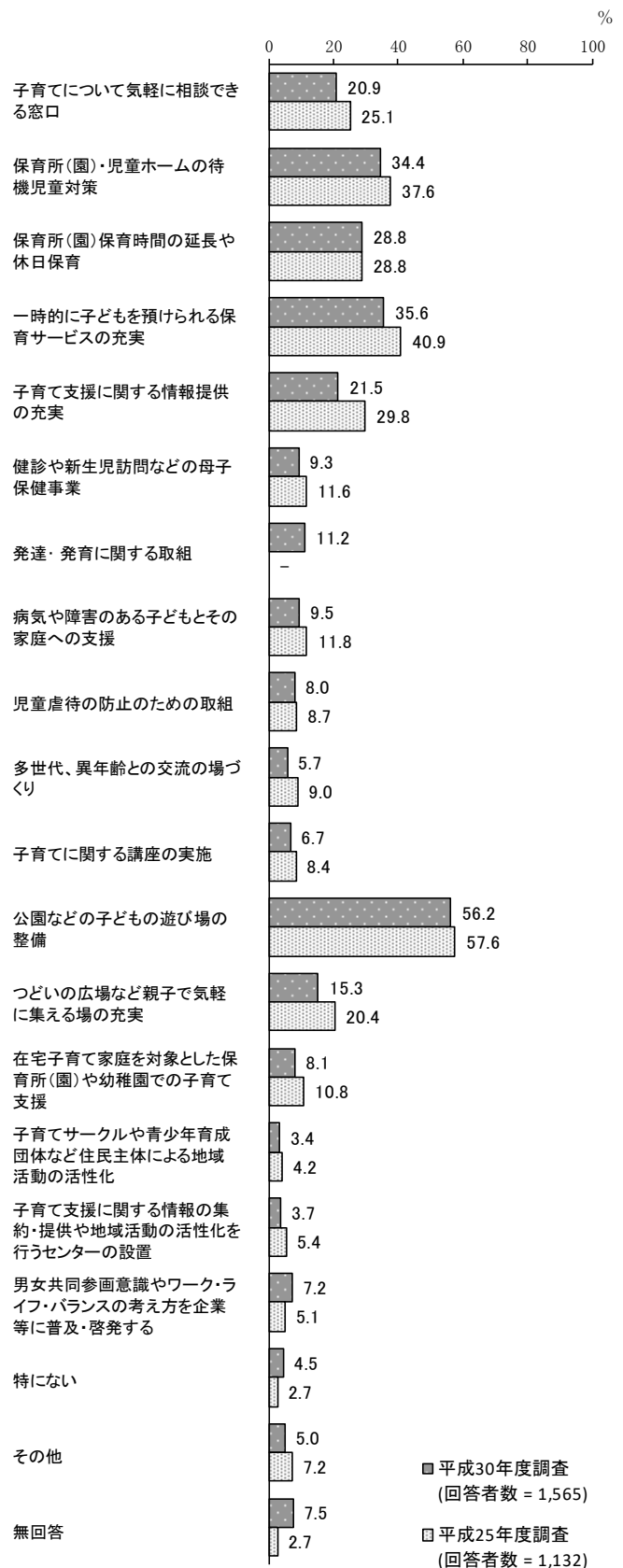
問 32 尼崎市の子ども・子育てに関する施策で、さらに充実させてほしいものをお選びください。（5つまで○を記入）

「公園などの子どもの遊び場の整備」の割合が56.2%と最も高く、次いで「一時的に子どもを預けられる保育サービスの充実」の割合が35.6%、

「保育所（園）・児童ホームの待機児童対策」の割合が34.4%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「発達・発育に関する取組」の割合が増加しています。一方、「一時的に子どもを預けられる保育サービスの充実」

「子育て支援に関する情報提供の充実」「つどいの広場など親子で気軽に集える場の充実」の割合が減少しています。

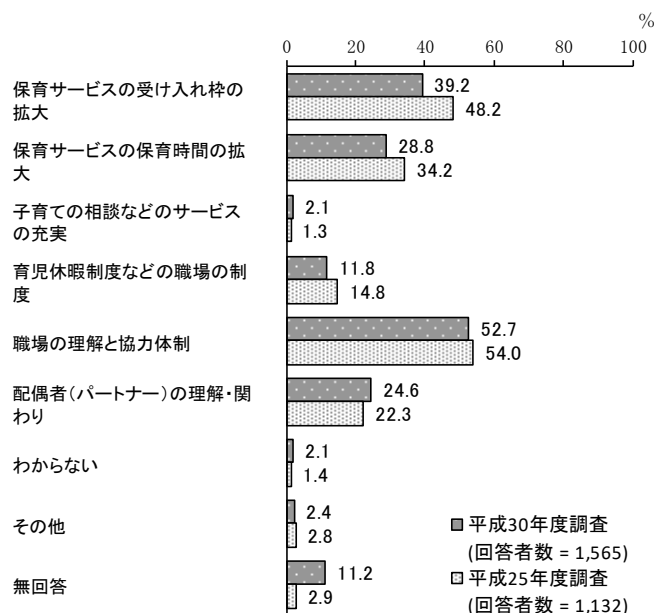


(12) その他

問 33 子育てしながら働き続けるために、必要と考えることはどのようなことですか。
(2つまで○を記入)

「職場の理解と協力体制」の割合が 52.7%と最も高く、次いで「保育サービスの受け入れ枠の拡大」の割合が 39.2%、「保育サービスの保育時間の拡大」の割合が 28.8%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「保育サービスの受け入れ枠の拡大」「保育サービスの保育時間の拡大」の割合が減少しています。



【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイム就労だが、産休・育休・介護休業中で「保育サービスの受け入れ枠の拡大」の割合が、フルタイム以外の就労だが、産休・育休・介護休業中で「職場の理解と協力体制」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	保育サービスの受け入れ枠の拡大	保育サービスの保育時間の拡大	子育ての相談などのサービスの充実	育児休暇制度などの職場の制度	職場の理解と協力体制	配偶者(パートナー)の理解・関わり	わからない	その他	無回答
フルタイムで就労中	385	35.8	35.8	0.8	13.8	52.5	23.6	0.8	2.6	13.5
フルタイム就労だが、産休・育休・介護休業中	103	53.4	36.9	2.9	13.6	41.7	17.5	—	2.9	11.7
フルタイム以外で就労中	412	36.2	31.6	2.2	9.7	52.9	28.9	0.7	2.9	10.2
フルタイム以外の就労だが、産休・育休・介護休業中	26	30.8	11.5	—	23.1	57.7	19.2	7.7	3.8	15.4
以前は就労していたが、現在は就労していない	517	41.8	22.4	3.1	12.0	55.9	24.8	2.9	1.7	9.3
これまで就労したことがない	27	29.6	14.8	—	—	51.9	33.3	11.1	—	11.1

【父親の就労状況別】

父親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイム以外で就労中で「保育サービスの受け入れ枠の拡大」の割合が、フルタイムで就労中で「職場の理解と協力体制」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	保育サービスの受け入れ枠の拡大	保育サービスの保育時間の拡大	子育ての相談などのサービスの充実	育児休暇制度などの職場の制度	職場の理解と協力体制	配偶者（パートナー）の理解・関わり	わからない	その他	無回答
フルタイムで就労中	1,383	39.3	28.3	2.0	12.0	53.1	26.0	1.8	2.5	11.1
フルタイム就労だが、産休・育休・介護休業中	5	20.0	40.0	—	20.0	60.0	60.0	—	—	—
フルタイム以外で就労中	11	54.5	18.2	—	9.1	45.5	27.3	—	—	18.2
フルタイム以外の就労だが、産休・育休・介護休業中	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	7	57.1	28.6	—	14.3	57.1	14.3	—	—	—
これまで就労したことがない	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

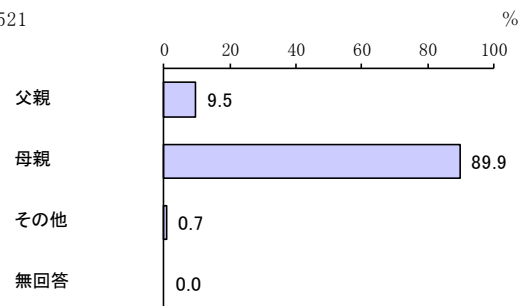
2 小学生（保護者）

（１）回答者属性

問１ この調査票をご記入いただく方（あなた）は、お子さんからみて、どなたですか。
（１つに○を記入）

「父親」の割合が 9.5%、「母親」の割合が 89.9%となっています。

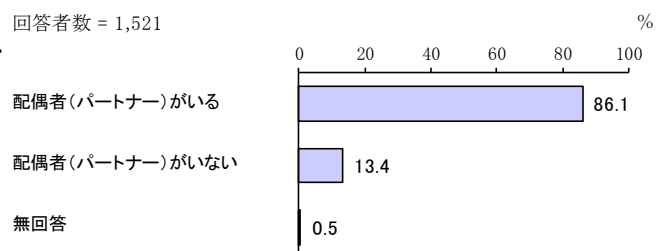
回答者数 = 1,521



問２ あなたの配偶者（パートナー）について、お答えください。（どちらかに○を記入）

「配偶者（パートナー）がいる」の割合が 86.1%、「配偶者（パートナー）がいない」の割合が 13.4%となっています。

回答者数 = 1,521

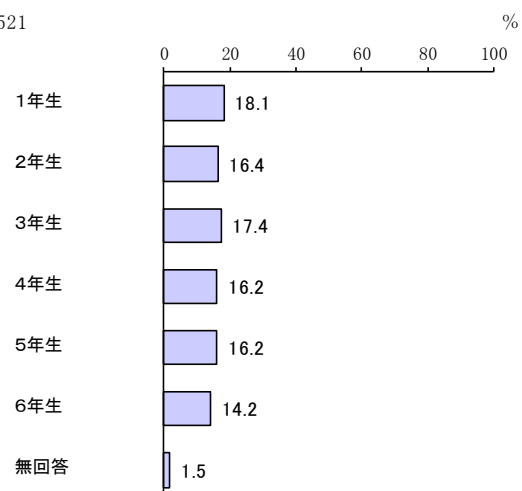


（２）お子さんとご家族の状況について

問３ お子さんの生年月をお書きください。（数字を記入）

「１年生」の割合が 18.1%と最も高く、次いで「３年生」の割合が 17.4%、「２年生」の割合が 16.4%となっています。

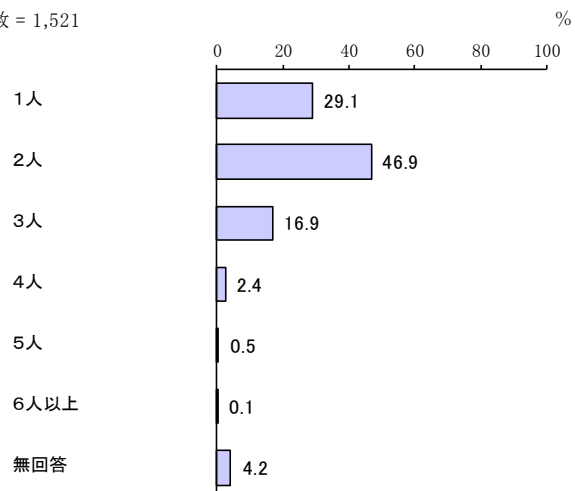
回答者数 = 1,521



問4 お子さんを含めたきょうだいの人数をお書きください。(数字を記入)

「2人」の割合が46.9%と最も高く、次いで「1人」の割合が29.1%、「3人」の割合が16.9%となっています。

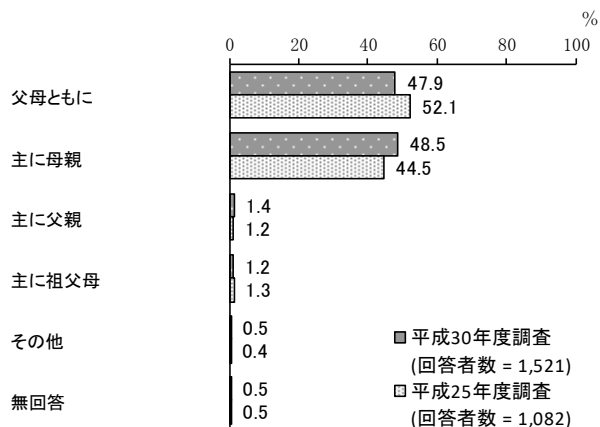
回答者数 = 1,521



問5 お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのは、そのお子さんからみて、どなたですか。(1つに○を記入)

「主に母親」の割合が48.5%と最も高く、次いで「父母ともに」の割合が47.9%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

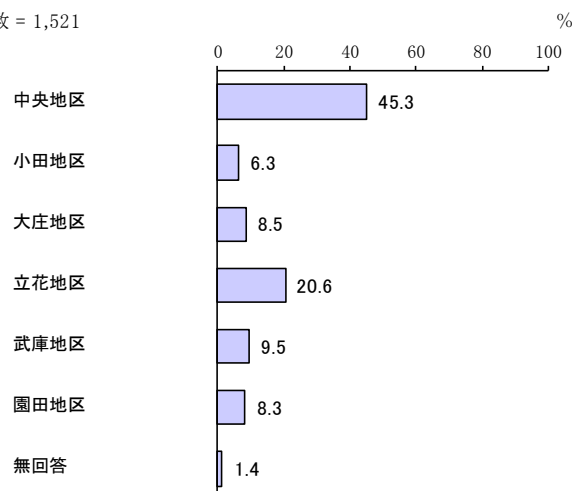


(3) お住まいの地域などについて

問6 お住まいの住所をお書きください。

「中央地区」の割合が45.3%と最も高く、次いで「立花地区」の割合が20.6%となっています。

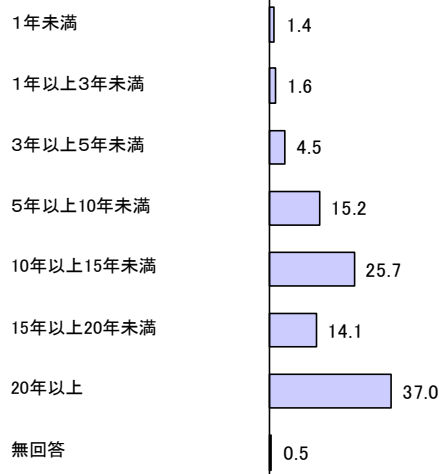
回答者数 = 1,521



問7 尼崎市にお住まいになって、通算して何年になりますか。（1つに○を記入）

「20年以上」の割合が37.0%と最も高く、次いで「10年以上15年未満」の割合が25.7%、「5年以上10年未満」の割合が15.2%となっています。

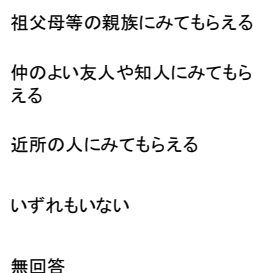
回答者数 = 1,521



問8 緊急時や用事の際に、お子さんをみてくれる人はいますか。（あてはまるものすべてに○を記入）

「祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が74.3%と最も高く、次いで「仲のよい友人や知人にみてもらえる」の割合が22.9%、「いずれもない」の割合が14.6%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



■ 平成30年度調査
(回答者数 = 1,521)
□ 平成25年度調査
(回答者数 = 1,082)

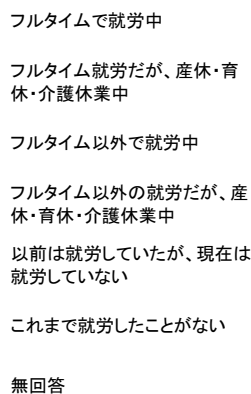
(4) お子さんの保護者の就労状況について

問9 宛名のお子さんの母親・父親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、お答えください。（あてはまるものに○を記入）

ア 母親

「フルタイム以外で就労中」の割合が42.2%と最も高く、次いで「フルタイムで就労中」の割合が29.1%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が18.6%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「フルタイム以外で就労中」の割合が増加しています。一方、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が減少しています。

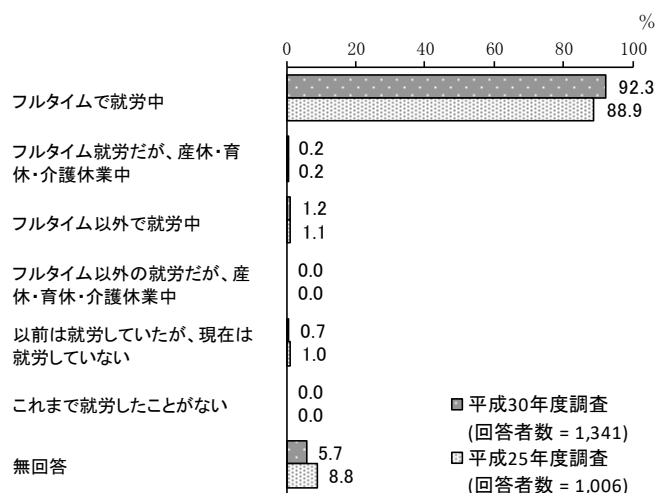


■ 平成30年度調査
(回答者数 = 1,500)
□ 平成25年度調査
(回答者数 = 1,055)

イ 父親

「フルタイムで就労中」の割合が 92.3%と最も高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

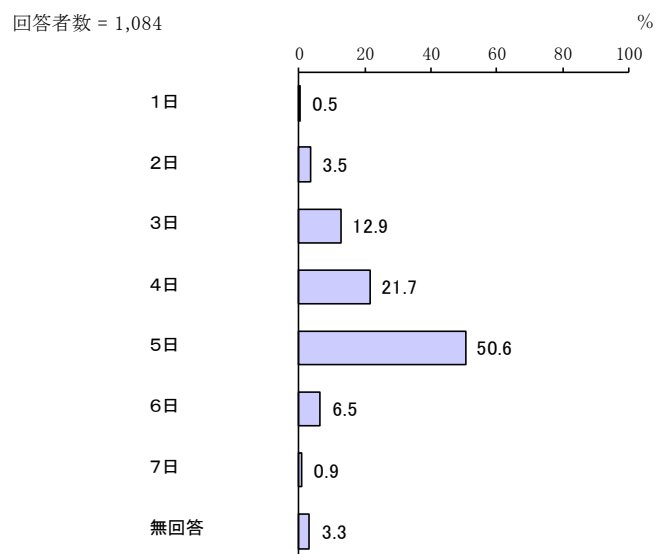


問 9 - 1 就労されている場合、通常時の就労日数や土曜・日曜の就労の有無、就労時間、家を出る時刻について、お答えください。
(あてはまるものに○、数字を記入)

ア 母親

(ア) 1 週当たり就労日数

「5 日」の割合が 50.6%と最も高く、次いで「4 日」の割合が 21.7%、「3 日」の割合が 12.9%となっています。



【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイムで就労中で「5日」の割合が、フルタイム以外で就労中で「4日」の割合が高くなっています。

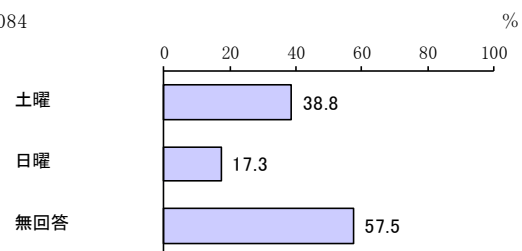
単位：％

区分	回答数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
フルタイムで就労中	437	0.2	—	0.5	2.7	80.5	12.6	1.4	2.1
フルタイム就労だが、産休・育休・介護休業中	12	—	—	33.3	16.7	41.7	8.3	—	—
フルタイム以外で就労中	633	0.6	6.0	21.2	35.1	30.0	2.4	0.6	4.1
フルタイム以外の就労だが、産休・育休・介護休業中	3	—	—	—	—	66.7	—	—	33.3
以前は就労していたが、現在は就労していない	—	—	—	—	—	—	—	—	—
これまで就労したことがない	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(イ) 土曜・日曜の就労の有無

回答者数 = 1,084

「土曜」の割合が 38.8%、「日曜」の割合が 17.3%となっています。



【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイム就労だが、産休・育休・介護休業中で「土曜」の割合が、フルタイムで就労中で「日曜」の割合が高くなっています。

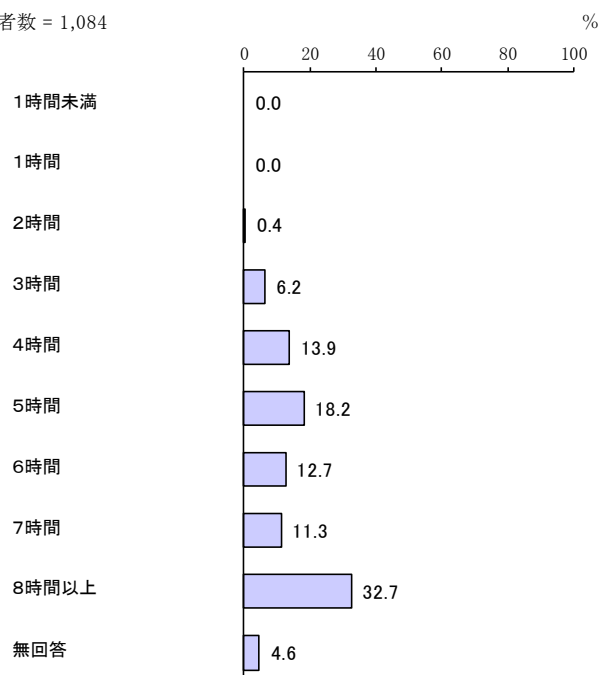
単位：％

区分	回答数 (件)	土曜	日曜	無回答
フルタイムで就労中	437	46.5	20.8	50.3
フルタイム就労だが、産休・育休・介護休業中	12	50.0	16.7	50.0
フルタイム以外で就労中	633	33.3	15.0	62.6
フルタイム以外の就労だが、産休・育休・介護休業中	3	33.3	—	66.7
以前は就労していたが、現在は就労していない	—	—	—	—
これまで就労したことがない	—	—	—	—

(ウ) 1日当たり就労時間

「8時間以上」の割合が32.7%と最も高く、次いで「5時間」の割合が18.2%、「4時間」の割合が13.9%となっています。

回答者数 = 1,084



【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイムで就労中で「8時間以上」の割合が、フルタイム以外で就労中で「5時間」の割合が高くなっています。

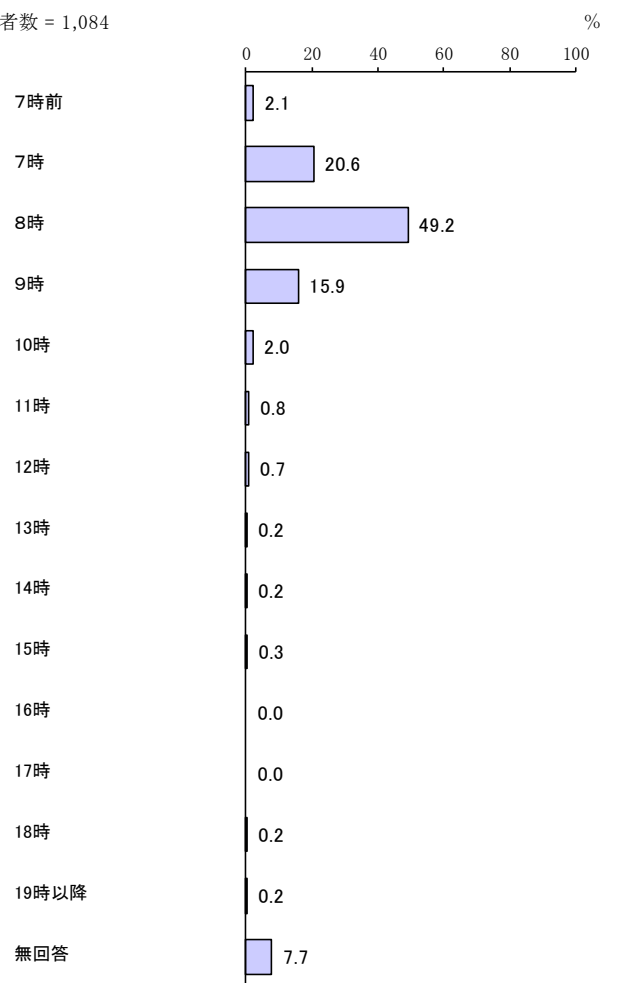
単位：%

区分	回答数 (件)	1時間未満	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間以上	無回答
フルタイムで就労中	437	—	—	—	0.2	0.7	0.5	2.5	18.5	75.1	2.5
フルタイム就労だが、 産休・育休・介護休業中	12	—	—	—	8.3	16.7	16.7	16.7	16.7	25.0	—
フルタイム以外で 就労中	633	—	—	0.6	10.3	22.9	30.5	19.6	6.2	3.9	6.0
フルタイム以外の 就労だが、産休・育休・ 介護休業中	3	—	—	—	—	33.3	—	33.3	—	—	33.3
以前は就労して いたが、現在は就労 していない	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
これまで就労した ことがない	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(エ) 家を出る時刻

「8時」の割合が49.2%と最も高く、次いで「7時」の割合が20.6%、「9時」の割合が15.9%となっています。

回答者数 = 1,084



【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイム就労だが、産休・育休・介護休業中で「8時」の割合が、フルタイム以外で就労中で「9時」の割合が高くなっています。

単位：％

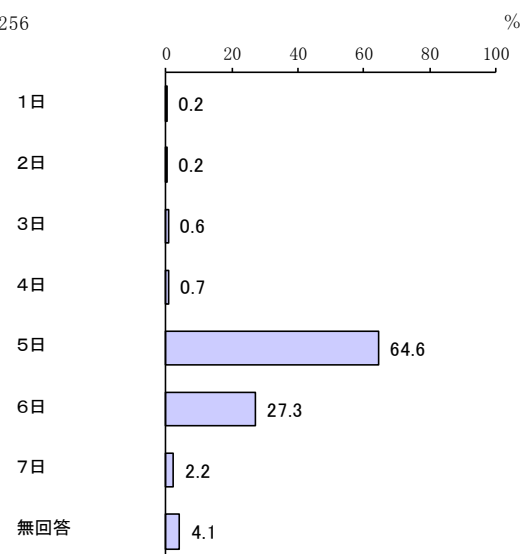
区分	回答数 (件)	7 時 前	7 時	8 時	9 時	10 時	11 時	12 時	13 時	14 時	15 時	16 時	17 時	18 時	19 時 以降	無 回 答
フルタイムで 就労中	437	2.5	38.0	44.6	7.8	0.7	0.5	0.2	0.2	—	—	—	—	0.2	0.5	4.8
フルタイム 就労だが、 産休・育休・ 介護休業中	12	—	16.7	83.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
フルタイム 以外で就労中	633	1.9	8.7	51.8	21.6	3.0	1.1	1.1	0.2	0.3	0.5	—	—	0.2	—	9.6
フルタイム 以外の就労 だが、産休・ 育休・介護 休業中	3	—	—	33.3	33.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	33.3
以前は就労 していたが、 現在は就労 していない	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
これまで 就労した ことがない	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

イ 父親

(ア) 1週当たり就労日数

「5日」の割合が64.6%と最も高く、次いで「6日」の割合が27.3%となっています。

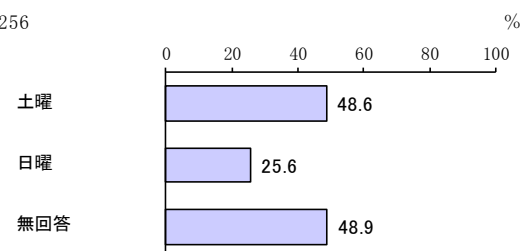
回答者数 = 1,256



(イ) 土曜・日曜の就労の有無

「土曜」の割合が 48.6%、「日曜」の割合が 25.6%となっています。

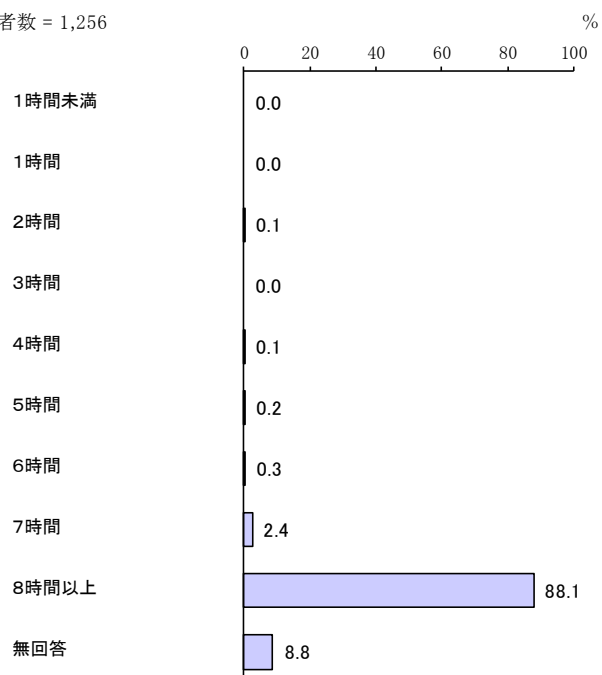
回答者数 = 1,256



(ウ) 1日当たり就労時間

「8時間以上」の割合が 88.1%と最も高くなっています。

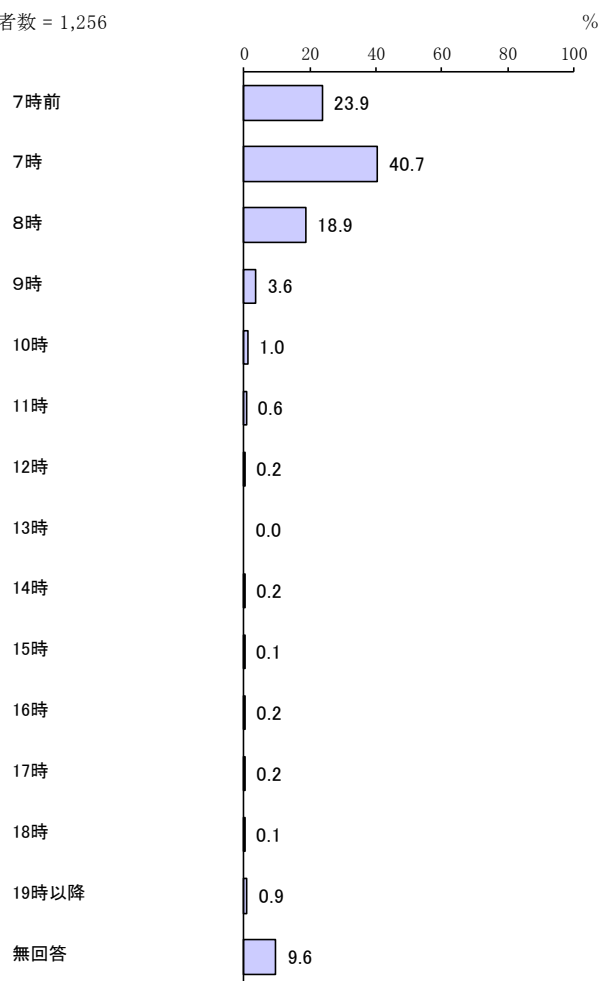
回答者数 = 1,256



(エ) 家を出る時刻

「7時」の割合が40.7%と最も高く、次いで「7時前」の割合が23.9%、「8時」の割合が18.9%となっています。

回答者数 = 1,256

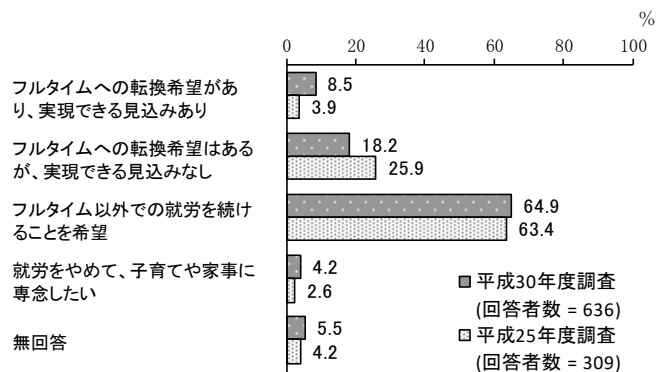


問9-2 フルタイム以外で就労されている場合（問9で太枠内の斜線の欄内に○がついた方）は、フルタイムへの転換希望等について、お答えください。
（あてはまるものに○を記入）

ア 母親

「フルタイム以外での就労を続けることを希望」の割合が64.9%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みなし」の割合が18.2%となっています。

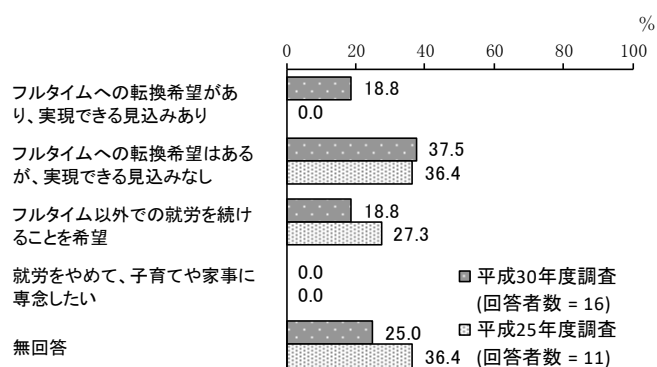
平成25年度調査と比較すると、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みなし」の割合が減少しています。



イ 父親

「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みなし」の割合が37.5%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みあり」、「フルタイム以外での就労を続けることを希望」の割合が18.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みあり」の割合が増加しています。一方、「フルタイム以外での就労を続けることを希望」の割合が減少しています。

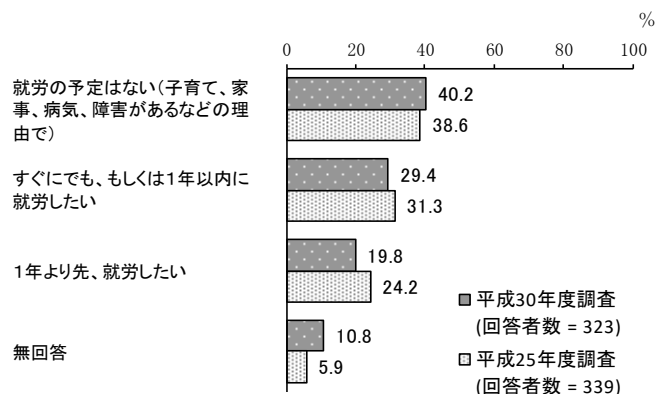


問10 就労についての希望をお答えください。(あてはまるものに○を記入)

ア 母親

「就労の予定はない(子育て、家事、病気、障害があるなどの理由で)」の割合が40.2%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が29.4%、「1年より先、就労したい」の割合が19.8%となっています。

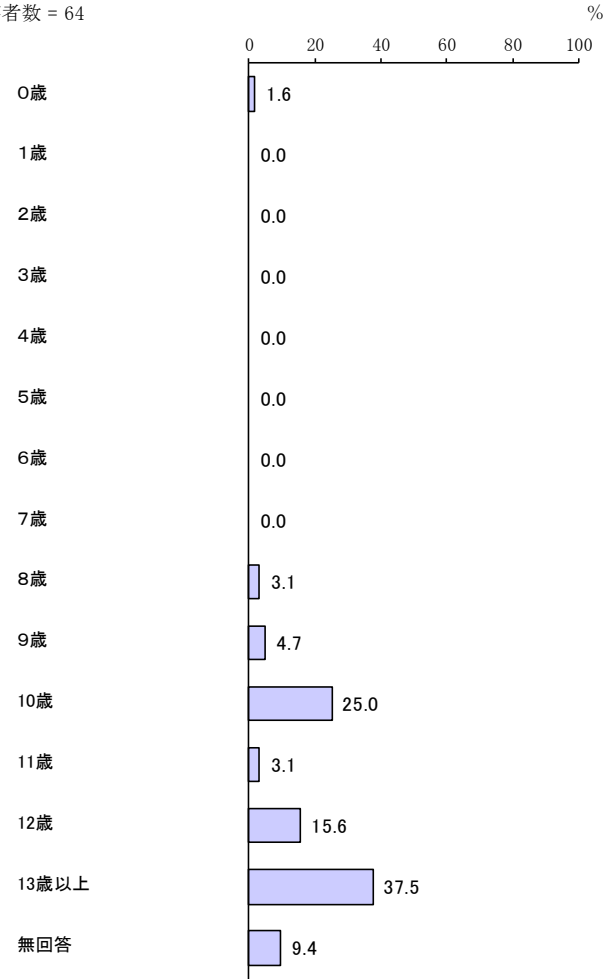
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



就労開始希望時期

「13 歳以上」の割合が 37.5%と最も高く、次いで「10 歳」の割合が 25.0%、「12 歳」の割合が 15.6%となっています。

回答者数 = 64



イ 父親

「就労の予定はない（子育て、家事、病気、障害があるなどの理由で）」が 5 件となっています。「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が3件、「1年より先、就労したい」が1件となっています。

就労開始希望時期

「12 歳」が 1 件となっています。

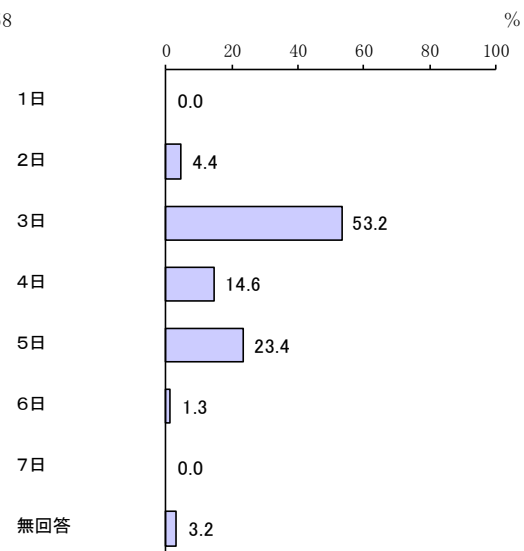
問 10-1 問 10 で太枠内に○がついた場合に、希望する就労日数や土曜・日曜の就労希望の有無、就労時間をお答えください。
(あてはまるものに○、数字を記入)

ア 母親

(ア) 1 週当たり希望就労日数

「3 日」の割合が 53.2%と最も高く、次いで「5 日」の割合が 23.4%、「4 日」の割合が 14.6%となっています。

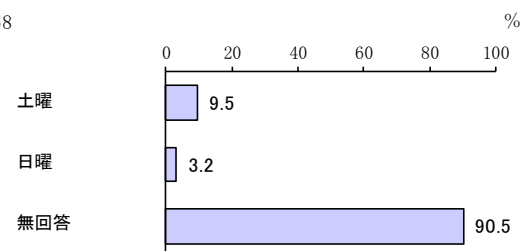
回答者数 = 158



(イ) 土曜・日曜の希望就労の有無

「土曜」の割合が 9.5%、「日曜」の割合が 3.2%となっています。

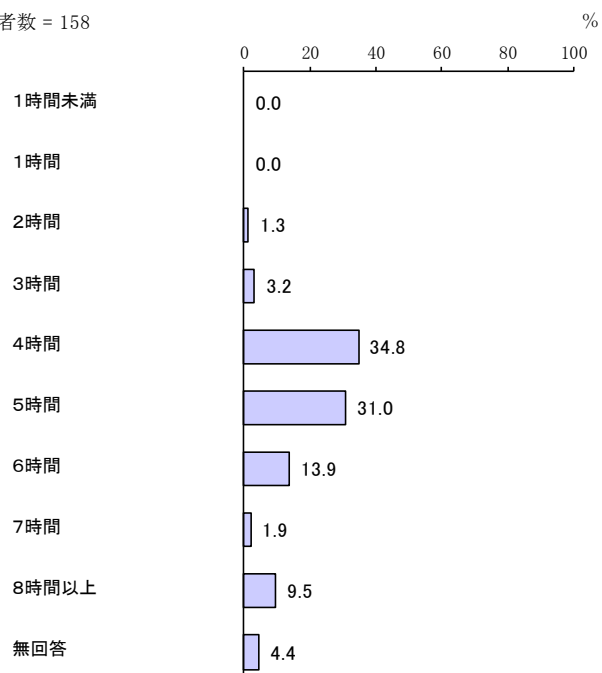
回答者数 = 158



(ウ) 1 日当たり希望就労時間

「4 時間」の割合が 34.8%と最も高く、次いで「5 時間」の割合が 31.0%、「6 時間」の割合が 13.9%となっています。

回答者数 = 158



イ 父親

(ア) 1週当たり希望就労日数

「5日」が4件となっています。

(イ) 土曜・日曜の希望就労の有無

「土曜」が1件となっています。

(ウ) 1日当たり希望就労時間

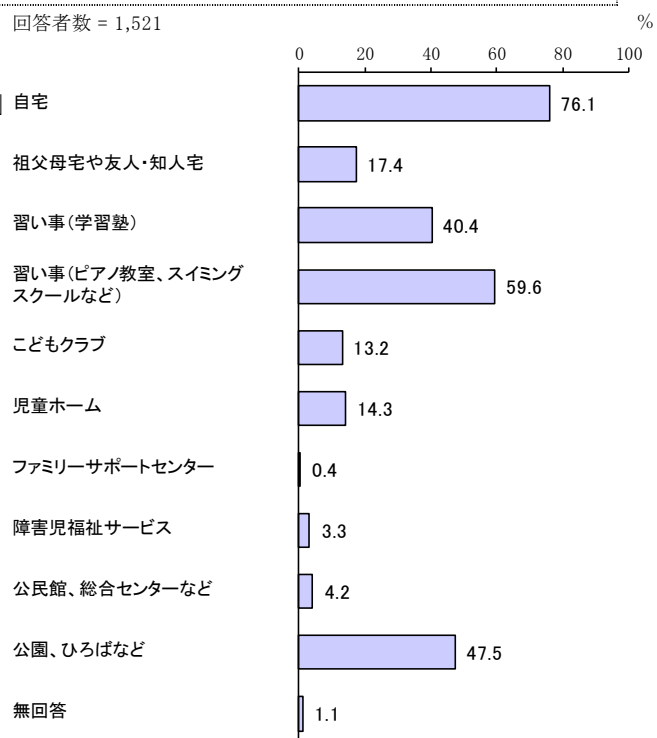
「8時間以上」が4件となっています。

(5) 放課後の過ごし方について

問 11 お子さんを放課後どのような場所で過ごさせていますか。また、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○、数字を記入)

「自宅」の割合が76.1%と最も高く、次いで「習い事(ピアノ教室、スイミングスクールなど)」の割合が59.6%、「公園、ひろばなど」の割合が47.5%となっています。

回答者数 = 1,521



ア 現状

放課後の過ごさせ方

『2. 祖父母宅や友人・知人宅』で「1日」の割合が、『3. 習い事（学習塾）』で「2日」の割合が高くなっています。また、『6. 児童ホーム』で「5日」の割合が高くなっています。

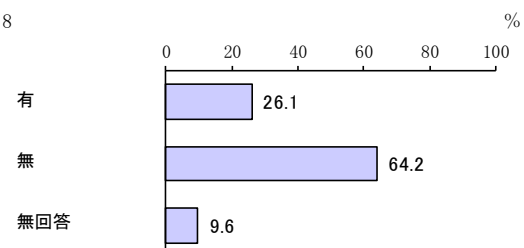
単位：％

区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
1.自宅	1157	15.0	17.3	16.0	9.9	28.9	2.7	6.3	4.0
2.祖父母宅や友人・知人宅	265	41.5	23.4	9.4	4.2	9.4	2.3	1.1	8.7
3.習い事(学習塾)	614	20.4	37.1	14.7	5.4	1.5	0.8	0.2	20.0
4.習い事(ピアノ教室、 スイミングスクールなど)	907	35.0	28.8	12.9	9.9	4.0	1.5	－	7.9
5.こどもクラブ	201	27.9	14.9	8.0	5.0	10.0	1.0	－	33.3
6.児童ホーム	218	1.4	1.8	8.3	13.3	60.6	6.4	－	8.3
7.ファミリーサポートセンター	6	－	16.7	－	－	－	－	－	83.3
8.障害児福祉サービス	50	16.0	16.0	16.0	16.0	18.0	8.0	－	10.0
9.公民館、総合センターなど	64	34.4	6.3	4.7	－	1.6	－	－	53.1
10.公園、ひろばなど	723	26.4	22.4	14.5	7.5	8.7	0.8	0.7	18.9

(ア) 児童ホームの土曜日の利用の有無

「有」の割合が 26.1%、「無」の割合が 64.2%
となっています。

回答者数 = 218



イ 希望

放課後の過ごしませ方

『9. 公民館、総合センターなど』で「1日」の割合が、『7. ファミリーサポートセンター』で「2日」の割合が高くなっています。また、『6. 児童ホーム』で「5日」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
1.自宅	1157	9.7	13.1	12.2	4.5	11.1	0.5	2.8	46.2
2.祖父母宅や友人・知人宅	265	28.7	14.3	3.0	0.8	3.0	0.8	0.4	49.1
3.習い事(学習塾)	614	18.1	28.8	10.6	2.3	0.8	－	－	39.4
4.習い事(ピアノ教室、 スイミングスクールなど)	907	22.3	23.7	9.0	4.4	1.5	0.6	－	38.5
5.こどもクラブ	201	15.9	16.9	11.4	4.0	12.4	1.0	－	38.3
6.児童ホーム	218	0.9	4.1	7.8	5.5	31.7	4.6	－	45.4
7.ファミリーサポートセンター	6	－	33.3	16.7	16.7	－	16.7	－	16.7
8.障害児福祉サービス	50	6.0	6.0	24.0	16.0	12.0	4.0	－	32.0
9.公民館、総合センターなど	64	39.1	23.4	4.7	－	－	－	－	32.8
10.公園、ひろばなど	723	13.8	23.2	16.9	5.4	7.6	0.4	0.6	32.1

問 12 「こどもクラブ」及び「児童ホーム」の利用について、次の①②にお答えください。

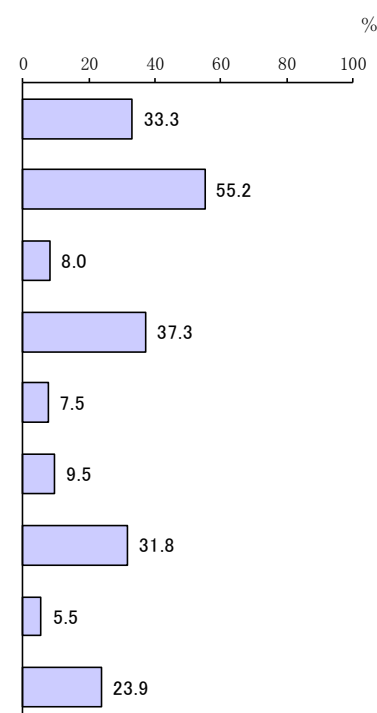
ア こどもクラブ（放課後子ども教室）

①利用している理由

「子どもが学校敷地内の室内や校庭などで安心して遊べるから」の割合が 55.2%と最も高く、次いで「仕事などで放課後に保護者がいないから」の割合が 37.3%、「きょうだいや友だちが行っているから」の割合が 33.3%となっています。

回答者数 = 201

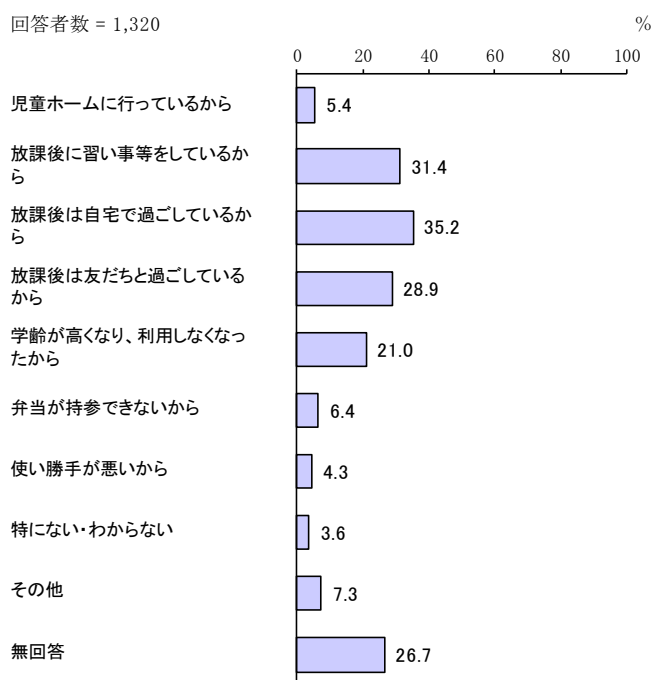
きょうだいや友だちが行っているから
子どもが学校敷地内の室内や校庭などで安心して遊べるから
近所に遊び場が少ないから
仕事などで放課後に保護者がいないから
児童ホームに空きがないから
落ち着いて勉強(宿題)ができるから
いろいろな体験活動ができるから
その他
無回答



②利用していない理由

「放課後は自宅で過ごしているから」の割合が35.2%と最も高く、次いで「放課後に習い事等をしているから」の割合が31.4%、「放課後は友だちと過ごしているから」の割合が28.9%となっています。

回答者数 = 1,320

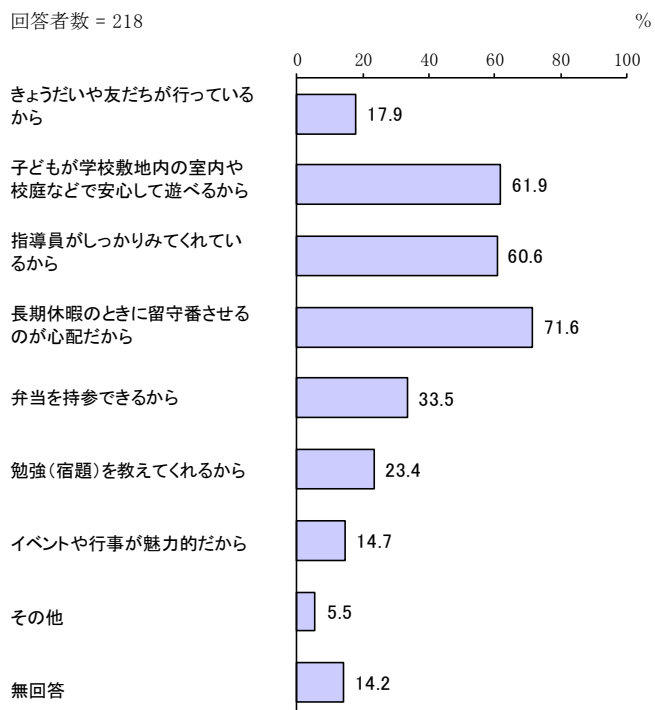


イ 児童ホーム（放課後児童クラブ）

①利用している理由

「長期休暇のときに留守番させるのが心配だから」の割合が71.6%と最も高く、次いで「子どもが学校敷地内の室内や校庭などで安心して遊べるから」の割合が61.9%、「指導員がしっかりみてくれているから」の割合が60.6%となっています。

回答者数 = 218

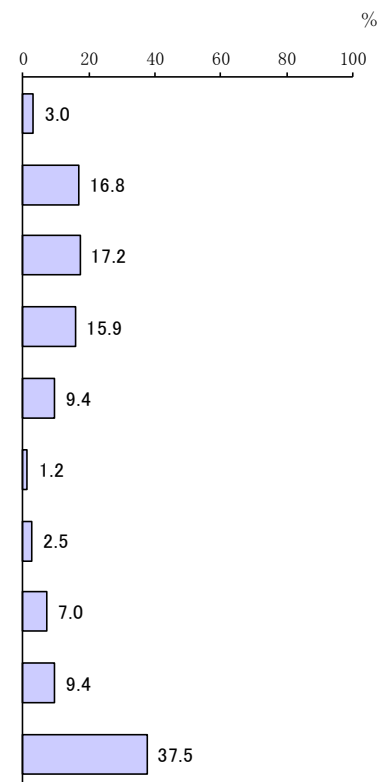


②利用していない理由

「働いていないから」の割合が17.2%と最も高く、次いで「放課後に習い事等をしているから」の割合が16.8%、「働いているが、子どもだけで留守番させても大丈夫と思うから」の割合が15.9%となっています。

回答者数 = 1,303

児童ホームに空きがないから
放課後に習い事等をしているから
働いていないから
働いているが、子どもだけで留守番させても大丈夫と思うから
祖父母等見てくれる人がいるから
子どもに病気や障害があるから
使い勝手が悪いから
特にない・わからない
その他
無回答



【児童ホームを利用していない理由別】

児童ホームを利用していない理由別でみると、他に比べ、子どもに病気や障害があるからで「1年生」「3年生」の割合が、児童ホームに空きがないから、使い勝手が悪いからで「4年生」の割合が高くなっています。また、働いているが、子どもだけで留守番させても大丈夫と思うから、祖父母等見てくれる人がいるからで「5年生」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答数 (件)	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	無回答
児童ホームに空きがないから	39	10.3	7.7	20.5	28.2	23.1	10.3	—
放課後に習い事等をしているから	219	8.7	11.0	17.4	18.3	24.7	20.1	—
働いていないから	224	19.6	14.7	20.1	17.9	11.6	13.8	2.2
働いているが、子どもだけで留守番させても大丈夫と思うから	207	5.3	7.7	11.6	21.3	28.0	25.6	0.5
祖父母等見てくれる人がいるから	123	8.9	11.4	13.8	19.5	27.6	18.7	—
子どもに病気や障害があるから	16	25.0	6.3	31.3	12.5	18.8	6.3	—
使い勝手が悪いから	32	12.5	25.0	9.4	28.1	12.5	12.5	—
特にない・わからない	91	14.3	5.5	22.0	22.0	16.5	18.7	1.1
その他	123	14.6	16.3	17.9	18.7	21.1	10.6	0.8

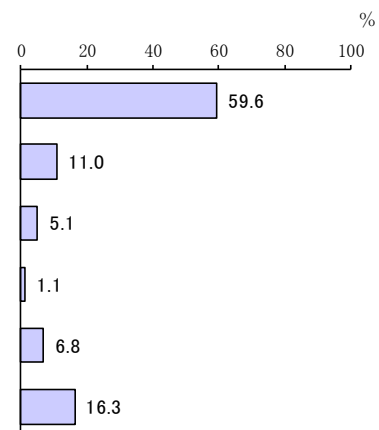
問 13 お子さんについて、平日や土曜日、あるいはお子さんの夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の児童ホームの利用希望はありますか。(あてはまるものすべてに○)
また、太枠内に○をつけた方は、①利用したい時間帯と②閉まる時間(現在平日 18 時)の延長を希望する場合、その希望時間をお書きください。(数字を記入) なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

ア 平日

回答者数 = 1,521

「利用する必要はない」の割合が 59.6%と最も高く、次いで「低学年(1～3年生)の間は利用したい」の割合が 11.0%となっています。

利用する必要はない
低学年(1～3年生)の間は利用したい
4年生の終わりまで利用したい
5年生の終わりまで利用したい
6年生の終わりまで利用したい
無回答

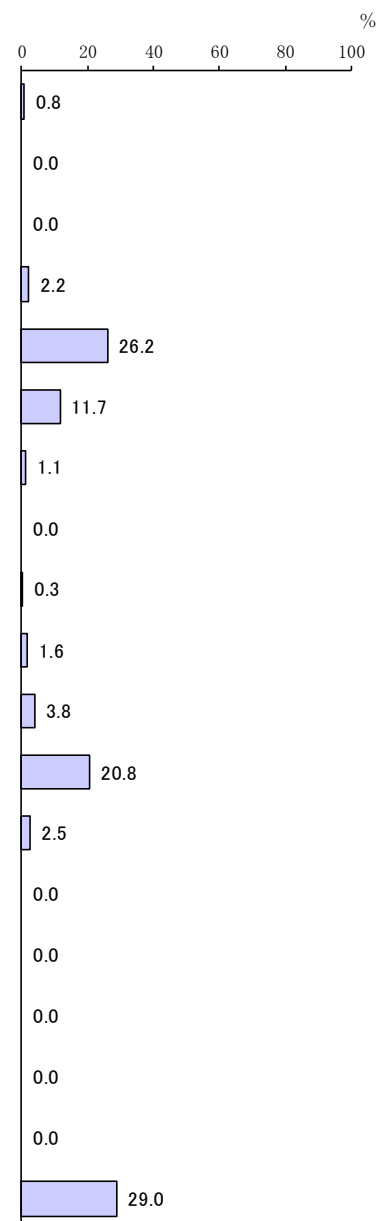


(ア) 利用開始時刻

回答者数 = 366

「8時」の割合が 26.2%と最も高く、次いで「15時」の割合が 20.8%、「9時」の割合が 11.7%となっています。

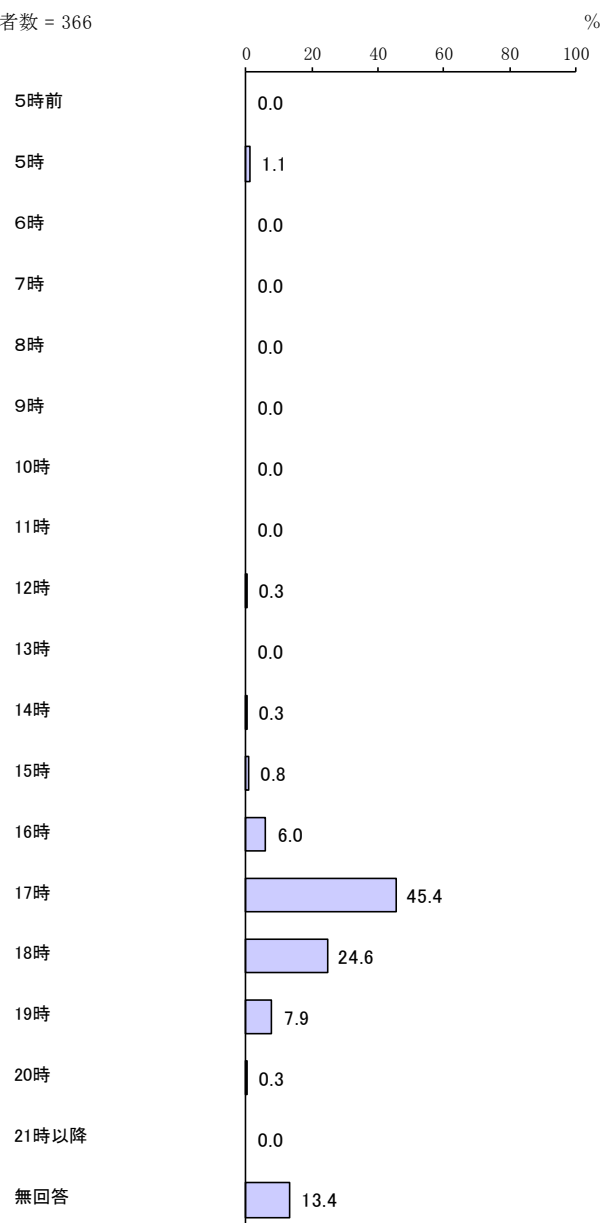
5時前
5時
6時
7時
8時
9時
10時
11時
12時
13時
14時
15時
16時
17時
18時
19時
20時
21時以降
無回答



(イ) 利用終了時刻

「17 時」の割合が 45.4%と最も高く、次いで
「18 時」の割合が 24.6%となっています。

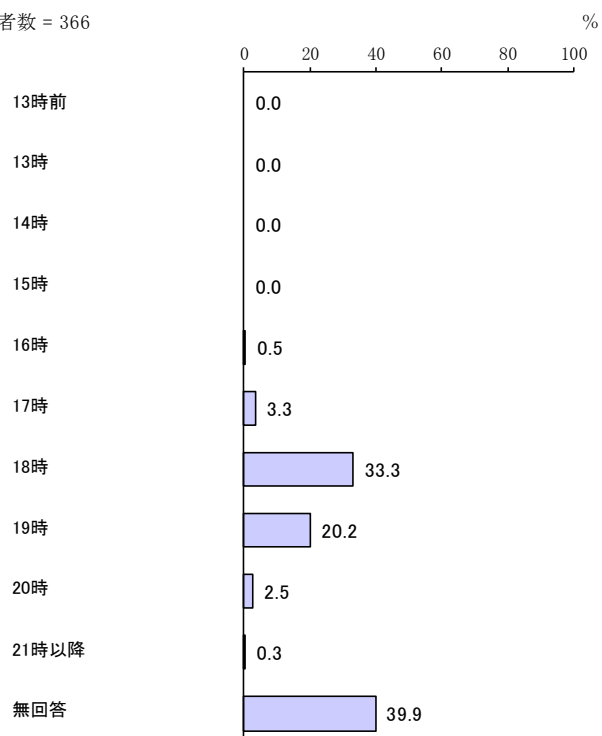
回答者数 = 366



(ウ) 希望する閉まる時間（現在 18 時）

「18 時」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「19 時」の割合が 20.2%となっています。

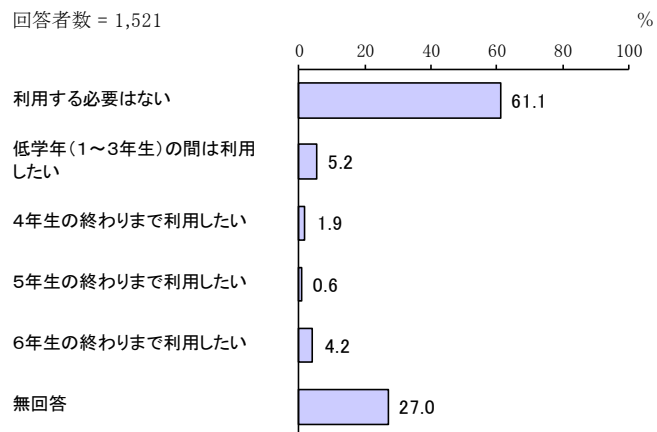
回答者数 = 366



イ 土曜日

「利用する必要はない」の割合が 61.1%と最も高くなっています。

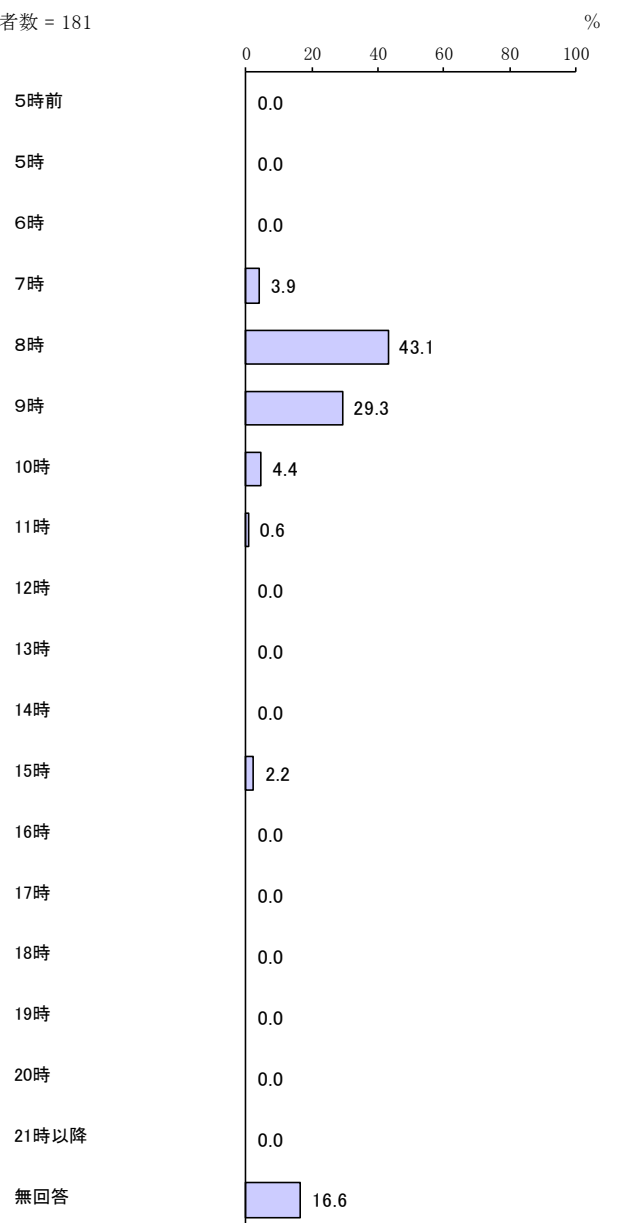
回答者数 = 1,521



(ア) 利用開始時刻

「8時」の割合が43.1%と最も高く、次いで
「9時」の割合が29.3%となっています。

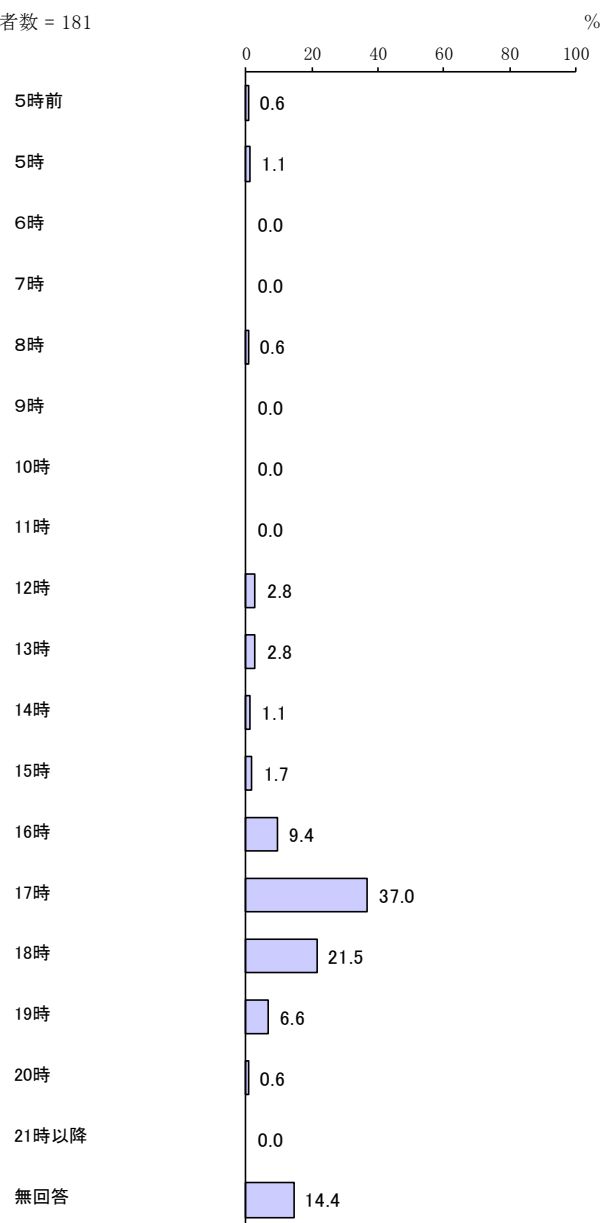
回答者数 = 181



(イ) 利用終了時刻

「17 時」の割合が 37.0%と最も高く、次いで
「18 時」の割合が 21.5%となっています。

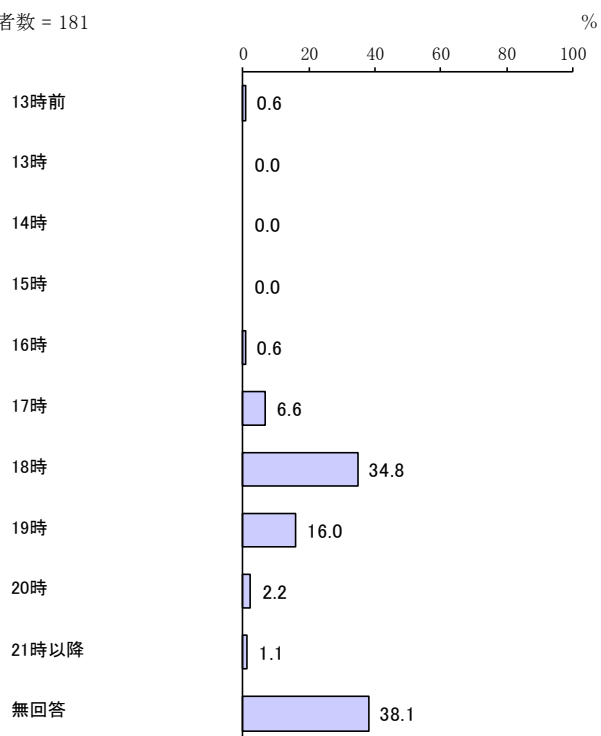
回答者数 = 181



(ウ) 希望する閉まる時間（現在 18 時）

「18 時」の割合が 34.8%と最も高く、次いで「19 時」の割合が 16.0%となっています。

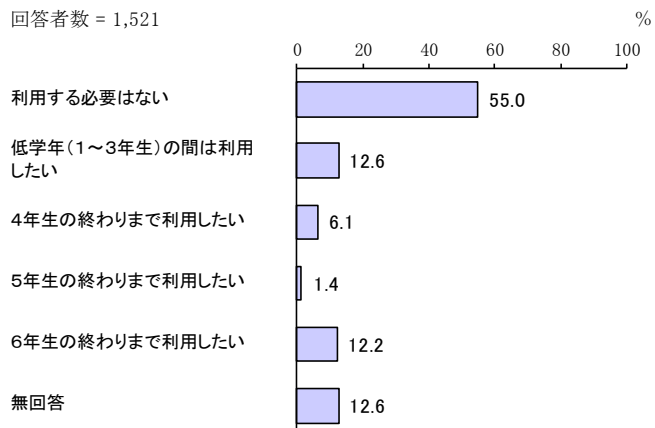
回答者数 = 181



ウ 長期休暇中

「利用する必要はない」の割合が 55.0%と最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が 12.6%、「6年生の終わりまで利用したい」の割合が 12.2%となっています。

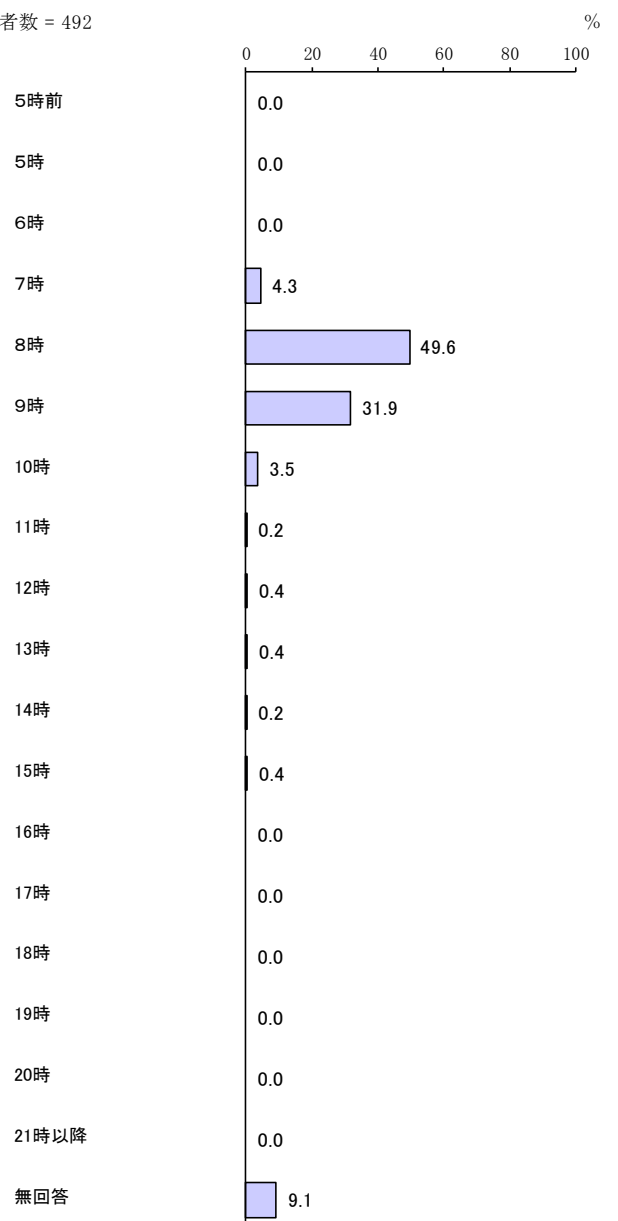
回答者数 = 1,521



(ア) 利用開始時刻

「8時」の割合が49.6%と最も高く、次いで
「9時」の割合が31.9%となっています。

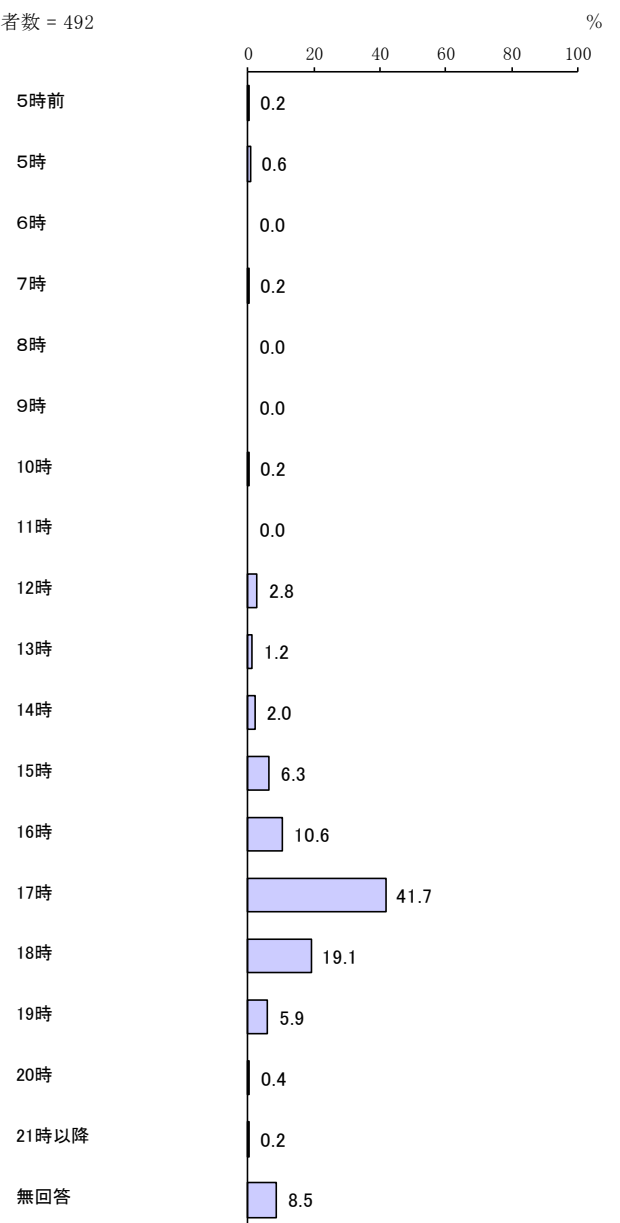
回答者数 = 492



(イ) 利用終了時刻

「17 時」の割合が 41.7%と最も高く、次いで
「18 時」の割合が 19.1%、「16 時」の割合が 10.6%
となっています。

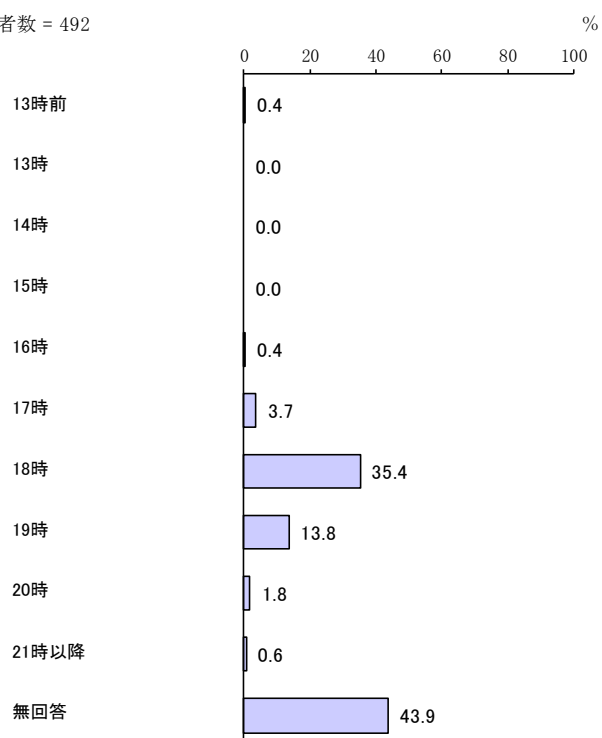
回答者数 = 492



(ウ) 希望する閉まる時間（現在 18 時）

「18 時」の割合が 35.4%と最も高く、次いで「19 時」の割合が 13.8%となっています。

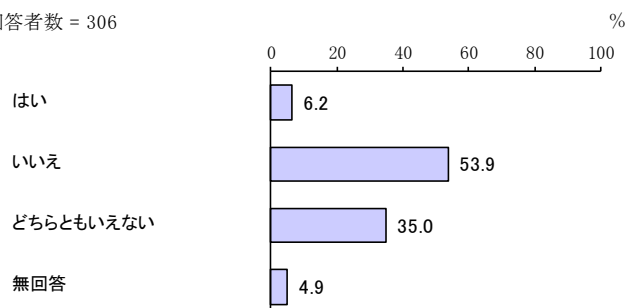
回答者数 = 492



問 14 児童ホームの閉まる時間（18 時）以降にファミリーサポートセンターを活用した
いですか。（1つに○を記入）
なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

「いいえ」の割合が 53.9%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が 35.0%となっています。

回答者数 = 306

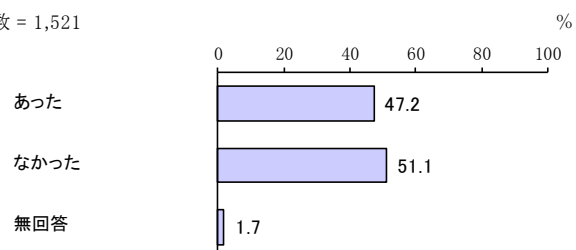


(6) 病気の際の対応について

問 15 この 1 年間に、お子さんの病気やケガによって、通常どおりに学校へ行けなかつたことはありますか。（どちらかに○を記入）

「あった」の割合が 47.2%、「なかった」の割合が 51.1%となっています。

回答者数 = 1,521



【学年別】

学年別でみると、他に比べ、2年生、3年生で「あった」の割合が、6年生で「なかった」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答数 (件)	あった	なかった	無回答
1年生	275	46.9	50.9	2.2
2年生	249	50.6	48.2	1.2
3年生	265	50.9	46.8	2.3
4年生	246	46.3	52.4	1.2
5年生	247	47.8	51.0	1.2
6年生	216	38.4	59.3	2.3

【母親の就労状況別】

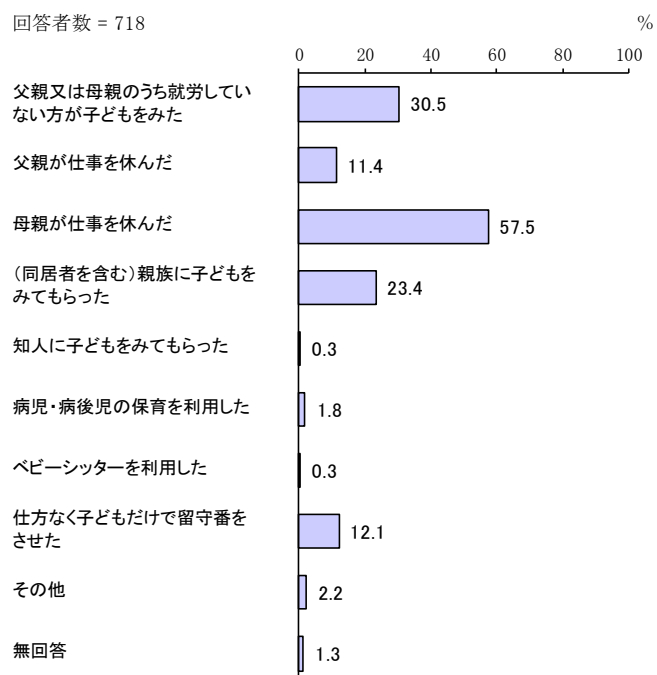
母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイムで就労中、フルタイム以外で就労中、以前は就労していたが、現在は就労していないで「あった」の割合が、フルタイム就労だが、産休・育休・介護休業中、これまで就労したことがないで「なかった」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答数 (件)	あった	なかった	無回答
フルタイムで就労中	437	48.3	50.1	1.6
フルタイム就労だが、産休・育休・介護休業中	12	33.3	66.7	—
フルタイム以外で就労中	633	49.4	49.1	1.4
フルタイム以外の就労だが、産休・育休・介護休業中	3	66.7	33.3	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	279	45.9	51.3	2.9
これまで就労したことがない	44	31.8	68.2	—

問 15-1 その際には、どのように対処しましたか。あてはまるものすべてに○をつけ、それぞれの日数もお書きください。（半日程度の場合も1日とカウント）

「母親が仕事を休んだ」の割合が57.5%と最も高く、次いで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が30.5%、「（同居者を含む）親族に子どもをみてもらった」の割合が23.4%となっています。



【学年別】

学年別でみると、他に比べ、4年生、5年生で「母親が仕事を休んだ」の割合が、2年生、5年生で「（同居者を含む）親族に子どもをみてもらった」の割合が高くなっています。また、6年生で「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答数 (件)	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	父親が仕事を休んだ	母親が仕事を休んだ	(同居者を含む)親族に子どもをみてもらった	知人に子どもをみてもらった	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
1年生	129	31.8	4.7	56.6	19.4	—	3.1	—	7.0	3.9	0.8
2年生	126	32.5	13.5	58.7	29.4	—	3.2	0.8	7.1	2.4	0.8
3年生	135	24.4	17.8	57.8	23.0	—	3.0	—	14.1	1.5	2.2
4年生	114	32.5	12.3	62.3	25.4	—	—	0.9	16.7	0.9	0.9
5年生	118	22.0	7.6	60.2	28.8	0.8	0.8	—	16.1	2.5	2.5
6年生	83	38.6	10.8	49.4	13.3	1.2	—	—	14.5	2.4	—

【母親の就労状況】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイムで就労中、フルタイム以外で就労中で「母親が仕事を休んだ」の割合が、以前は就労していたが、現在は就労していないで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答数 (件)	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	父親が仕事を休んだ	母親が仕事を休んだ	(同居者を含む)親族に子どもをみてもらった	知人に子どもをみてもらった	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
フルタイムで就労中	211	5.7	19.0	72.0	35.5	—	2.8	0.9	15.6	3.8	0.5
フルタイム就労だが、産休・育休・介護休業中	4	25.0	—	50.0	25.0	—	—	—	—	—	—
フルタイム以外で就労中	313	21.7	8.9	71.9	23.3	0.6	1.9	—	15.3	1.9	1.3
フルタイム以外の就労だが、産休・育休・介護休業中	2	50.0	50.0	50.0	50.0	—	—	—	50.0	—	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	128	85.2	3.1	9.4	3.9	—	—	—	0.8	—	3.1
これまで就労したことがない	14	100.0	7.1	—	—	—	—	—	—	—	—

1 年間の対処方法

『2. 父親が仕事を休んだ』で「1～5日」の割合が、『6. 病児・病後児の保育を利用した』で「6～10日」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	1 ～ 5 日	6 ～ 10 日	11 ～ 15 日	16 ～ 20 日	21 ～ 25 日	26 ～ 30 日	31 日 以上	無 回 答
1. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	219	73.1	16.4	0.9	1.4	0.5	0.9	1.4	5.5
2. 父親が仕事を休んだ	82	96.3	2.4	1.2	—	—	—	—	—
3. 母親が仕事を休んだ	413	81.8	9.9	1.2	1.2	—	—	0.5	5.3
4. (同居者を含む)親族に子どもをみてもらった	168	82.7	8.3	1.2	0.6	—	—	0.6	6.5
5. 知人に子どもをみてもらった	2	100.0	—	—	—	—	—	—	—
6. 病児・病後児の保育を利用した	13	76.9	23.1	—	—	—	—	—	—
7. ベビーシッターを利用した	2	50.0	50.0	—	—	—	—	—	—
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	87	90.8	2.3	—	—	—	1.1	—	5.7
9. その他	16	75.0	—	6.3	—	—	—	—	18.8

問 15－2 この1年間で仕事を休んだ際、「病児・病後児のための保育施設等が利用したい」と思われましたか。利用したい場合は日数をお書きください。(どちららかに○、数字を記入)
なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

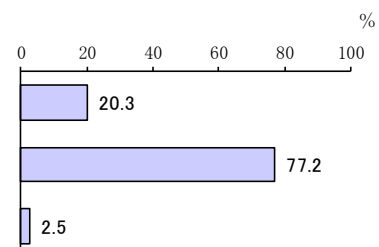
「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が20.3%、「利用したいとは思わない」の割合が77.2%となっています。

回答者数 = 434

できれば病児・病後児保育施設等を利用したい

利用したいとは思わない

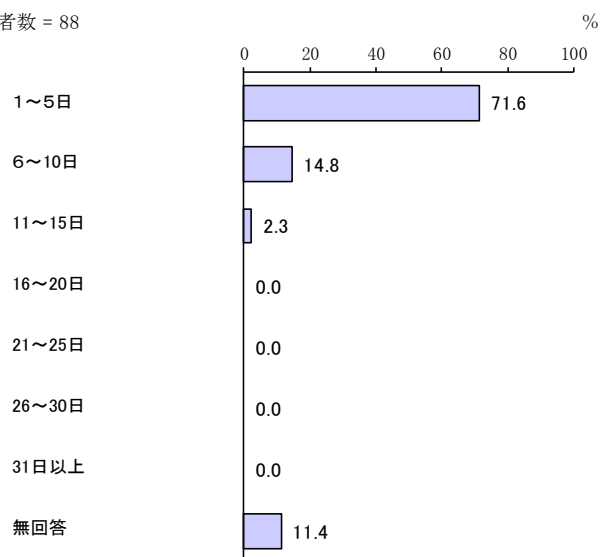
無回答



病児・病後児保育施設等を利用したい年間の日数

「1～5日」の割合が71.6%と最も高く、次いで「6～10日」の割合が14.8%となっています。

回答者数 = 88

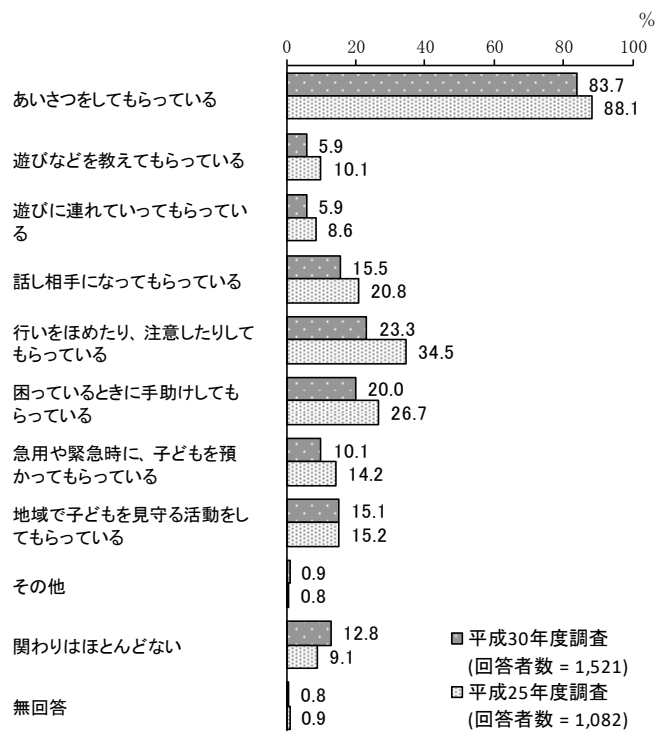


(7) お住まいの地域との関わりについて

問 16 お子さんは、ご近所の方々にどのように関わってもらっていますか。
(あてはまるものすべてに○を記入)

「あいさつをしてもらっている」の割合が83.7%と最も高く、次いで「行いをほめたり、注意したりしてもらっている」の割合が23.3%、「困っているときに手助けしてもらっている」の割合が20.0%となっています。

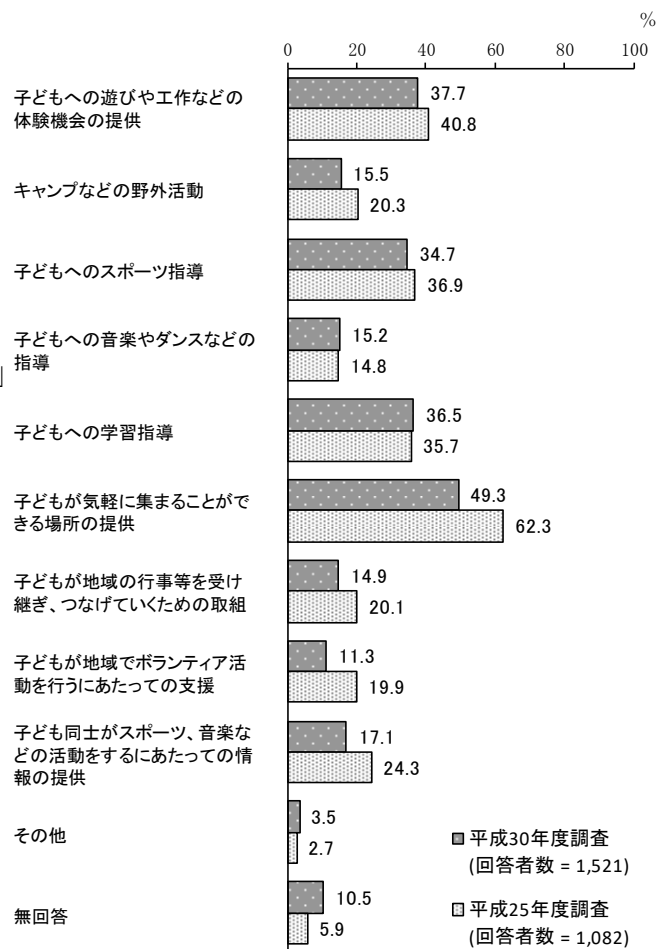
平成25年度調査と比較すると、「話し相手になってもらっている」「行いをほめたり、注意したりしてもらっている」「困っているときに手助けしてもらっている」の割合が減少しています。



問 17 地域で青少年の育成を行う団体などの活動について、今後、どのような取組を期待しますか。（あてはまるものすべてに○を記入）

「子どもが気軽に集まることができる場所の提供」の割合が 49.3%と最も高く、次いで「子どもへの遊びや工作などの体験機会の提供」の割合が 37.7%、「子どもへの学習指導」の割合が 36.5%となっています。

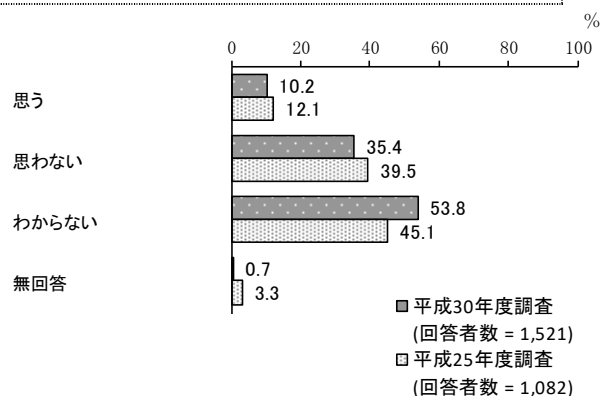
平成 25 年度調査と比較すると、「子どもが気軽に集まることができる場所の提供」「子どもが地域の行事等を受け継ぎ、つなげていくための取組」「子どもが地域でボランティア活動を行うにあたっての支援」「子ども同士がスポーツ、音楽などの活動をするにあたっての情報の提供」の割合が減少しています。



問 18 今後、子育てが落ち着いたら、問 17 のような青少年の育成活動を行うグループ・団体の運営に、参画したいと思われますか。（1 つに○を記入）

「わからない」の割合が 53.8%と最も高く、次いで「思わない」の割合が 35.4%、「思う」の割合が 10.2%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「わからない」の割合が増加しています。



【青少年の育成活動を行うグループ・団体の運営への参画意向別】

青少年の育成活動を行うグループ・団体の運営への参画意向別でみると、他に比べ、思うで「20年以上」の割合が、わからないで「5年以上10年未満」の割合が高くなっています。

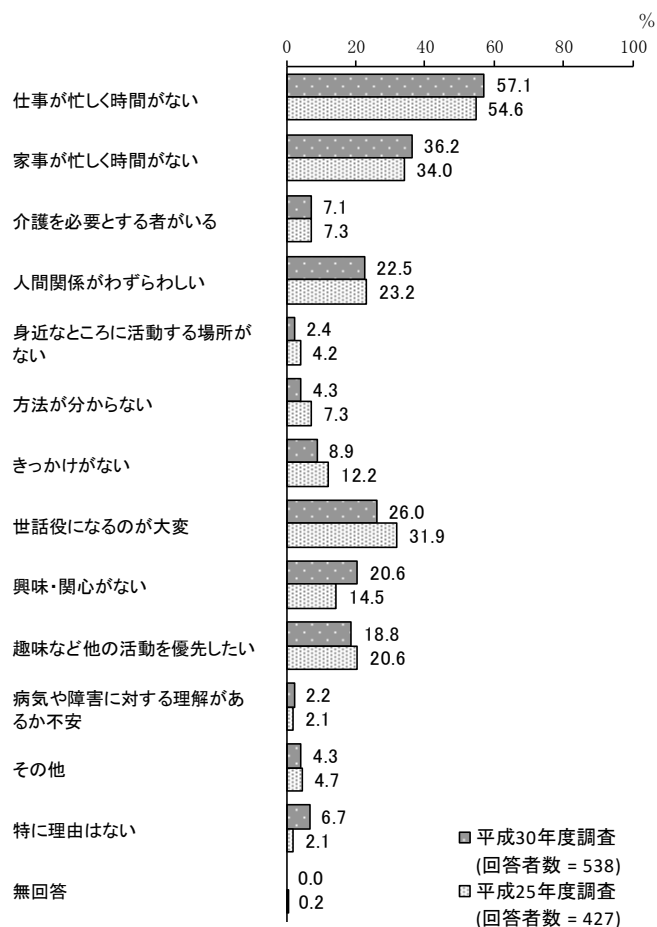
単位：％

区分	回答数 (件)	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上	無回答
思う	155	1.3	1.3	4.5	15.5	21.3	13.5	42.6	—
思わない	538	1.5	1.9	4.6	15.2	24.3	15.6	36.4	0.4
わからない	818	1.5	1.5	4.4	15.0	27.5	13.3	36.2	0.6

問 19 参画したいと思わない理由をお聞かせください。 (あてはまるものすべてに○を記入)

「仕事が忙しく時間がない」の割合が57.1%と最も高く、次いで「家事が忙しく時間がない」の割合が36.2%、「世話役になるのが大変」の割合が26.0%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「興味・関心がない」の割合が増加しています。一方、「世話役になるのが大変」の割合が減少しています。

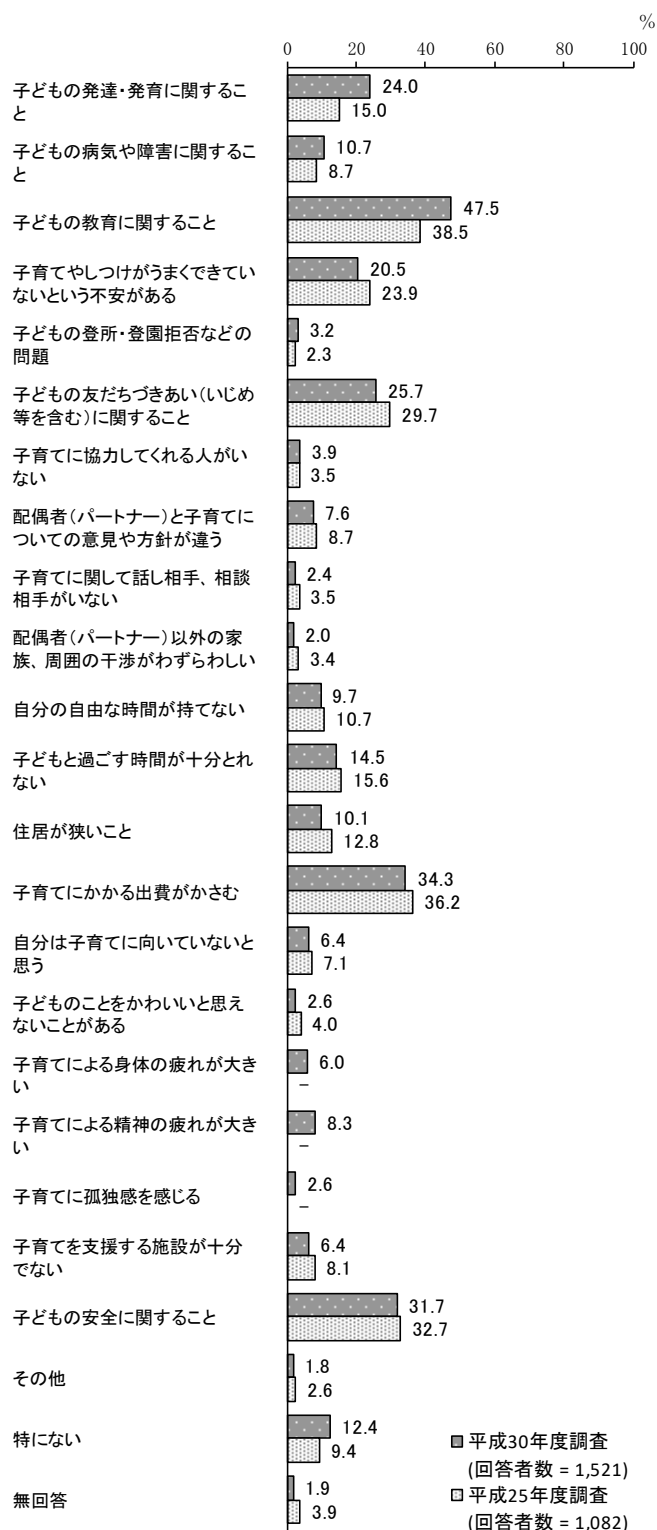


(8) 子育ての不安と悩みについて

問 20 子育てに関して、日頃悩んでいること、または、気になることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○を記入)

「子どもの教育に関すること」の割合が 47.5%と最も高く、次いで「子育てにかかる出費がかさむ」の割合が 34.3%、「子どもの安全に関すること」の割合が 31.7%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「子どもの発達・発育に関すること」「子どもの教育に関すること」「子育てによる身体の疲れが大きい」「子育てによる精神の疲れが大きい」の割合が増加しています。



【悩みや気になること別】

悩みや気になること別でみると、他に比べ、子育てに関して話し相手、相談相手がいない、子どものことをかわいいと思えないことがあるで「1年生」の割合が、子どもの友だちづきあい（いじめ等を含む）に関することで「3年生」の割合が高くなっています。また、住居が狭いことで「4年生」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答数 (件)	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生	無 回 答
子どもの発達・発育に関すること	365	19.2	18.4	14.8	17.8	14.2	14.0	1.6
子どもの病気や障害に関すること	163	20.2	19.6	15.3	14.7	14.7	12.9	2.5
子どもの教育に関すること	722	17.7	16.3	17.3	15.4	16.3	15.0	1.9
子育てやしつけがうまくできていない という不安がある	312	23.1	18.6	16.3	16.7	14.1	9.9	1.3
子どもの登所・登園拒否などの問題	49	28.6	24.5	18.4	10.2	6.1	10.2	2.0
子どもの友だちづきあい(いじめ等を含む) に関すること	391	17.4	15.6	21.7	14.8	17.1	11.8	1.5
子育てに協力してくれる人がいない	60	25.0	20.0	18.3	10.0	11.7	15.0	—
配偶者(パートナー)と子育てについての 意見や方針が違う	115	18.3	16.5	15.7	14.8	16.5	17.4	0.9
子育てに関して話し相手、相談相手が いない	36	30.6	8.3	16.7	13.9	16.7	11.1	2.8
配偶者(パートナー)以外の家族、周囲の 干渉がわずらわしい	31	19.4	16.1	19.4	12.9	9.7	16.1	6.5
自分の自由な時間が持てない	147	22.4	23.1	15.6	13.6	15.0	8.2	2.0
子どもと過ごす時間が十分とれない	220	20.9	17.3	18.2	15.0	17.3	10.5	0.9
住居が狭いこと	153	22.2	15.7	13.1	20.9	17.6	9.8	0.7
子育てにかかる出費がかさむ	522	17.0	14.0	19.2	17.4	15.9	15.3	1.1
自分は子育てに向いていないと思う	98	26.5	20.4	15.3	14.3	12.2	11.2	—
子どものことをかわいいと思えないことが ある	39	33.3	15.4	20.5	7.7	17.9	5.1	—
子育てによる身体の疲れが大きい	91	27.5	15.4	19.8	7.7	16.5	9.9	3.3
子育てによる精神の疲れが大きい	127	23.6	19.7	18.1	11.0	16.5	9.4	1.6
子育てに孤独感を感じる	39	20.5	23.1	15.4	12.8	12.8	15.4	—
子育てを支援する施設が十分でない	97	27.8	14.4	18.6	10.3	12.4	15.5	1.0
子どもの安全に関すること	482	19.1	16.4	19.7	15.8	14.3	13.5	1.2
その他	27	18.5	22.2	14.8	14.8	11.1	18.5	—
特にない	188	18.6	16.0	17.6	17.0	17.6	13.3	—

【悩みや気になること別】

悩みや気になること別でみると、他に比べ、子育てに協力してくれる人がいない、配偶者（パートナー）以外の家族、周囲の干渉がわずらわしい、自分の自由な時間が持てない、住居が狭いこと、子育てにかかる出費がかさむ、子育てを支援する施設が十分でないで「金銭的な支援（生活用品・給付型奨学金など）」の割合が、子育てに孤独感を感じるで「学習支援の場や体験学習（バスツアー・キャンプ等）」の割合が高くなっています。

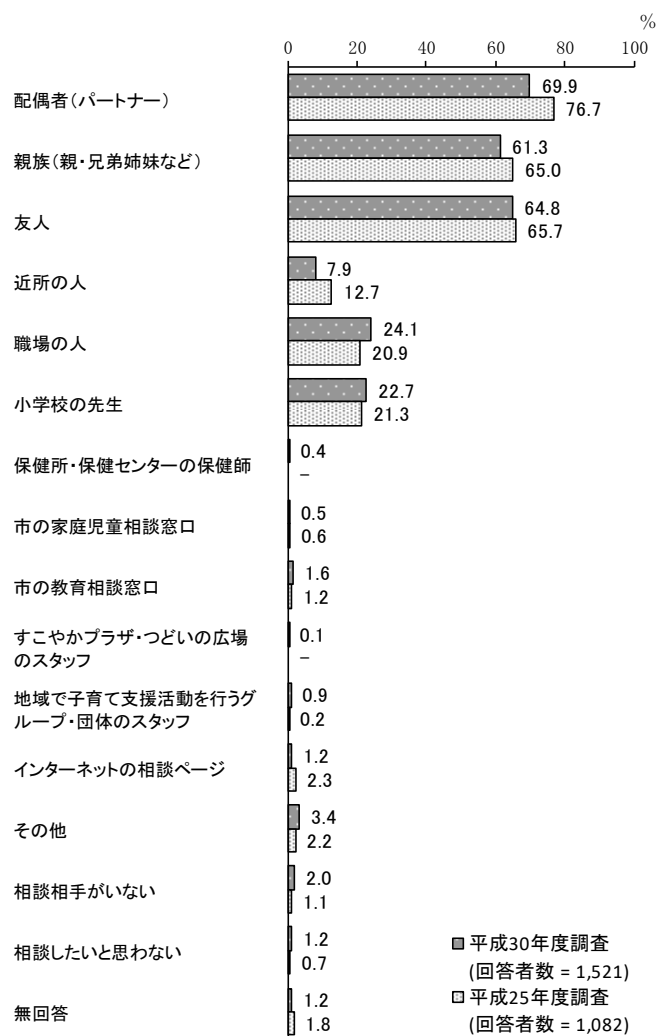
単位：％

区分	回答数（件）	とく名の電話相談	専門員による訪問相談	24時間対応の相談窓口（SNS等）	家事の支援（手伝い・代行など）	金銭的な支援（生活用品・給付型奨学金など）	学習支援の場や体験学習（バスツアー・キャンプ等）	専門家による研修やセミナー等	その他	無回答
子どもの発達・発育に関すること	365	26.8	21.1	24.1	12.1	29.0	20.5	15.6	4.4	15.3
子どもの病気や障害に関すること	163	23.9	28.2	27.6	14.1	36.2	22.7	23.9	1.8	12.9
子どもの教育に関すること	722	22.4	14.1	23.4	10.8	29.6	18.8	15.8	6.5	15.2
子育てやしつけがうまくできていないという不安がある	312	26.3	16.3	23.7	12.8	34.0	21.8	16.3	5.4	11.9
子どもの登所・登園拒否などの問題	49	16.3	26.5	30.6	12.2	36.7	32.7	22.4	2.0	12.2
子どもの友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること	391	24.0	17.4	26.9	11.8	32.0	19.2	12.8	5.1	13.6
子育てに協力してくれる人がいない	60	23.3	23.3	21.7	30.0	45.0	31.7	13.3	8.3	6.7
配偶者（パートナー）と子育てについての意見や方針が違う	115	24.3	13.0	20.0	20.0	34.8	17.4	18.3	8.7	11.3
子育てに関して話し相手、相談相手がいない	36	19.4	25.0	33.3	13.9	38.9	25.0	11.1	11.1	8.3
配偶者（パートナー）以外の家族、周囲の干渉がわずらわしい	31	45.2	16.1	29.0	12.9	45.2	16.1	9.7	6.5	3.2
自分の自由な時間が持てない	147	21.8	18.4	23.8	25.9	46.3	20.4	12.9	6.8	7.5
子どもと過ごす時間が十分とれない	220	15.9	15.9	20.5	19.1	33.6	20.5	14.1	5.5	15.0
住居が狭いこと	153	22.2	9.8	28.1	13.7	46.4	18.3	12.4	4.6	7.8
子育てにかかる出費がかさむ	522	19.5	11.7	22.2	12.3	47.3	17.0	11.7	4.8	14.0
自分は子育てに向いていないと思う	98	20.4	19.4	20.4	18.4	36.7	23.5	14.3	12.2	15.3
子どものことをかわいいと思えないことがある	39	20.5	20.5	15.4	25.6	28.2	30.8	10.3	7.7	20.5
子育てによる身体の疲れが大きい	91	30.8	20.9	29.7	25.3	36.3	24.2	14.3	8.8	11.0
子育てによる精神の疲れが大きい	127	29.1	20.5	25.2	18.1	37.0	26.8	16.5	8.7	12.6
子育てに孤独感を感じる	39	23.1	23.1	25.6	28.2	35.9	41.0	15.4	10.3	7.7
子育てを支援する施設が十分でない	97	24.7	24.7	28.9	33.0	47.4	34.0	21.6	7.2	5.2
子どもの安全に関すること	482	24.1	14.7	23.4	11.6	36.3	18.3	15.4	5.4	13.9
その他	27	29.6	25.9	18.5	11.1	22.2	18.5	18.5	18.5	7.4
特になし	188	17.6	10.6	16.0	7.4	12.2	7.4	8.0	7.4	30.3

問 20-1 子育てに関する悩みや不安がある場合、誰に相談していますか。
(あてはまるものすべてに○を記入)

「配偶者（パートナー）」の割合が 69.9%と最も高く、次いで「友人」の割合が 64.8%、「親族（親・兄弟姉妹など）」の割合が 61.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「配偶者（パートナー）」の割合が減少しています。



【相談先別】

相談先別でみると、他に比べ、近所の人で「きょうだい」の割合が、親族（親・兄弟姉妹など）、友人、小学校の先生で「友だち」の割合が高くなっています。また、すべての項目で「お母さん」の割合が高くなっています。

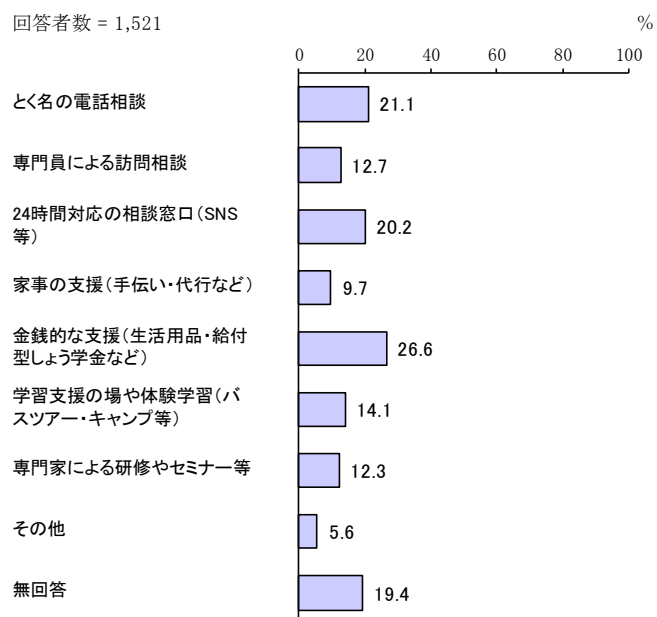
単位：％

区分	回答数 (件)	お父さん	お母さん	きょうだい	おじいさんやおばあさん	友だち	学校の先生	保健室の先生	スクールカウンセラー	スクールソーシャルワーカー	じゆくなどの先生	クラブ活動などの先生	インターネットやけいたい 電話で知り合った人	その他	相談できる人がいない	だれにも相談しない	相談しなくてもいい	無回答
配偶者 (パートナー)	426	43.9	73.5	25.8	16.9	52.8	23.2	2.6	2.1	0.2	4.5	2.3	0.2	1.2	0.7	3.8	9.9	0.7
親族 (親・兄弟姉妹 など)	361	38.2	73.1	25.2	22.4	55.4	22.2	3.3	1.7	0.3	4.4	2.2	0.3	3.0	0.6	3.9	8.3	1.7
友人	381	39.1	74.3	24.9	17.6	56.4	21.5	4.5	1.8	—	4.2	2.6	—	1.8	0.5	3.9	7.6	1.0
近所の人	49	36.7	77.6	30.6	14.3	40.8	16.3	4.1	—	—	2.0	2.0	2.0	6.1	2.0	6.1	2.0	—
職場の人	154	38.3	76.0	25.3	18.2	51.9	21.4	5.2	1.9	—	5.2	3.2	—	4.5	1.3	5.2	7.1	0.6
小学校の先生	142	39.4	71.1	20.4	15.5	57.7	30.3	6.3	3.5	0.7	5.6	1.4	—	4.2	1.4	5.6	6.3	—
保健所・ 保健センターの 保健師	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
市の家庭児童 相談窓口	3	—	66.7	33.3	—	—	33.3	—	—	—	—	—	—	33.3	—	—	—	—
市の教育相談窓口	8	25.0	62.5	62.5	12.5	25.0	12.5	—	—	—	12.5	—	—	—	—	12.5	—	—
すこやかプラザ・ つどいの広場の スタッフ	1	—	100.0	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
地域で子育て支援 活動を行うグループ・ 団体のスタッフ	5	80.0	100.0	—	40.0	80.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
インターネットの 相談ページ	7	57.1	100.0	28.6	28.6	42.9	71.4	14.3	14.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	20	20.0	60.0	5.0	5.0	30.0	15.0	—	—	—	5.0	—	—	5.0	5.0	10.0	5.0	—
相談相手がない	10	—	60.0	10.0	—	50.0	20.0	—	—	—	—	—	—	—	10.0	—	10.0	—
相談したいと 思わない	9	33.3	77.8	44.4	11.1	55.6	22.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

問 20-2 子育てに関する悩みや不安がある場合、どのような支援を受けたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○を記入)

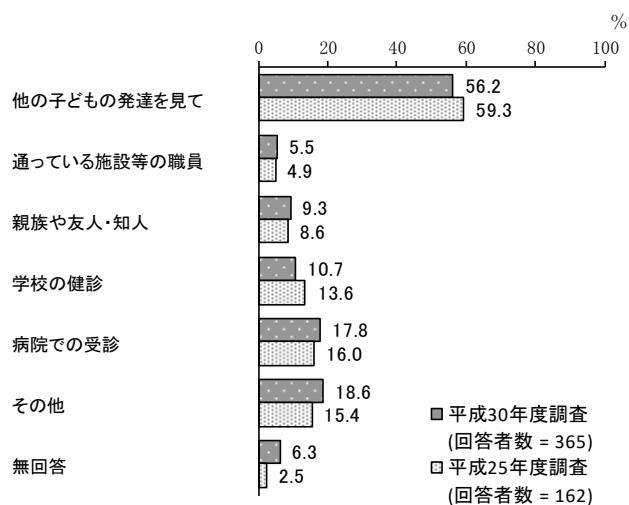
「金銭的な支援(生活用品・給付型奨学金など)」の割合が26.6%と最も高く、次いで「とく名の電話相談」の割合が21.1%、「24時間対応の相談窓口(SNS等)」の割合が20.2%となっています。

回答者数 = 1,521



問 20-3 お子さんの発達・発育で気になったきっかけについてお答えください。(あてはまるものすべてに○を記入)

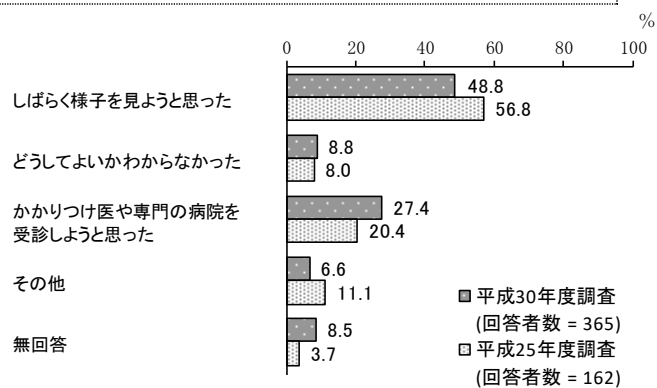
「他の子どもの発達を見て」の割合が56.2%と最も高く、次いで「病院での受診」の割合が17.8%、「学校の健診」の割合が10.7%となっています。
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 20-4 その時、どのように感じましたか。(1つに○を記入)

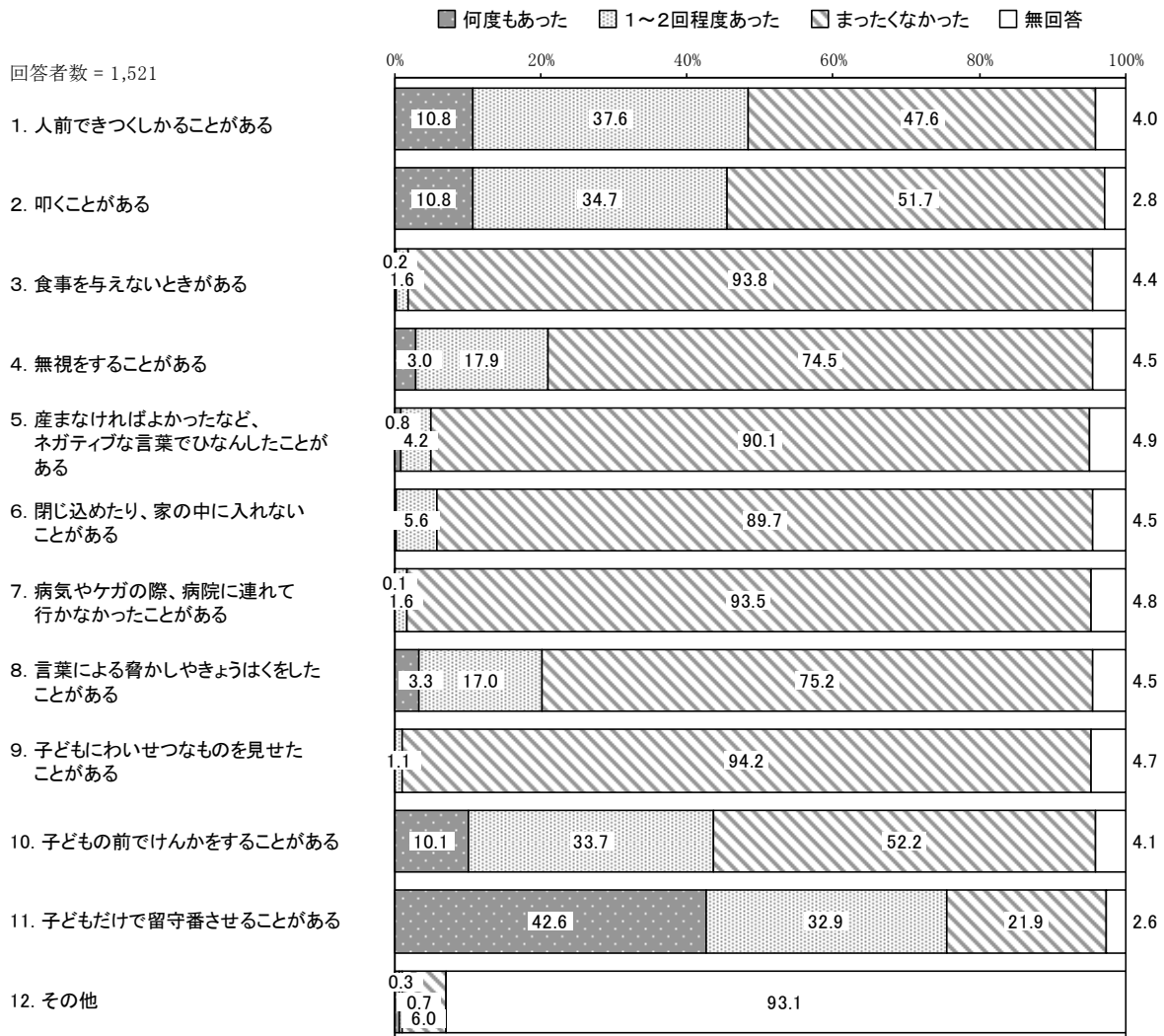
「しばらく様子を見ようと思った」の割合が48.8%と最も高く、次いで「かかりつけ医や専門の病院を受診しようと思った」の割合が27.4%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「かかりつけ医や専門の病院を受診しようと思った」の割合が増加しています。一方、「しばらく様子を見ようと思った」の割合が減少しています。



問 20ー5 あなたやあなたの配偶者（パートナー）は、この１年間にお子さんに対して、次のようなことがどのくらいありましたか。
（それぞれの項目について、あてはまるもの１つに○を記入）

『11. 子どもだけで留守番させることがある』で「何度もあった」の割合が、『7. 病気やケガの際、病院に連れて行かなかったことがある』『9. 子どもにわいせつなものを見せたことがある』で「まったくなかった」の割合が高くなっています。

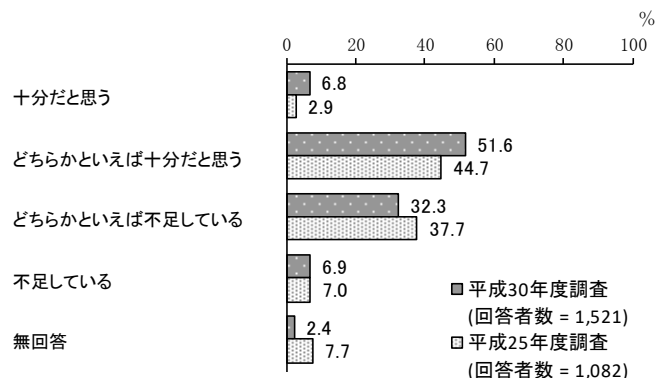


（９）子育てに関する情報・サービス・支援体制について

問 21 子育てに関する情報は、あなたに十分、届いていると思いますか。
（１つに○を記入）

「どちらかといえば十分だと思う」の割合が 51.6%と最も高く、次いで「どちらかといえば不足している」の割合が 32.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「どちらかといえば十分だと思う」の割合が増加しています。一方、「どちらかといえば不足している」の割合が減少しています。



【子育てに関する情報の入手別】

子育てに関する情報の入手別でみると、他に比べ、十分だと思うで「20 年以上」の割合が、どちらかといえば不足しているで「5 年以上 10 年未満」の割合が高くなっています。

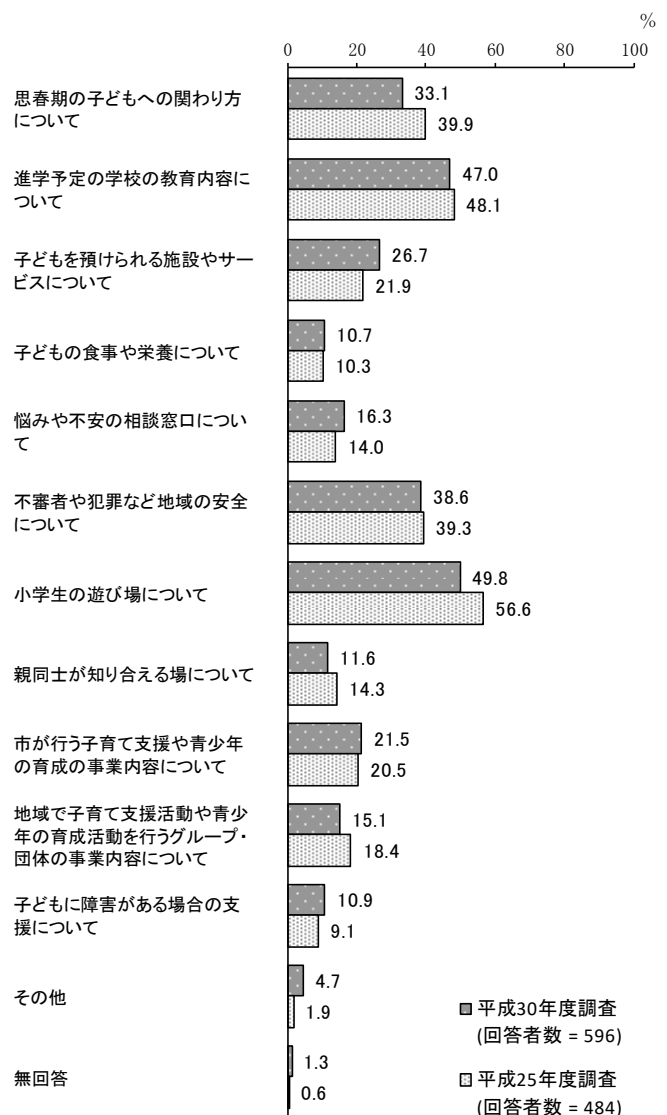
単位：％

区分	回答数 (件)	1 年未 満	1 年以 上3 年未 満	3 年以 上5 年未 満	5 年以 上10 年未 満	10 年以 上15 年未 満	15 年以 上20 年未 満	20 年以 上	無回 答
十分だと思う	103	—	1.0	1.9	8.7	26.2	14.6	45.6	1.9
どちらかといえば 十分だと思う	785	1.4	1.5	3.7	15.0	27.4	15.4	34.9	0.6
どちらかといえば 不足している	491	1.4	1.8	5.1	16.7	25.1	12.4	37.3	0.2
不足している	105	3.8	1.9	10.5	13.3	17.1	10.5	42.9	—

問 21－1 どのような情報が不足していると思われますか。 (あてはまるものすべてに○を記入)

「小学生の遊び場について」の割合が 49.8％と最も高く、次いで「進学予定の学校の教育内容について」の割合が 47.0％、「不審者や犯罪など地域の安全について」の割合が 38.6％となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「思春期の子どもへの関わり方について」「小学生の遊び場について」の割合が減少しています。



【不足している情報別】

不足している情報別でみると、他に比べ、思春期の子どもへの関わり方について、不審者や犯罪など地域の安全について、小学生の遊び場についてで「20 年以上」の割合が、思春期の子どもへの関わり方について、進学予定の学校の教育内容についてで「10 年以上 15 年未満」の割合が高くなっています。

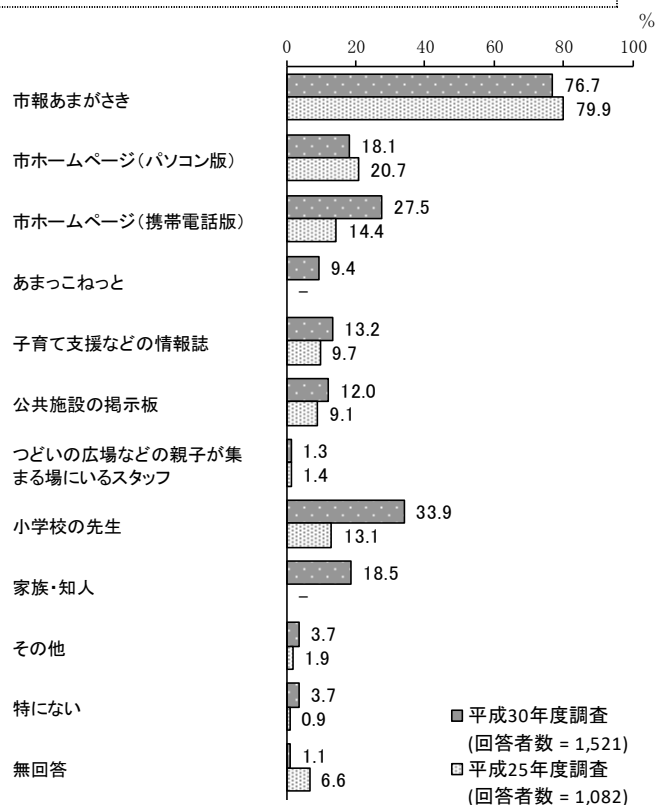
単位：％

区分	回答数 (件)	1 年 未 満	1 年 以 上 3 年 未 満	3 年 以 上 5 年 未 満	5 年 以 上 10 年 未 満	10 年 以 上 15 年 未 満	15 年 以 上 20 年 未 満	20 年 以 上	無 回 答
思春期の子どもへの関わり方について	197	0.5	0.5	5.6	11.2	25.9	10.7	45.7	—
進学予定の学校の教育内容について	280	0.4	1.1	4.3	17.5	25.7	14.6	36.1	0.4
子どもを預けられる施設やサービスについて	159	3.1	1.9	6.9	19.5	23.3	8.8	35.8	0.6
子どもの食事や栄養について	64	—	3.1	6.3	20.3	23.4	12.5	34.4	—
悩みや不安の相談窓口について	97	4.1	2.1	7.2	17.5	15.5	15.5	38.1	—
不審者や犯罪など地域の安全について	230	0.9	1.3	7.8	20.4	19.6	8.7	41.3	—
小学生の遊び場について	297	1.7	1.3	6.4	15.8	20.5	10.4	43.4	0.3
親同士が知り合える場について	69	4.3	4.3	8.7	20.3	20.3	11.6	30.4	—
市が行う子育て支援や青少年の育成の事業内容について	128	3.1	2.3	7.0	20.3	18.8	13.3	35.2	—
地域で子育て支援活動や青少年の育成活動を行うグループ・団体の事業内容について	90	4.4	3.3	5.6	21.1	16.7	16.7	32.2	—
子どもに障害がある場合の支援について	65	4.6	—	6.2	23.1	21.5	12.3	32.3	—
その他	28	—	3.6	10.7	10.7	21.4	17.9	35.7	—

問 22 尼崎市からの情報をどこから、または誰から入手したいですか。
(あてはまるものすべてに○を記入)

「市報あまがさき」の割合が 76.7%と最も高く、次いで「小学校の先生」の割合が 33.9%、「市ホームページ（携帯電話版）」の割合が 27.5%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「市ホームページ（携帯電話版）」「あまっこねっと」「小学校の先生」「家族・知人」の割合が増加しています。



【情報の入手先別】

情報の入手先別でみると、他に比べ、つどいの広場などの親子が集まる場にいるスタッフで「5年以上10年未満」の割合が、特にないで「10年以上15年未満」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答数 (件)	1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上15年未満	15年以上20年未満	20年以上	無回答
市報あまがさき	1166	0.9	0.9	4.2	13.9	26.2	14.2	39.0	0.7
市ホームページ(パソコン版)	276	0.7	1.1	5.1	16.3	26.8	13.4	36.2	0.4
市ホームページ(携帯電話版)	419	1.9	2.1	3.6	15.3	23.9	15.0	37.9	0.2
あまっこねっと	143	1.4	—	4.2	13.3	28.7	18.2	33.6	0.7
子育て支援などの情報誌	201	1.5	1.0	3.5	18.4	24.9	15.4	34.8	0.5
公共施設の掲示板	183	2.2	1.6	7.7	13.1	29.0	13.7	32.2	0.5
つどいの広場などの親子が集まる場にいるスタッフ	20	—	5.0	10.0	25.0	20.0	15.0	20.0	5.0
小学校の先生	516	1.7	1.4	3.9	14.7	25.4	14.3	38.0	0.6
家族・知人	281	1.1	1.4	4.3	16.0	23.8	13.2	39.9	0.4
その他	56	—	1.8	5.4	17.9	26.8	5.4	42.9	—
特にない	56	1.8	3.6	8.9	10.7	30.4	14.3	30.4	—

【情報の入手先別】

情報の入手先別でみると、他に比べ、子育て支援などの情報誌で「小学生の遊び場について」の割合が、市ホームページ（パソコン版）で「進学予定の学校の教育内容について」の割合が高くなっています。また、あまっこねっとで「市が行う子育て支援や青少年の育成の事業内容について」の割合が高くなっています。

単位：％

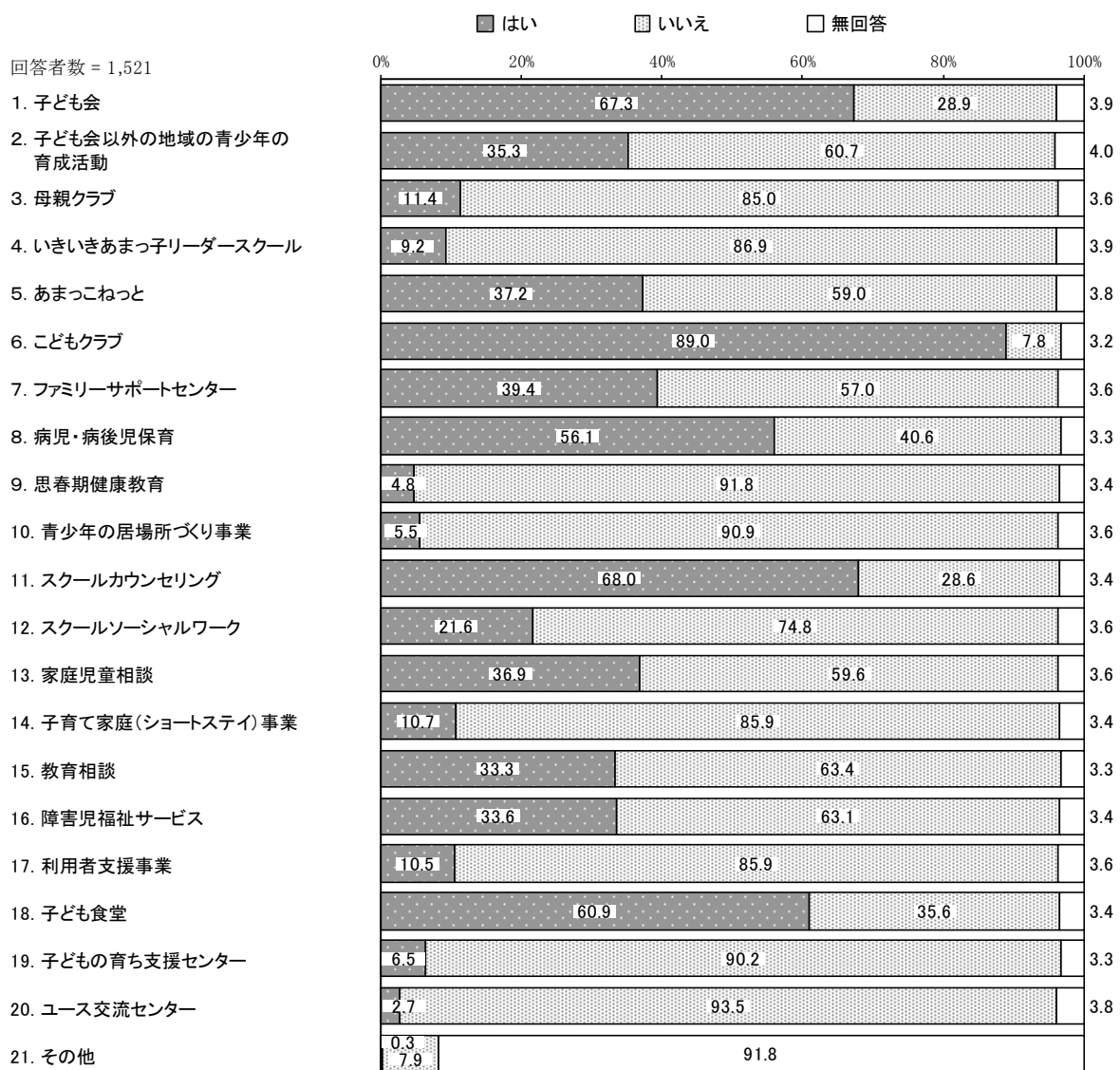
区分	回答数 (件)	思春期の子どもへの関わり方について	進学予定の学校の教育内容について	子どもを預けられる施設やサービスについて	子どもの食事や栄養について	悩みや不安の相談窓口について	不審者や犯罪など地域の安全について	小学生の遊び場について	親同士が知り合える場について	市が行う子育て支援や青少年の育成の事業内容について	地域で子育て支援活動や青少年の育成活動を行うグループ・団体の事業内容について	子どもに障害がある場合の支援について	その他	無回答
市報あまがさき	439	35.1	49.9	26.7	11.6	16.2	37.1	52.4	10.7	22.1	15.3	10.9	4.8	1.1
市ホームページ (パソコン版)	117	35.0	56.4	29.9	15.4	17.9	40.2	48.7	13.7	28.2	16.2	13.7	6.8	—
市ホームページ (携帯電話版)	174	35.1	54.0	32.2	9.8	17.2	36.2	55.2	10.3	27.0	21.3	16.1	4.6	0.6
あまっこねっと	51	39.2	45.1	35.3	19.6	21.6	35.3	60.8	11.8	31.4	17.6	17.6	3.9	2.0
子育て支援 などの情報誌	95	36.8	50.5	42.1	14.7	31.6	36.8	68.4	16.8	28.4	17.9	18.9	2.1	—
公共施設の 掲示板	61	36.1	54.1	27.9	6.6	31.1	41.0	60.7	18.0	29.5	18.0	18.0	9.8	—
つどいの広場 などの親子が 集まる場にいる スタッフ	8	50.0	25.0	12.5	—	75.0	25.0	25.0	37.5	37.5	—	37.5	—	—
小学校の先生	208	29.3	47.1	26.4	9.6	16.3	42.3	50.0	14.4	21.2	15.4	13.9	4.3	1.9
家族・知人	105	31.4	52.4	27.6	12.4	14.3	42.9	64.8	7.6	21.0	10.5	10.5	1.0	1.9
その他	25	36.0	44.0	24.0	12.0	24.0	36.0	44.0	8.0	20.0	24.0	12.0	20.0	—
特にない	26	23.1	26.9	19.2	—	11.5	38.5	38.5	3.8	7.7	—	7.7	3.8	3.8

問 23 下記の子育て支援に関わるサービスを知っていますか。また、これまでに利用したことや、今後利用したいかについてはどうですか。（項目ごとに、《①認知度・②利用状況・③今後の利用意向》のそれぞれについて、あてはまるもの1つに○を記入）なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

①認知度

『6. こどもクラブ』で「はい」の割合が、『9. 思春期健康教育』『10. 青少年の居場所づくり事業』『19. 子どもの育ち支援センター』『20. ユース交流センター』で「いいえ」の割合が高くなっています。

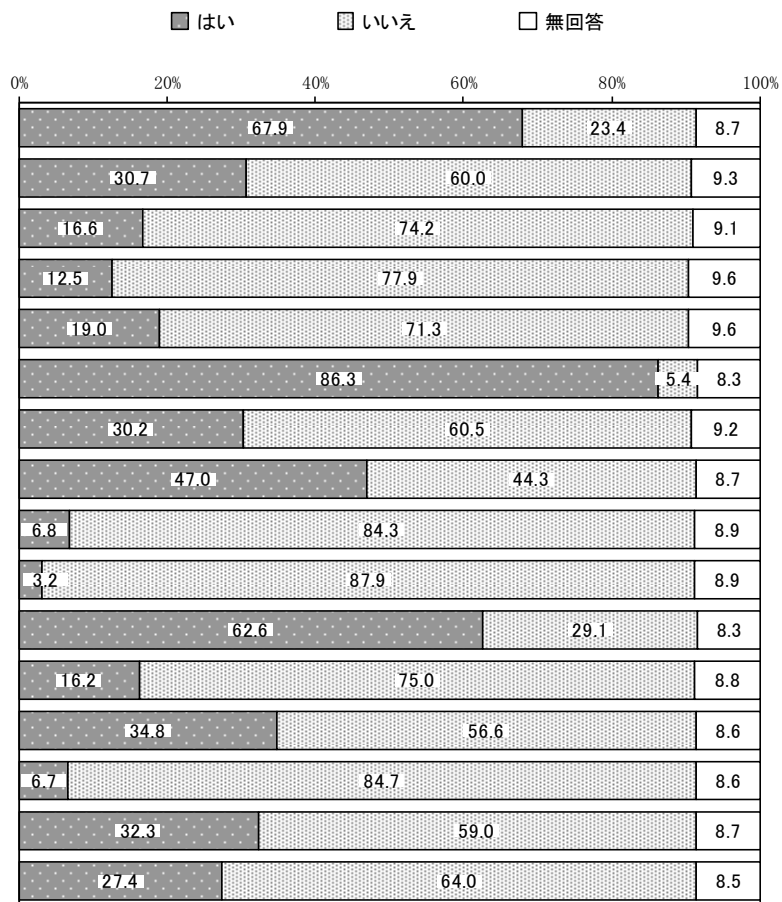
平成 25 年度調査と比較すると、『5. あまっこねっと』『7. ファミリーサポートセンター』『8. 病児・病後児保育』『11. スクールカウンセリング』『12. スクールソーシャルワーク』『16. 障害児福祉サービス』で「はい」の割合が、『1. 子ども会』『3. 母親クラブ』『4. いきいきあまっ子リーダーズスクール』『9. 思春期健康教育』で「いいえ」の割合が高くなっています。一方、『3. 母親クラブ』で「はい」の割合が、『5. あまっこねっと』で「いいえ」の割合が低くなっています。



平成 25 年度調査

回答者数 = 1,082

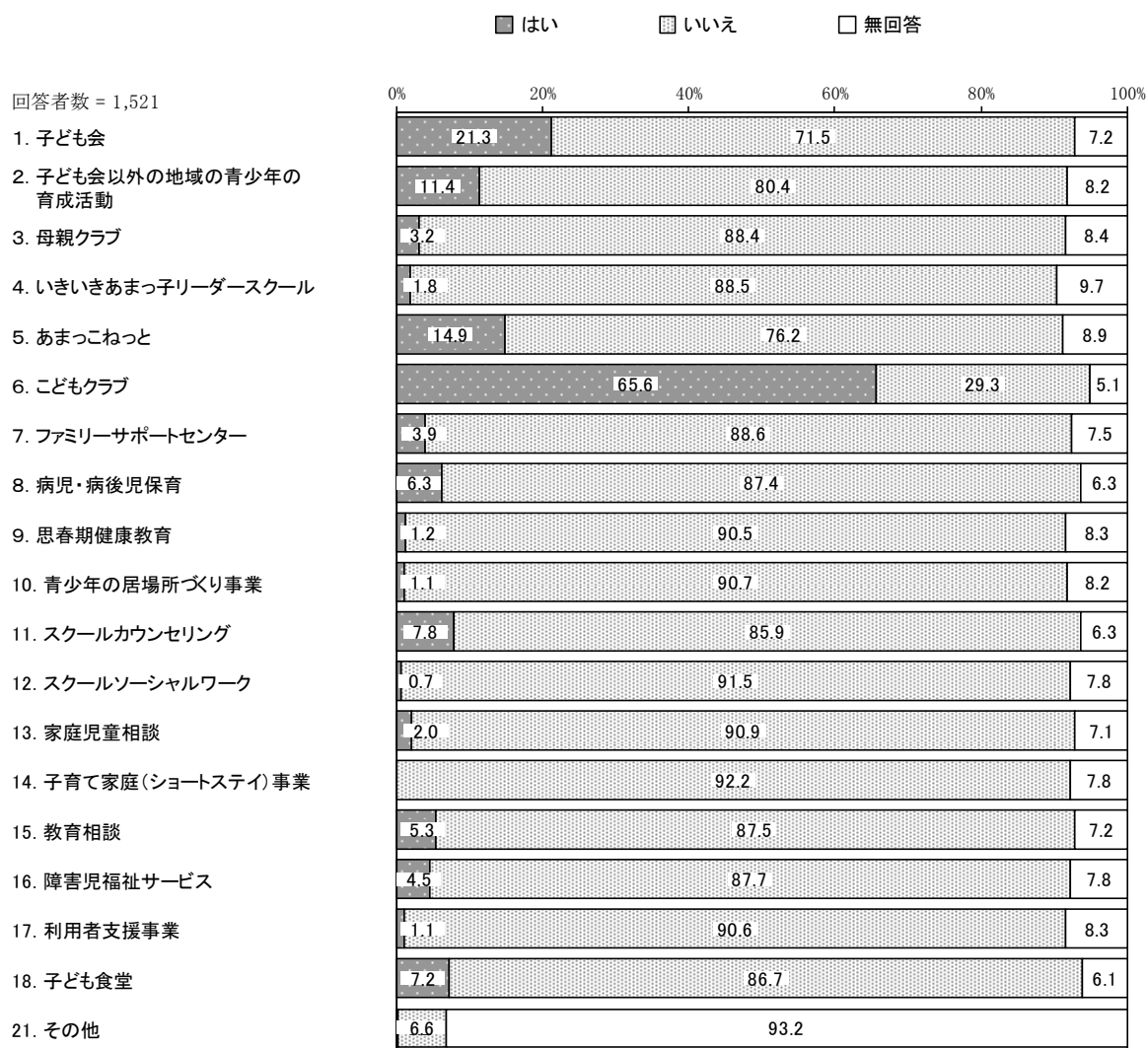
1. 子ども会
2. 子ども会以外の地域の青少年の育成活動
3. 母親クラブ
4. いきいきあまっ子リーダースクール
5. あまっこねっと
6. こどもクラブ
7. ファミリーサポートセンター
8. 病児・病後児保育
9. 思春期健康教育
10. 青少年の居場所づくり事業
11. スクールカウンセリング
12. スクールソーシャルワーク
13. 家庭児童相談
14. 子育て家庭(ショートステイ)事業
15. 教育相談
16. 障害児福祉サービス



②利用状況

『6. こどもクラブ』で「はい」の割合が、『9. 思春期健康教育』『10. 青少年の居場所づくり事業』『12. スクールソーシャルワーク』『13. 家庭児童相談』『14. 子育て家庭（ショートステイ）事業』『17. 利用者支援事業』で「いいえ」の割合が高くなっています。

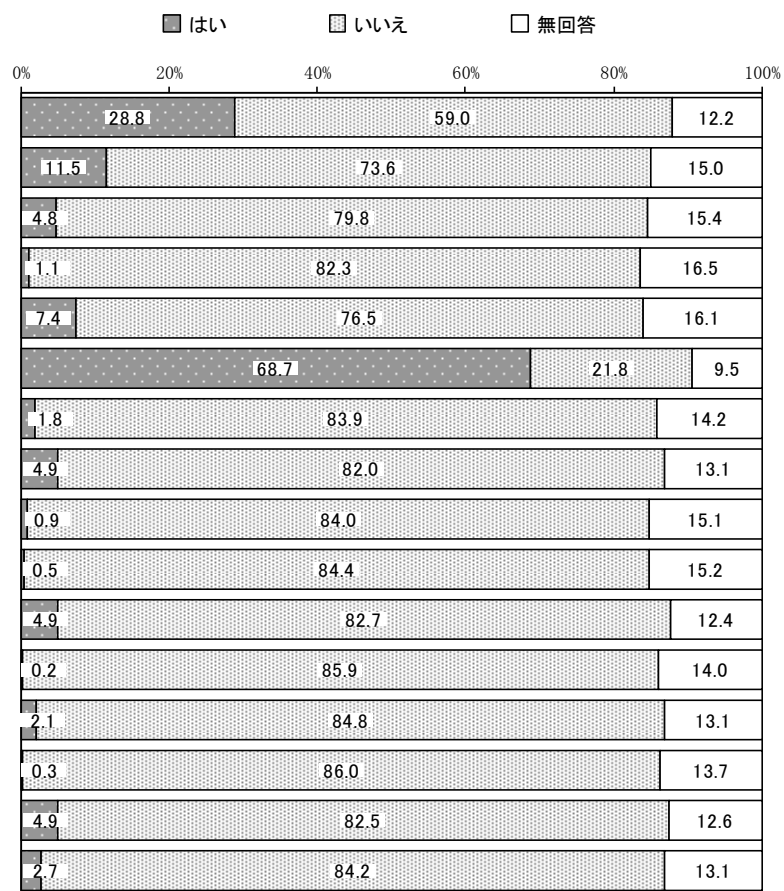
平成 25 年度調査と比較すると、『5. あまっこねっと』で「はい」の割合が、『1. 子ども会』『2. 子ども会以外の地域の青少年の育成活動』『3. 母親クラブ』『4. いきいきあまっ子リーダーズスクール』『6. こどもクラブ』『8. 病児・病後児保育』『9. 思春期健康教育』『10. 青少年の居場所づくり事業』『12. スクールソーシャルワーク』『13. 家庭児童相談』『14. 子育て家庭（ショートステイ）事業』『15. 教育相談』で「いいえ」の割合が高くなっています。一方、『1. 子ども会』で「はい」の割合が低くなっています。



平成 25 年度調査

回答者数 = 1,082

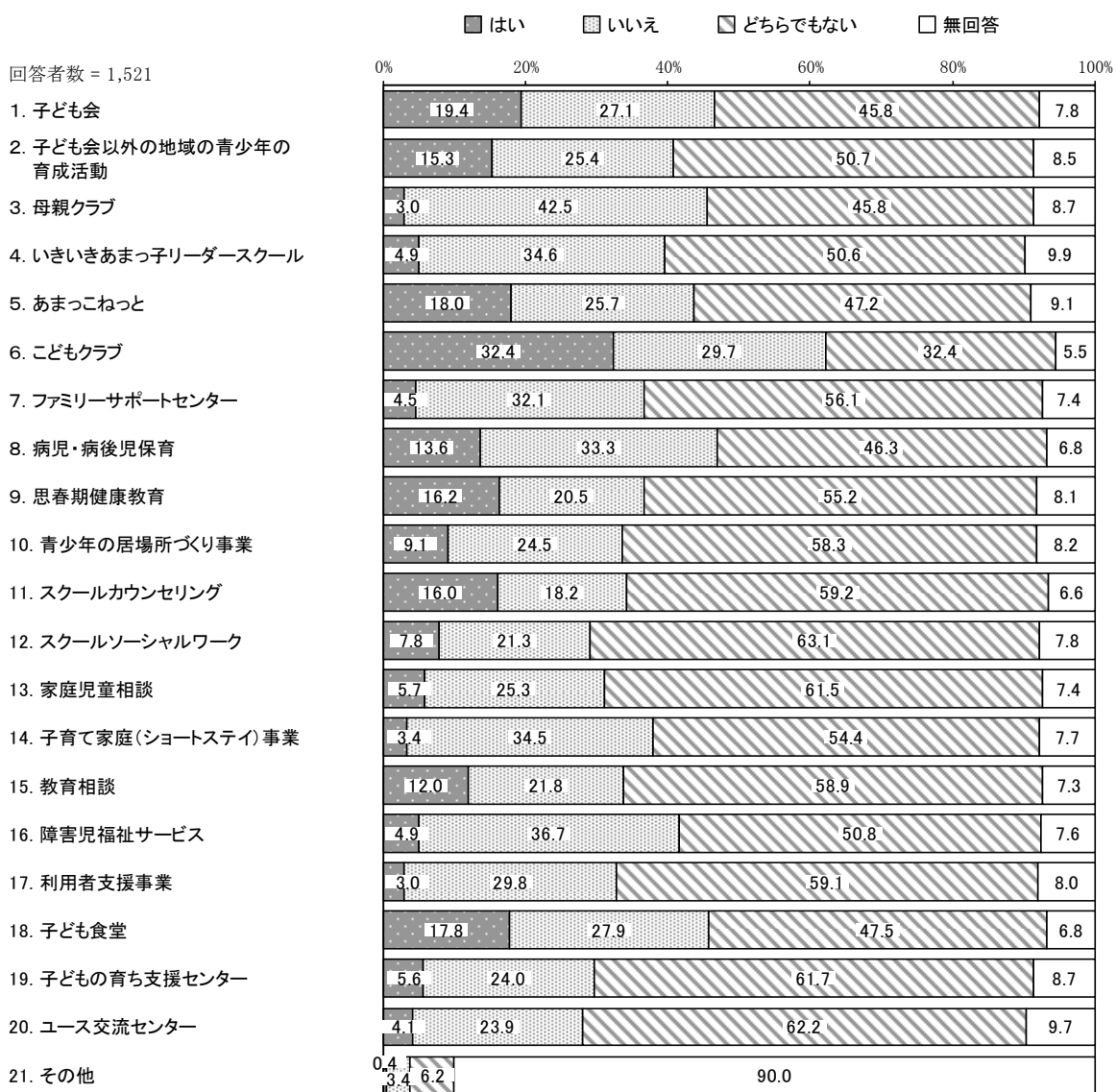
1. 子ども会
2. 子ども会以外の地域の青少年の育成活動
3. 母親クラブ
4. いきいきあまっ子リーダースクール
5. あまっこねっと
6. こどもクラブ
7. ファミリーサポートセンター
8. 病児・病後児保育
9. 思春期健康教育
10. 青少年の居場所づくり事業
11. スクールカウンセリング
12. スクールソーシャルワーク
13. 家庭児童相談
14. 子育て家庭(ショートステイ)事業
15. 教育相談
16. 障害児福祉サービス



③今後の利用意向

『6. こどもクラブ』で「はい」の割合が、『12. スクールソーシャルワーク』『13. 家庭児童相談』『19. 子どもの育ち支援センター』『20. ユース交流センター』で「どちらでもない」の割合が高くなっています。また、『3. 母親クラブ』で「いいえ」の割合が高くなっています。

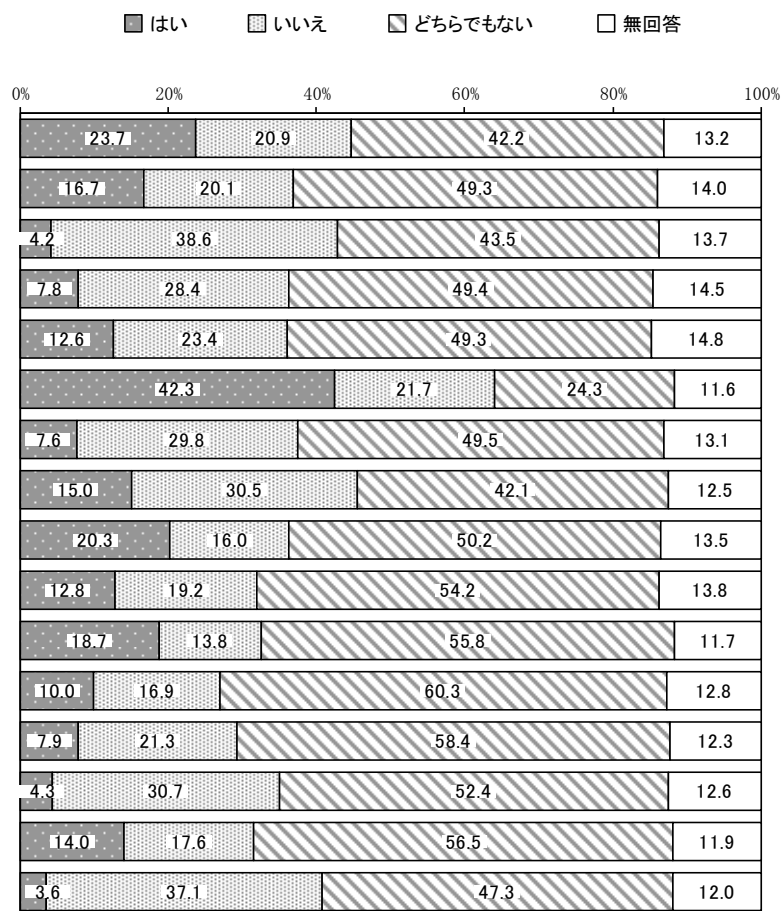
平成 25 年度調査と比較すると、『5. あまっこねっと』で「はい」の割合が、『1. 子ども会』『2. 子ども会以外の地域の青少年の育成活動』『4. いきいきあまっ子リーダーズスクール』『6. こどもクラブ』『10. 青少年の居場所づくり事業』で「いいえ」の割合が、『6. こどもクラブ』『7. ファミリーサポートセンター』『9. 思春期健康教育』で「どちらでもない」の割合が高くなっています。一方、『6. こどもクラブ』で「はい」の割合が低くなっています。



平成 25 年度調査

回答者数 = 1,082

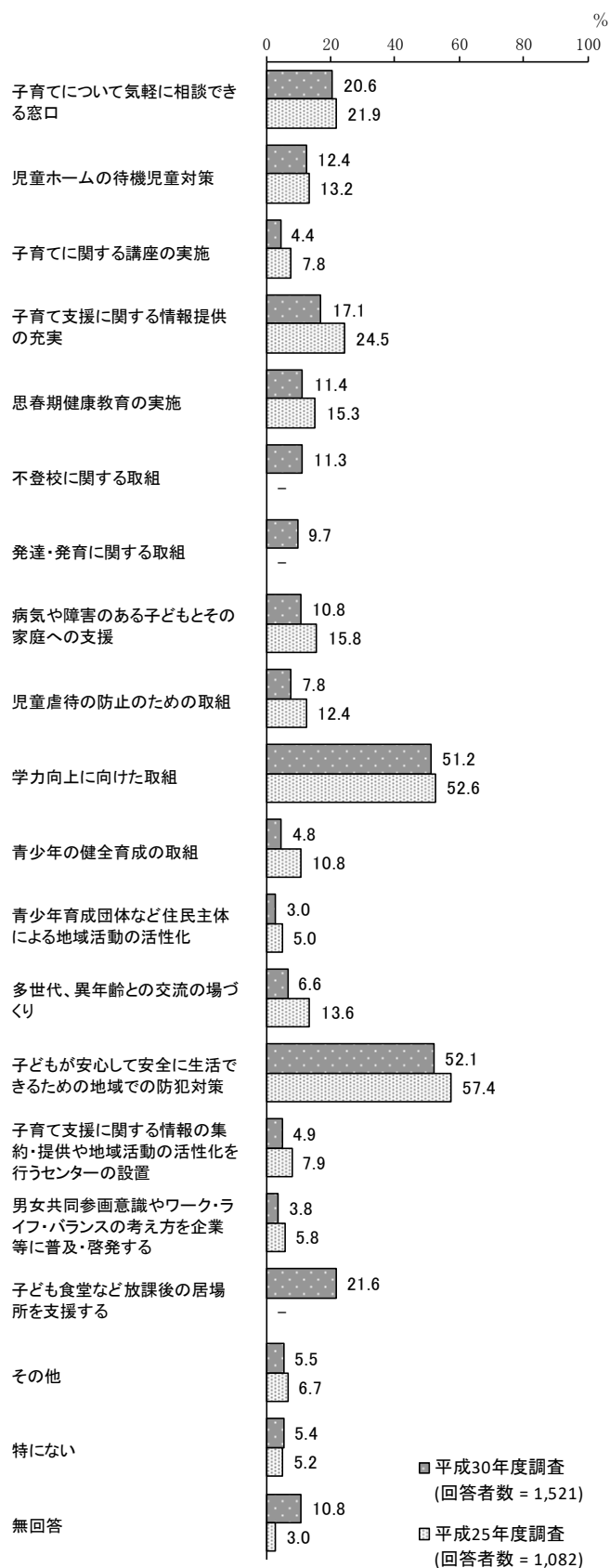
1. 子ども会
2. 子ども会以外の地域の青少年の育成活動
3. 母親クラブ
4. いきいきあまっ子リーダースクール
5. あまっこねっと
6. こどもクラブ
7. ファミリーサポートセンター
8. 病児・病後児保育
9. 思春期健康教育
10. 青少年の居場所づくり事業
11. スクールカウンセリング
12. スクールソーシャルワーク
13. 家庭児童相談
14. 子育て家庭(ショートステイ)事業
15. 教育相談
16. 障害児福祉サービス



問 24 尼崎市の子ども・子育てに関する施策で、さらに充実させてほしいものをお選びください。（5つまで○を記入）

「子どもが安心して安全に生活するための地域での防犯対策」の割合が 52.1%と最も高く、次いで「学力向上に向けた取組」の割合が 51.2%、「子ども食堂など放課後の居場所を支援する」の割合が 21.6%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「不登校に関する取組」「発達・発育に関する取組」「子ども食堂など放課後の居場所を支援する」の割合が増加しています。一方、「子育て支援に関する情報提供の充実」「青少年の健全育成の取組」「多世代、異年齢との交流の場づくり」「子どもが安心して安全に生活するための地域での防犯対策」の割合が減少しています。

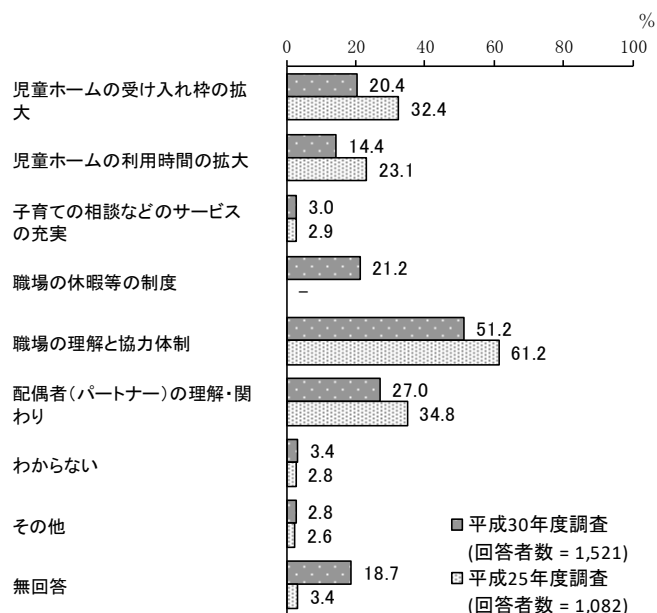


(10) その他

問 25 子育てしながら働き続けるために、必要と考えることはどのようなことですか。
(2つまで○を記入)

「職場の理解と協力体制」の割合が 51.2%と最も高く、次いで「配偶者（パートナー）の理解・関わり」の割合が 27.0%、「職場の休暇等の制度」の割合が 21.2%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「職場の休暇等の制度」の割合が増加しています。一方、「児童ホームの受け入れ枠の拡大」「児童ホームの利用時間の拡大」「職場の理解と協力体制」「配偶者（パートナー）の理解・関わり」の割合が減少しています。



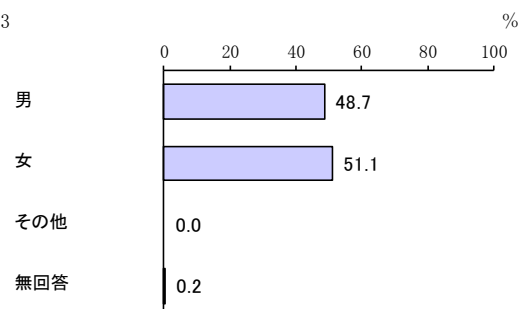
3 高学年（本人）

（１）あなたのふだんの家庭や学校での生活について

問１ あなたのせい別は、どれですか。また、何年生ですか。
（１つに○をつけ、学年を書く）

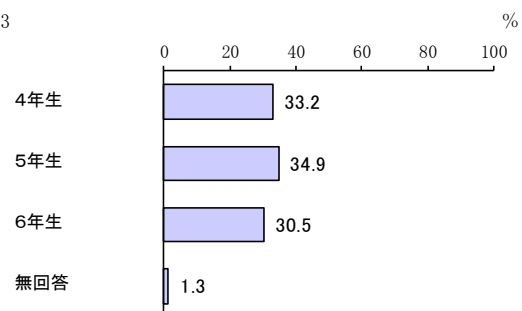
ア 性別

「男」の割合が 48.7%、「女」の割合が 51.1% 回答者数 = 593
となっています。



イ 学年

「５年生」の割合が 34.9%と最も高く、次いで 回答者数 = 593
「４年生」の割合が 33.2%、「６年生」の割合が
30.5%となっています。



問２ あなたは、学校がある日は、だいたい朝何時ごろにおきていますか。

有効回答がありませんでした。

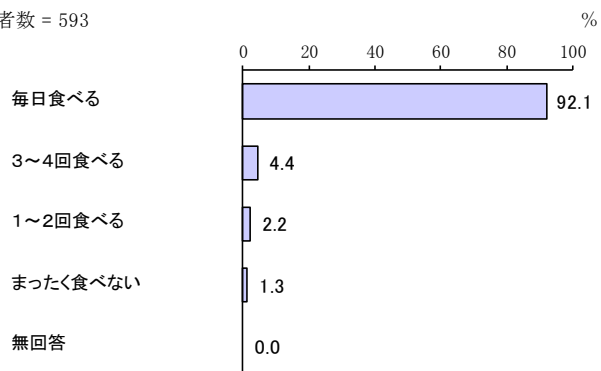
問３ あなたは、次の日に学校がある日は、だいたい夜何時ごろにねていますか。

有効回答がありませんでした。

問4 あなたは、1週間で、平日にどのくらい朝ごはんを食べていますか。
(1つに○をつける)

「毎日食べる」の割合が92.1%と最も高くなっています。

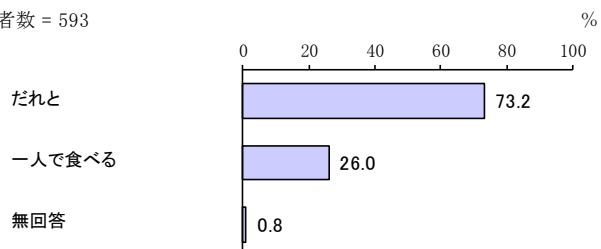
回答者数 = 593



問5 あなたは、平日に朝ごはんを食べる場合、だれといっしょに食べていますか。
(1つに○をつけ、「1.」に○をつけた場合は、だれと食べるかを書く)

「だれと」の割合が73.2%、「一人で食べる」の割合が26.0%となっています。

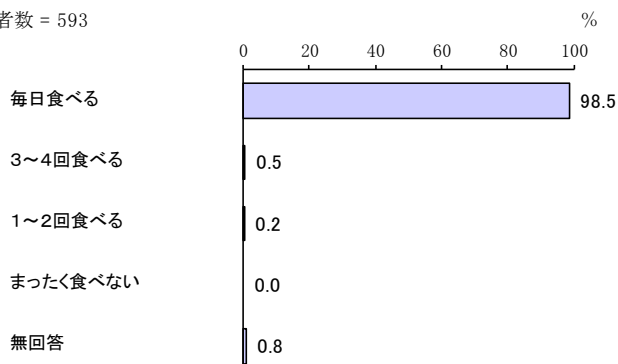
回答者数 = 593



問6 あなたは、1週間で、平日にどのくらい夜ごはんを食べていますか。
(1つに○をつける)

「毎日食べる」の割合が98.5%と最も高くなっています。

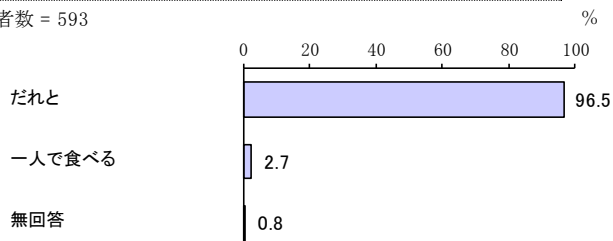
回答者数 = 593



問7 あなたは、平日に夜ごはんを食べる場合、だれといっしょに食べていますか。

「だれと」の割合が96.5%、「一人で食べる」の割合が2.7%となっています。

回答者数 = 593

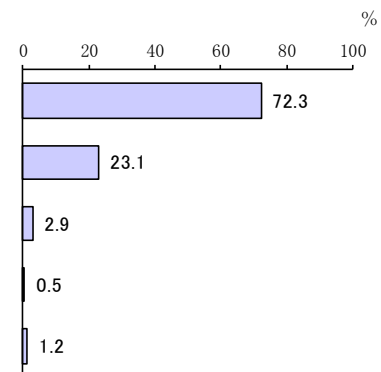


問8 あなたは、家にいる時間が楽しいですか。(1つに○をつける)

「楽しい」の割合が72.3%と最も高く、次いで「どちらかといえば楽しい」の割合が23.1%となっています。

回答者数 = 593

楽しい
どちらかといえば楽しい
どちらかといえば楽しくない
楽しくない
無回答

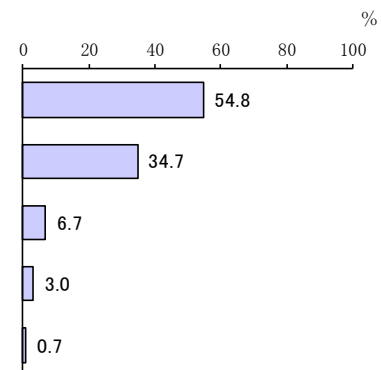


問9 あなたは、学校にいる時間が楽しいですか。(1つに○をつける)

「楽しい」の割合が54.8%と最も高く、次いで「どちらかといえば楽しい」の割合が34.7%となっています。

回答者数 = 593

楽しい
どちらかといえば楽しい
どちらかといえば楽しくない
楽しくない
無回答

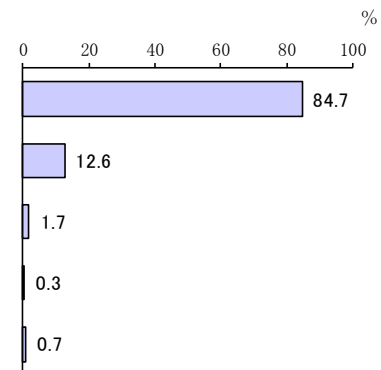


問10 あなたは、友達と一緒にいる時間が楽しいですか。(1つに○をつける)

「楽しい」の割合が84.7%と最も高く、次いで「どちらかといえば楽しい」の割合が12.6%となっています。

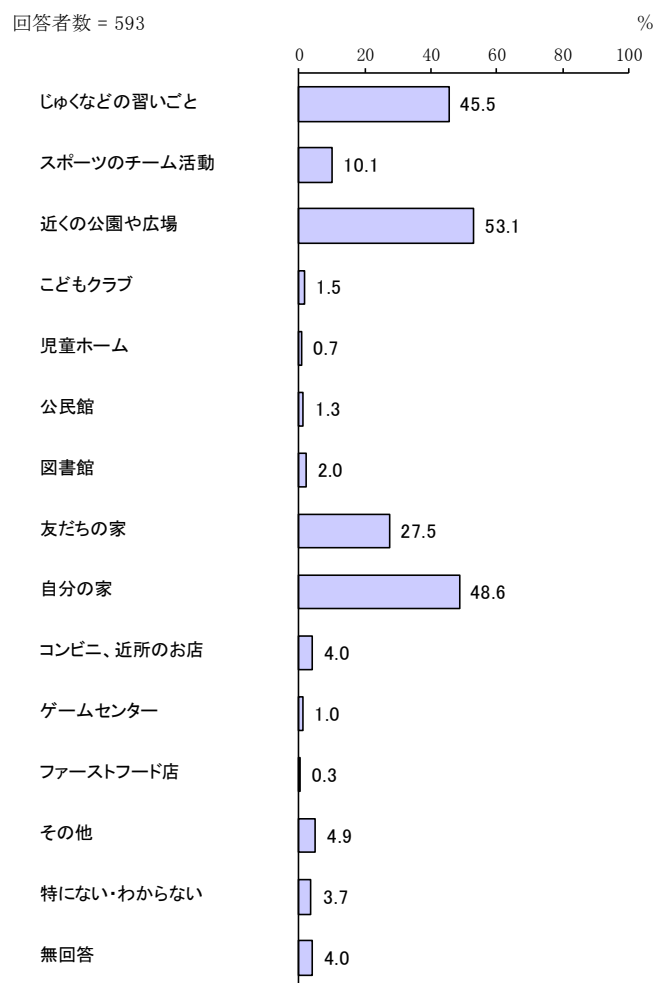
回答者数 = 593

楽しい
どちらかといえば楽しい
どちらかといえば楽しくない
楽しくない
無回答



問 11 あなたが平日、よく行ったり、遊ぶ場所はどこですか。
 (1つから3つまで○をつけ、「13.」に○をつけた場合は()の中に場所を書く)

「近くの公園や広場」の割合が53.1%と最も高く、次いで「自分の家」の割合が48.6%、「じゅくなどの習いごと」の割合が45.5%となっています。

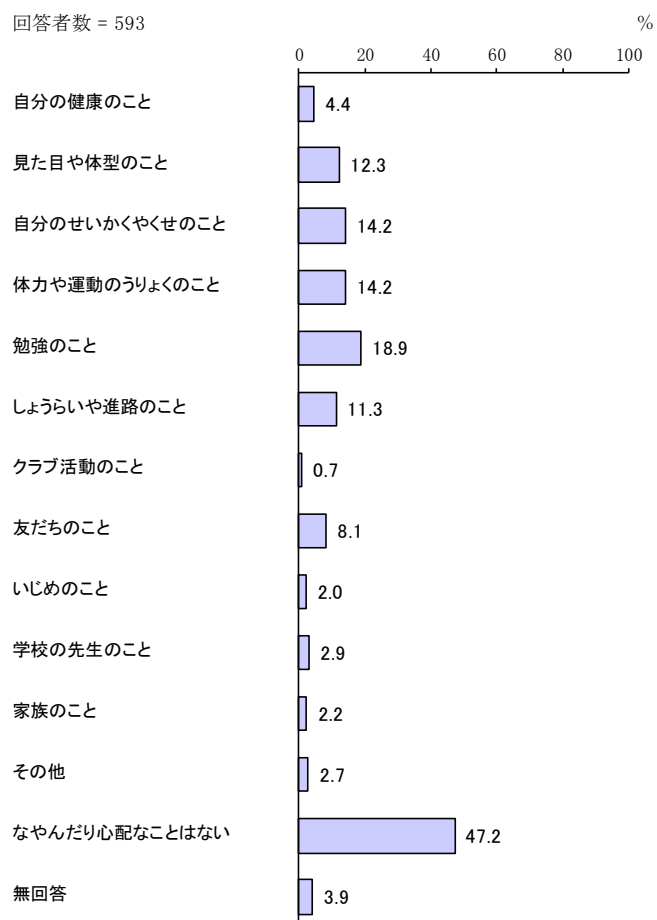


(2) あなたの考えについて

問 12 あなたには、今なやんでいること、心配なこと、困っていること、だれかに相談したいと思っていることがありますか。(1つから3つまで○をつける)

「なやんだり心配なことはない」の割合が47.2%と最も高く、次いで「勉強のこと」の割合が18.9%、「自分のせいかくやくせのこと」、「体力や運動のうりよくのこと」の割合が14.2%となっています。

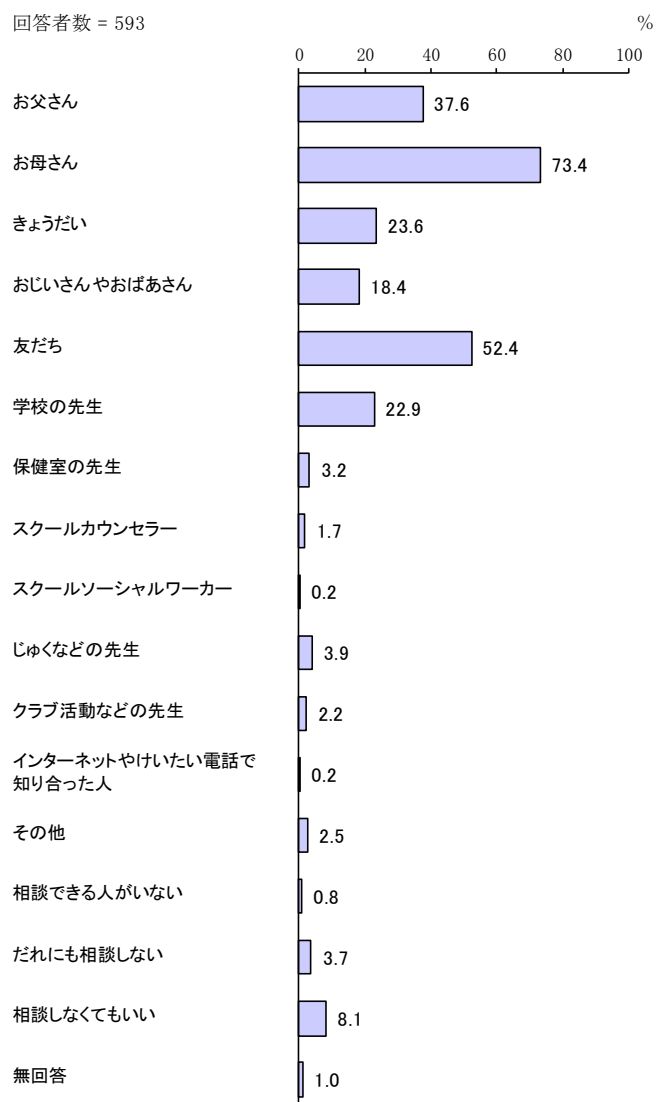
回答者数 = 593



問 13 あなたになやみや心配などがあるとき、話したり、相談したりできる人がいますか。
(あてはまるものすべてに○をつける)

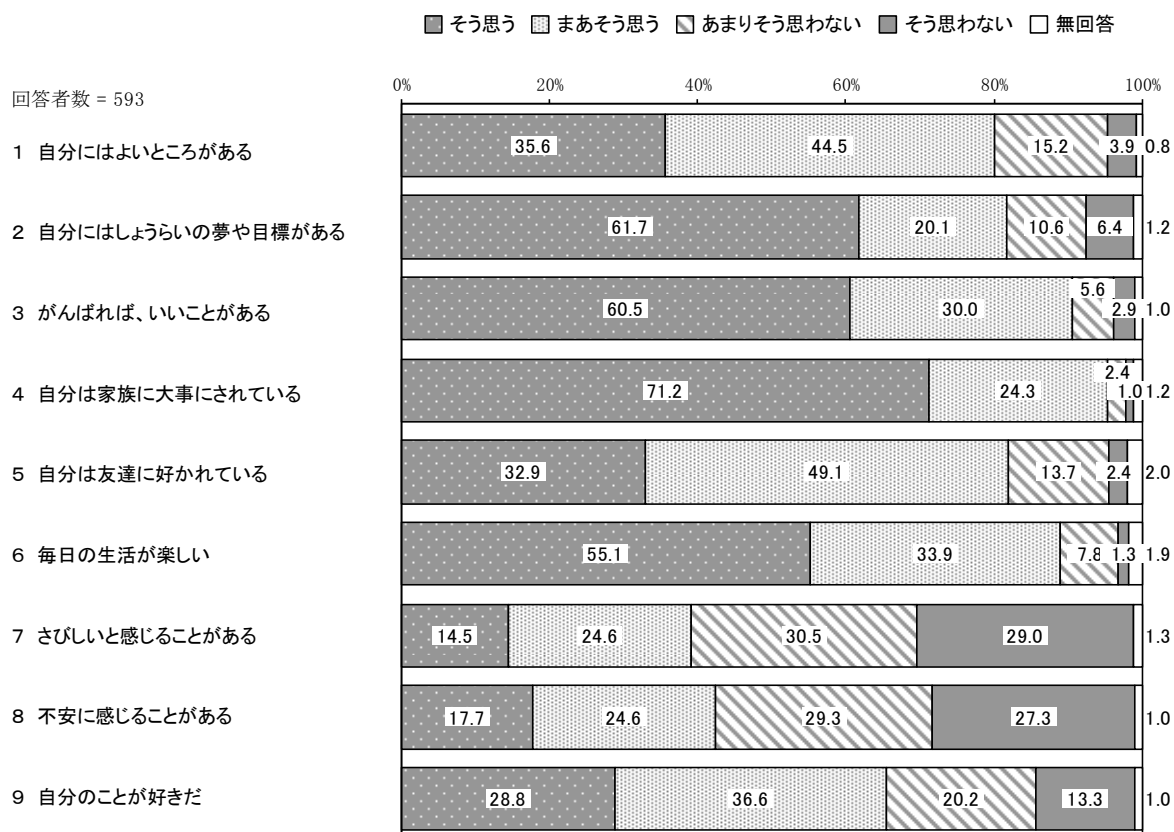
「お母さん」の割合が 73.4%と最も高く、次いで「友だち」の割合が 52.4%、「お父さん」の割合が 37.6%となっています。

回答者数 = 593



問 14 あなたは、ふだんの生活の中で、次に書かれているようなことについて、どのよう
に感じていますか。
(①～⑨のそれぞれについて、あてはまるもの1つに○をつける)

『4 自分は家族に大切にされている』で「そう思う」と「まあそう思う」をあわせた“そう思
う”の割合が、『7 さびしいと感じることがある』『8 不安に感じる』で「そう思わな
い」と「あまりそう思わない」をあわせた“そう思わない”の割合が高くなっています。



【自己肯定感（自分にはよいところがあるか）別】

自己肯定感（自分にはよいところがあるか）別でみると、他に比べ、そう思うで「お父さん」「お母さん」の割合が、そう思う、まあそう思う、あまりそう思わないで「友だち」の割合が高くなっています。また、そう思わないで「相談しなくてもいい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答数（件）	お父さん	お母さん	きょうだい	おじいさんやおばあさん	友だち	学校の先生	保健室の先生	スクールカウンセラー	スクールソーシャルワーカー	じゆくなどの先生	クラブ活動などの先生	インターネットやけいたい 電話で知り合った人	その他	相談できる人がいない	だれにも相談しない	相談しなくてもいい	無回答
そう思う	211	42.2	81.5	24.6	25.6	54.0	27.0	5.2	2.4	0.5	4.3	2.8	0.5	3.8	—	2.8	7.6	—
まあそう思う	264	38.3	72.7	25.4	16.7	52.3	22.7	2.7	0.8	—	4.5	2.3	—	1.9	0.4	3.0	8.0	1.1
あまりそう思わない	90	31.1	65.6	18.9	10.0	53.3	18.9	—	3.3	—	2.2	1.1	—	—	2.2	6.7	8.9	—
そう思わない	23	21.7	43.5	13.0	8.7	39.1	8.7	4.3	—	—	—	—	—	8.7	8.7	8.7	13.0	4.3

【自己有用感（自分は大事にされているか）別】

自己有用感（自分は大事にされているか）別でみると、他に比べ、そう思うで「お父さん」「お母さん」「友だち」の割合が、あまりそう思わないで「相談できる人がいない」「相談しなくてもいい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答数（件）	お父さん	お母さん	きょうだい	おじいさんやおばあさん	友だち	学校の先生	保健室の先生	スクールカウンセラー	スクールソーシャルワーカー	じゆくなどの先生	クラブ活動などの先生	インターネットやけいたい 電話で知り合った人	その他	相談できる人がいない	だれにも相談しない	相談しなくてもいい	無回答
そう思う	422	44.8	81.3	25.6	22.5	55.9	24.9	4.3	2.1	0.2	4.5	2.8	0.2	2.8	—	1.9	6.6	0.2
まあそう思う	144	22.9	59.0	20.1	8.3	44.4	19.4	0.7	0.7	—	1.4	0.7	—	2.1	0.7	9.0	12.5	1.4
あまりそう思わない	14	7.1	35.7	7.1	14.3	35.7	14.3	—	—	—	7.1	—	—	—	14.3	7.1	14.3	—
そう思わない	6	—	—	—	—	50.0	16.7	—	—	—	16.7	—	—	—	33.3	—	—	16.7